

令和元年度
東広島市市民満足度調査
報 告 書

令和元年 10 月
東広島市

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 回収状況	1
4. 標本誤差	1
5. 報告書の見方	2
II 基本的な属性	3
III 調査の分析	5
1. 現在の住環境について	5
2. 市政運営について	23
3. 市が実施している施策の満足度と重要度について	26
4. 市の広報活動について	35
5. 障害者コミュニケーション条例と手話言語条例について	57
6. 医療について	60
7. 住民自治協議会について	68
8. 地域コミュニティ活動の参加状況について	71
9. 消費生活について	90
10. 人権男女共同参画について	113
11. 生涯学習について	123
12. 雇用・労働環境について	128
<資料編>	133

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、「第四次東広島市総合計画」を計画的かつ効率的に推進するため、市の施策に係る市民のニーズや満足度を把握するとともに、今後の施策展開における基礎資料として活用することを目的として実施した。

2. 調査の設計

- (1) 調査地域 東広島市全域
- (2) 調査対象 東広島市内に居住している18歳以上の男女個人
- (3) 標本数 2,500人
- (4) 抽出方法 層化無作為抽出法(住民基本台帳からの抽出)
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送回収によるアンケート調査
- (6) 調査期間 令和元年6月5日(水)～令和元年6月21日(金)

3. 回収状況

- | | |
|-----------|--------|
| (1) 配布数 | 2,500件 |
| (2) 有効回収数 | 1,152件 |
| (3) 有効回収率 | 46.1% |

4. 標本誤差

今回の調査の回答結果から、調査対象となる母集団全体(東広島市の18歳以上の男女)の比率を推定するため、単純無作為抽出の場合の標本誤差の<算出式>と<早見表>を次に示す。

統計学上の標本誤差は、比率算出の基数(回答サンプル数)及び回答の比率によって誤差幅が異なる。今回調査の誤差幅は、±2.88%以内となる。

<算出式>

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数(東広島市の18歳以上の男女)
n = 比率算出の基数(回答サンプル数)
p = 回答の比率(0 ≤ p ≤ 1)

<早見表>

回答比率(p) 標本数(n)	5%または 95%程度	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
100	±4.36	±6.00	±8.00	±9.16	±9.79	±10.00
200	±3.08	±4.24	±5.65	±6.48	±6.92	±7.07
500	±1.95	±2.68	±3.57	±4.09	±4.37	±4.46
1,000	±1.37	±1.89	±2.52	±2.89	±3.09	±3.15
1,152	±1.28	±1.76	±2.35	±2.69	±2.88	±2.94
5,000	±0.61	±0.83	±1.11	±1.28	±1.36	±1.39
10,000	±0.42	±0.58	±0.77	±0.89	±0.95	±0.97

※上表は $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

5. 報告書の見方

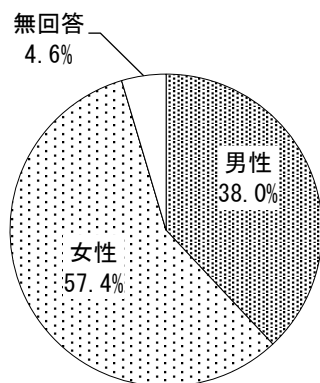
- (1) 図表中に示す n は、回答数総数のことである。
- (2) 割合は n を 100.0% として算出し、図表中の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入したため、合計が 100.0% にならない場合がある。
- (3) 回答が 2 つ以上ありうる複数回答は、比率の合計は 100.0% を超える場合がある。
- (4) 統計学上 50 サンプル以下の集計(回答者数)は信憑性が低いため、原則としてクロス集計については、50 サンプル以上を記述(コメント)の対象としている。
 ※居住地別の「福富地区」、「豊栄地区」は 50 サンプル未満であるが、コメントの対象としている。
 ※限定質問で全体のサンプル数が少ない場合は、コメントの対象としている。
- (5) 属性別(クロス集計)の記述では、全体及び属性間の集計結果と比較し、特徴または傾向がみられるものを記している。
- (6) 経年変化分析については、平成 30 年度調査結果(前回調査結果)を起点として変化分析を示し、参考値としてそれ以前の年度の調査結果をあわせて掲載している。
- (7) 表・グラフの属性別データは、無回答を除いて掲載しているため、回答数総数と属性の内訳の合計は一致しない。

II 基本的な属性

それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください。

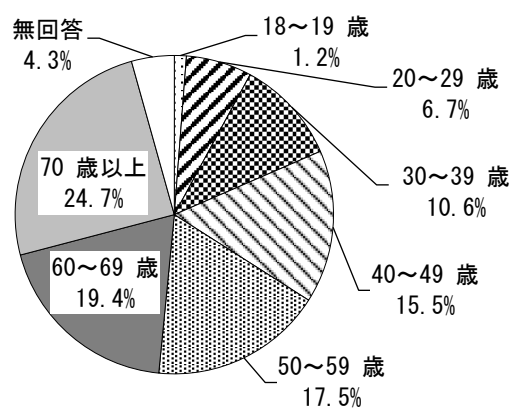
(1) 性別

図1 性別
[n=1, 152]



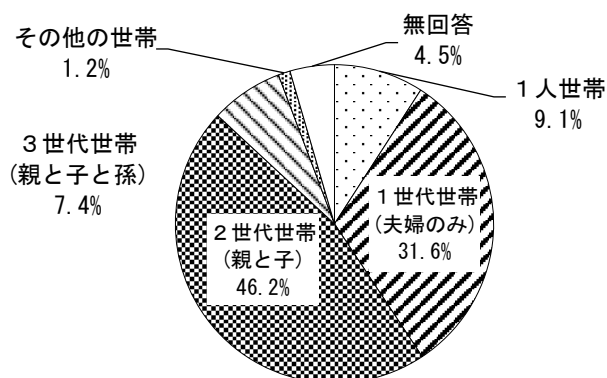
(2) 年齢

図2 年齢
[n=1, 152]



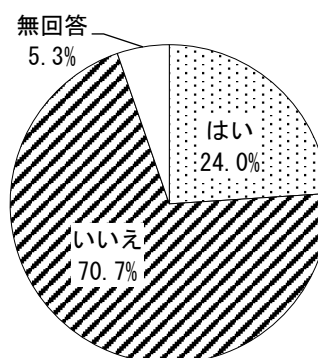
(3) 家族構成

図3 家族構成
[n=1, 152]



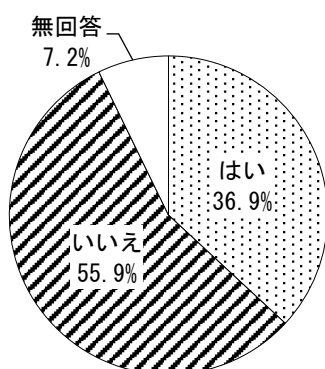
(4) 18歳未満の子どもの同居の有無

図4 18歳未満の子どもの同居の有無
[n=1, 152]



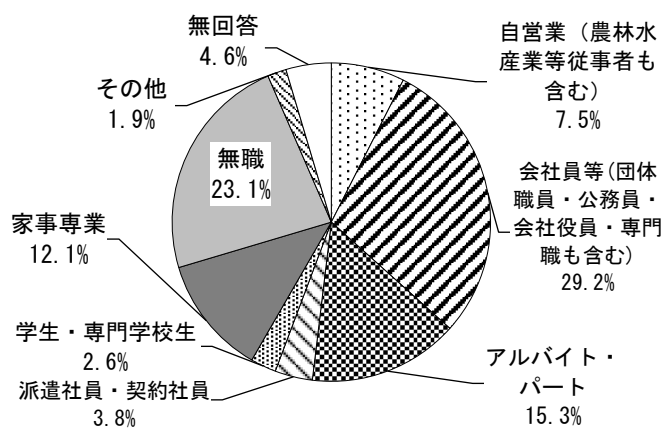
(5) 65歳以上の方の同居の有無

図5 65歳以上の方の同居の有無
[n=1, 152]



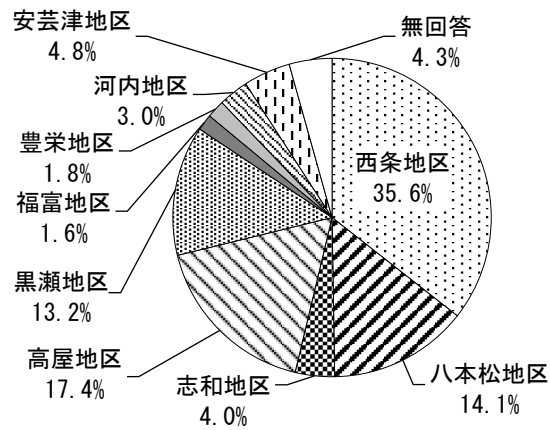
(6) 職業

図6 職業
[n=1, 152]



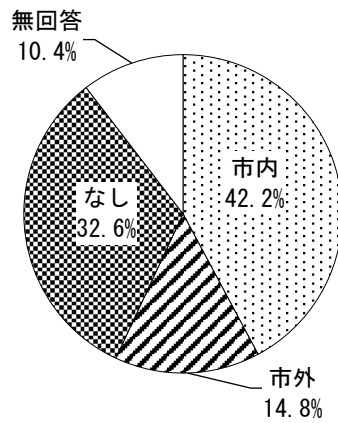
(7) 居住地区

図7 居住地区
[n=1,152]



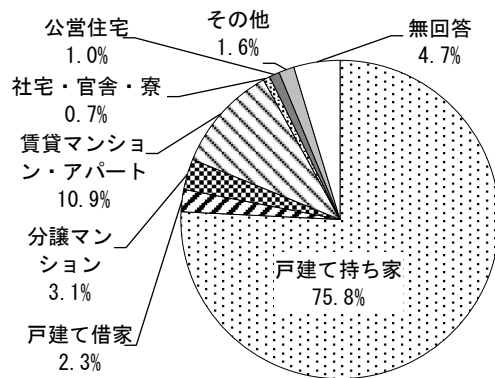
(8) 通勤、通学先

図8 通勤・通学先
[n=1,152]



(9) 居住形態

図9 居住形態
[n=1,152]



Ⅲ 調査の分析

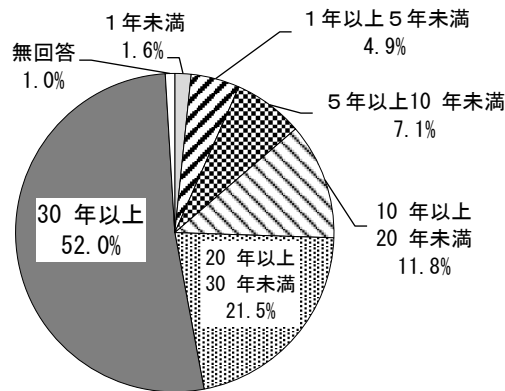
1. 現在の住環境について

(1) 居住年数

問1 あなたは、東広島市にお住まいになって何年位になりますか。
 (1つだけ選んで○をお付けください)※合併前の旧市・旧町を含めてお答えください。

居住年数については、「30年以上」が52.0%で最も高く、次いで「20年以上30年未満」21.5%、「10年以上20年未満」11.8%、「5年以上10年未満」7.1%、「1年以上5年未満」4.9%、「1年未満」1.6%となっている。10年以上は、85.3%を占めている。

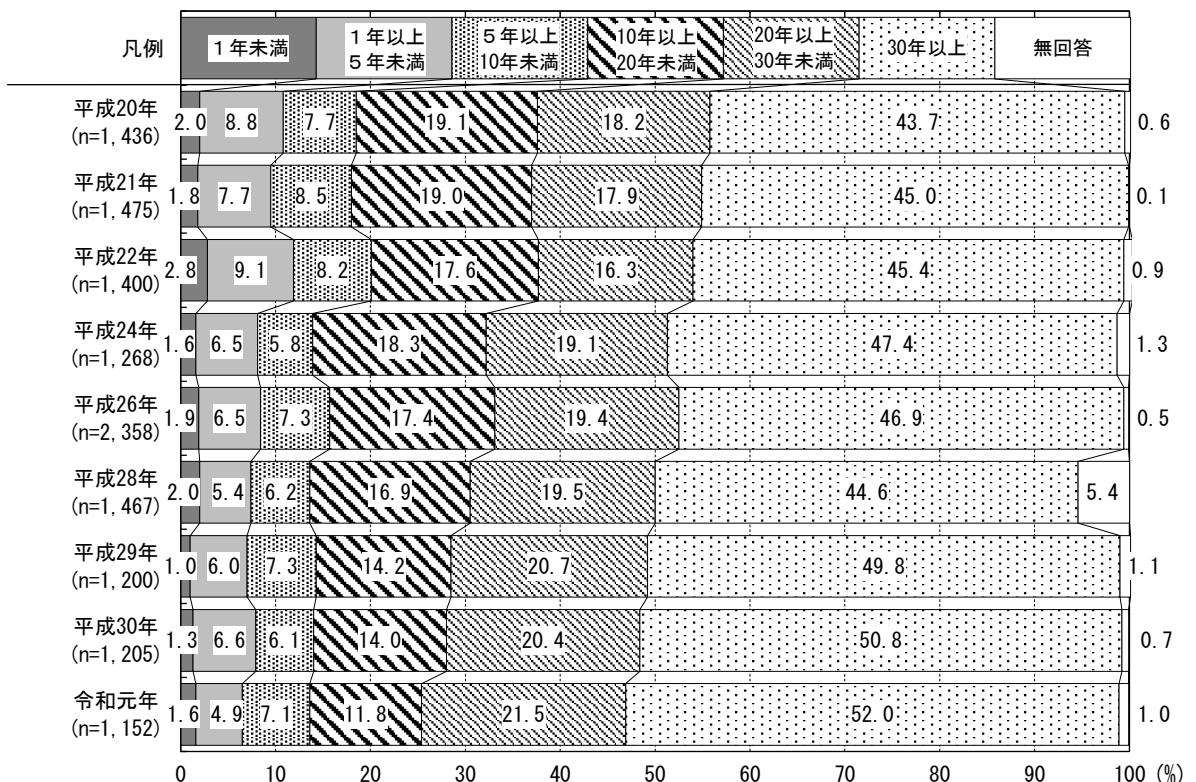
図1-1 居住年数
 [n=1,152]



【経年変化】

平成30年度調査(前回)との比較では、「30年以上」が増えている。

図1-2 居住年数／経年変化



【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

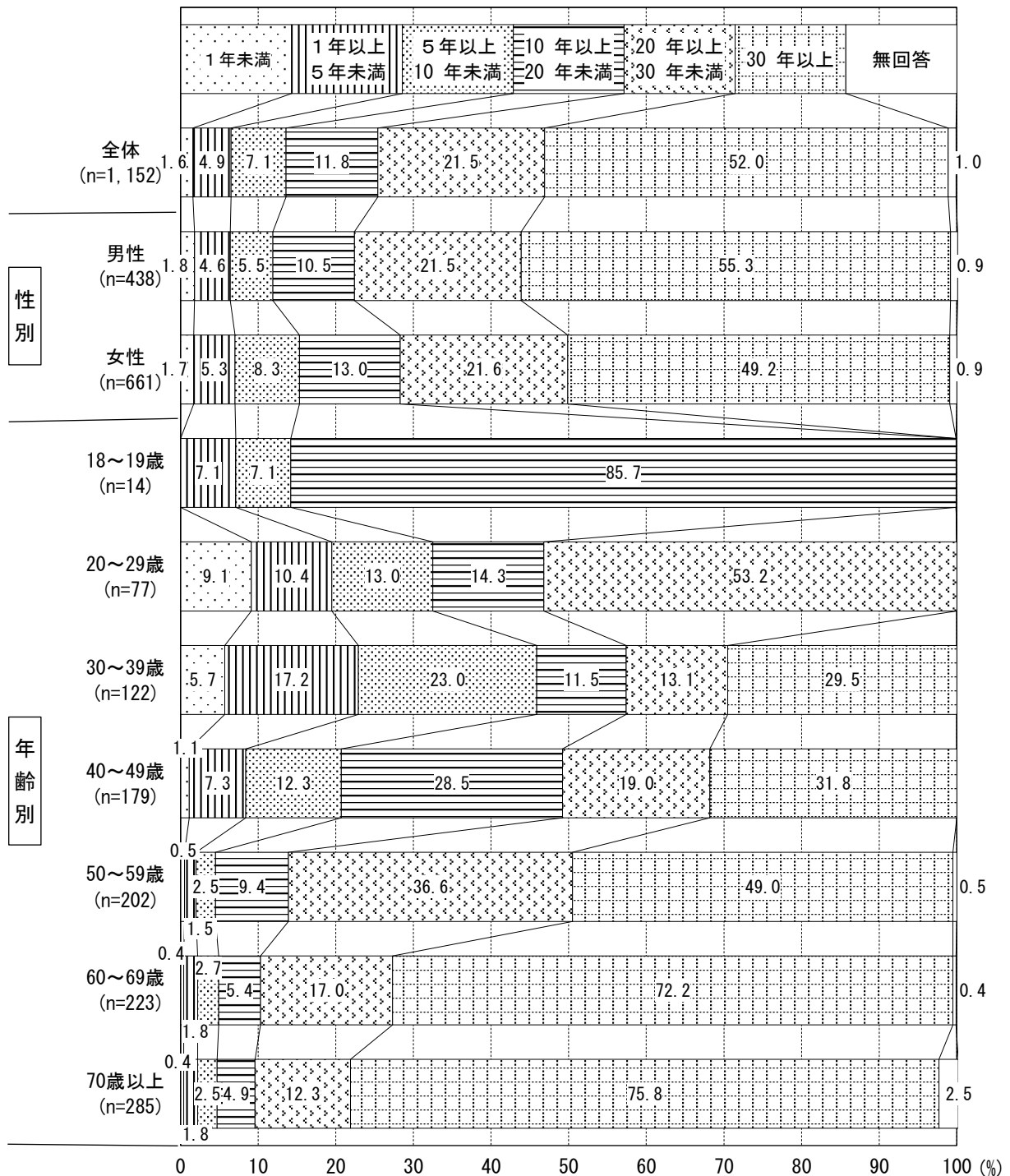
性別では、「30年以上」は『男性』が『女性』より6.1ポイント高い。

年齢別では、「1年以上5年未満」は『30～39歳』が17.2%と12.3ポイント、『20～29歳』が10.4%と5.5ポイント、『40～49歳』が7.3%と2.4ポイント、それぞれ全体より高い。

「30年以上」は『70歳以上』が75.8%と23.8ポイント全体より高く、最も高い。「30年以上」は年齢が上がるほど高くなっている。

※『18～19歳』はサンプル数が少ないので、コメントしない(以下省略)。

図1-3 居住年数／性別・年齢別



【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

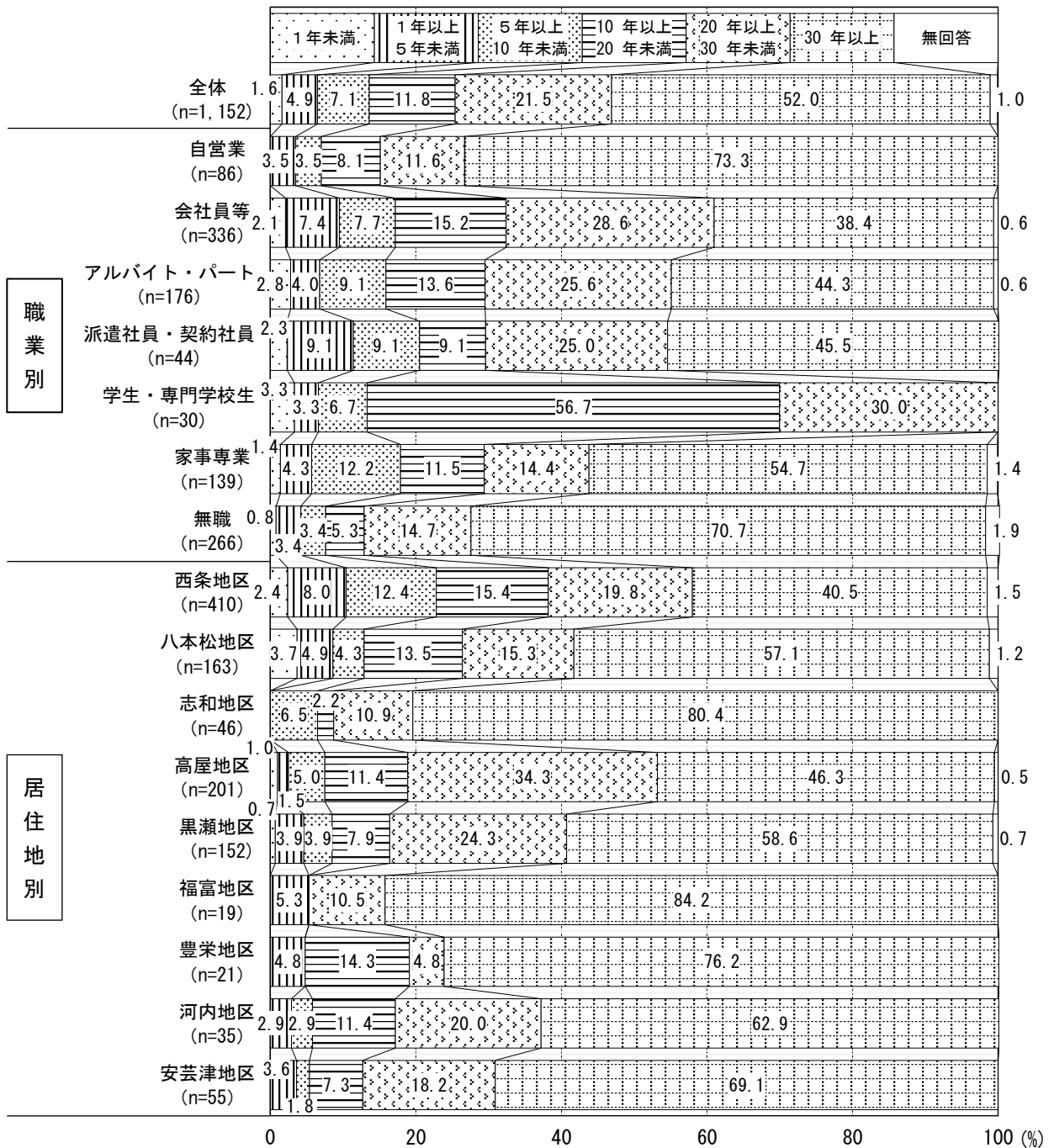
職業別では、「30年以上」は『自営業』が73.3%と21.3ポイント、『無職』が70.7%と18.7ポイント、『家事専業』が54.7%と2.7ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「30年以上」は『福富地区』が84.2%、『志和地区』が80.4%、『豊栄地区』が76.2%と、これらの地区では7割以上を占めている。

「20年以上30年未満」は『高屋地区』が34.3%と12.8ポイント、『黒瀬地区』が24.3%と2.8ポイント、それぞれ全体より高く、「5年以上10年未満」は『西条地区』が12.4%と5.3ポイント全体より高くなっている。

※『派遣社員・契約社員』『学生・専門学校生』はサンプル数が少ないので、コメントしない(以下省略)。

図1-4 居住年数／職業別・居住地別



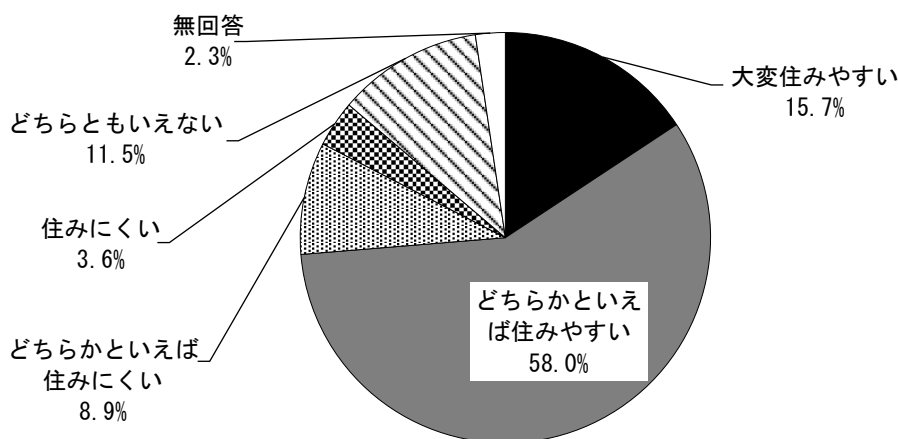
(2) 住み心地

問2 あなたは、東広島市の住み心地についてどう感じていますか。
(1つだけ選んで○をお付けください)

住み心地については、「大変住みやすい」が15.7%、「どちらかといえば住みやすい」が58.0%で、“住みやすい”（「大変住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）は、73.7%と7割強を占める。

「どちらかといえば住みにくい」は8.9%、「住みにくい」は3.6%であった。

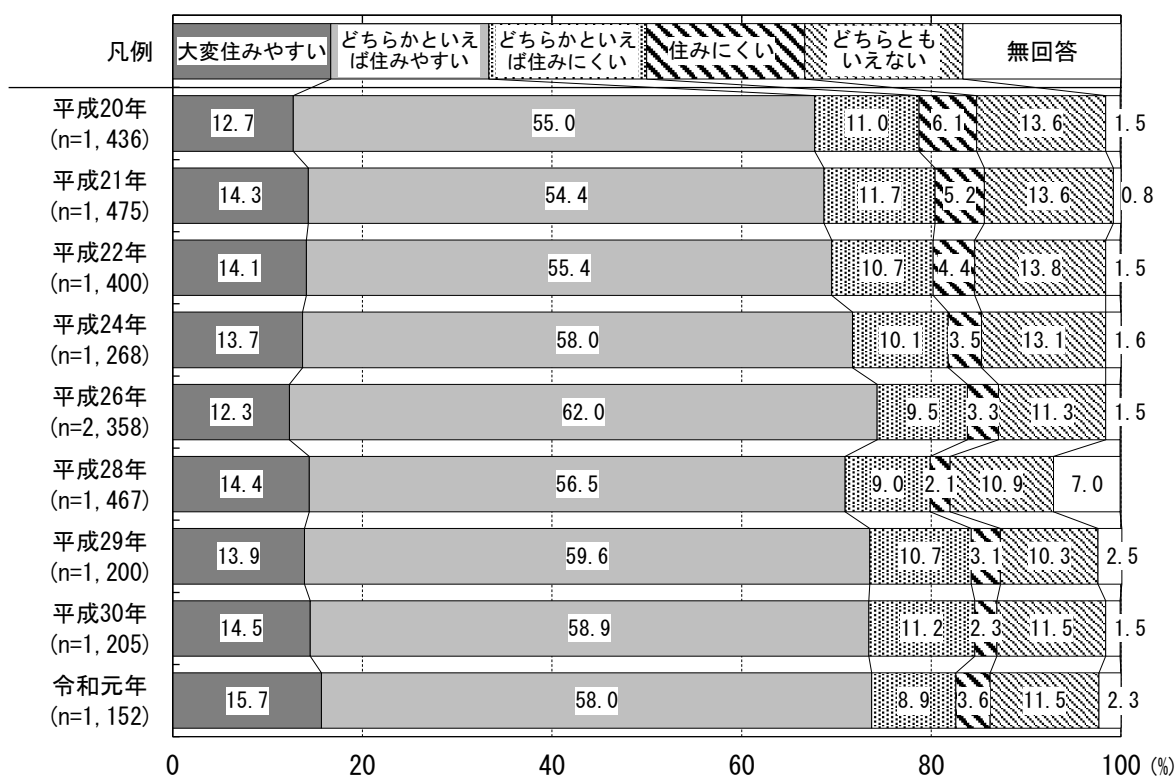
図2-1 住み心地 [n=1, 152]



【経年変化】

平成30年度調査(前回)との比較では、大きな変化はみられなかった。

図2-2 住み心地／経年変化



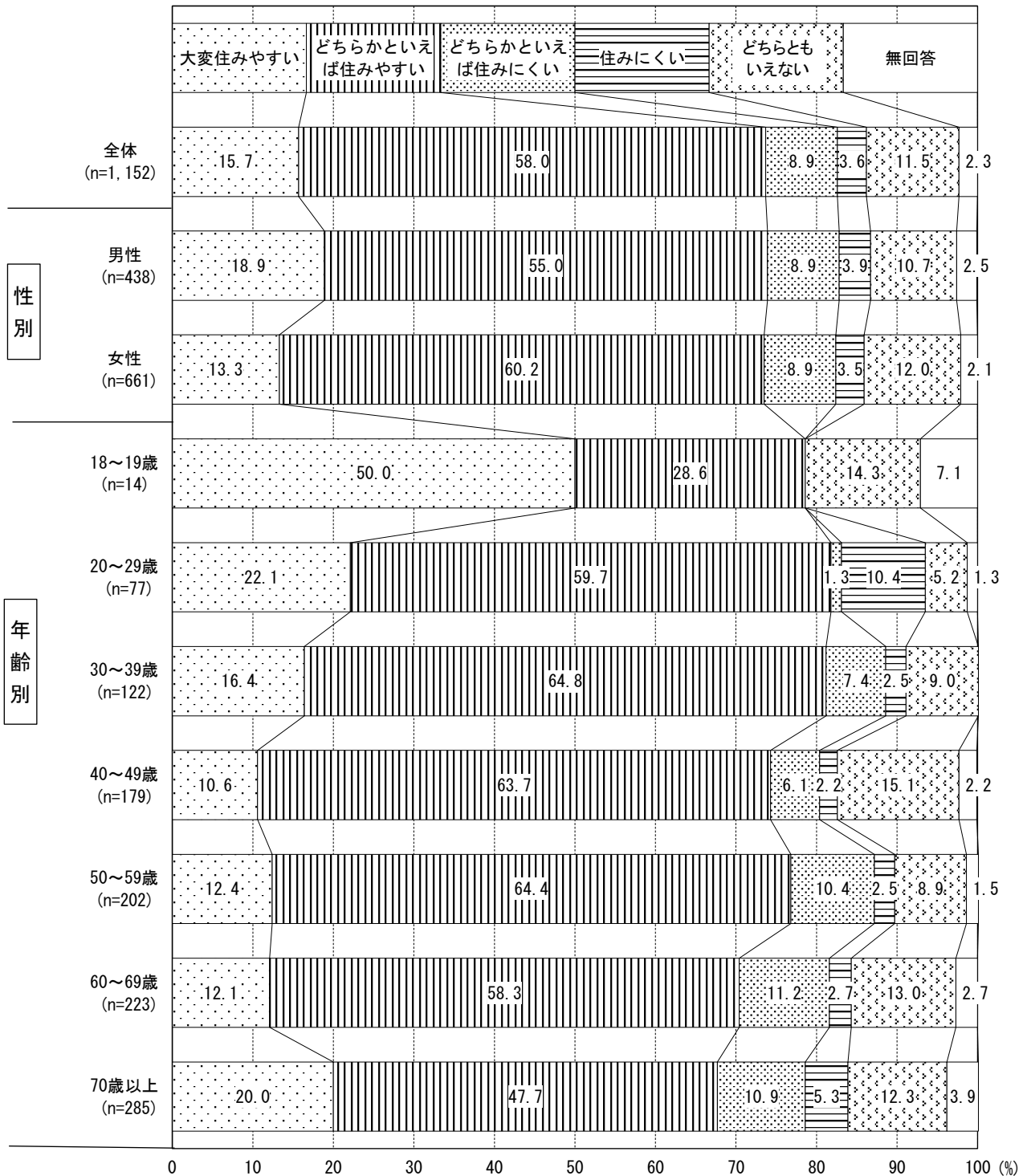
【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“住みやすい”（「大変住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）は『男性』73.9%、『女性』73.5%と男女とも7割を超えている。

年齢別では、「大変住みやすい」は『20～29歳』では22.1%と6.4ポイント、『70歳以上』では20.0%と4.3ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

住みやすい”は『70歳以上』が67.7%と7割を下回っているが、その他の年齢層では7割を超えている。

図2-3 住み心地／性別・年齢別

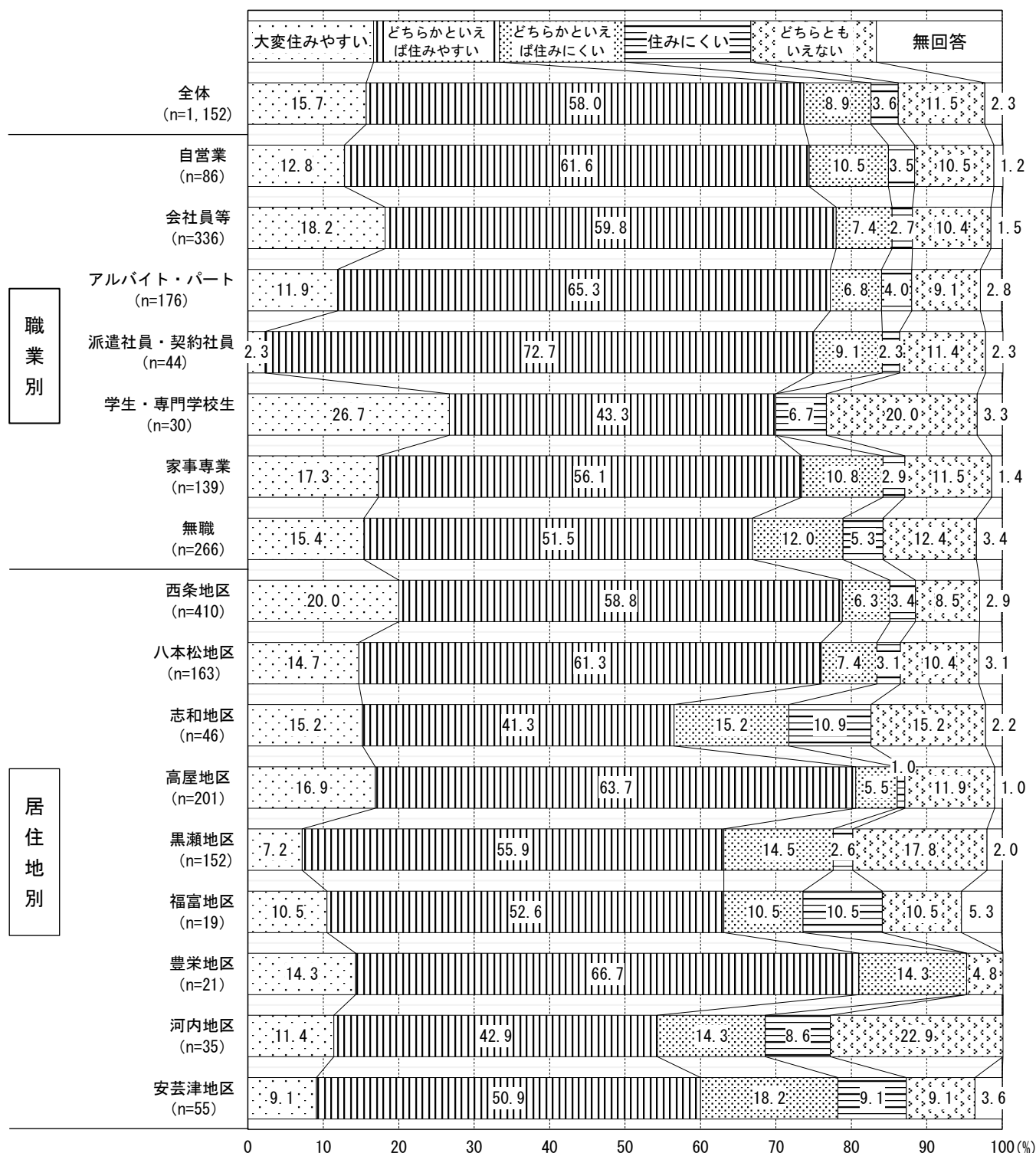


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“住みやすい”（「大変住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）は『無職』が66.9%と6.8ポイント、『家事専業』が73.4%と0.3ポイント全体より低い。

居住地別では、「大変住みやすい」は『西条地区』が20.0%と4.3ポイント全体より高く、最も高くなっている。“住みやすい”については『豊栄地区』が81.0%と最も高く、『高屋地区』80.6%、『西条地区』78.8%、『八本松地区』76.0%と、これらの地区では7割を超えている。

図2-4 住み心地／職業別・居住地別



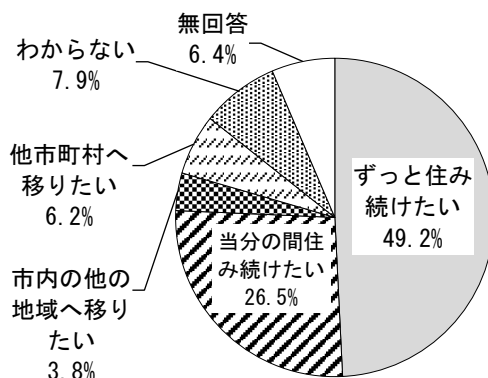
(3) 居住意向

問3 あなたは、今後も東広島市に住み続けたいと思いますか。
(1つだけ選んで○をお付けください)

居住意向については、「ずっと住み続けたい」が49.2%で最も高く、次いで「当分の間住み続けたい」は26.5%で、“住み続けたい”（「ずっと住み続けたい」と「当分の間住み続けたい」の合計）は、75.7%と約7割を占める。

「他市町村へ移りたい」は6.2%、「市内の他の地域へ移りたい」は3.8%であった。

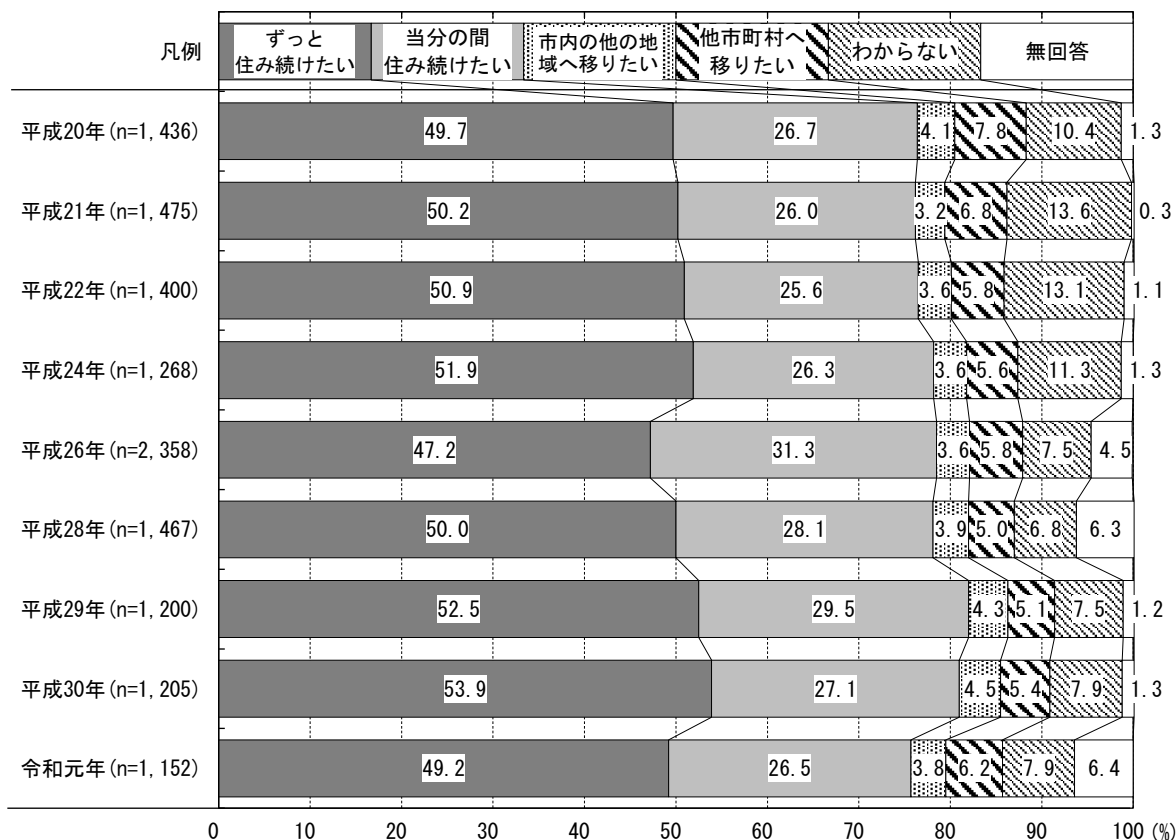
図3-1 居住意向 [n=1, 152]



【経年変化】

平成30年度調査(前回)との比較では、“住み続けたい”（「ずっと住み続けたい」と「当分の間住み続けたい」の合計）が低くなっている。

図3-2 居住意向／経年変化



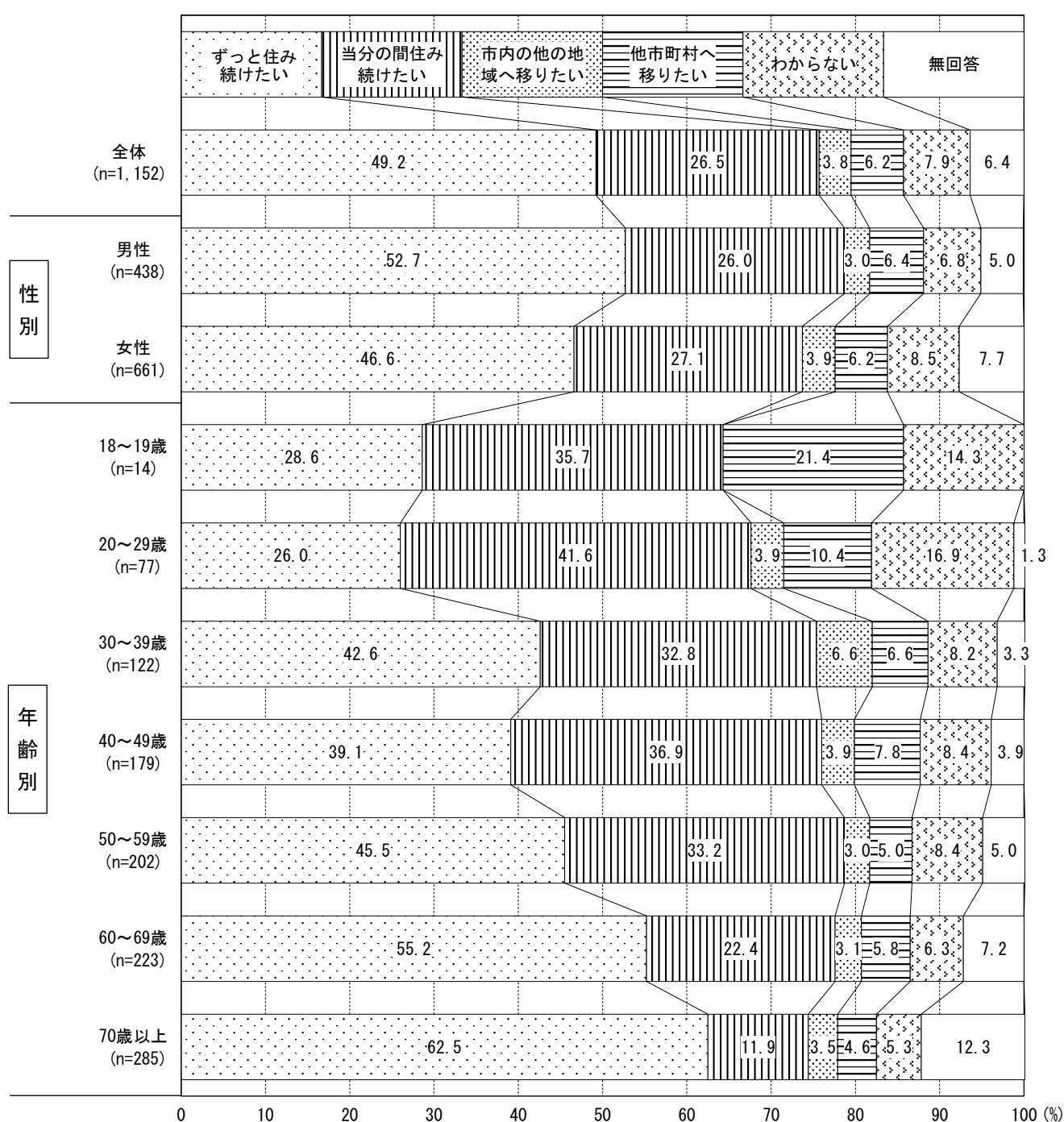
【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“住み続けたい”（「ずっと住み続けたい」と「当分の間住み続けたい」の合計）は『男性』78.7%、『女性』73.7%と『男性』が『女性』が5.0ポイント高い。一方、「他市町村へ移りたい」も『男性』6.4%、『女性』6.2%と『男性』が『女性』より0.2ポイント高い。

年齢別では、「ずっと住み続けたい」は『70歳以上』が62.5%と最も高く、『20～29歳』では26.0%と低くなっており、年齢が上がるほど高くなる傾向がみられる。

『20～29歳』は「当分の間住み続けたい」が41.6%と15.1ポイント、「わからない」が16.9%と9.0ポイント、「他市町村へ移りたい」が10.4%と4.2ポイント、「市内の他の地域へ移りたい」が3.9%と0.1ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図3-3 居住意向／性別・年齢別



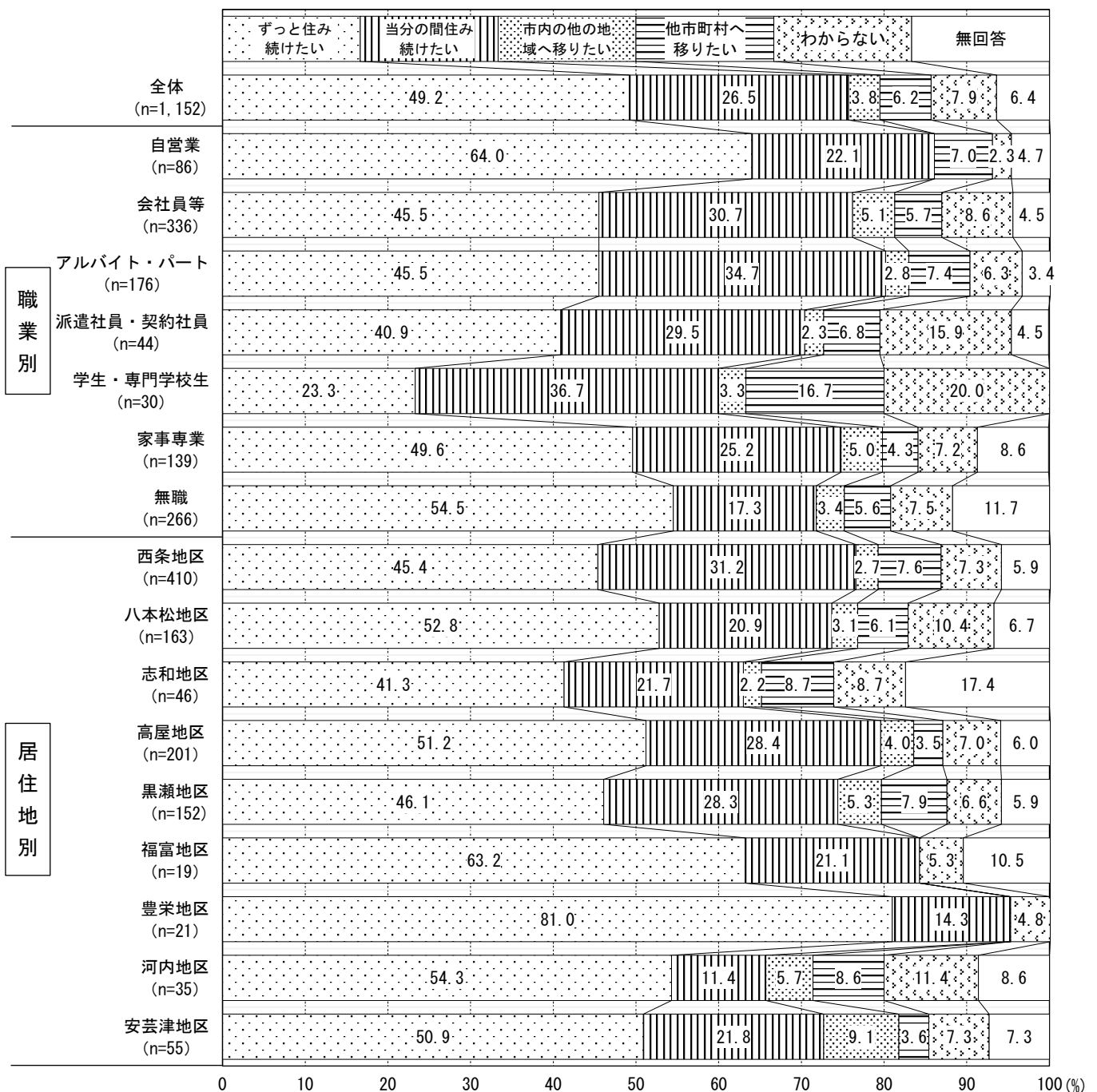
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「ずっと住み続けたい」は『自営業』が64.0%と14.8ポイント、『無職』が54.5%と5.3ポイント、『家事専業』が49.6%と0.4ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「ずっと住み続けたい」は『豊栄地区』が81.0%と31.8ポイント、『福富地区』が63.2%と14.0ポイント、『河内地区』が54.3%と5.1ポイント、『八本松地区』が52.8%と3.6ポイント、『高屋地区』が51.2%と2.0ポイント、『安芸津地区』が50.9%と1.7ポイント、それぞれ全体より高い。

“住み続けたい”（「ずっと住み続けたい」と「当分の間住み続けたい」の合計）は『豊栄地区』95.3%、『福富地区』84.3%と、これらの地区では8割以上を占めている。

図3-4 居住意向／職業別・居住地別



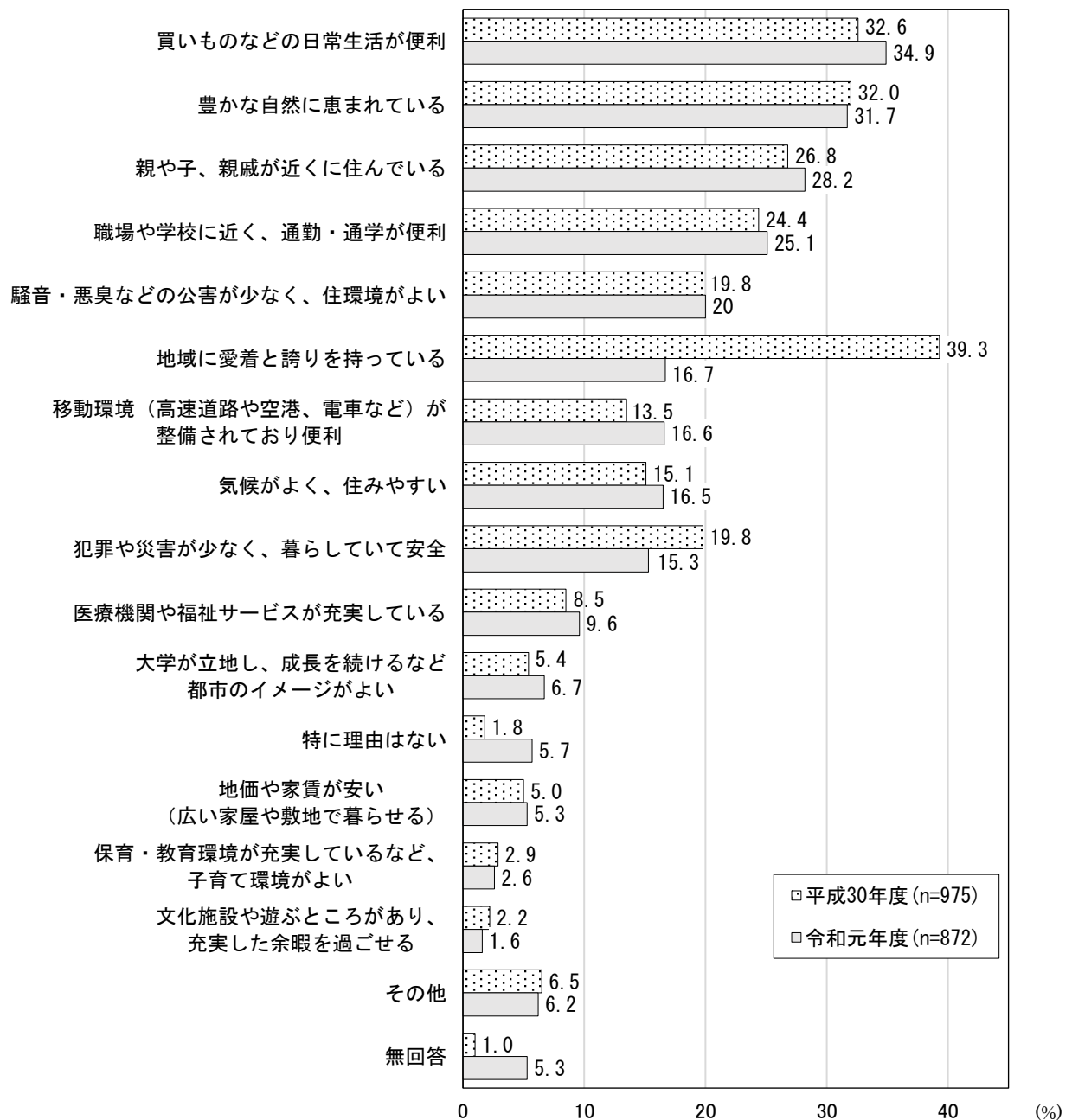
(4) 住み続けたい理由

問3で「1 ずっと住み続けたい」「2 当分の間住み続けたい」とお答えの方におたずねします。

問3-1 住み続けたい理由は何ですか。(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

問3で、「1 ずっと住み続けたい」「2 当分の間住み続けたい」の回答者(該当件数872件)に住み続けたい主な理由についてたずねると、「買い物などの日常生活が便利」が34.9%で最も高く、次いで「豊かな自然に恵まれている」31.7%、「親や子、親戚が近くに住んでいる」28.2%、「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」25.1%、「騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい」20%、「地域に愛着と誇りを持っている」16.7%となっている。

図3-5 住み続けたい理由<複数回答>



【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

年齢別では、「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」は『40～49歳』が22.0ポイント、『20～29歳』が15.3ポイント、『30～39歳』が15.1ポイント、『50～59歳』が10.1ポイント、それぞれ全体より高い。

『20～29歳』『50～59歳』は「買いものなどの日常生活が便利」、『40～49歳』は「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」、『60～69歳』『70歳以上』は「豊かな自然に恵まれている」、『30～39歳』は「買いものなどの日常生活が便利」「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」がそれぞれ、最も高くなっている。

【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「地域に愛着と誇りを持っている」は『自営業』『学生・専門学校生』、「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」は『会社員等』『派遣社員・契約社員』でそれぞれ、10ポイント以上全体より高い。

表3-1 住み続けたい理由＜複数回答＞

単位：%

		買いものなどの日常生活が便利	豊かな自然に恵まれている	親や子、親戚が近くに住んでいる	職場や学校に近く、通勤・通学が便利	騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい	地域に愛着と誇りを持っている	移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利	気候がよく、住みやすい
全体 (n=872)		34.9	31.7	28.2	25.1	20.0	16.7	16.6	16.5
性別	男性 (n=345)	32.5	30.7	25.8	22.9	19.7	19.1	19.4	19.1
	女性 (n=487)	36.3	31.8	30.6	26.9	20.1	14.6	15.2	14.4
年齢	18～19歳 (n=9)	33.3	33.3	44.4	33.3	11.1	22.2	33.3	22.2
	20～29歳 (n=52)	44.2	23.1	42.3	40.4	13.5	15.4	3.8	3.8
	30～39歳 (n=92)	40.2	19.6	39.1	40.2	17.4	13.0	18.5	5.4
	40～49歳 (n=136)	40.4	19.9	30.1	47.1	14.0	11.8	19.9	10.3
	50～59歳 (n=159)	35.8	34.6	25.2	35.2	15.1	10.1	17.6	17.6
	60～69歳 (n=173)	30.1	37.6	26.0	12.1	28.3	19.7	17.9	19.1
	70歳以上 (n=212)	29.7	38.7	23.6	3.8	24.5	23.1	15.6	24.5
職業	自営業 (n=74)	23.0	31.1	35.1	8.1	20.3	35.1	16.2	24.3
	会社員等 (n=256)	35.2	22.7	34.4	42.6	15.2	11.7	19.1	12.5
	アルバイト・パート (n=141)	38.3	36.9	28.4	34.0	17.7	14.9	17.0	13.5
	派遣社員・契約社員 (n=31)	38.7	25.8	38.7	58.1	22.6	19.4	12.9	12.9
	学生・専門学校生 (n=16)	27.8	33.3	33.3	22.2	0.0	27.8	22.2	11.1
	家事専業 (n=104)	43.3	31.7	22.1	9.6	23.1	13.5	15.4	12.5
	無職 (n=191)	31.9	39.8	19.4	5.2	28.3	16.8	13.6	24.1
地区	西条地区 (n=314)	46.5	23.9	29.0	33.4	15.0	12.1	19.4	9.9
	八本松地区 (n=120)	34.2	29.2	22.5	29.2	22.5	13.3	17.5	13.3
	志和地区 (n=29)	6.9	34.5	24.1	17.2	20.7	37.9	10.3	17.2
	高屋地区 (n=160)	34.4	34.4	27.5	20.6	26.3	13.8	23.8	14.4
	黒瀬地区 (n=113)	27.4	32.7	32.7	18.6	23.0	11.5	8.0	25.7
	福富地区 (n=16)	0.0	62.5	31.3	6.3	37.5	37.5	0.0	18.8
	豊栄地区 (n=20)	15.0	65.0	35.0	0.0	25.0	30.0	0.0	5.0
	河内地区 (n=23)	17.4	39.1	30.4	8.7	21.7	30.4	26.1	21.7
	安芸津地区 (n=40)	22.5	47.5	32.5	20.0	12.5	45.0	7.5	57.5

居住地別では、「買い物などの日常生活が便利」は『西条地区』が46.5%と11.6ポイント、「豊かな自然に恵まれている」は『豊栄地区』65%、『福富地区』62.5%、『安芸津地区』47.5%で10ポイント以上、それぞれ全体より高い。「騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい」は『福富地区』、「犯罪や災害が少なく、暮らしていて安全」は『豊栄地区』『福富地区』、「気候がよく、住みやすい」は『安芸津地区』でそれぞれ、10ポイント以上全体より高い。

『西条地区』『八本松地区』は「買い物などの日常生活が便利」、『黒瀬地区』『福富地区』『豊栄地区』『河内地区』は「豊かな自然に恵まれている」、『志和地区』は「地域に愛着と誇りを持っている」、『安芸津地区』は「気候がよく、住みやすい」、『高屋地区』は「買い物などの日常生活が便利」、「豊かな自然に恵まれている」が、それぞれ最も高くなっている。

表 3-2 住み続けたい理由<複数回答> (つづき)

単位：%

		暮らしていて安全	犯罪や災害が少なく、 暮らしていて安全	医療機関や福祉サービスが 充実している	大学が立地し、成長を続ける など都市のイメージがよい	地価や家賃が安い (広い家屋や敷地で暮らせる)	保育・教育環境が充実してい るなど、子育て環境がよい	文化施設や遊ぶところがあ り、充実した余暇を過ごせる	その他	特に理由はない	無回答
全体 (n=872)		15.3	9.6	6.7	5.3	2.6	1.6	6.2	5.7	5.3	
性別	男性 (n=345)	13.0	12.2	8.1	4.1	0.9	2.3	6.4	6.4	5.2	
	女性 (n=487)	16.2	7.6	5.3	6.6	3.5	1.2	6.0	4.7	5.3	
年齢	18~19 歳 (n=9)	22.2	0.0	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	
	20~29 歳 (n=52)	9.6	5.8	5.8	7.7	1.9	1.9	1.9	9.6	7.7	
	30~39 歳 (n=92)	5.4	6.5	3.3	9.8	4.3	0.0	3.3	3.3	8.7	
	40~49 歳 (n=136)	9.6	5.1	5.9	6.6	5.1	0.0	6.6	3.7	4.4	
	50~59 歳 (n=159)	17.6	7.5	6.3	4.4	1.9	1.3	5.7	6.3	4.4	
	60~69 歳 (n=173)	20.8	10.4	6.4	4.6	1.2	2.3	6.4	7.5	3.5	
	70 歳以上 (n=212)	17.5	15.1	8.0	4.2	1.4	2.8	8.5	4.2	6.1	
職業	自営業 (n=74)	16.2	9.5	4.1	2.7	1.4	0.0	14.9	5.4	4.1	
	会社員等 (n=256)	10.2	7.0	5.9	5.9	1.2	0.8	4.3	5.9	6.6	
	アルバイト・パート (n=141)	14.2	7.8	5.0	4.3	2.8	2.1	7.1	5.7	2.8	
	派遣社員・契約社員 (n=31)	19.4	0.0	3.2	9.7	6.5	3.2	3.2	0.0	0.0	
	学生・専門学校生 (n=16)	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	5.6	5.6	5.6	11.1	
	家事専業 (n=104)	20.2	3.8	6.7	5.8	3.8	1.0	8.7	3.8	9.6	
	無職 (n=191)	18.8	19.4	7.9	7.3	2.6	3.1	4.2	6.3	3.7	
地区	西条地区 (n=314)	11.1	10.5	9.2	4.5	3.8	1.6	5.4	4.1	6.4	
	八本松地区 (n=120)	21.7	12.5	10.0	4.2	2.5	0.8	5.8	3.3	5.8	
	志和地区 (n=29)	10.3	3.4	0.0	6.9	0.0	0.0	10.3	13.8	3.4	
	高屋地区 (n=160)	16.9	10.6	4.4	3.1	1.9	2.5	3.8	5.0	5.6	
	黒瀬地区 (n=113)	11.5	8.0	2.7	11.5	0.9	1.8	8.0	8.8	5.3	
	福富地区 (n=16)	31.3	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	
	豊栄地区 (n=20)	40.0	5.0	5.0	10.0	0.0	5.0	5.0	15.0	5.0	
	河内地区 (n=23)	13.0	4.3	8.7	4.3	4.3	4.3	21.7	8.7	0.0	
	安芸津地区 (n=40)	15.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	2.5	2.5	0.0	

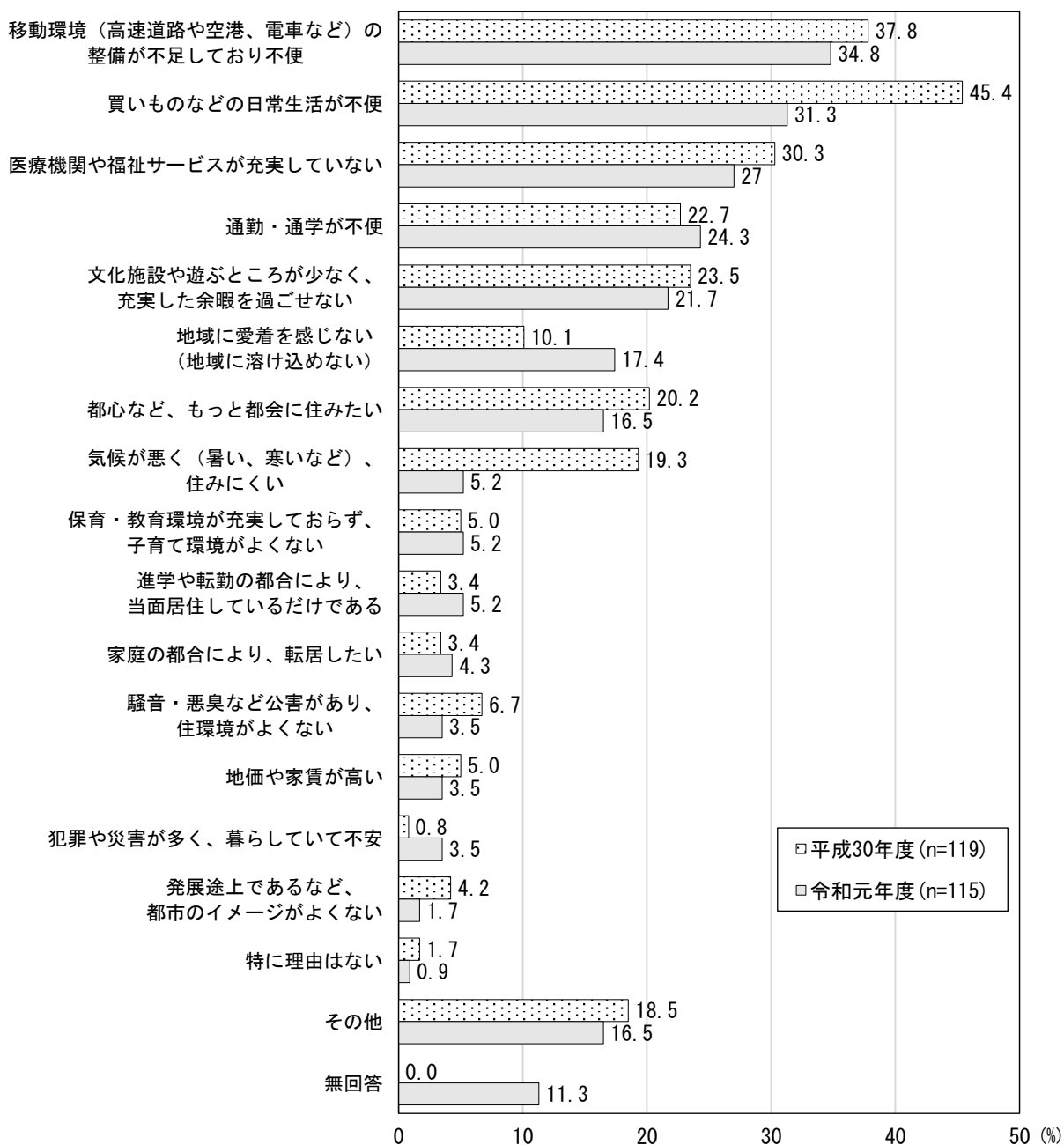
※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5~10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない(年齢別の18~19歳、職業別の学生・専門学校生、居住地別の福富地区を除く)。

(5) 移転・転出したい理由

問3で、「3 市内の他の地域へ移りたい」「4 他市町村へ移りたい」とお答えの方におたずねします。
 問3-2 移転・転出したい理由は何ですか。(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

問3で「3 市内の他の地域へ移りたい」「4 他市町村へ移りたい」の回答者(該当件数115件)に移転・転出したい主な理由をたずねると、「移動環境(高速道路や空港、電車など)の整備が不足しており不便」が34.8%で最も高く、次いで「買い物などの日常生活が不便」31.3%、「医療機関や福祉サービスが充実していない」27%、「通勤・通学が不便」が24.3%、「文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない」21.7%となっている。

図3-6 移転・転出したい理由<複数回答>



【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「通勤・通学が不便」は『女性』が『男性』より7.4ポイント高く、「文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない」は『男性』が『女性』より8.9ポイント高い。

年齢別では、「移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便」は『20～29歳』、「買いものなどの日常生活が不便」は『60～69歳』『70歳以上』、「医療機関や福祉サービスが充実していない」「犯罪や災害が多く、暮らして不安」は『50～59歳』、「通勤・通学が不便」は『40～49歳』、「文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない」は『60～69歳』、「保育・教育環境が充実しておらず、子育て環境がよくない」は『30～39歳』、において、それぞれ10ポイント以上全体より高くなっている。

表3-3 移転・転出したい理由＜複数回答＞

単位：%

		移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便	買いものなどの日常生活が不便	医療機関や福祉サービスが充実していない	通勤・通学が不便である	文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない	地域に愛着を感じない（地域に溶け込めない）	都心など、もっと都会に住みたい	保育・教育環境が充実しておらず、子育て環境がよくない	気候が悪く（暑い、寒いなど）、住みにくい
全体 (n=115)		34.8	31.3	27.0	24.3	21.7	17.4	16.5	5.2	5.2
性別	男性 (n=41)	34.1	29.3	26.8	19.5	26.8	17.1	14.6	7.3	7.3
	女性 (n=67)	35.8	31.3	26.9	26.9	17.9	19.4	17.9	4.5	4.5
年齢	18～19歳 (n=3)	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	20～29歳 (n=11)	63.6	18.2	9.1	18.2	0.0	9.1	18.2	0.0	0.0
	30～39歳 (n=16)	31.3	6.3	18.8	25.0	25.0	18.8	25.0	18.8	0.0
	40～49歳 (n=21)	23.8	9.5	28.6	47.6	28.6	19.0	19.0	9.5	14.3
	50～59歳 (n=16)	25.0	37.5	37.5	25.0	18.8	18.8	6.3	6.3	6.3
	60～69歳 (n=20)	40.0	55.0	25.0	25.0	35.0	25.0	20.0	0.0	0.0
	70歳以上 (n=23)	39.1	52.2	34.8	4.3	13.0	17.4	8.7	0.0	8.7
職業	自営業 (n=6)	50.0	33.3	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	会社員等 (n=36)	33.3	19.4	25.0	30.6	22.2	8.3	16.7	11.1	5.6
	アルバイト・パート (n=18)	22.2	33.3	27.8	38.9	16.7	16.7	16.7	5.6	11.1
	派遣社員・契約社員 (n=4)	25.0	0.0	25.0	50.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	学生・専門学校生 (n=6)	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	家事専業 (n=13)	46.2	38.5	23.1	15.4	23.1	23.1	15.4	0.0	0.0
	無職 (n=24)	33.3	45.8	37.5	8.3	20.8	33.3	16.7	0.0	8.3
地区	西条地区 (n=42)	33.3	16.7	23.8	21.4	16.7	21.4	19.0	4.8	9.5
	八本松地区 (n=15)	20.0	13.3	20.0	13.3	26.7	13.3	20.0	13.3	0.0
	志和地区 (n=5)	40.0	40.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	高屋地区 (n=15)	26.7	53.3	33.3	33.3	26.7	13.3	13.3	6.7	13.3
	黒瀬地区 (n=20)	50.0	35.0	35.0	30.0	20.0	25.0	10.0	5.0	0.0
	福富地区 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	豊栄地区 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	河内地区 (n=5)	20.0	60.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	安芸津地区 (n=7)	57.1	57.1	42.9	42.9	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0

【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便」は『自営業』『学生・専門学校生』『家事専業』、「買物などの日常生活が不便」「医療機関や福祉サービスが充実していない」は『無職』、「通勤・通学が不便」は『アルバイト・パート』『派遣社員・契約社員』、「地域に愛着を感じない（地域に溶け込めない）」は『派遣社員・契約社員』『無職』において、それぞれ10ポイント以上全体より高い。

居住地別では、「移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便」は『黒瀬地区』『安芸津地区』、「買いものなどの日常生活が不便」は『高屋地区』『河内地区』『安芸津地区』において、それぞれ10ポイント以上全体より高くなっている。

表 3-4 移転・転出したい理由＜複数回答＞（つづき）

単位：％

		進学や転勤の都合により、当面居住しているだけである	家庭の都合により、転居したい	地価や家賃が高い	騒音・悪臭など公害があり、住環境がよくない	犯罪や災害が多く、暮らして不安	都市のイメージがよくない	発展途上であるなど、都市のイメージがよくない	その他	特に理由はない	無回答
全体 (n=115)		5.2	4.3	3.5	3.5	3.5	1.7	16.5	0.9	11.3	
性別	男性 (n=41)	2.4	4.9	7.3	7.3	4.9	4.9	19.5	2.4	2.4	
	女性 (n=67)	6.0	4.5	1.5	1.5	3.0	0.0	16.4	0.0	14.9	
年齢	18～19歳 (n=3)	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20～29歳 (n=11)	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	27.3	0.0	9.1	
	30～39歳 (n=16)	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0	
	40～49歳 (n=21)	14.3	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	4.8	9.5	
	50～59歳 (n=16)	0.0	0.0	0.0	12.5	18.8	6.3	25.0	0.0	6.3	
	60～69歳 (n=20)	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0	10.0	0.0	5.0	
	70歳以上 (n=23)	0.0	4.3	8.7	8.7	0.0	0.0	26.1	0.0	13.0	
職業	自営業 (n=6)	0.0	0.0	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	
	会社員等 (n=36)	5.6	5.6	2.8	0.0	5.6	5.6	16.7	2.8	8.3	
	アルバイト・パート (n=18)	11.1	5.6	0.0	5.6	5.6	0.0	5.6	0.0	16.7	
	派遣社員・契約社員 (n=4)	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	
	学生・専門学校生 (n=6)	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	
	家事専業 (n=13)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1	0.0	23.1	
	無職 (n=24)	0.0	4.2	4.2	4.2	0.0	0.0	25.0	0.0	8.3	
地区	西条地区 (n=42)	7.1	7.1	9.5	7.1	4.8	4.8	14.3	0.0	9.5	
	八本松地区 (n=15)	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	6.7	13.3	
	志和地区 (n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	
	高屋地区 (n=15)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0	13.3	
	黒瀬地区 (n=20)	0.0	0.0	0.0	5.0	10.0	0.0	10.0	0.0	5.0	
	福富地区 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	豊栄地区 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	河内地区 (n=5)	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	
	安芸津地区 (n=7)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す（無回答を除く）。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が10未満はしない（年齢別の18～19歳、職業別の自営業、派遣社員・契約社員、学生・専門学校生、居住地別の志和地区、福富地区、豊栄地区、河内地区、安芸津地区を除く）。

(6) 転居する際に重視したこと

過去に、東広島市に転居して来られた方におたずねします。

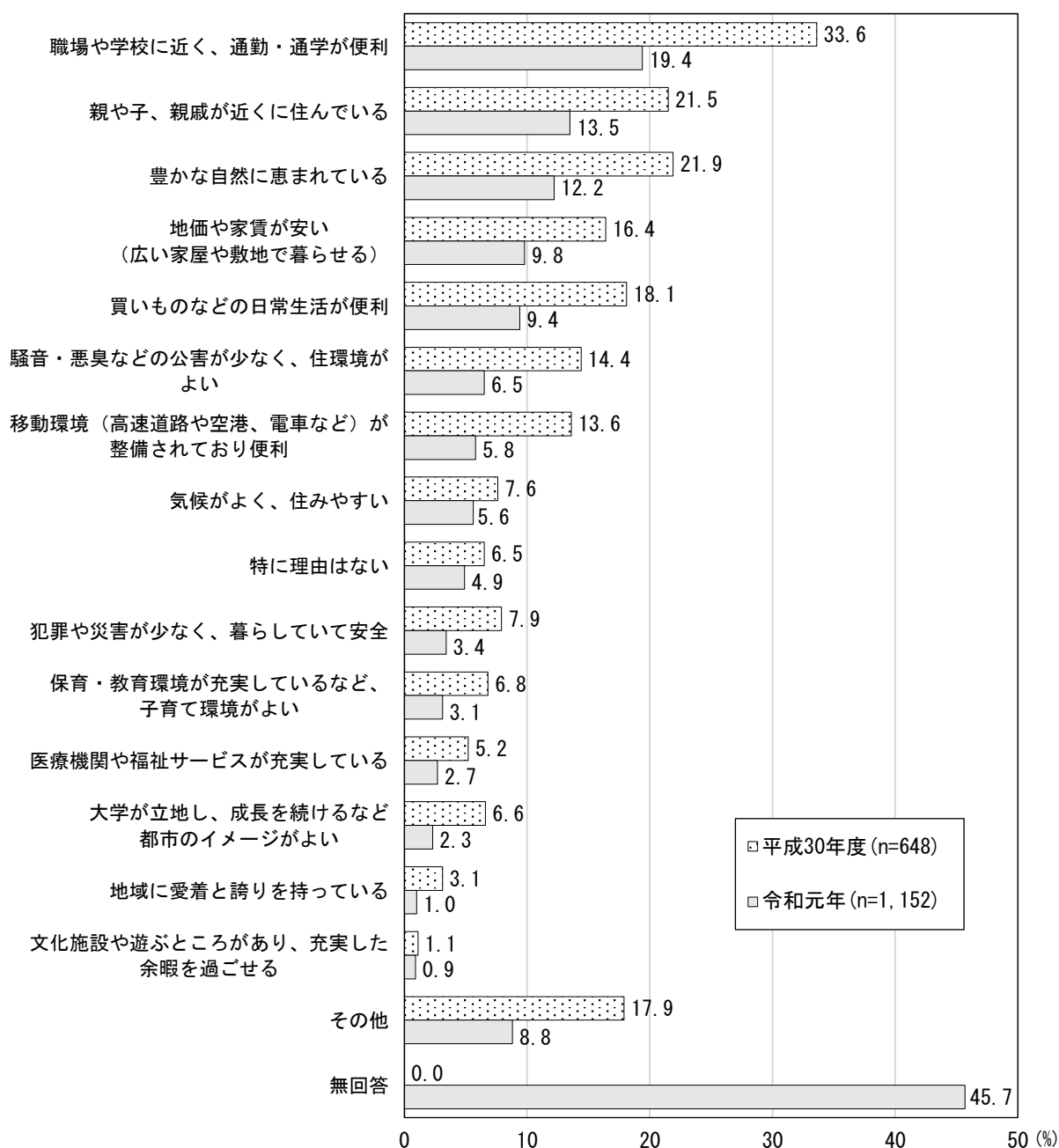
※生まれてから、東広島市内にずっとお住まいの方は問5へお進みください。

問4 転居して来られる際に重視したことは何ですか。

(主な理由を3つまで選んで○をお付けください)

東広島市に転居して来られた方に対し、転居に際して重視したことをみると、「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」が19.4%で最も高く、次いで「親や子、親戚が近くに住んでいる」13.5%、「豊かな自然に恵まれている」12.2%、「地価や家賃が安い（広い家屋や敷地で暮らせる）」9.8%、「買い物などの日常生活が便利」9.4%となっている。

図4-1 転居する際に重視したこと<複数回答>



【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

年齢別では、「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」は『40～49歳』が29.6%と10.2ポイント、『30～39歳』が27.9%と8.5ポイント、『50～59歳』が22.3%と2.9ポイント、それぞれ全体より高い。

「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」は『30～39歳』『40～49歳』、「親や子、親戚が近くに住んでいる」は『18～19歳』『30～39歳』、「豊かな自然に恵まれている」は『70歳以上』において、それぞれ全体より5ポイント以上高い。

【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」は『アルバイト・パート』が26.1%と6.7ポイント、『派遣社員・契約社員』が25%と5.6ポイント、『会社員等』が24.4%と5ポイント、『家事専業』が21.6%と2.2ポイント、それぞれ全体より高い。

表 4-1 転居する際に重視したこと＜複数回答＞

単位：%

		職場や学校に近く、 通勤・通学が便利	親や子、親戚が 近くに住んでいる	豊かな自然に恵まれている	地価や家賃が安い (広い家屋や敷地で暮らせる)	買いものなどの 日常生活が便利	騒音・悪臭などの公害が 少なく、住環境がよい	移動環境(高速道路や空港、電 車など)が整備されており便利	気候がよく、住みやすい
全体 (n=1,152)		19.4	13.5	12.2	9.8	9.4	6.5	5.8	5.6
性別	男性 (n=438)	20.3	12.1	10.7	10.0	9.4	5.9	7.5	5.5
	女性 (n=661)	18.8	15.1	12.6	9.7	9.1	6.8	4.8	5.1
年齢	18～19歳 (n=14)	7.1	21.4	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1
	20～29歳 (n=77)	14.3	7.8	3.9	5.2	9.1	2.6	2.6	0.0
	30～39歳 (n=122)	27.9	21.3	7.4	13.1	12.3	1.6	3.3	2.5
	40～49歳 (n=179)	29.6	14.0	2.8	6.1	12.3	4.5	6.7	2.2
	50～59歳 (n=202)	22.3	13.9	12.4	12.9	10.4	4.5	9.4	4.0
	60～69歳 (n=223)	18.4	14.8	16.6	13.0	6.3	10.8	6.3	5.8
	70歳以上 (n=285)	10.5	11.2	18.6	7.4	7.7	9.5	4.9	10.2
職業	自営業 (n=86)	7.0	9.3	5.8	5.8	5.8	3.5	5.8	3.5
	会社員等 (n=336)	24.4	14.6	6.5	9.8	8.3	3.6	7.7	2.4
	アルバイト・パート (n=176)	26.1	11.9	14.8	13.1	11.4	5.1	4.5	6.8
	派遣社員・契約社員 (n=44)	25.0	18.2	13.6	18.2	11.4	11.4	2.3	2.3
	学生・専門学校生 (n=30)	6.7	13.3	10.0	3.3	6.7	0.0	0.0	3.3
	家事専業 (n=139)	21.6	17.3	16.5	11.5	12.2	10.8	5.8	6.5
	無職 (n=266)	13.5	13.5	16.2	7.5	9.0	10.9	4.9	8.6
地区	西条地区 (n=410)	26.8	14.9	9.3	6.1	12.9	4.6	5.4	2.4
	八本松地区 (n=163)	24.5	12.9	14.1	8.0	9.8	6.7	7.4	4.9
	志和地区 (n=46)	0.0	8.7	6.5	6.5	2.2	4.3	2.2	6.5
	高屋地区 (n=201)	16.4	10.4	15.9	13.9	9.0	9.5	12.4	8.5
	黒瀬地区 (n=152)	15.8	17.1	19.7	23.0	8.6	11.8	2.0	9.2
	福富地区 (n=19)	5.3	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	豊栄地区 (n=21)	4.8	14.3	0.0	4.8	0.0	4.8	0.0	4.8
	河内地区 (n=35)	8.6	20.0	5.7	5.7	2.9	2.9	5.7	2.9
	安芸津地区 (n=55)	7.3	18.2	5.5	1.8	1.8	3.6	0.0	7.3

居住地別では、「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」は『西条地区』『八本松地区』、「移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利」は『高屋地区』、「豊かな自然に恵まれている」「地価や家賃が安い（広い家屋や敷地で暮らせる）」「騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい」は『黒瀬地区』、「親や子、親戚が近くに住んでいる」は『河内地区』において、それぞれ全体より5ポイント以上高い。

『西条地区』『八本松地区』は「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」、『志和地区』は「地域に愛着と誇りを持っている」、『高屋地区』は「移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利」、『黒瀬地区』は「地価や家賃が安い（広い家屋や敷地で暮らせる）」、『福富地区』は「保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい」、『豊栄地区』は「犯罪や災害が少なく、暮らしていて安全」、『河内地区』『安芸津地区』は「親や子、親戚が近くに住んでいる」が、それぞれ最も高くなっている。

表4-2 転居する際に重視したこと<複数回答>（つづき）

単位：%

		暮らして安全 犯罪や災害が少なく、	保育・教育環境が充実して いるなど、子育て環境がよい	医療機関や福祉サービスが 充実している	大学が立地し、成長を続ける など都市のイメージがよい	地域に愛着と誇りを 持っている	文化施設や遊ぶところがあ り、充実した余暇を過ごせる	その他	特に理由はない	無回答
全体 (n=1,152)		3.4	3.1	2.7	2.3	1.0	0.9	8.8	4.9	45.7
性別	男性 (n=438)	3.4	2.7	3.0	2.7	1.6	1.4	5.7	4.8	49.5
	女性 (n=661)	3.2	3.2	2.4	1.8	0.8	0.5	11.0	5.1	42.5
年齢	18～19歳 (n=14)	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	64.3
	20～29歳 (n=77)	3.9	0.0	0.0	1.3	0.0	1.3	11.7	5.2	62.3
	30～39歳 (n=122)	2.5	4.9	2.5	1.6	2.5	0.0	8.2	4.1	41.8
	40～49歳 (n=179)	2.2	4.5	3.4	1.7	0.0	0.6	7.8	5.0	39.1
	50～59歳 (n=202)	3.5	2.5	2.5	2.0	0.0	0.0	9.9	5.4	40.1
	60～69歳 (n=223)	2.7	2.7	1.3	3.1	0.4	0.9	9.0	5.4	41.3
	70歳以上 (n=285)	5.3	2.8	4.2	2.1	2.8	1.4	8.8	4.9	51.6
職業	自営業 (n=86)	3.5	2.3	1.2	3.5	3.5	1.2	7.0	2.3	64.0
	会社員等 (n=336)	3.3	2.4	2.1	2.4	0.6	0.6	6.3	4.2	47.6
	アルバイト・パート (n=176)	4.0	4.0	2.3	0.6	0.0	0.0	11.9	6.8	35.2
	派遣社員・契約社員 (n=44)	2.3	2.3	0.0	2.3	2.3	0.0	11.4	15.9	31.8
	学生・専門学校生 (n=30)	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	3.3	10.0	3.3	60.0
	家事専業 (n=139)	4.3	5.0	2.2	2.2	1.4	0.7	13.7	4.3	34.5
	無職 (n=266)	3.8	3.0	4.5	2.3	1.5	1.5	7.9	4.9	47.4
地区	西条地区 (n=410)	1.7	2.2	3.2	3.2	1.0	1.0	9.3	5.4	42.0
	八本松地区 (n=163)	4.9	4.9	2.5	1.8	0.6	0.0	9.8	4.9	42.3
	志和地区 (n=46)	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	15.2	6.5	67.4
	高屋地区 (n=201)	5.0	6.0	3.5	1.5	0.0	1.5	11.9	6.5	36.8
	黒瀬地区 (n=152)	5.9	0.7	2.6	2.6	2.0	0.7	3.9	3.9	40.8
	福富地区 (n=19)	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	73.7
	豊栄地区 (n=21)	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	76.2
	河内地区 (n=35)	2.9	2.9	2.9	2.9	0.0	2.9	5.7	2.9	60.0
	安芸津地区 (n=55)	0.0	1.8	0.0	0.0	5.5	0.0	5.5	1.8	69.1

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す（無回答を除く）。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない(年齢別の18～19歳、居住地別の福富地区を除く)。

2. 市政運営について

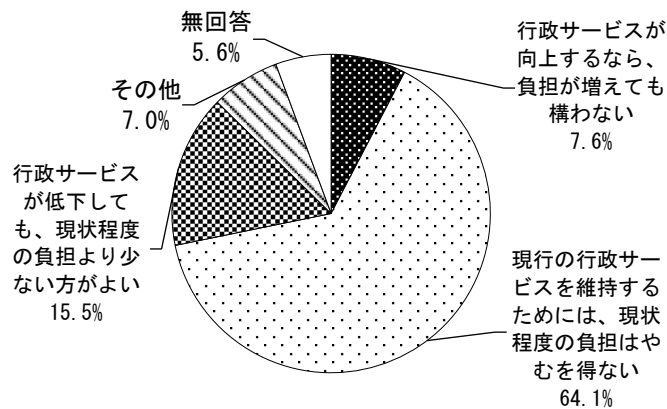
(1) 今後の行政サービスのあり方

問5 国をはじめとした全国的な財政状況の悪化に伴い、従来どおりの行政サービスの維持さえ難しくなることも予想されます。あなたは、今後の行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。(1つだけ選んで○をお付けください)

今後の行政サービスのあり方については、「現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむを得ない」が64.1%で最も高く、6割強を占める。次いで「行政サービスが低下しても、現状程度の負担より少ない方がよい」15.5%となっている。

「行政サービスが向上するなら、負担が増えても構わない」は7.6%であった。

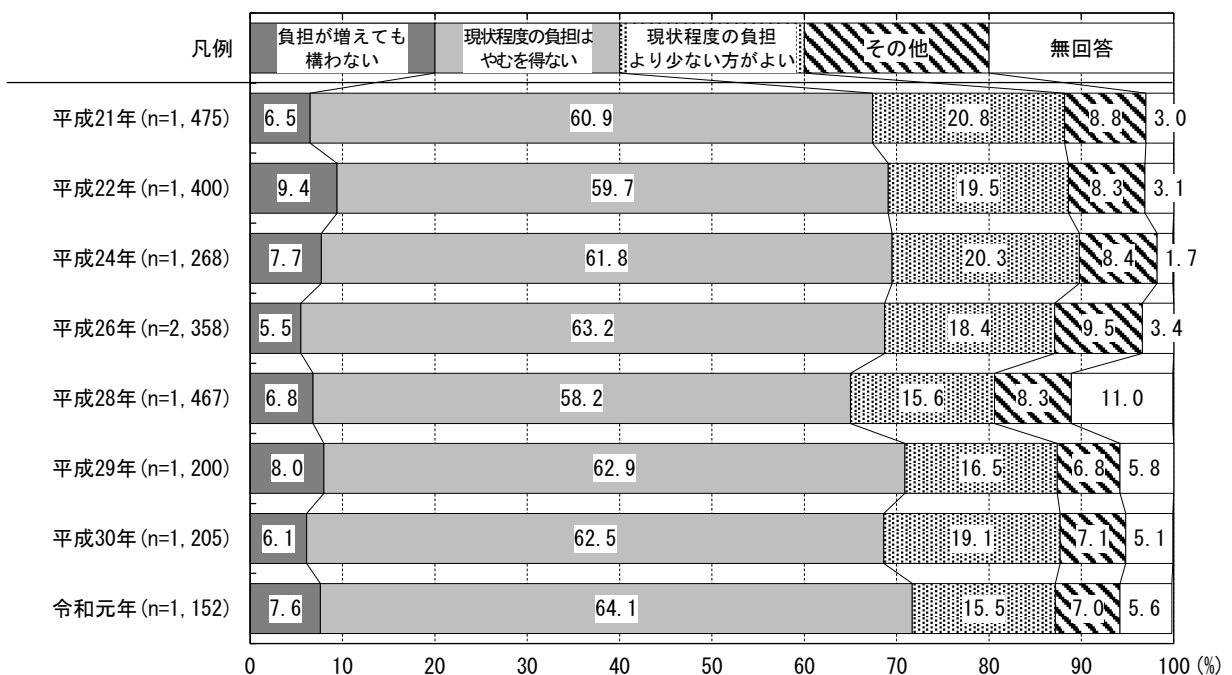
図5-1 今後の行政サービスのあり方
[n=1, 152]



【経年変化】

平成30年度調査(前回)との比較では、大きな変化はみられなかった。

図5-2 今後の行政サービスのあり方／経年変化

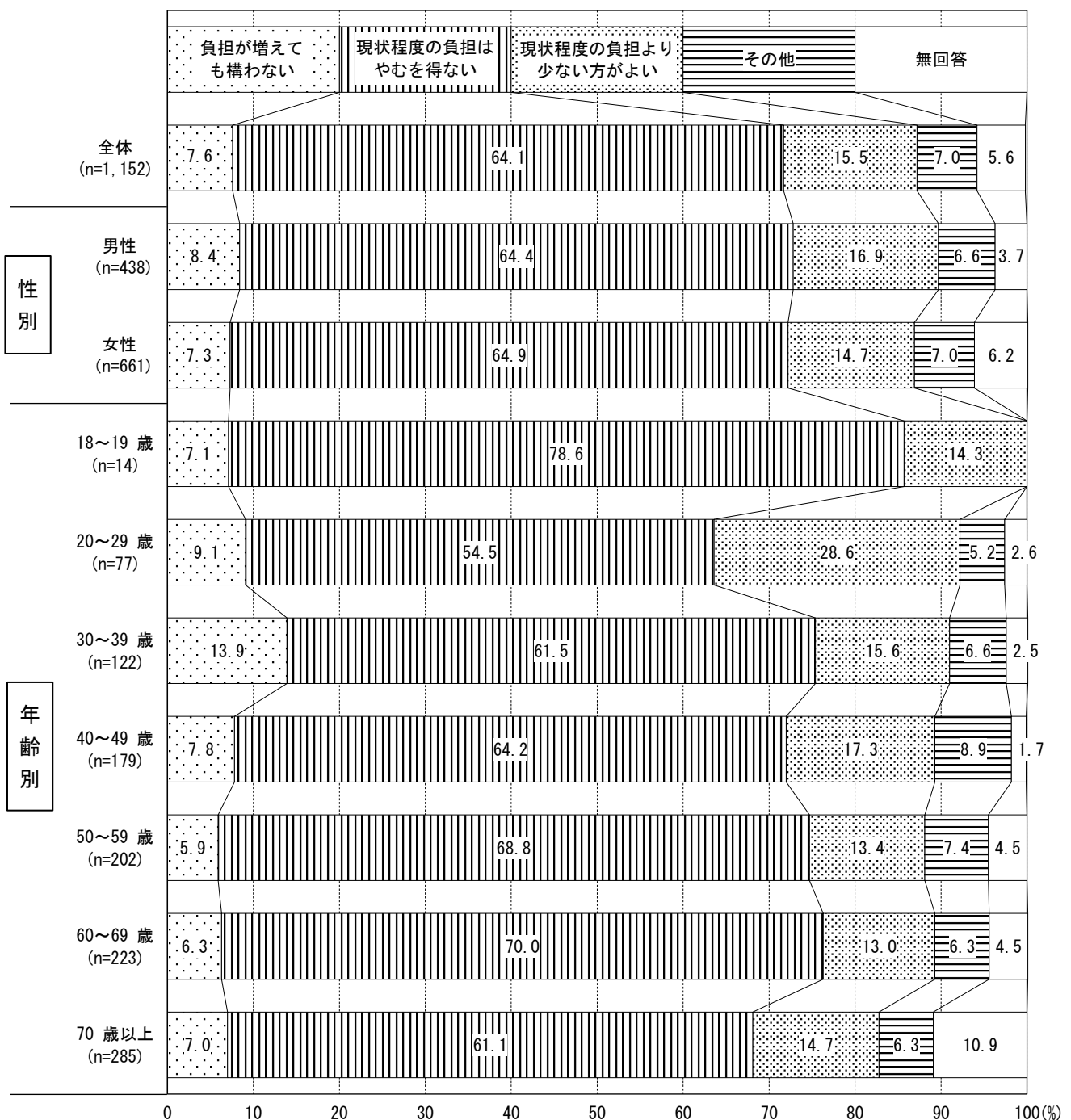


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「行政サービスが向上するなら、負担が増えても構わない」は『男性』が『女性』より1.1ポイント高い。「現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむを得ない」は『女性』が『男性』より0.5ポイント高い。

年齢別では、「行政サービスが向上するなら、負担が増えても構わない」は『30～39歳』で13.9%と6.3ポイント、『20～29歳』で9.1%と1.5ポイント、『40～49歳』で7.8%と0.2ポイント、それぞれ全体より高い。また「行政サービスが低下しても、現状程度の負担より少ない方がよい」は『20～29歳』で28.6%と13.1ポイント、『40～49歳』で17.3%と1.8ポイント、『30～39歳』で15.6%と0.1ポイント、それぞれ全体より高い。

図5-3 今後の行政サービスのあり方／性別・年齢別



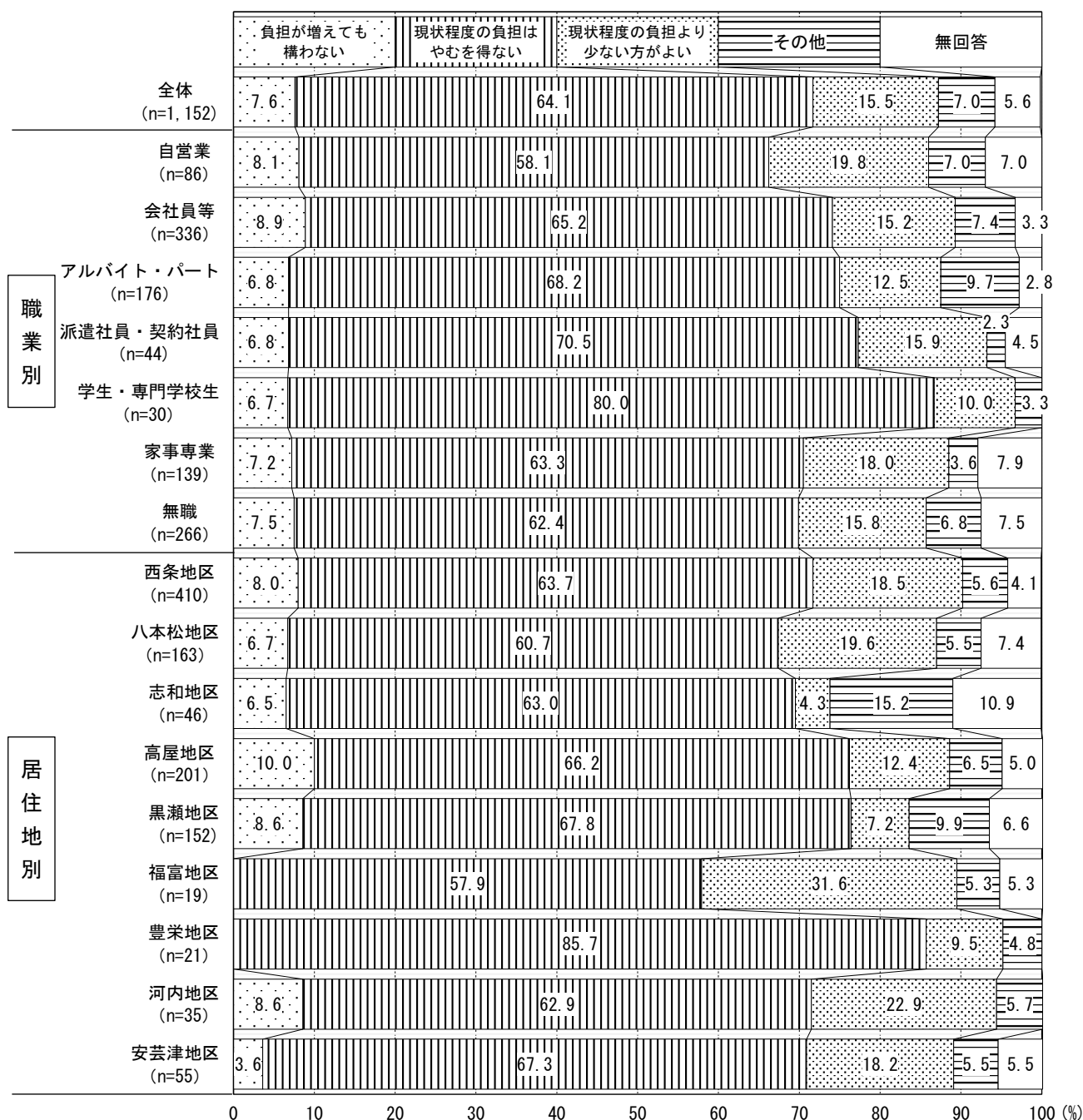
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「行政サービスが低下しても、現状程度の負担より少ない方がよい」は『自営業』が19.8%と4.3ポイント、『家事専業』が18.0%と2.5ポイント、『派遣社員・契約社員』が15.9%と0.4ポイント、『無職』が15.8%と0.3ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「行政サービスが向上するなら、負担が増えても構わない」は『高屋地区』が10.0%と2.4ポイント、『黒瀬地区』『河内地区』が8.6%と1.0ポイント、『西条地区』が8.0%と0.4ポイント、全体より高い。

また、「現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむを得ない」は『豊栄地区』が85.7%と21.6ポイント、『黒瀬地区』が67.8%と3.7ポイント、『安芸津地区』が67.3%と3.2ポイント、『高屋地区』が66.2%と2.1ポイント、「行政サービスが低下しても、現状程度の負担より少ない方がよい」は『福富地区』が31.6%と16.1ポイント、『河内地区』が22.9%と7.4ポイント、『八本松地区』が19.6%と4.1ポイント、『西条地区』が18.5%と3.0ポイント、『安芸津地区』が18.2%と2.7ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図5-4 今後の行政サービスのあり方／職業別・居住地別



3. 市が実施している施策の満足度と重要度について

(1) 施策の満足度と重要度

問6 次の表は、東広島市が実施している各施策を示しています。あなたは、次の各項目の施策について、現在、どれくらい満足されていますか。また、今後のまちづくりを進めていくうえで、どれくらい重要だと思われますか。

(各項目の満足度・重要度それぞれ1つずつ選んで○をお付けください)

各施策の満足度と重要度については、次のようなステップで回答結果を整理し、分析した。

① 満足度と重要度の集計

【単純集計結果】

施策ごとに満足度と重要度の集計結果を示している。満足度と重要度は以下に示す加重平均値を算出する方法で点数化している。

1. 満足度

満足：2点、やや満足：1点、どちらともいえない：0点、やや不満：-1点、不満：-2点とし、項目ごとの回答結果をもとに下記のとおり算出した。

$$\text{満足度} = (\text{「満足」の件数} \times 2 \text{点} + \text{「やや満足」の件数} \times 1 \text{点} + \text{「やや不満」の件数} \times -1 \text{点} + \text{「不満」の件数} \times -2 \text{点}) / (\text{回答者件数} - \text{無回答件数})$$

2. 重要度

重要：2点、やや重要：1点、どちらともいえない：0点、あまり重要ではない：-1点、重要ではない：-2点とし、項目ごとの回答結果をもとに下記のとおり算出した。

$$\text{重要度} = (\text{「重要」の件数} \times 2 \text{点} + \text{「やや重要」の件数} \times 1 \text{点} + \text{「あまり重要ではない」の件数} \times -1 \text{点} + \text{「重要ではない」の件数} \times -2 \text{点}) / (\text{回答者件数} - \text{無回答件数})$$

② ニーズ度の算出

重要度と満足度との加重平均値の差を「ニーズ度」として算出した。

$$\text{ニーズ度} = \text{重要度} - \text{満足度}$$

③ 満足度と重要度の相関図による分析

満足度と重要度それぞれの加重平均値をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、47の施策を散布図上に示したものが相関図である。

④ 全体の集計結果

施策ごとの満足度と重要度の回答結果およびその点数化した際の得点は下記の通りである。

表6-1 満足度集計結果

単位：％、点

施策名	サンプル数	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	満足+ やや満足	満足度 得点	
1-1	産業集積の推進	1,044	3.8	17.7	62.4	12.8	3.3	21.6	0.060
1-2	産学官の連携による新産業の創出	1,025	3.8	15.0	69.5	9.2	2.5	18.8	0.084
1-3	農業の強化	1,049	1.5	9.2	54.0	25.1	10.2	10.8	-0.332
1-4	森林の保全・整備	1,046	2.0	8.0	57.6	21.8	10.5	10.0	-0.308
1-5	漁業・養殖業の推進	1,020	1.2	5.8	78.5	11.1	3.4	7.0	-0.098
1-6	地域資源を活かした観光地づくり	1,037	3.1	21.9	45.6	21.7	7.7	25.0	-0.091
1-7	地元企業の創出・強化	1,034	2.2	11.0	59.6	21.9	5.3	13.2	-0.170
1-8	商業・サービス業の集積・強化	1,037	3.0	12.8	54.7	23.4	6.1	15.8	-0.168
1-9	労働・雇用環境の充実	1,044	1.6	9.5	52.9	26.6	9.4	11.1	-0.327
2-1	住みよい都市の形成	1,043	4.5	19.8	44.3	23.7	7.7	24.4	-0.102
2-2	良好な住宅ストックの形成	1,042	2.7	14.1	62.7	16.3	4.2	16.8	-0.053
2-3	良質な水の供給・整備	1,053	9.9	29.6	38.7	15.6	6.2	39.5	0.215
2-4	汚水処理の推進	1,051	9.0	21.6	39.8	18.2	11.4	30.6	-0.013
2-5	ごみ減量化・リサイクルの推進	1,065	6.7	25.9	40.5	19.2	7.7	32.6	0.046
2-6	地域の景観の保全・形成	1,046	3.9	17.4	59.9	13.8	5.0	21.3	0.015
2-7	情報通信技術の整備・活用	1,052	3.2	10.6	62.7	16.7	6.7	13.9	-0.129
2-8	道路網の整備	1,059	4.1	21.2	31.9	27.1	15.7	25.3	-0.291
2-9	公共交通網の充実	1,058	3.6	11.8	29.3	29.7	25.6	15.4	-0.619
2-10	緑あふれる環境整備	1,055	5.4	22.5	54.1	13.6	4.4	27.9	0.109
2-11	環境汚染の防止	1,046	3.5	18.2	63.6	10.6	4.1	21.7	0.064
2-12	自然環境・動植物の保全	1,049	3.3	17.2	56.9	17.5	5.1	20.5	-0.038
2-13	地球温暖化防止の推進	1,050	2.4	10.3	67.3	14.5	5.5	12.7	-0.105
2-14	市民主体の地域社会の形成	1,051	3.2	15.4	63.2	14.0	4.2	18.6	-0.005
2-15	多文化共生の推進	1,055	3.0	11.2	75.4	7.5	2.9	14.2	0.039
3-1	人権・平和行政の推進	1,039	2.1	11.0	77.5	7.4	2.0	13.1	0.038
3-2	学校教育の充実	1,038	4.6	20.3	56.4	14.3	4.4	25.0	0.065
3-3	教育環境の整備・充実	1,036	4.1	19.3	55.0	16.3	5.3	23.4	0.005
3-4	生涯学習活動の充実	1,039	3.0	16.5	66.9	10.7	3.0	19.4	0.058
3-5	青少年健全育成の推進	1,028	2.1	12.5	71.8	10.9	2.6	14.7	0.007
3-6	子育て支援の充実	1,037	2.8	15.0	57.5	17.5	7.2	17.8	-0.113
3-7	保育サービスの充実	1,037	3.2	12.7	60.8	15.5	7.7	15.9	-0.119
3-8	芸術・歴史・文化の活性化	1,040	3.0	17.2	67.9	8.8	3.2	20.2	0.081
3-9	スポーツ環境の形成	1,041	3.4	16.0	64.1	12.7	3.8	19.4	0.024
4-1	都市拠点・地域拠点の機能強化	1,014	2.3	12.5	69.0	12.6	3.6	14.8	-0.027
4-2	広域・高速交通体系の強化	1,031	6.3	22.5	45.5	19.6	6.1	28.8	0.033
4-3	大学や学生との交流・連携推進	1,026	2.8	13.4	74.6	7.3	1.9	16.2	0.078
4-4	国際貢献・留学生支援	1,024	2.5	10.0	80.9	4.9	1.8	12.5	0.066
4-5	移住・定住の促進	1,024	2.1	7.7	78.1	9.1	2.9	9.9	-0.029
5-1	防災の強化・推進	1,045	2.8	14.5	49.7	24.4	8.6	17.3	-0.215
5-2	消防・救急・救助体制の強化	1,048	5.7	21.6	53.3	14.0	5.3	27.3	0.083
5-3	地域医療の構築	1,056	5.2	18.8	47.6	19.8	8.5	24.1	-0.076
5-4	健康づくりの推進	1,048	4.4	16.5	63.4	12.6	3.1	20.9	0.064
5-5	高齢者支援の推進	1,050	3.0	11.8	60.5	17.4	7.3	14.8	-0.144
5-6	障害者支援の推進	1,042	2.3	9.9	70.3	12.4	5.1	12.2	-0.081
5-7	地域福祉の形成	1,040	2.3	7.8	74.9	10.6	4.4	10.1	-0.070
5-8	市民の安全・安心社会の形成	1,049	2.7	12.1	68.4	13.5	3.3	14.8	-0.028
6-1	市民参画の推進	1,027	1.3	8.5	79.4	8.0	2.9	9.7	-0.028
6-2	市民本位のサービスの提供・充実	1,026	1.7	7.4	74.9	12.1	4.0	9.1	-0.094
6-3	行政経営の向上	1,027	1.1	9.0	73.2	11.3	5.5	10.0	-0.111

※サンプル数は、総サンプル数の1,152件から無回答を除いた値。

表6-2 重要度集計結果

単位：％、点

施策名	サンプル数	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	重要+やや重要	重要度得点	
1-1	産業集積の推進	1,017	25.0	35.8	35.3	3.6	0.3	60.8	0.815
1-2	産学金官の連携による新産業の創出	1,008	24.5	28.8	42.3	3.9	0.6	53.3	0.727
1-3	農業の強化	1,030	35.2	31.6	29.7	3.2	0.3	66.8	0.983
1-4	森林の保全・整備	1,029	29.8	32.9	33.6	3.4	0.2	62.8	0.888
1-5	漁業・養殖業の推進	998	16.4	24.2	51.5	6.0	1.8	40.7	0.475
1-6	地域資源を活かした観光地づくり	1,025	28.4	38.9	27.2	4.6	0.9	67.3	0.894
1-7	地元企業の創出・強化	1,018	30.9	37.7	28.8	2.4	0.2	68.7	0.969
1-8	商業・サービス業の集積・強化	1,014	26.9	39.7	30.9	2.2	0.3	66.7	0.908
1-9	労働・雇用環境の充実	1,025	45.1	31.3	21.1	2.1	0.4	76.4	1.185
2-1	住みよい都市の形成	1,019	36.1	36.9	24.7	2.0	0.3	73.0	1.066
2-2	良好な住宅ストックの形成	1,013	20.2	33.4	39.7	4.9	1.8	53.6	0.654
2-3	良質な水の供給・整備	1,035	55.2	31.0	12.9	0.7	0.3	86.2	1.401
2-4	汚水処理の推進	1,034	48.9	32.3	17.8	0.7	0.3	81.2	1.289
2-5	ごみ減量化・リサイクルの推進	1,038	49.6	32.0	17.1	0.9	0.4	81.6	1.296
2-6	地域の景観の保全・形成	1,020	21.6	34.6	40.7	2.5	0.6	56.2	0.740
2-7	情報通信技術の整備・活用	1,025	16.5	27.5	46.4	6.7	2.8	44.0	0.481
2-8	道路網の整備	1,037	46.5	34.7	16.8	1.6	0.4	81.2	1.253
2-9	公共交通網の充実	1,038	52.4	30.4	15.9	0.8	0.5	82.9	1.335
2-10	緑あふれる環境整備	1,031	22.8	36.2	37.2	3.1	0.7	59.0	0.773
2-11	環境汚染の防止	1,036	34.6	33.7	29.5	1.8	0.4	68.2	1.002
2-12	自然環境・動植物の保全	1,028	31.7	36.0	29.8	1.8	0.7	67.7	0.962
2-13	地球温暖化防止の推進	1,029	35.9	27.6	33.0	2.1	1.4	63.5	0.945
2-14	市民主体の地域社会の形成	1,035	18.4	34.0	42.4	4.4	0.8	52.4	0.647
2-15	多文化共生の推進	1,036	12.4	27.9	50.8	6.3	2.7	40.3	0.409
3-1	人権・平和行政の推進	1,018	18.9	29.6	48.2	2.1	1.3	48.4	0.627
3-2	学校教育の充実	1,021	44.0	29.8	25.0	0.8	0.5	73.8	1.160
3-3	教育環境の整備・充実	1,017	41.3	31.1	26.0	1.3	0.4	72.4	1.116
3-4	生涯学習活動の充実	1,021	19.3	32.5	42.7	4.5	1.0	51.8	0.646
3-5	青少年健全育成の推進	1,012	27.9	32.9	37.2	1.6	0.5	60.8	0.861
3-6	子育て支援の充実	1,027	42.0	31.7	24.1	1.5	0.8	73.7	1.127
3-7	保育サービスの充実	1,020	40.3	30.4	27.4	1.4	0.6	70.7	1.084
3-8	芸術・歴史・文化の活性化	1,024	15.4	29.8	47.9	5.6	1.3	45.2	0.525
3-9	スポーツ環境の形成	1,027	15.1	34.5	44.3	4.9	1.3	49.6	0.573
4-1	都市拠点・地域拠点の機能強化	993	16.1	31.1	48.6	3.2	0.9	47.2	0.583
4-2	広域・高速交通体系の強化	1,010	32.1	36.5	27.5	3.1	0.8	68.6	0.960
4-3	大学や学生との交流・連携推進	1,005	11.2	29.2	52.0	6.0	1.6	40.4	0.425
4-4	国際貢献・留学生支援	1,004	9.1	24.6	57.5	6.4	2.5	33.7	0.314
4-5	移住・定住の促進	1,003	14.4	27.1	51.4	4.8	2.3	41.5	0.465
5-1	防災の強化・推進	1,033	56.3	26.6	16.1	0.9	0.1	83.0	1.382
5-2	消防・救急・救助体制の強化	1,036	53.6	28.6	17.4	0.3	0.2	82.1	1.350
5-3	地域医療の構築	1,039	57.9	26.8	14.7	0.5	0.1	84.7	1.420
5-4	健康づくりの推進	1,032	37.8	32.6	28.3	1.0	0.4	70.3	1.064
5-5	高齢者支援の推進	1,041	47.2	30.6	20.4	1.0	0.9	77.8	1.223
5-6	障害者支援の推進	1,031	37.0	30.9	31.1	0.8	0.2	67.9	1.037
5-7	地域福祉の形成	1,031	29.3	31.2	36.4	2.3	0.8	60.5	0.859
5-8	市民の安全・安心社会の形成	1,035	35.5	33.3	30.0	1.2	0.1	68.8	1.029
6-1	市民参画の推進	1,001	12.4	26.9	55.7	4.0	1.0	39.3	0.457
6-2	市民本位のサービスの提供・充実	1,003	14.0	29.3	51.2	3.7	1.8	43.3	0.500
6-3	行政経営の向上	1,004	22.3	28.4	46.9	2.1	0.3	50.7	0.703

※サンプル数は、総サンプル数の1,152件から無回答を除いた値。

⑤ 満足度と重要度の集計

【満足度】

満足度は、「2-3 良質な水の供給・整備」0.215、「2-10 緑あふれる環境整備」0.109、「1-2 産学官の連携による新産業の創出」0.084、「5-2 消防・救急・救助体制の強化」0.083、「3-8 芸術・歴史・文化の活性化」0.081などが上位にあがっている。

一方、「2-9 公共交通網の充実」-0.619、「1-3 農業の強化」-0.332、「1-9 労働・雇用環境の充実」-0.327、「1-4 森林の保全・整備」-0.308、「2-8 道路網の整備」-0.291などの満足度が低くなっている。

【重要度】

重要度は、「5-3 地域医療の構築」1.420、「2-3 良質な水の供給・整備」1.401、「5-1 防災の強化・推進」1.382、「5-2 消防・救急・救助体制の強化」1.350、「2-9 公共交通網の充実」1.335などが上位にあがっている。

一方、「4-4 国際貢献・留学生支援」0.314、「2-15 多文化共生の推進」0.409、「4-3 大学や学生との交流・連携推進」0.425、「6-1 市民参画の推進」0.457、「4-5 移住・定住の促進」0.465などの重要度が低くなっている。

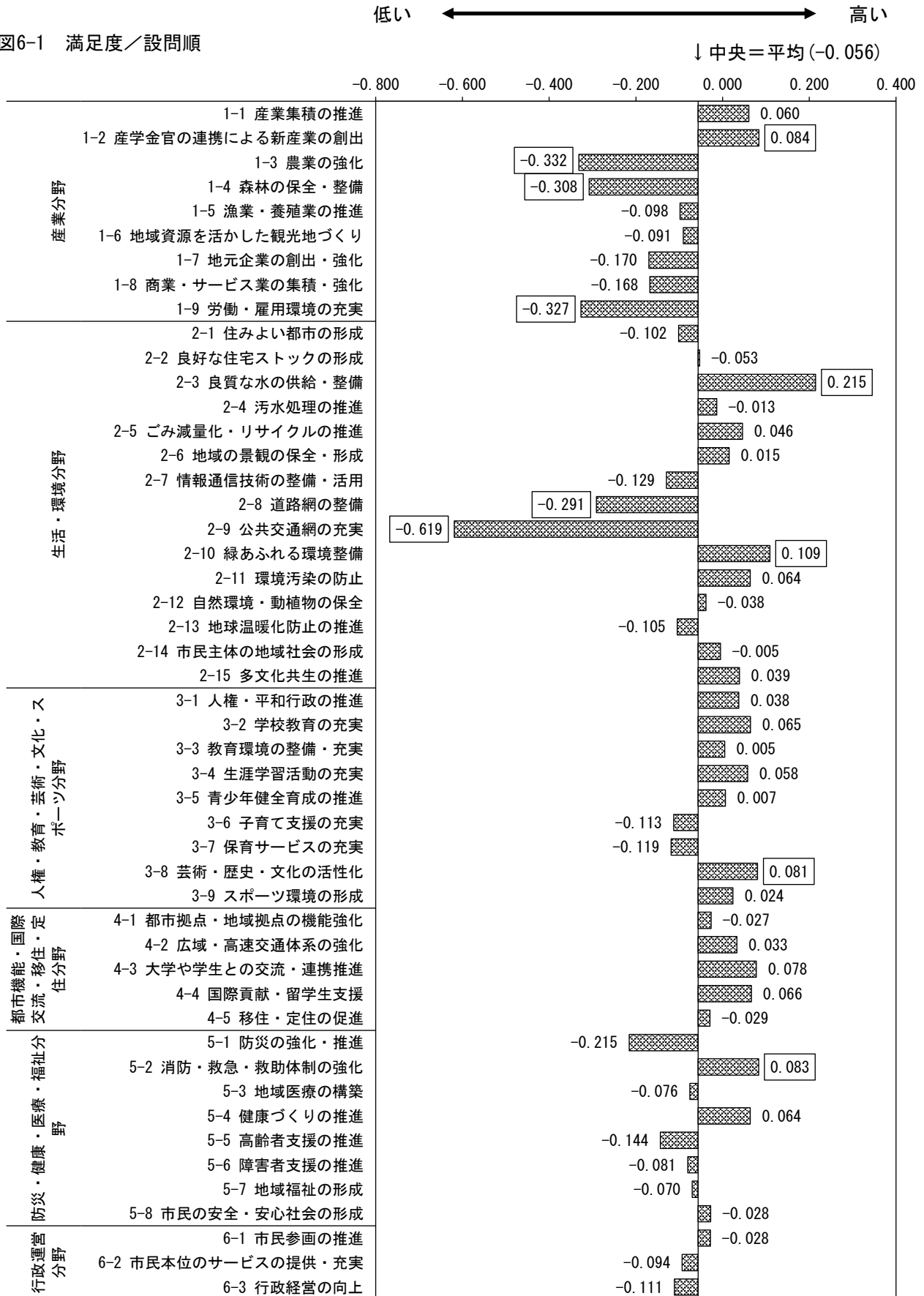
⑥ ニーズ度による分析

【ニーズ度】

ニーズ度は、「2-9 公共交通網の充実」1.954、「5-1 防災の強化・推進」1.598、「2-8 道路網の整備」1.543、「1-9 労働・雇用環境の充実」1.512、「5-3 地域医療の構築」1.495などが上位にあがっている。

一方、「4-4 国際貢献・留学生支援」0.247、「4-3 大学や学生との交流・連携推進」0.347、「2-15 多文化共生の推進」0.370、「3-8 芸術・歴史・文化の活性化」0.445、「6-1 市民参画の推進」0.485などのニーズ度が低くなっている。

図6-1 満足度／設問順

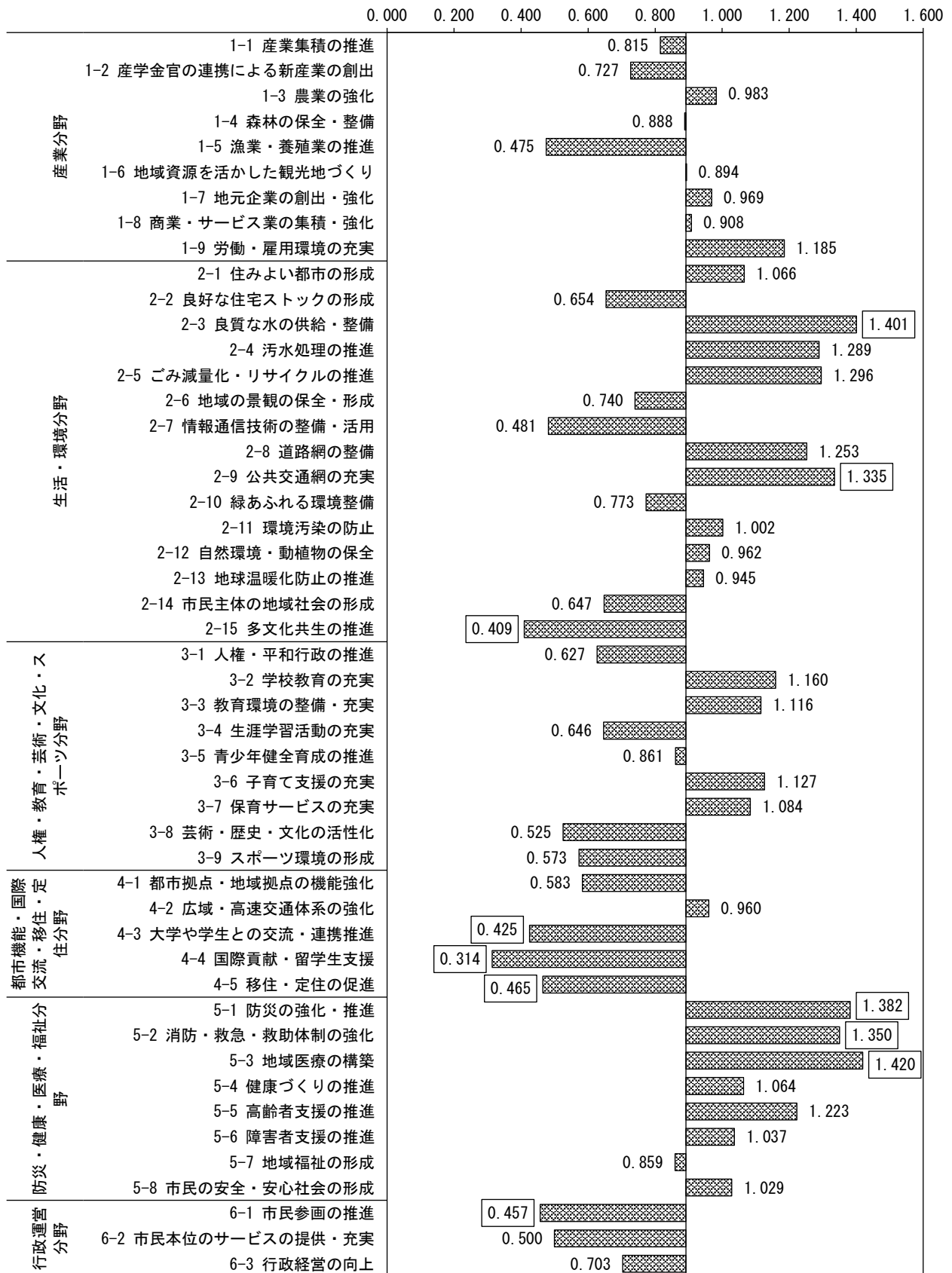


※数値の囲み付きは、上位5項目、下位5項目を示す。

図6-2 重要度／設問順

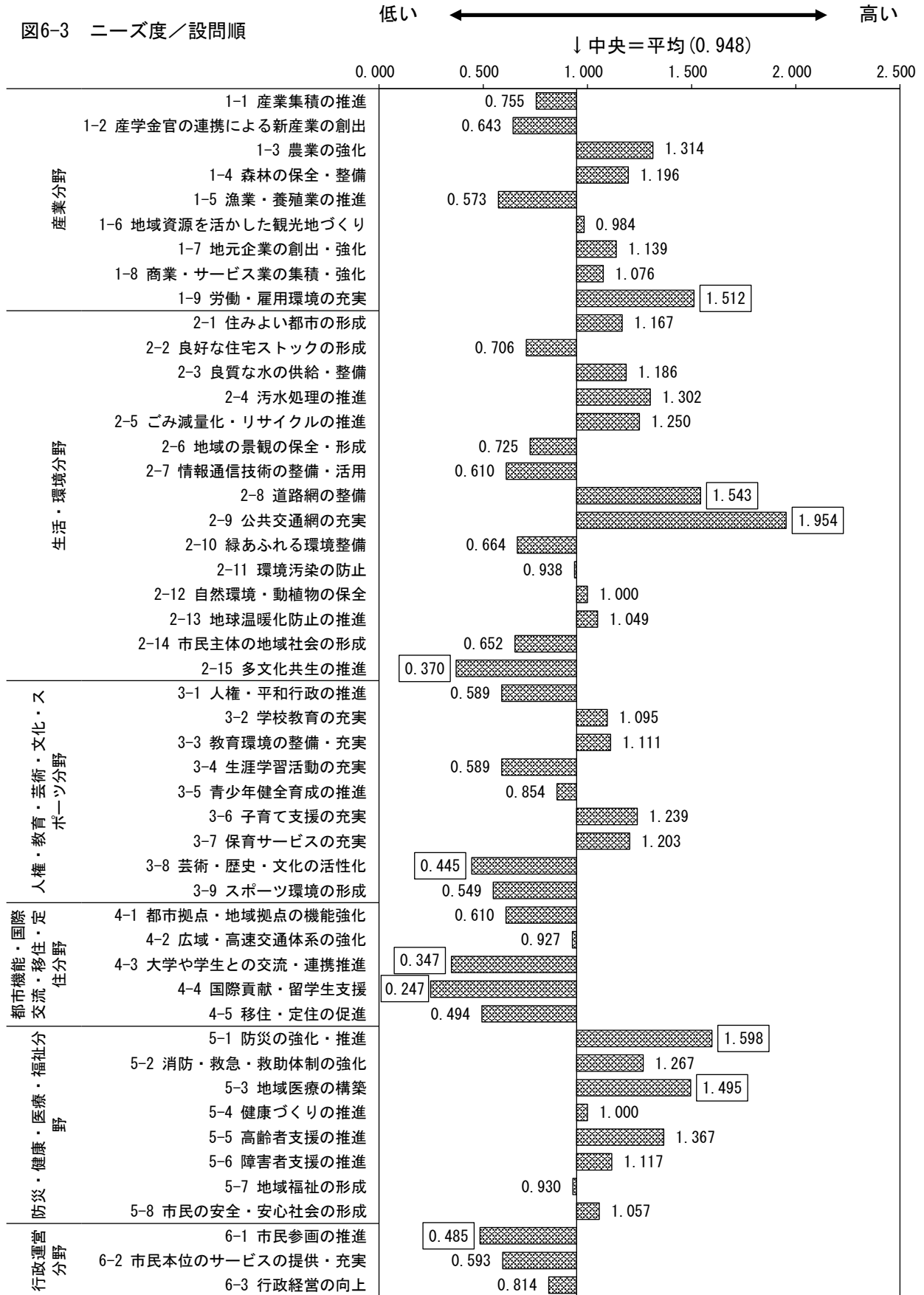
低い ← → 高い

↓ 中央 = 平均 (0.892)



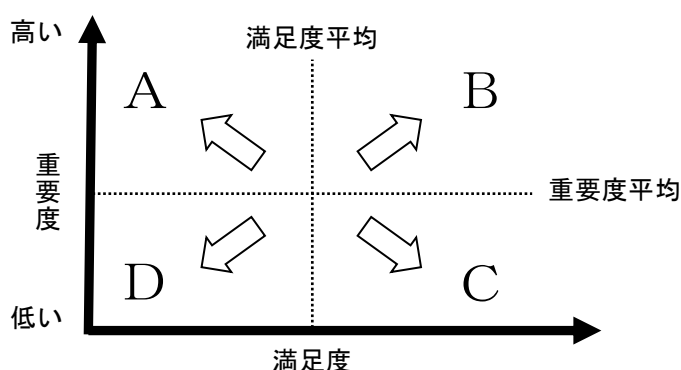
※数値の囲み付きは、上位5項目、下位5項目を示す。

図6-3 ニーズ度／設問順



⑦ 満足度と重要度の相関図による分析

【相関図による分析及び相関図の全体的な傾向】



縦軸に重要度、横軸に満足度を設定した相関図では、満足度と重要度をマトリックス上に示すことで、各施策の位置付けを整理する。満足度と重要度の各々の平均を示す点から左上(A)、右上(B)、右下(C)、左下(D)の4方向に進むに従い、以下のような傾向を示している。

A. 重要度が高く、満足度が低い(重点化・見直し領域)

今後のまちづくりにおける重要度が高いが、満足度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め、満足度を高める必要のある領域。

「1-3 農業の強化」、「1-6 地域資源を活かした観光地づくり」、「1-7 地元企業の創出・強化」、
「1-8 商業・サービス業の集積・強化」、「1-9 労働・雇用環境の充実」、「2-1 住みよい都市の形成」、
「2-13 地球温暖化防止の推進」、「2-8 道路網の整備」、「2-9 公共交通網の充実」、「3-6 子育て支援の充実」、
「3-7 保育サービスの充実」、「5-1 防災の強化・推進」、「5-3 地域医療の構築」、「5-5 高齢者支援の推進」、
「5-6 障害者支援の推進」

B. 重要度、満足度ともに高い(現状維持領域)

今後のまちづくりにおける重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準を維持していくことが必要な領域。

「2-11 環境汚染の防止」、「2-12 自然環境・動植物の保全」、「2-3 良質な水の供給・整備」、「2-4 汚水処理の推進」、
「2-5 ごみ減量化・リサイクルの推進」、「3-2 学校教育の充実」、「3-3 教育環境の整備・充実」、
「4-2 広域・高速交通体系の強化」、「5-2 消防・救急・救助体制の強化」、「5-4 健康づくりの推進」、
「5-8 市民の安全・安心社会の形成」

C. 重要度が低く、満足度が高い(現状維持・見直し領域)

今後のまちづくりにおける重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて見直すべき必要のある領域。

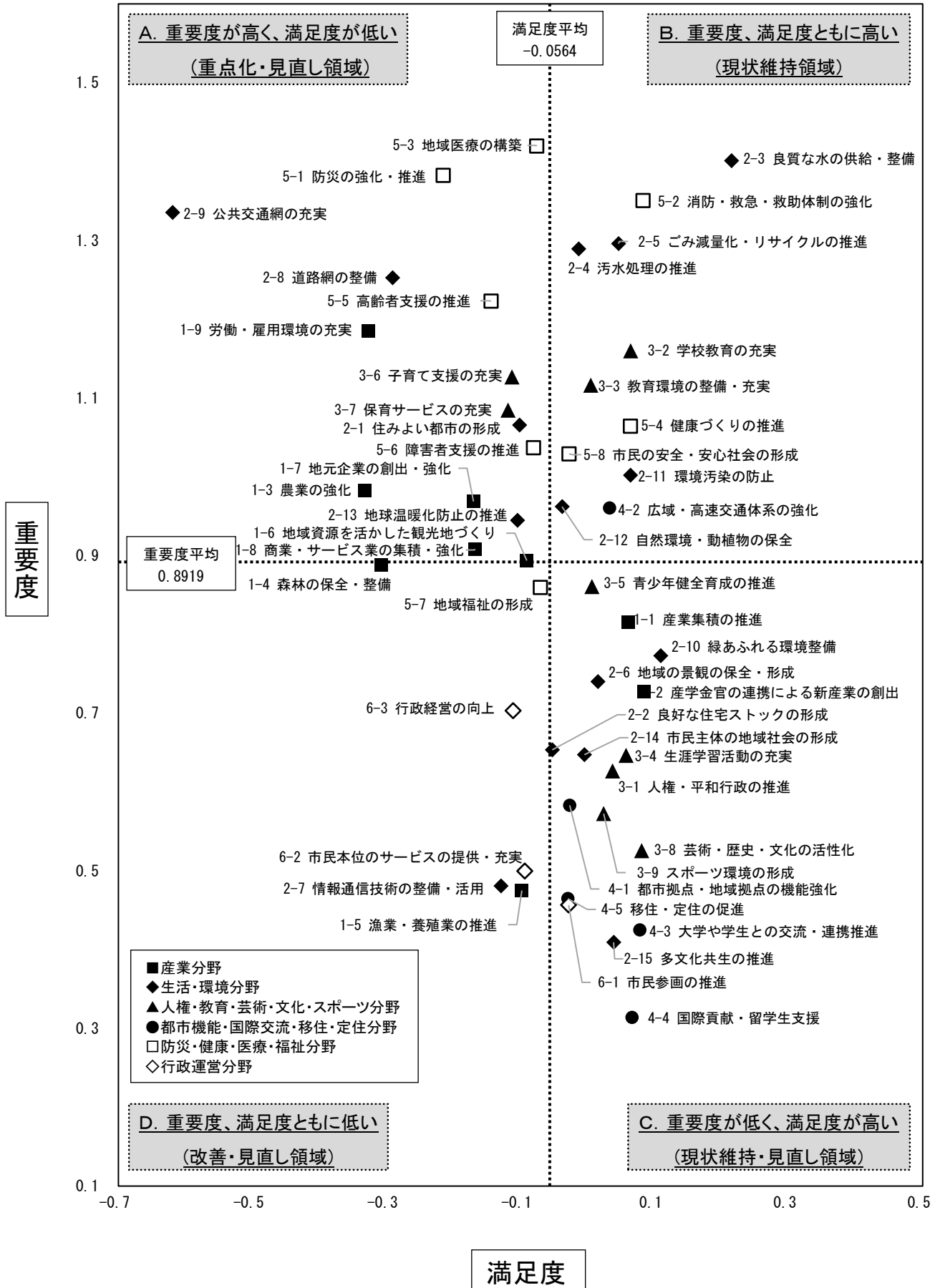
「1-1 産業集積の推進」、「1-2 産学金官の連携による新産業の創出」、「2-10 緑あふれる環境整備」、
「2-14 市民主体の地域社会の形成」、「2-15 多文化共生の推進」、「2-2 良好な住宅ストックの形成」、
「2-6 地域の景観の保全・形成」、「3-1 人権・平和行政の推進」、「3-4 生涯学習活動の充実」、
「3-5 青少年健全育成の推進」、「3-8 芸術・歴史・文化の活性化」、「3-9 スポーツ環境の形成」、
「4-1 都市拠点・地域拠点の機能強化」、「4-3 大学や学生との交流・連携推進」、「4-4 国際貢献・留学生支援」、
「4-5 移住・定住の促進」、「6-1 市民参画の推進」

D. 重要度、満足度ともに低い(改善・見直し領域)

今後のまちづくりにおける重要度も満足度も低く、施策の目的やニーズを再認識するとともに、施策のあり方や進め方そのものをあらためて見直す必要のある領域。

「1-4 森林の保全・整備」、「1-5 漁業・養殖業の推進」、「2-7 情報通信技術の整備・活用」、「5-7 地域福祉の形成」、
「6-2 市民本位のサービスの提供・充実」、「6-3 行政経営の向上」

図6-4 施策に対する満足度と重要度の相関図



4. 市の広報活動について

(1) 東広島市の広報活動への満足度

問7 東広島市では、次の方法で市の情報を広報しています。

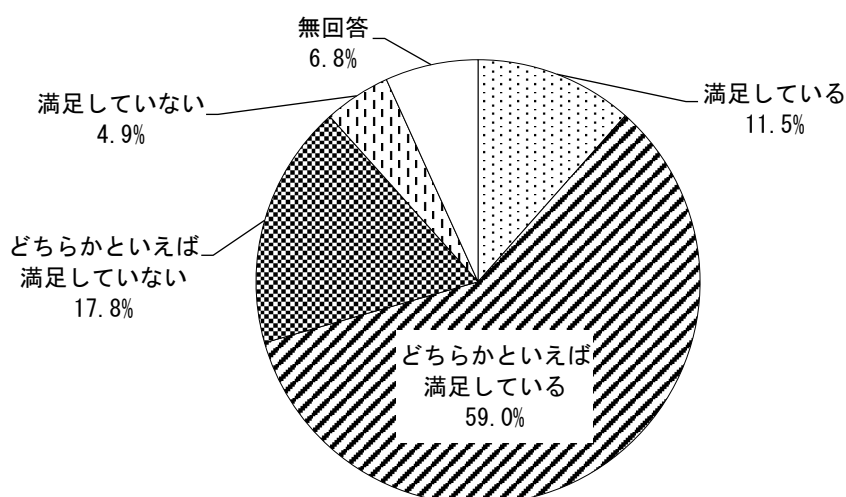
- ・広報東広島(広報紙)
- ・東広島市ホームページ
- ・東広島市フェイスブック、ツイッター、LINE
- ・東広島市くらしのアプリ
- ・ラジオ(FM東広島)番組
- ・ケーブルテレビ(KAMONケーブルテレビ、Youtube動画配信)番組

あなたは、東広島市の広報活動に満足していますか。(1つだけ選んで○をお付けください)

東広島市の広報活動への満足度については、「満足している」が11.5%、「どちらかといえば満足している」が59.0%で、“満足”(「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計)は70.5%と7割強を占める。

「どちらかといえば満足していない」は17.8%、「満足していない」は4.9%であった。

図7-1 東広島市の広報活動への満足度 [n=1,152]

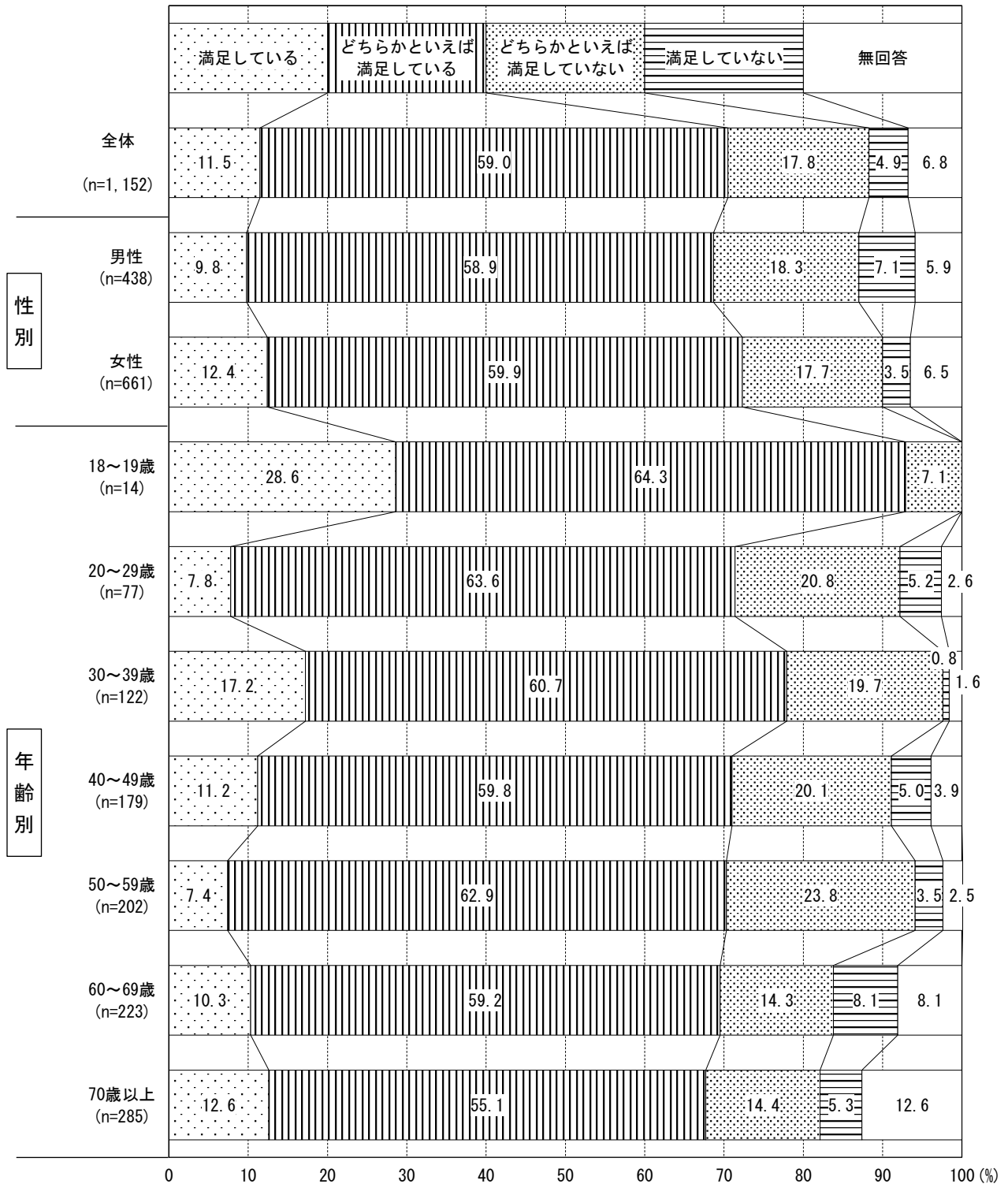


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「満足している」は2.6ポイント、「どちらかといえば満足している」は1.0ポイント、『女性』が『男性』より高い。“満足”（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）は『女性』72.3%、『男性』68.7%と『女性』が『男性』より3.6ポイント高い。

年齢別では、“満足”は『30～39歳』が77.9%と7.4ポイント全体より高く、以降年齢が上がるほど低くなる傾向がみられ、『70歳以上』では67.7%と2.8ポイント全体より低い。

図 7-2 東広島市の広報活動への満足度／性別・年齢別

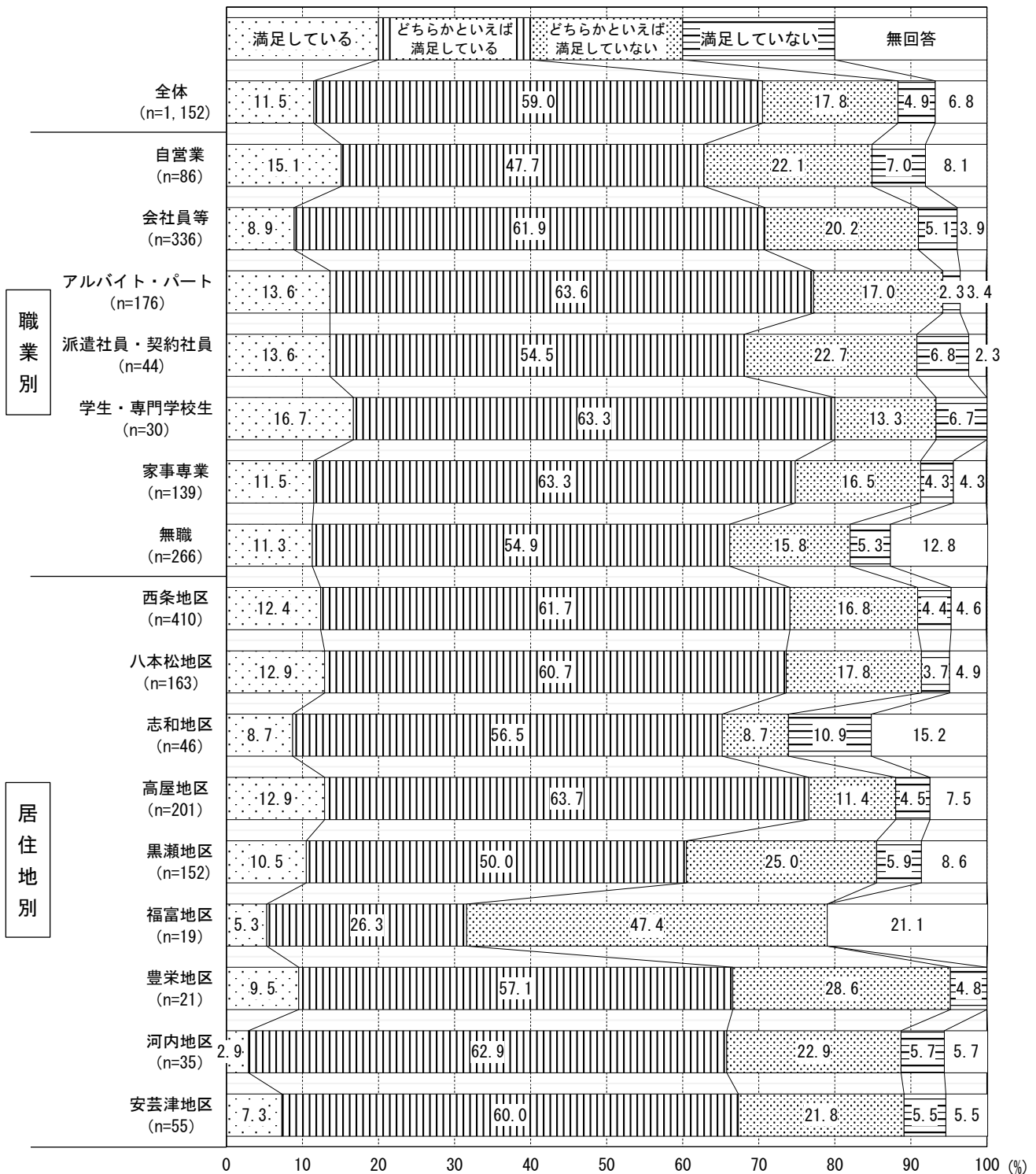


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“満足”（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）は『学生・専門学校生』が80.0%と9.5ポイント、『アルバイト・パート』が77.2%と6.7ポイント、『家事専業』が74.8%と4.3ポイント、『会社員等』が70.8%と0.3ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、“満足”は『高屋地区』が76.6%と6.1ポイント、『西条地区』が74.1%と3.6ポイント、『八本松地区』が73.6%と3.1ポイント、それぞれ全体より高い。一方、『福富地区』が31.6%と38.9ポイント全体より低くなっている。

図7-3 東広島市の広報活動への満足度／職業別・居住地別



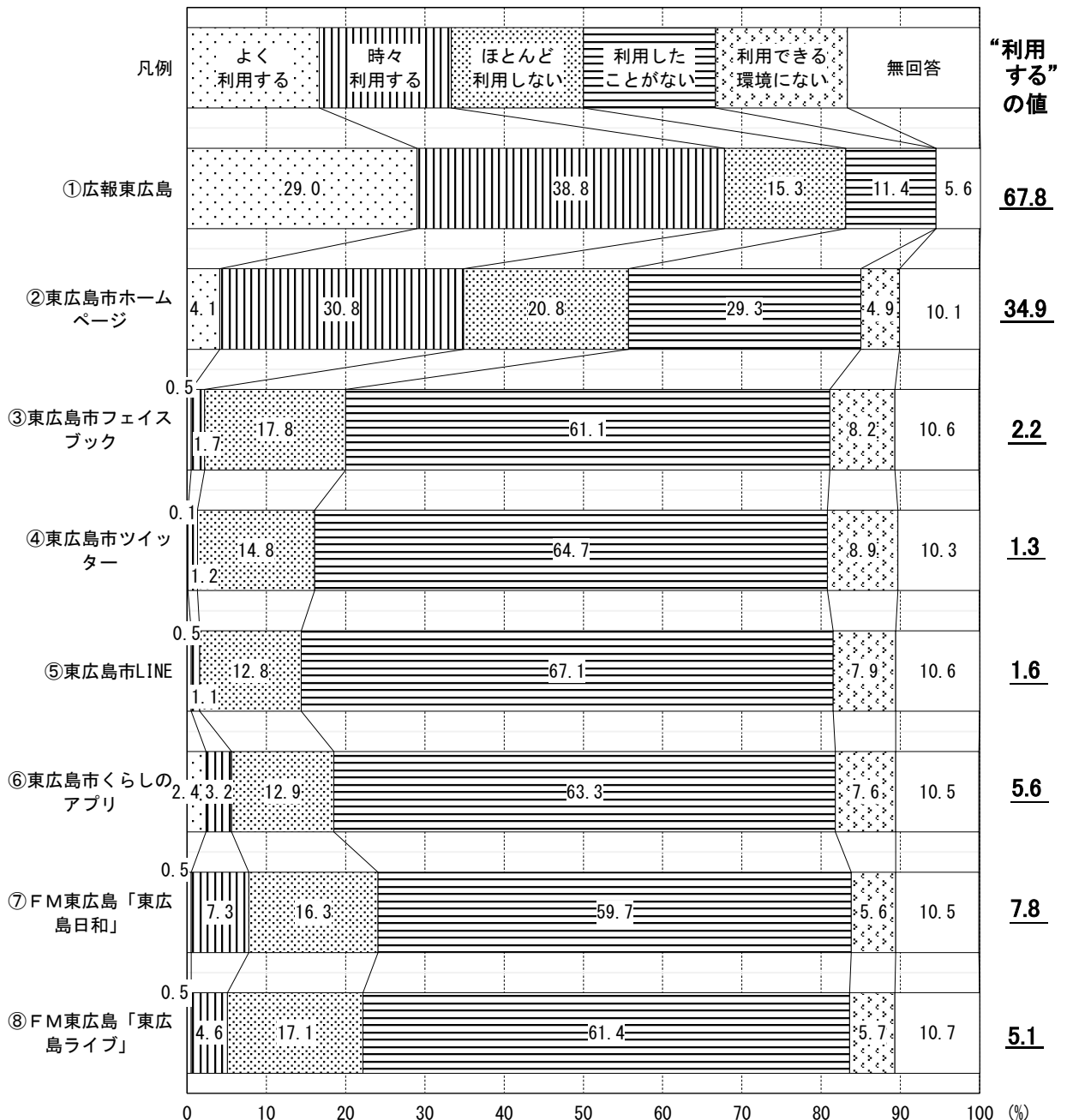
(2) 東広島市の広報の利用状況

問8 あなたは、次の広報についてどの程度利用していますか。
 (それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください)

東広島市の広報の利用状況については、『①広報東広島』で「よく利用する」が29.0%と最も高く、「時々利用する」38.8%と合わせた、“利用する”は67.8%と7割弱を占める。

その他の広報については、「よく利用する」の値はいずれも1割に満たず、「時々利用する」と合わせた“利用する”は高い順に、『②東広島市ホームページ』34.9%、『⑦FM東広島「東広島日和(びより)」(毎日7:54～、11:55～、17:54～)』7.8%、『⑥東広島市くらしのアプリ』5.6%、『⑧FM東広島「東広島ライブ」(第1水曜日14:00～)』5.1%、『③東広島市フェイスブック』2.2%、『⑤東広島市LINE』1.6%、『④東広島市ツイッター』1.3%となっている。

図8-1 東広島市の広報の利用状況 [n=1,152]



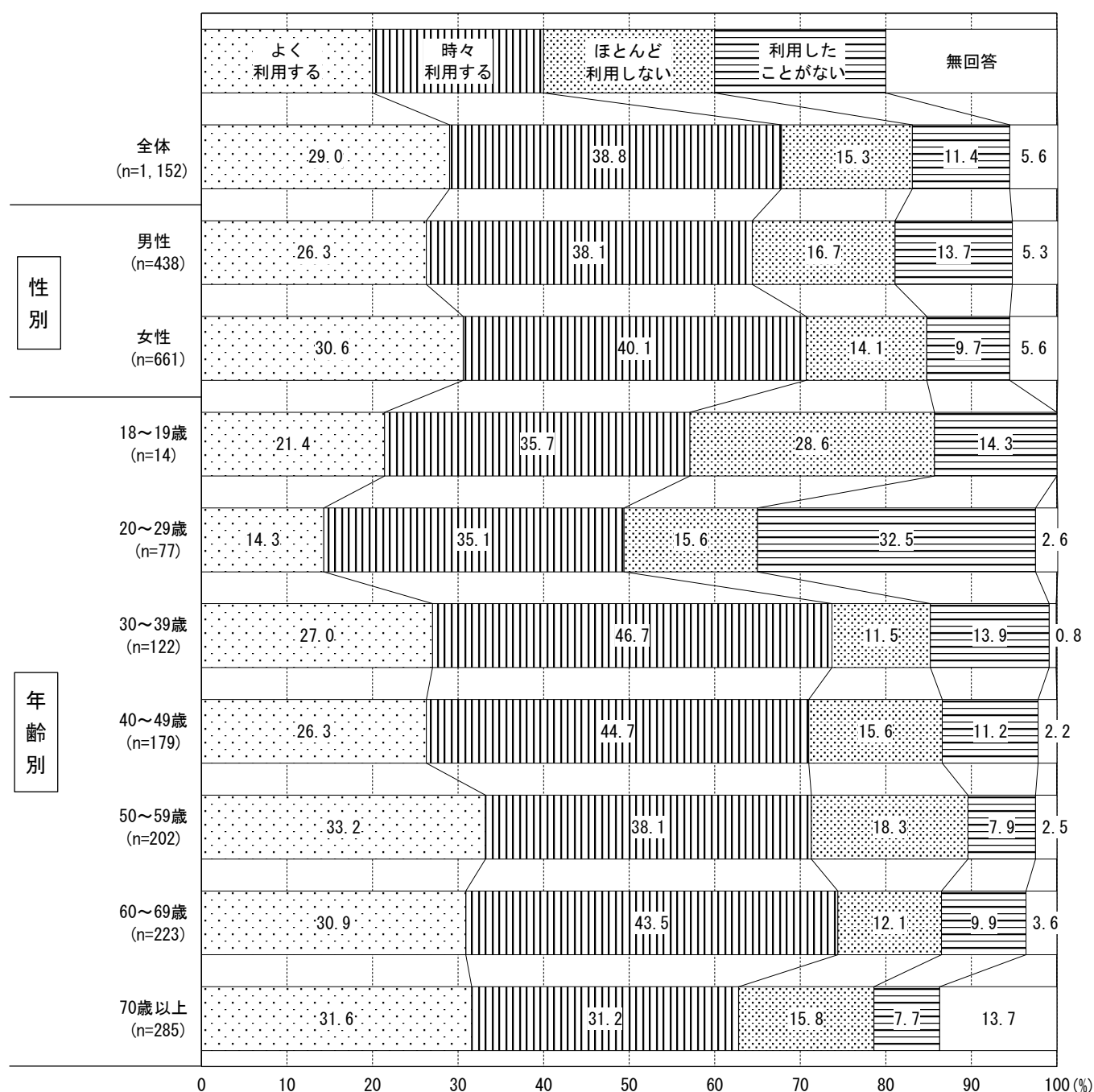
①広報東広島

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「よく利用する」は『女性』30.6%、『男性』26.3%と、『女性』が『男性』より4.3ポイント高い。

年齢別では、「よく利用する」は『50～59歳』が33.2%と4.2ポイント、『70歳以上』が31.6%と2.6ポイント、『60～69歳』が30.9%と1.9ポイント、それぞれ全体より高い。一方、『20～29歳』は「よく利用する」が14.3%と14.7ポイント全体より低く、反対に「利用したことがない」が32.5%と21.1ポイント全体より高くなっており、“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は49.4%と他年齢層より著しく低くなっている。

図8-2 東広島市の広報の利用状況 ①広報東広島／性別・年齢別

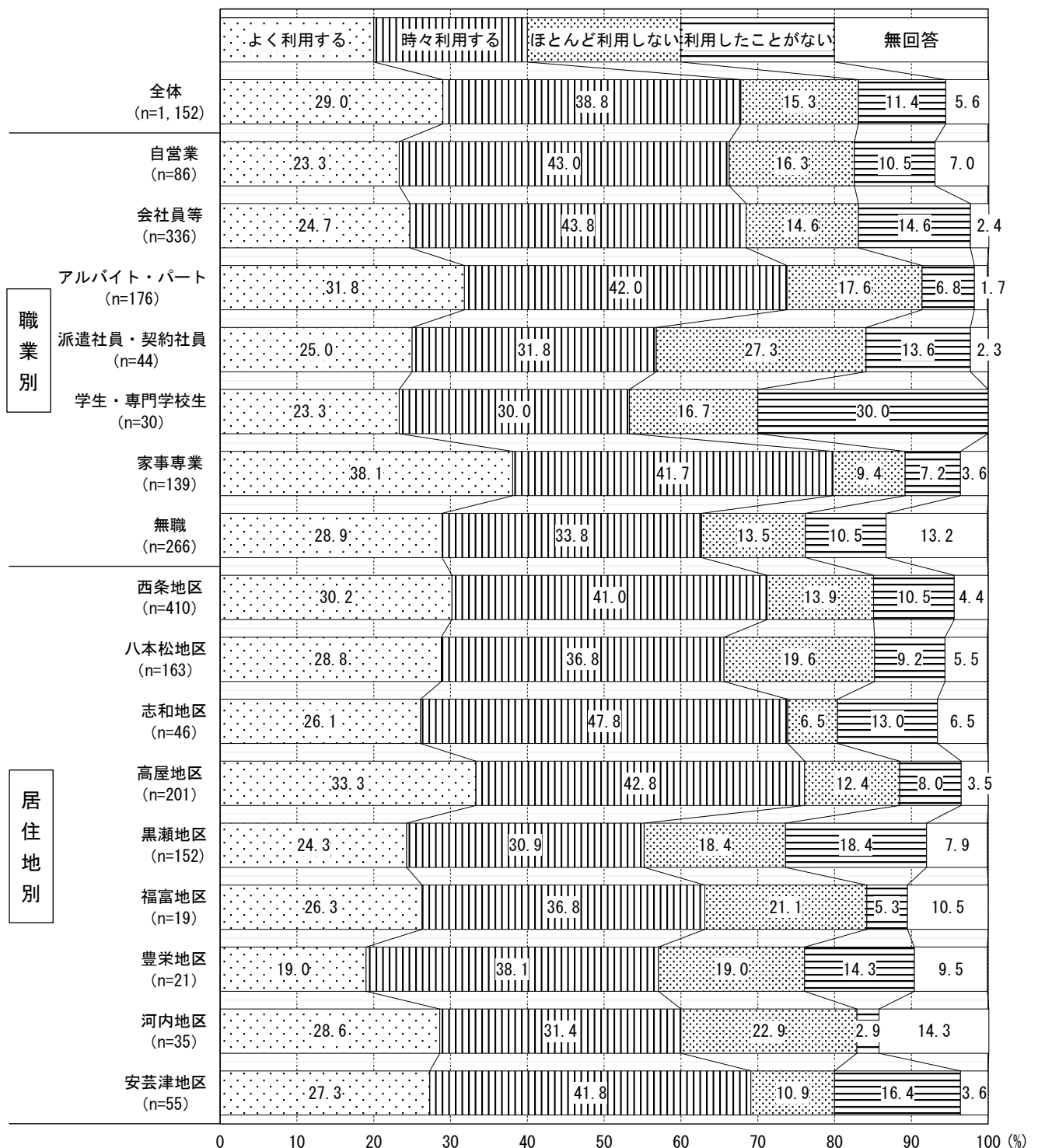


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「よく利用する」は『家事専業』が38.1%と9.1ポイント、『アルバイト・パート』が31.8%と2.8ポイント、全体より高い。また、“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は『家事専業』79.8%が12.0ポイント、『アルバイト・パート』73.8%が6.0ポイント、『会社員等』68.5%が0.7ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「よく利用する」は『高屋地区』33.3%が4.3ポイント、『西条地区』30.2%が1.2ポイント、それぞれ全体より高い。一方、『黒瀬地区』は24.3%、『豊栄地区』は19.0%と低く、“利用する”についても6割を下回っている。

図8-3 東広島市の広報の利用状況 ①広報東広島／職業別・居住地別



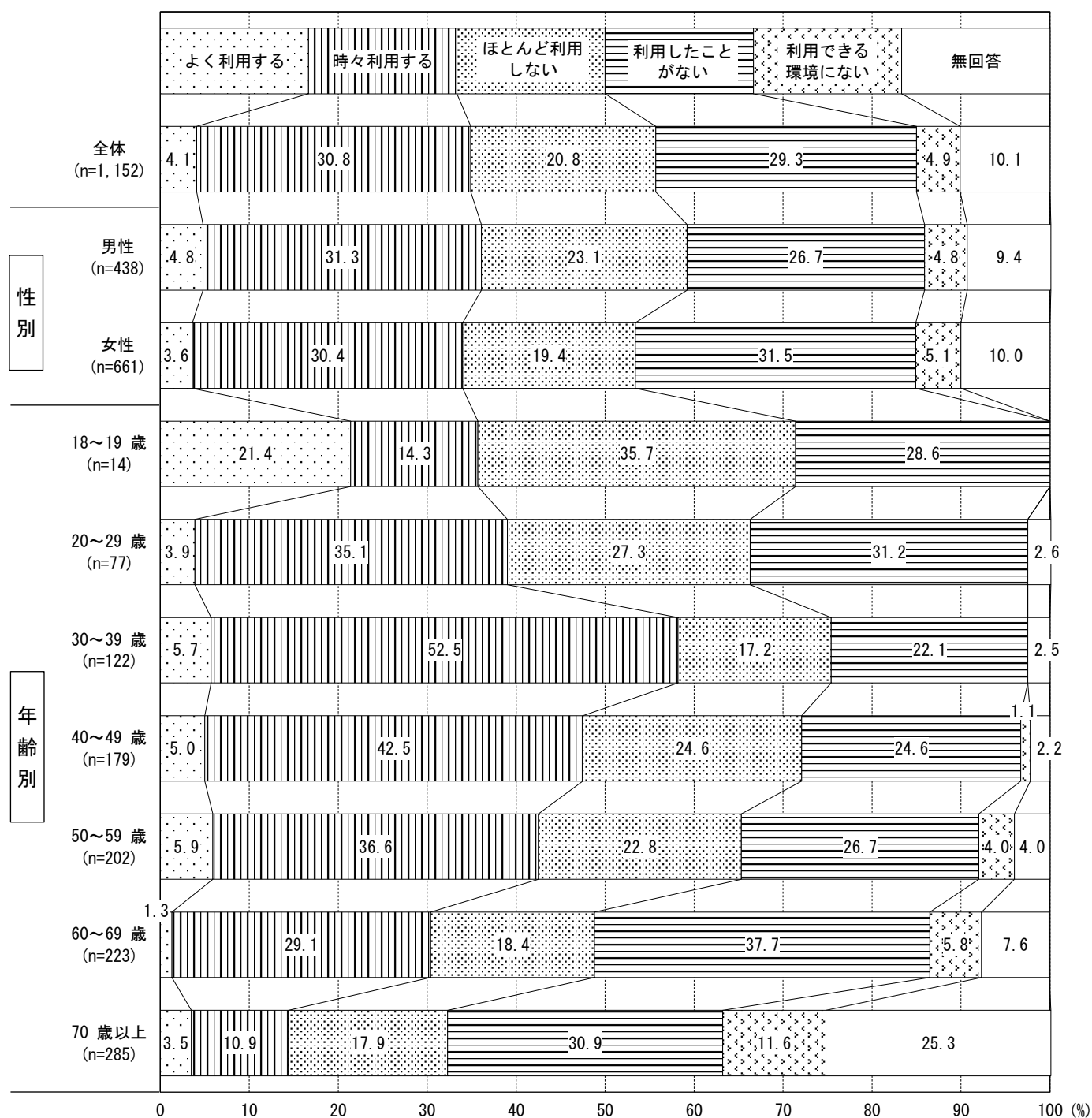
②東広島市ホームページ

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は『男性』36.1%、『女性』34.0%と、『男性』が『女性』より2.1ポイント高い。一方、「ほとんど利用しない」についても『男性』23.1%、『女性』19.4%と、『男性』が『女性』より3.7ポイント高い。

年齢別では、「時々利用する」は『30～39歳』が52.5%と21.7ポイント、『40～49歳』が42.5%と11.7ポイント、『50～59歳』が36.6%と5.8ポイント、『20～29歳』が35.1%と4.3ポイント、それぞれ全体より高い。“利用する”は『30～39歳』が58.2%と他の年齢層と比べて高く、これより上の年齢層、下の年齢層とも低くなる傾向がみられる。

図8-4 東広島市の広報の利用状況 ②東広島市ホームページ／性別・年齢別

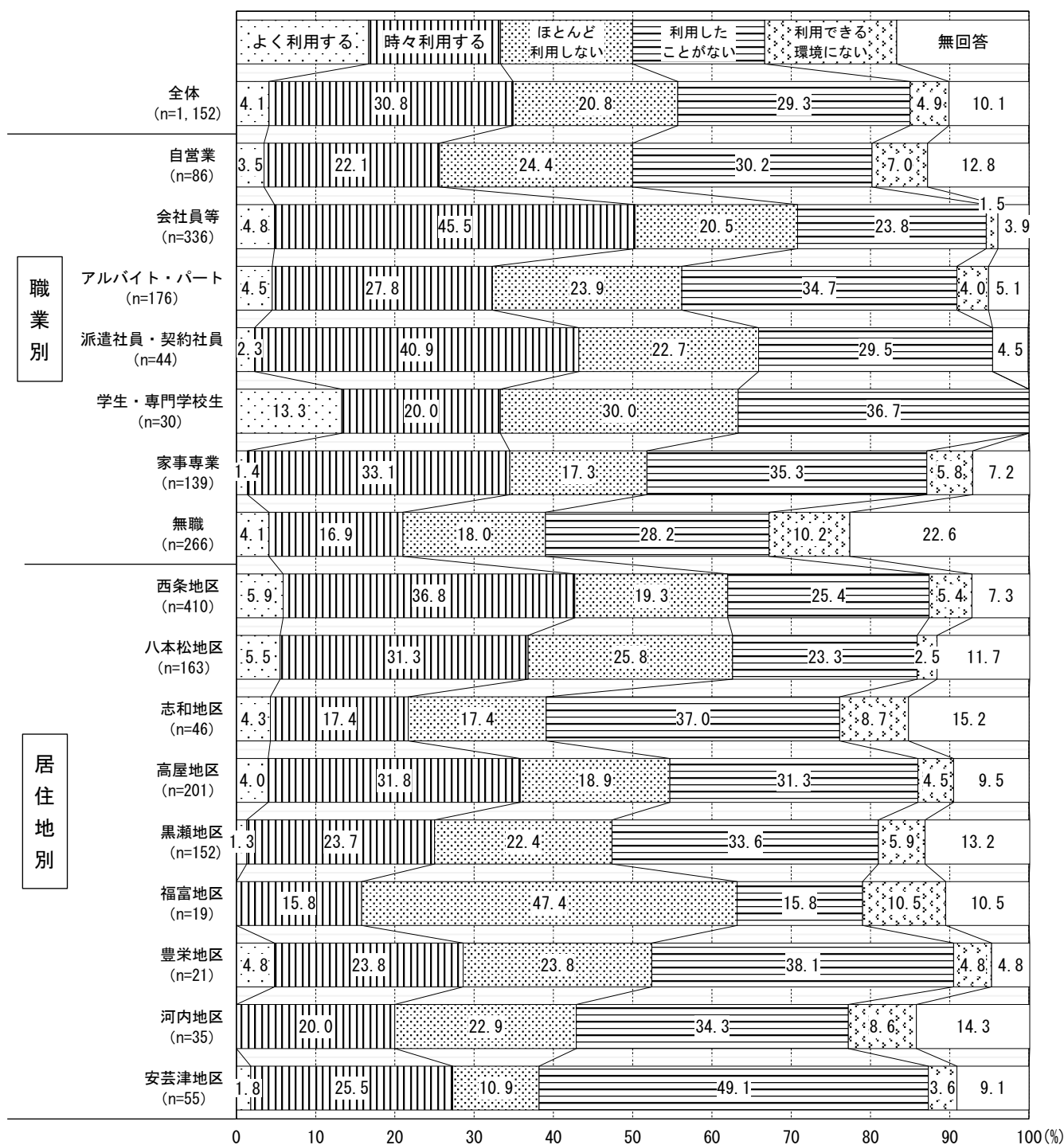


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「時々利用する」は『会社員等』が45.5%と14.7ポイント全体より高く、“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）についても、『会社員等』は50.3%と5割強を占めている。

居住地別では、「時々利用する」は『西条地区』が36.8%と6.0ポイント、『高屋地区』が31.8%と1.0ポイント、『八本松地区』が31.3%と0.5ポイント、全体より高い。“利用する”についても『西条地区』が42.7%と他地区より高い一方、『福富地区』が15.8%と“利用する”が2割を下回っている。

図8-5 東広島市の広報の利用状況 ②東広島市ホームページ／職業別・居住地別



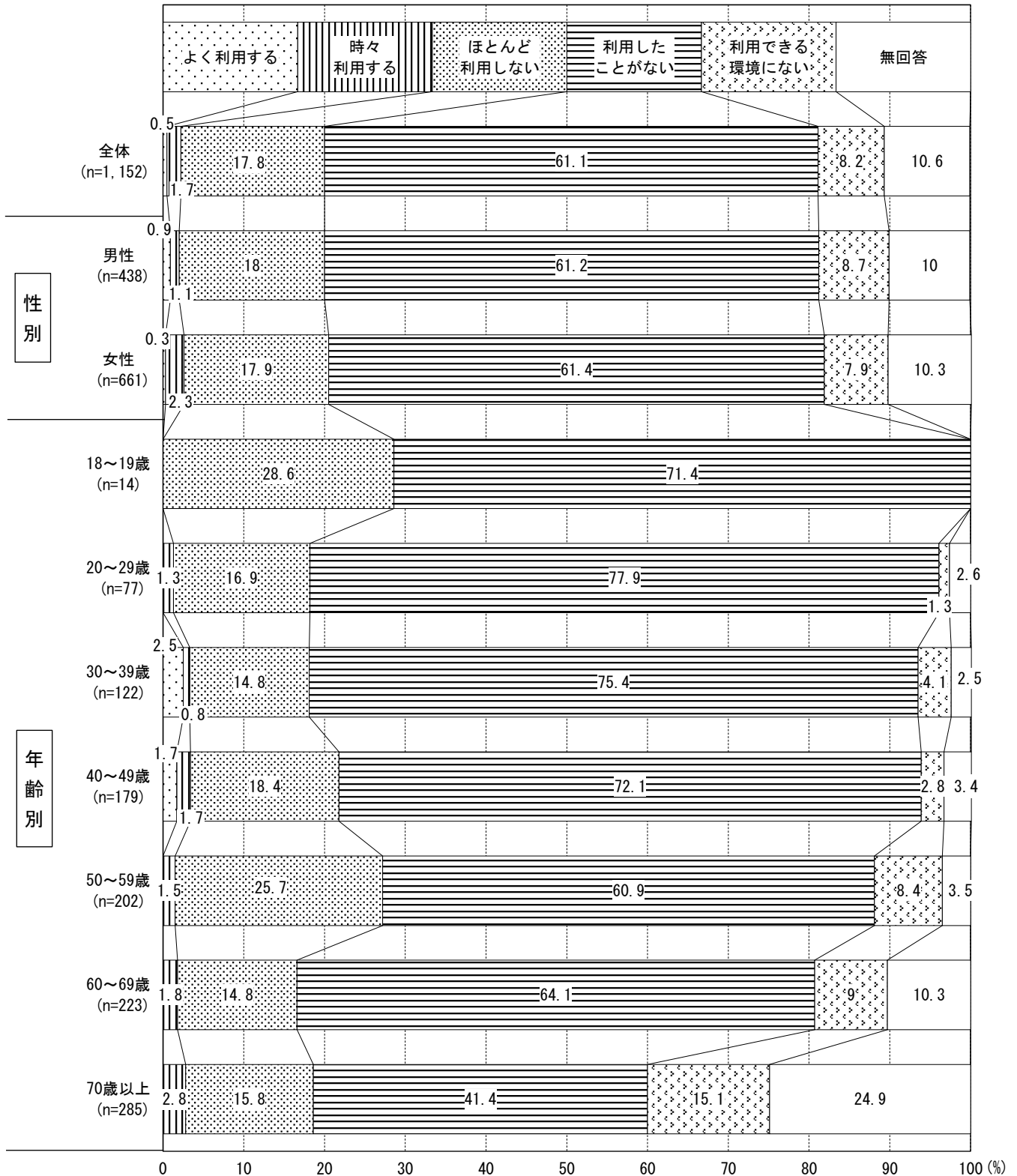
③東広島市フェイスブック

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別・年齢別共に、全属性で“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は5%を下回っている。

年齢別では、「利用できる環境にない」は『70歳以上』が15.1%と6.9ポイント、『60～69歳』が9%と0.8ポイント、『50～59歳』が8.4%と0.2ポイント、それぞれ全体より高い。

図8-6 東広島市の広報の利用状況 ③東広島市フェイスブック／性別・年齢別

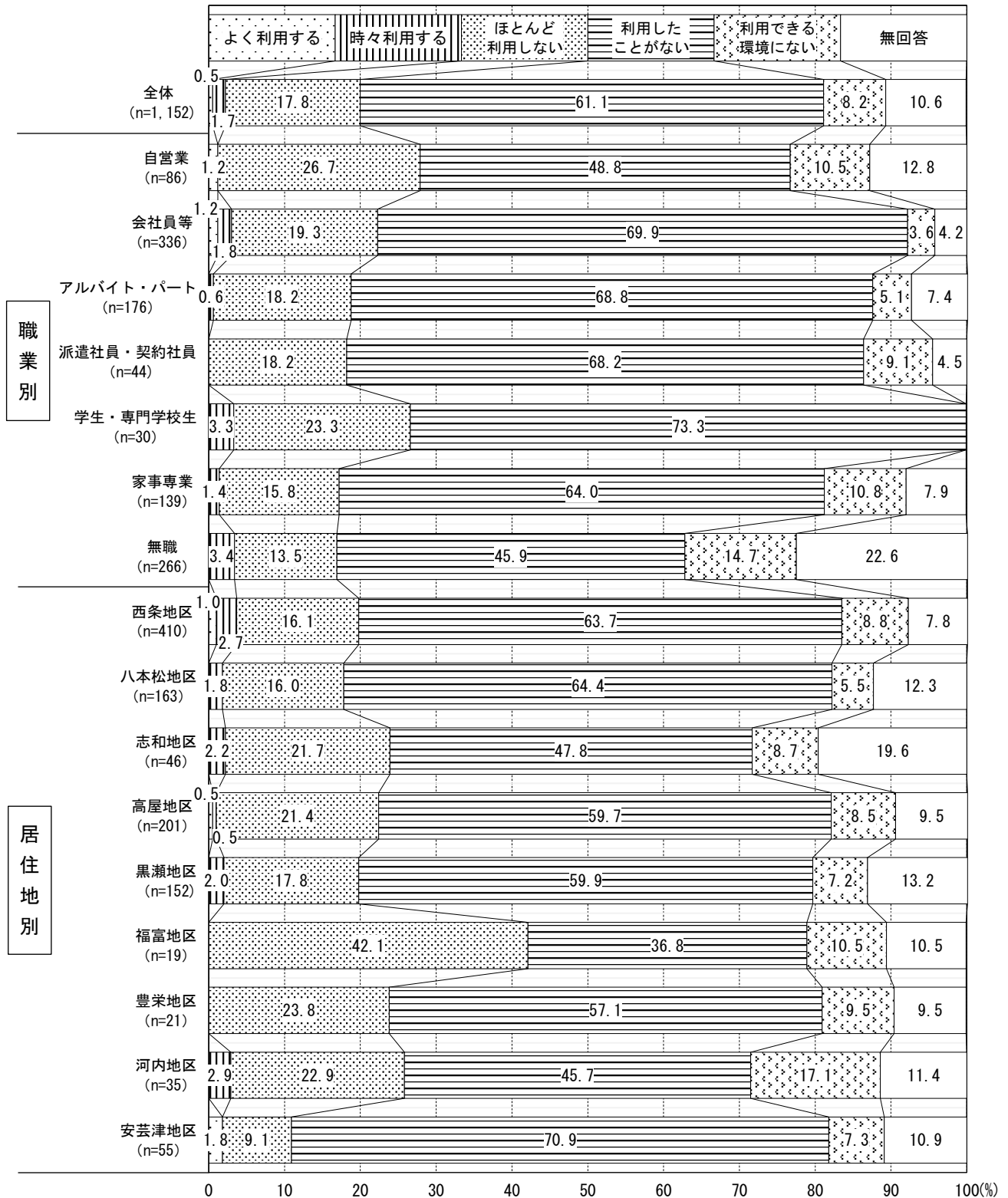


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別・居住地別共に、全属性で“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は5%を下回っている。

居住地別では、「時々利用する」は『河内地区』が2.9%と1.2ポイント、『西条地区』が2.7%と1.0ポイント、『志和地区』が2.2%と0.5ポイント、『黒瀬地区』が2.0%と0.3ポイント、『八本松地区』が1.8%と0.1ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図 8-7 東広島市の広報の利用状況 ③東広島市フェイスブック／職業別・居住地別

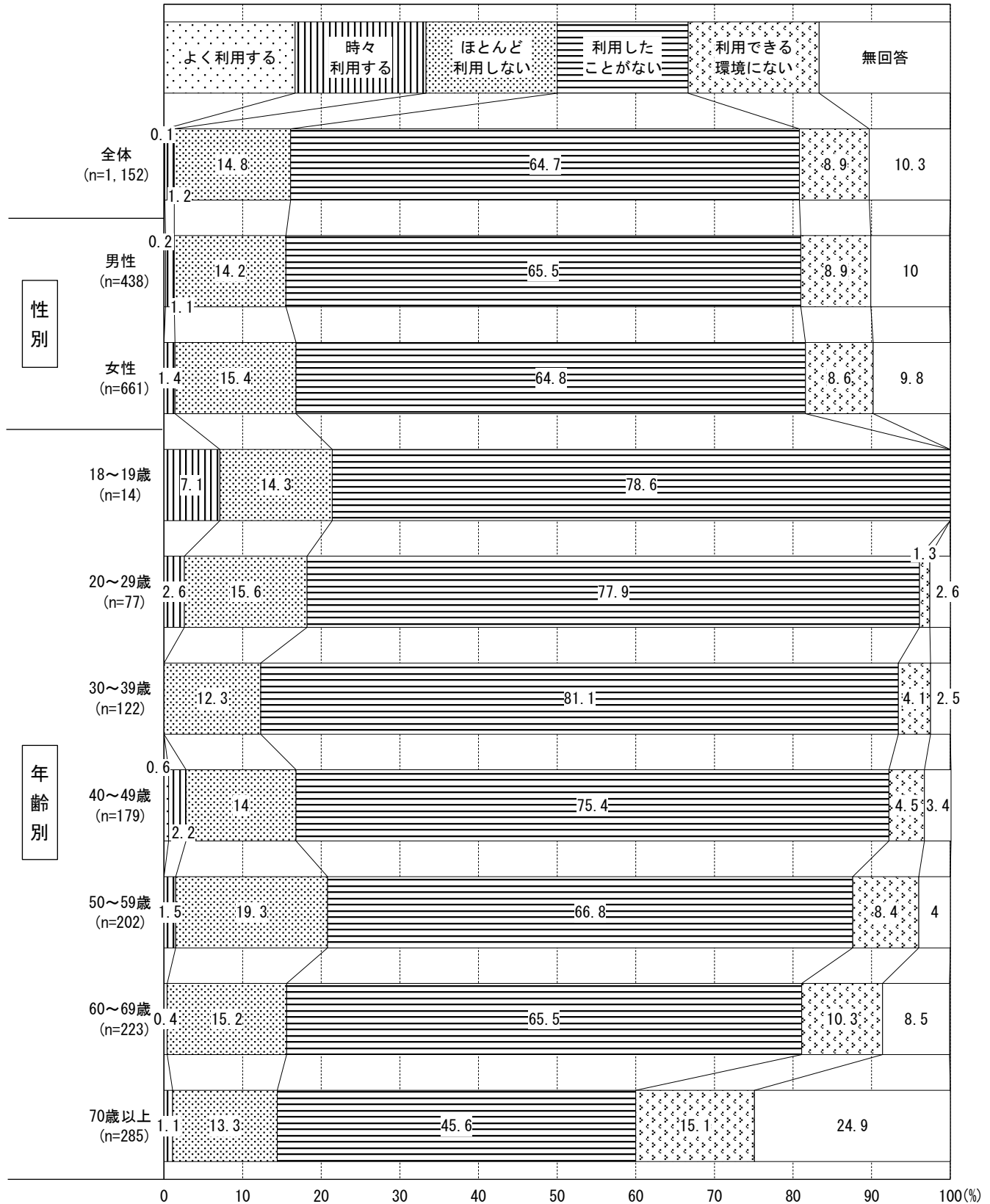


④東広島市ツイッター

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別・年齢別共に、全属性で“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は1割を下回っている。

図 8-8 東広島市の広報の利用状況 ④東広島市ツイッター／性別・年齢別

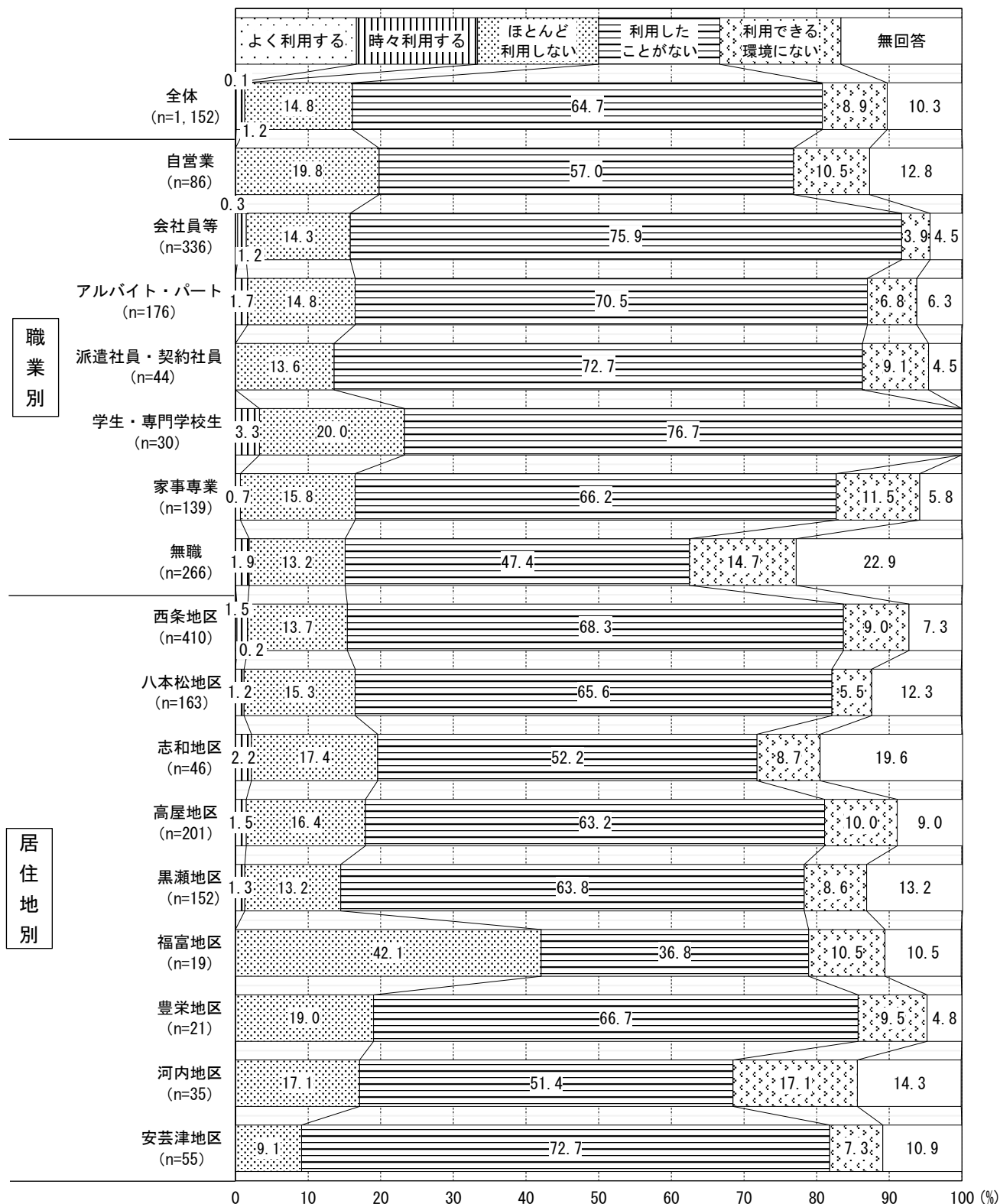


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別・居住地別共に、全属性で“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は5%を下回っている。

居住地別では、「時々利用する」は『志和地区』が2.2%と1.0ポイント、『西条地区』『高屋地区』が1.5%と0.3ポイント、『黒瀬地区』が1.3%と0.1ポイント、それぞれ全体より高い。

図 8-9 東広島市の広報の利用状況 ④東広島市ツイッター／職業別・居住地別



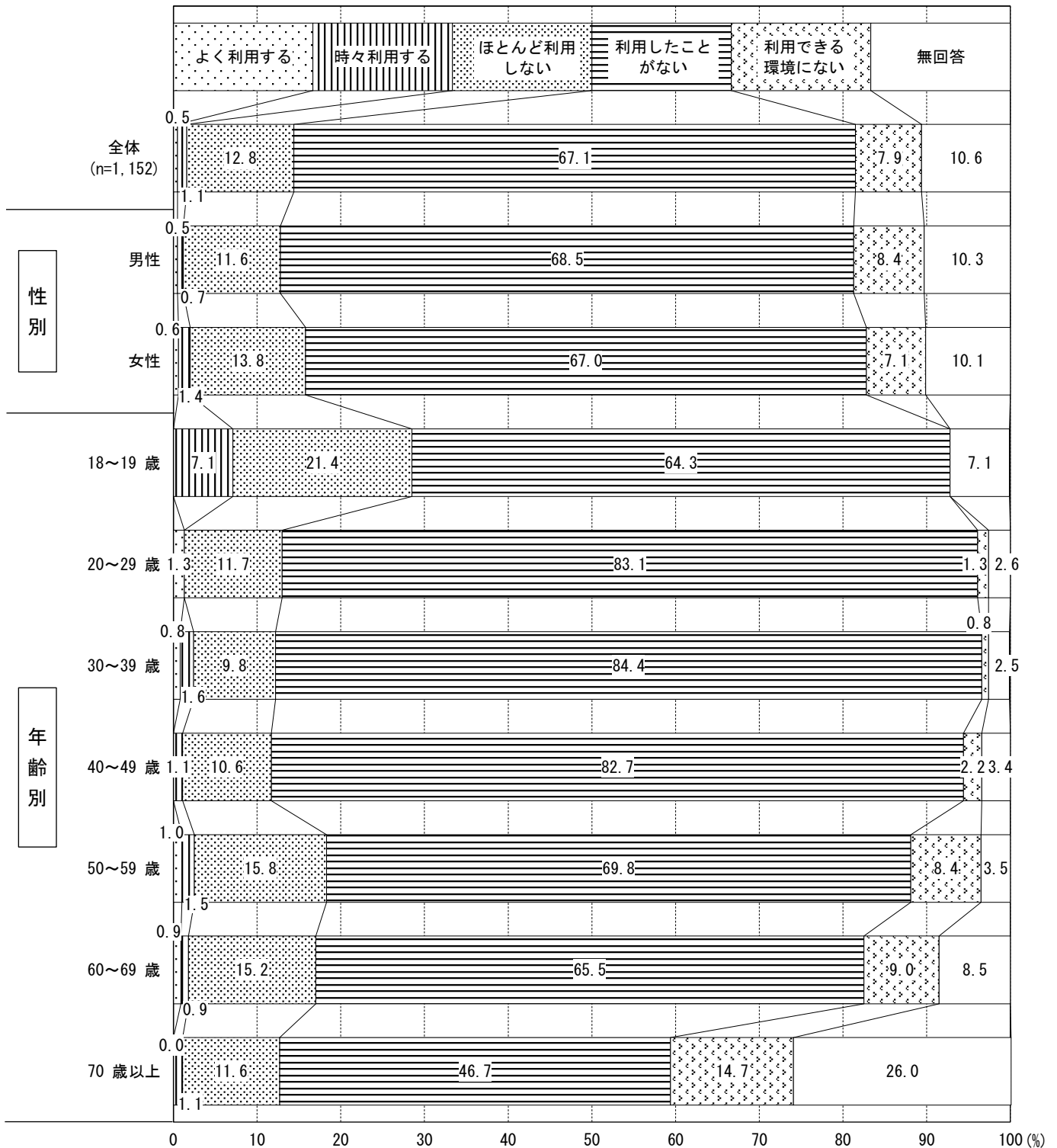
⑤東広島市LINE

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は『男性』1.2%、『女性』2.0%と男女共に1割を下回っている。

年齢別についても、“利用する”は全年齢層で1割を下回っているが、『50～59歳』が2.5%と0.9ポイント、『30～39歳』が2.4%と0.8ポイント、『60～69歳』が1.8%と0.2ポイント、それぞれ全体より高い。

図 8-10 東広島市の広報の利用状況 ⑤東広島市 LINE／性別・年齢別

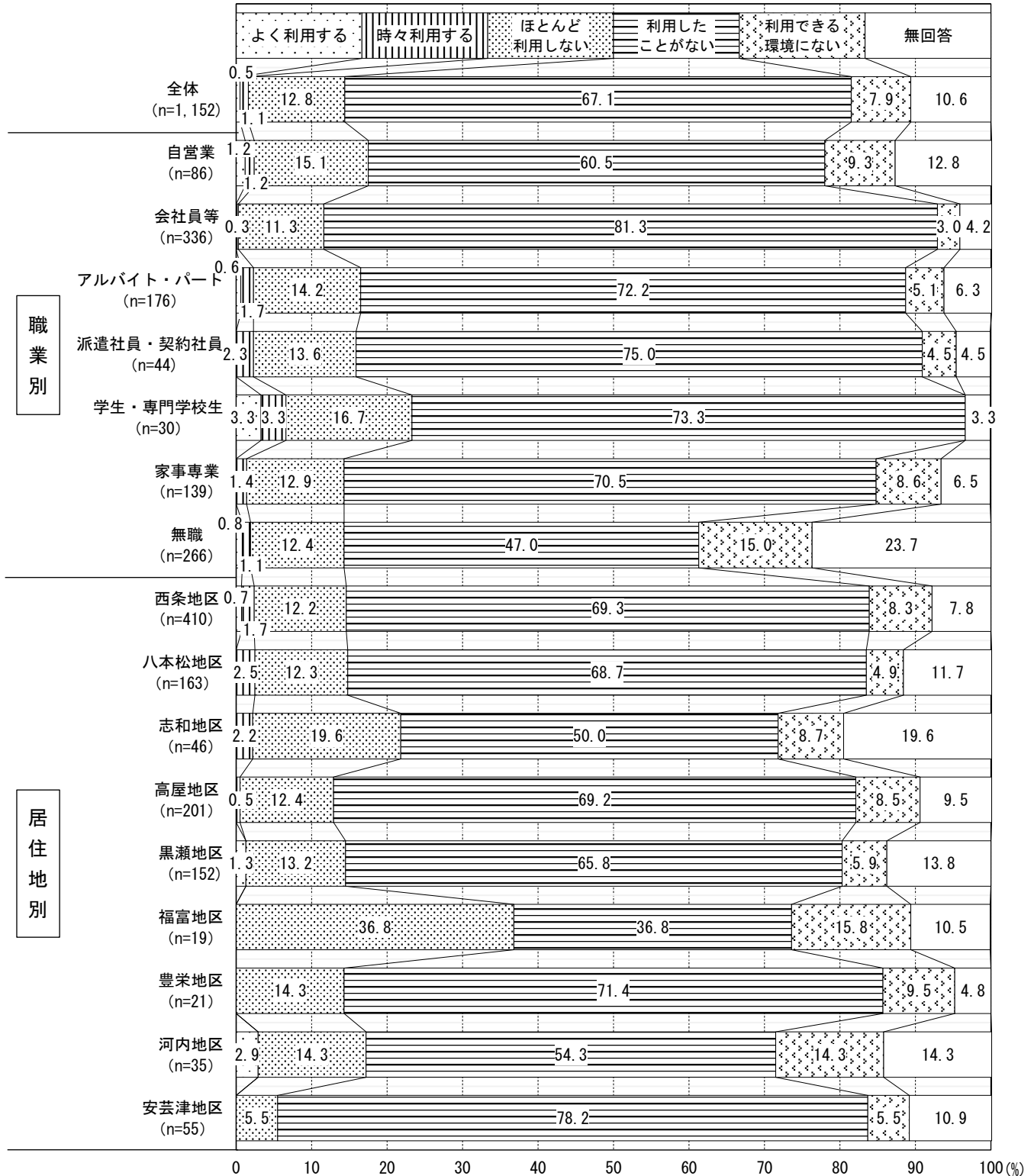


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は各属性とも1割を下回っている。

居住地別についても、“利用する”は全地区で1割を下回っているが、「時々利用する」は『八本松地区』が2.5%と1.4ポイント、『志和地区』が2.2%と1.1ポイント、『西条地区』が1.7%と0.6ポイント、それぞれ全体より高い。

図 8-11 東広島市の広報の利用状況 ⑤東広島市 LINE／職業別・居住地別



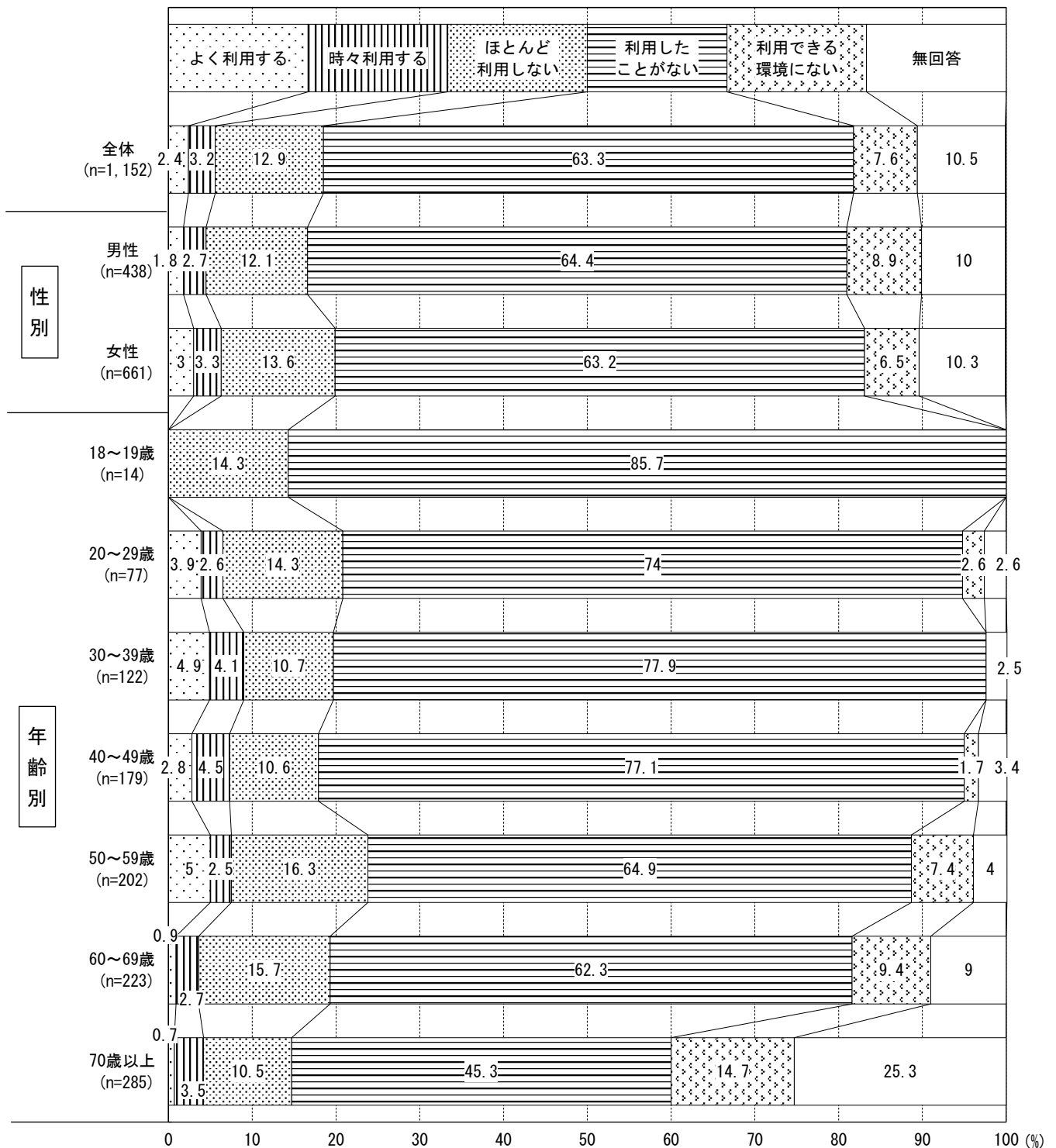
⑥東広島市くらしのアプリ

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は『男性』4.5%、『女性』6.3%と男女共に1割を下回っている。

年齢別についても、“利用する”は全年齢層で1割を下回っているが、「時々利用する」は『40～49歳』が4.5%と1.3ポイント、『30～39歳』が4.1%と0.9ポイント、『70歳以上』が3.5%と0.3ポイント、それぞれ全体より高い。

図 8-12 東広島市の広報の利用状況 ⑥東広島市くらしのアプリ／性別・年齢別

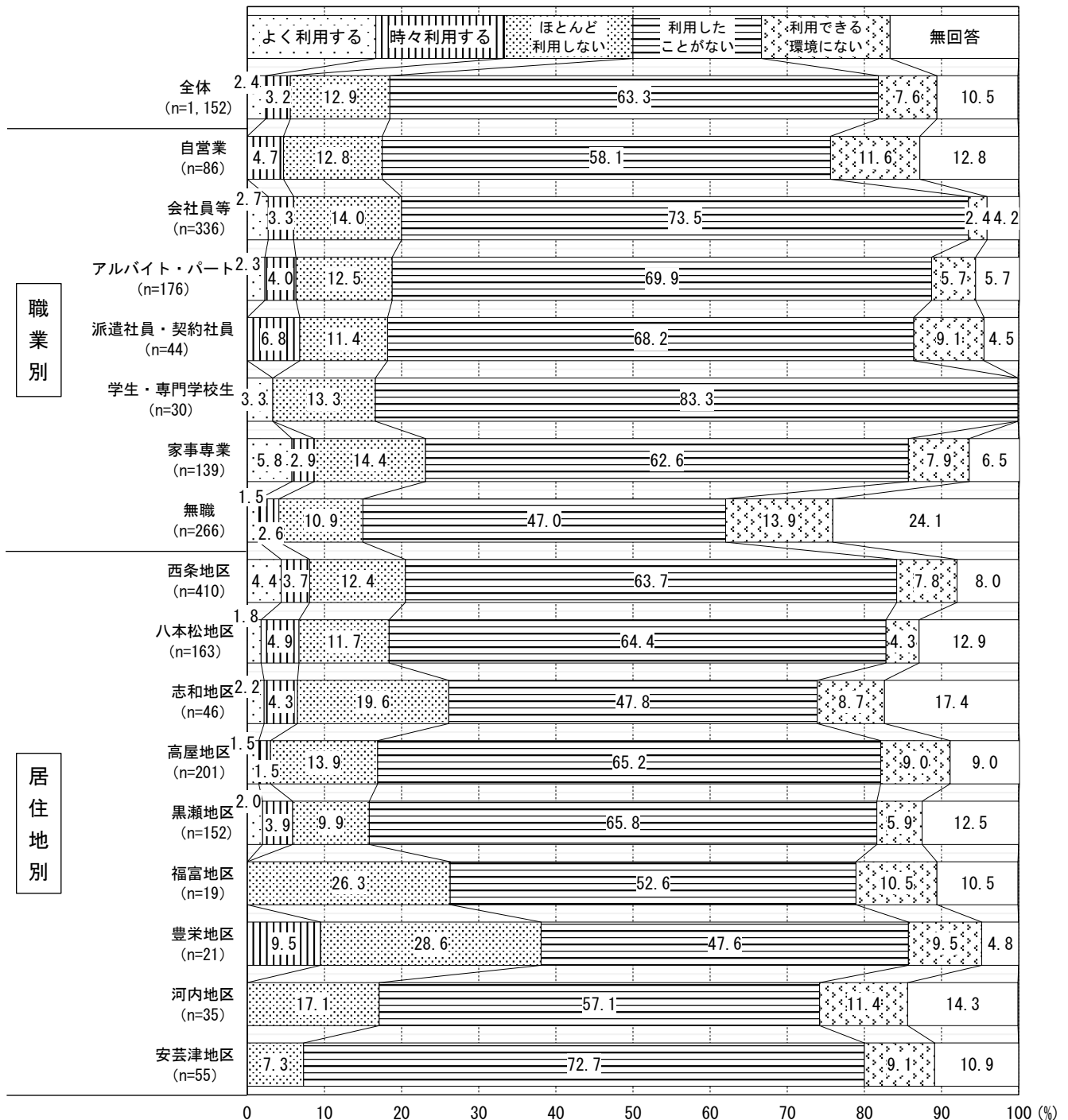


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「よく利用する」は『家事専業』が5.8%と3.4ポイント、『学生・専門学校生』が3.3%と0.9ポイント、『会社員等』が2.7%と0.3ポイント、それぞれ全体より高く、“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は『家事専業』が8.7%と3.1ポイント、『派遣社員・契約社員』が6.8%と1.2ポイント、『アルバイト・パート』が6.3%と0.7ポイント、『会社員等』が6.0%と0.4ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、“利用する”は『豊栄地区』が9.5%と3.9ポイント、『西条地区』が8.1%と2.5ポイント、『八本松地区』が6.7%と1.1ポイント、『志和地区』が6.5%と0.9ポイント、『黒瀬地区』が5.9%と0.3ポイント、それぞれ全体より高い。

図8-13 東広島市の広報の利用状況 ⑥東広島市くらしのアプリ／職業別・居住地別



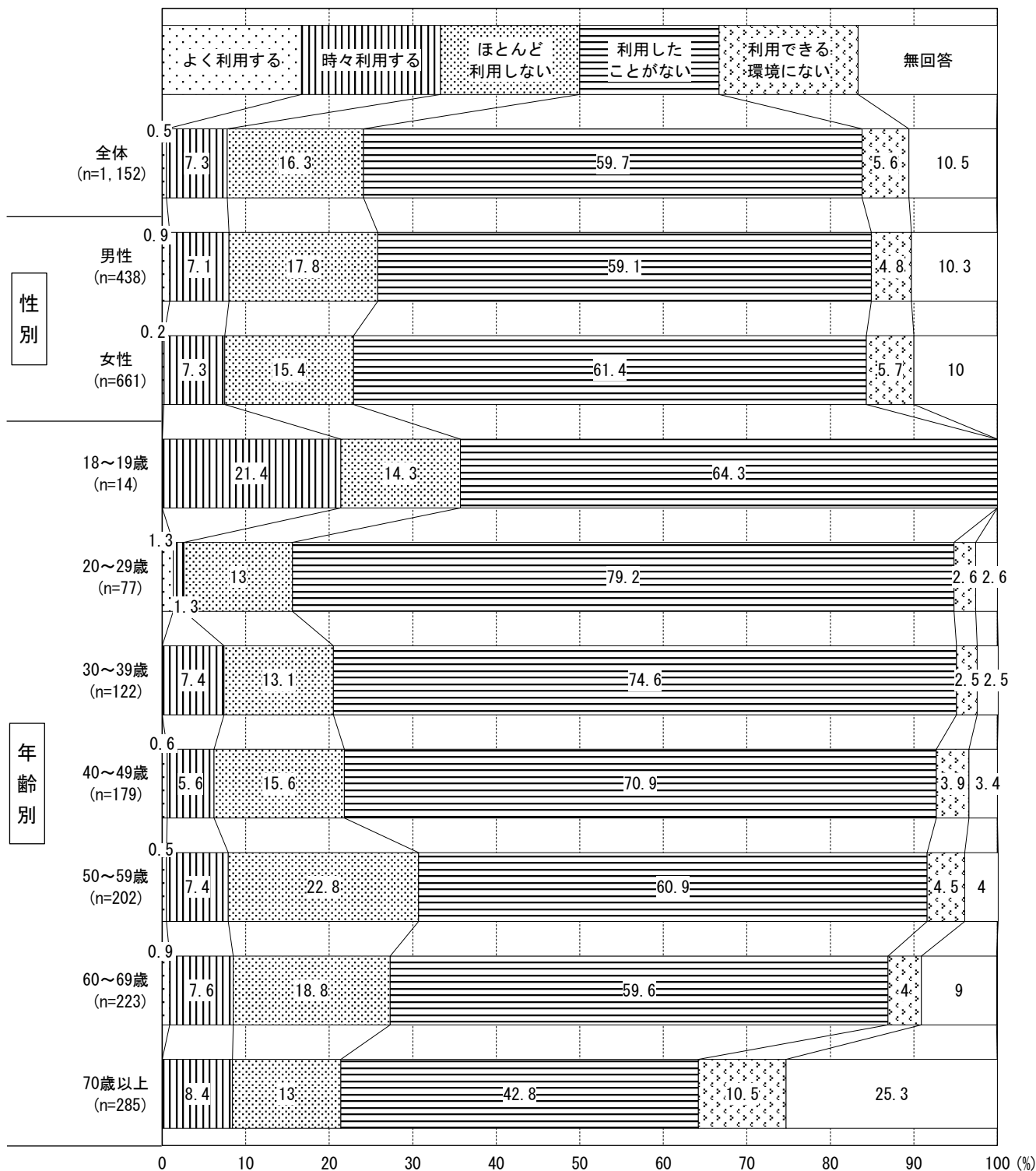
⑦FM東広島「東広島日和(びより)」

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は『男性』8%、『女性』7.5%と男女共に1割を下回っている。

年齢別についても、“利用する”は全年齢層で1割を下回っているが、『60～69歳』が8.5%と0.7ポイント、『70歳以上』が8.4%と0.6ポイント、『50～59歳』が7.9%と0.1ポイント、それぞれ全体より高い。

図8-14 東広島市の広報の利用状況 ⑦FM東広島「東広島日和(びより)」／性別・年齢別

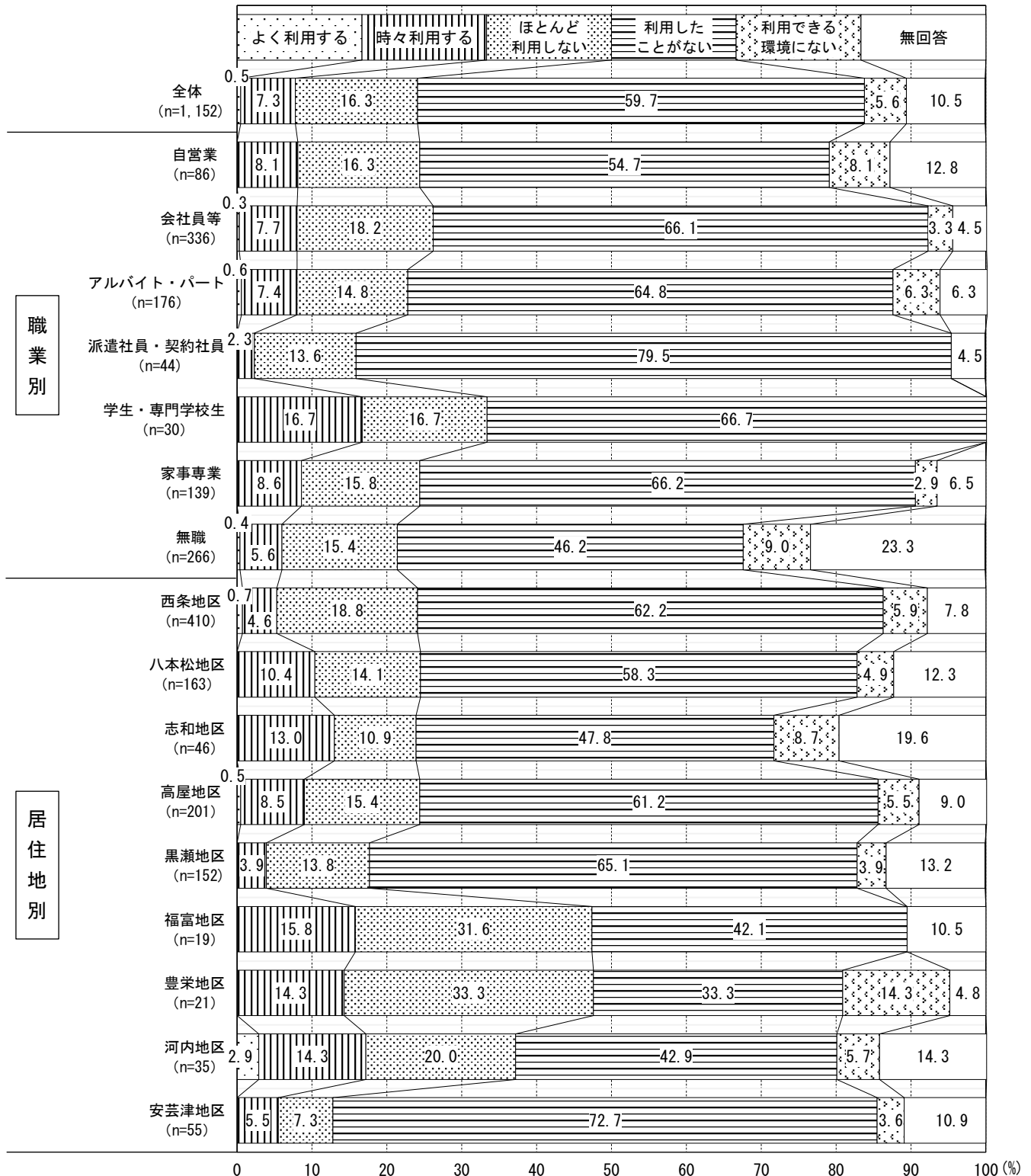


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は『学生・専門学校生』が16.7%と8.9ポイント、『家事専業』が8.6%と0.8ポイント、『自営業』が8.1%と0.3ポイント、『会社員等』『アルバイト・パート』が8.0%と0.2ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、“利用する”は『河内地区』が17.2%、『福富地区』が15.8%、『豊栄地区』が14.3%、『志和地区』が13.0%、『八本松地区』が10.4%とそれぞれ1割を上回っている。

図8-15 東広島市の広報の利用状況 ⑦FM東広島「東広島日和(びより)」／職業別・居住地別



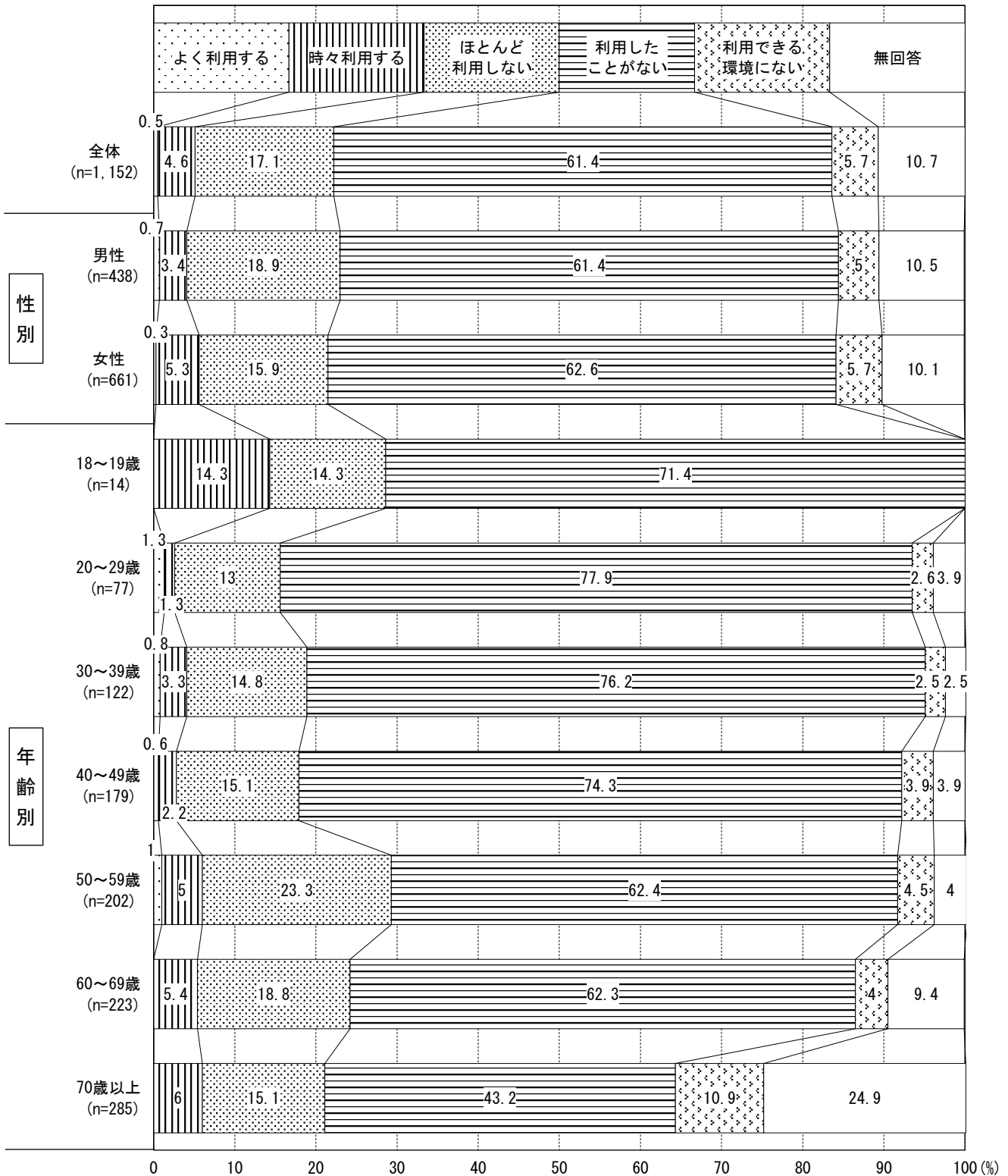
⑧FM東広島「東広島ライブ」

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は『男性』4.1%、『女性』5.6%と男女共に1割を下回っている。

年齢別についても、“利用する”は全年齢層で1割を下回っているが、『50～59歳』『70歳以上』が6.0%と0.9ポイント、『60～69歳』が5.4%と0.3ポイント、それぞれ全体より高い。

図 8-16 東広島市の広報の利用状況 ⑧FM東広島「東広島ライブ」／性別・年齢別

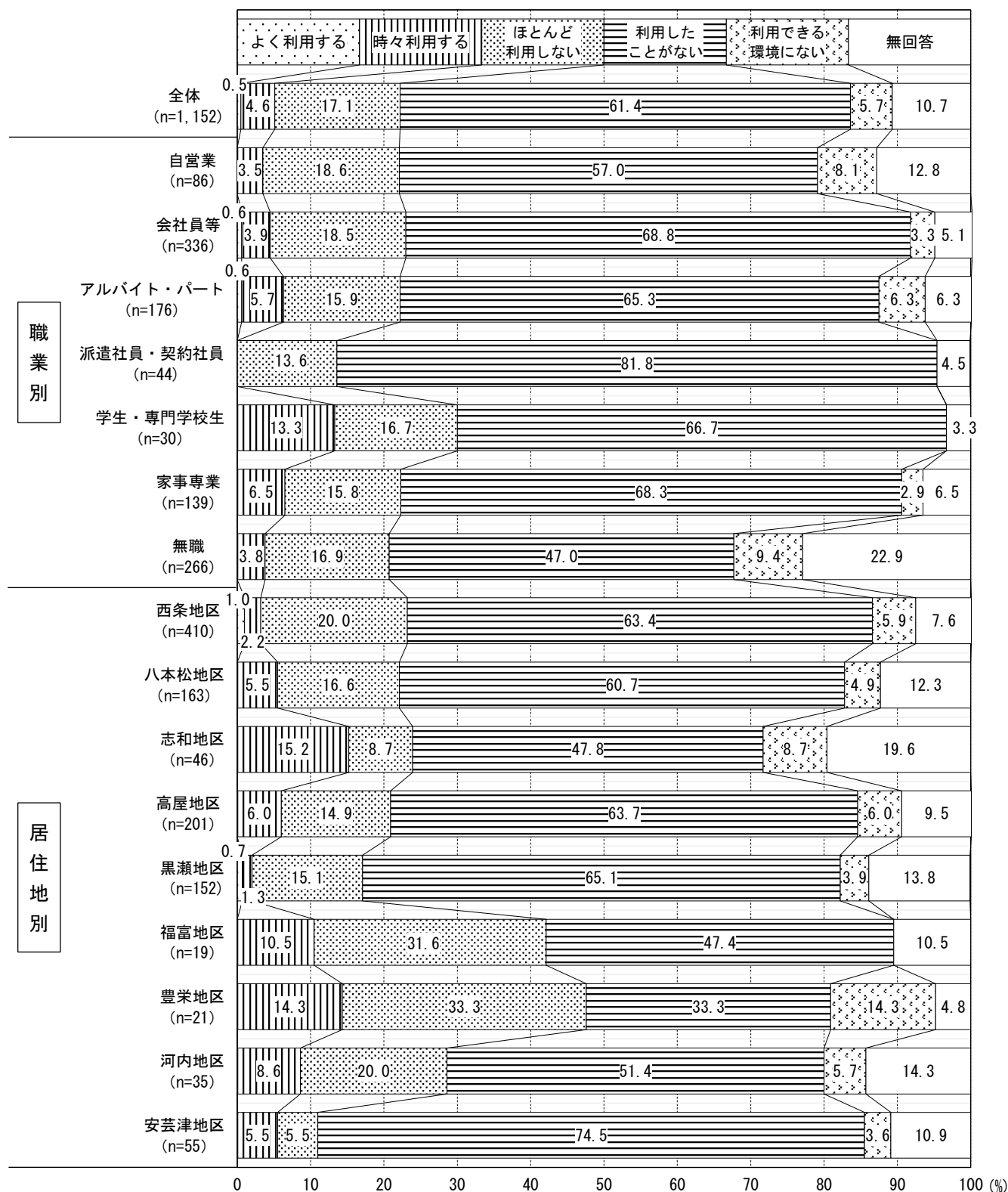


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“利用する”（「よく利用する」と「時々利用する」の合計）は『学生・専門学校生』が13.3%と8.2ポイント、『家事専業』が6.5%と1.4ポイント、『アルバイト・パート』が6.3%と1.2ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、“利用する”は『志和地区』が15.2%、『豊栄地区』が14.3%、『福富地区』が10.5%と1割を超えている。

図8-17 東広島市の広報の利用状況 ⑧FM東広島「東広島ライブ」／職業別・居住地別

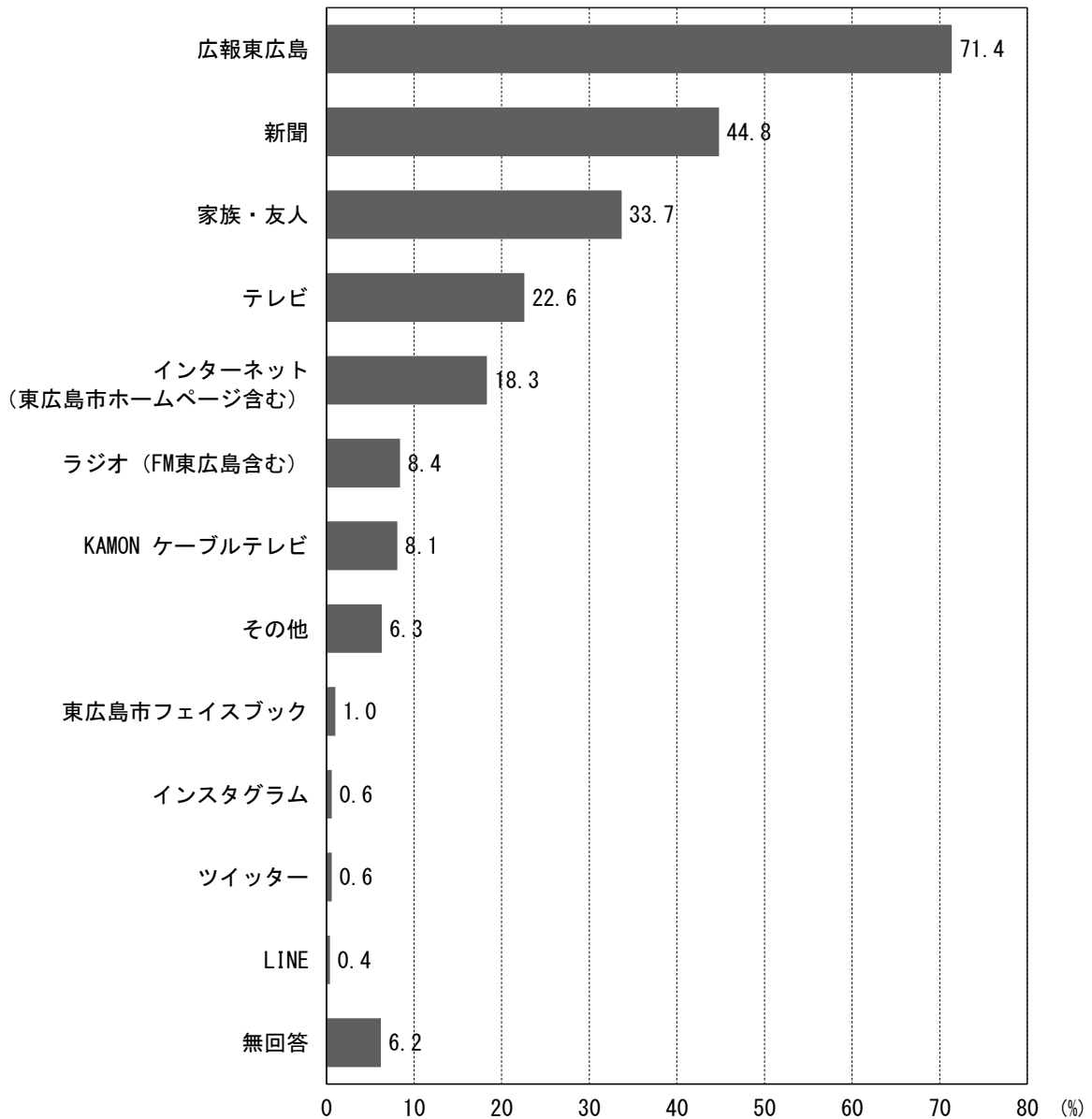


(3) 市政に関する情報等の入手元

問9 東広島市の市政に関する情報や、市が主催するイベント等の情報をどのように入手していますか。(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

市政に関する情報等の入手元については、「広報東広島」71.4%が最も高く、次いで「新聞」44.8%、「家族・友人」33.7%、「テレビ」22.6%、「インターネット（東広島市ホームページ含む）」18.3%となっている。

図9-1 市政に関する情報等の入手元<複数回答>



(n=1,152)

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女共に「広報東広島」が7割を超え、最も高い。

年齢別でも、全年齢層で「広報東広島」が最も高い。「家族・友人」は『20～29歳』が45.5%と11.8ポイント、『30～39歳』が45.1%と11.4ポイント、『40～49歳』が34.1%と0.4ポイント、それぞれ全体より高い。「インターネット(東広島市ホームページ含む)」は『30～39歳』が33.6%と15.3ポイント、『20～29歳』が29.9%と11.6ポイント、『40～49歳』が26.8%と8.5ポイント、『50～59歳』が23.8%と5.5ポイント、それぞれ全体より高い。

【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「広報東広島」は『自営業』が75.6%と4.2ポイント、『家事専業』が75.5%と4.1ポイント、それぞれ全体より高い。「新聞」は『無職』が53.4%と8.6ポイント、『家事専業』が52.5%と7.7ポイント、『自営業』が51.2%と6.4ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「KAMONケーブルテレビ」は『河内地区』が45.7%と37.6ポイント全体より高い。

表 9-1 市政に関する情報等の入手元＜複数回答＞

単位：%

		広報東広島	新聞	家族・友人	テレビ	インターネット(東広島市ホームページ含む)	ラジオ(≒東広島含む)	KAMONケーブルテレビ	東広島市フェイスブック	ツイッター	インスタグラム	LINE	その他	無回答
全体 (n=1,152)		71.4	44.8	33.7	22.6	18.3	8.4	8.1	1.0	0.6	0.6	0.4	6.3	6.2
性別	男性 (n=438)	70.8	45.0	30.4	22.6	20.3	11.4	9.6	1.4	0.2	0.0	0.5	7.3	4.6
	女性 (n=661)	71.9	44.6	36.8	21.9	17.7	6.1	7.4	0.8	0.9	0.9	0.5	5.4	6.8
年齢	18～19歳 (n=14)	64.3	35.7	42.9	21.4	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1
	20～29歳 (n=77)	48.1	24.7	45.5	33.8	29.9	5.2	2.6	1.3	3.9	3.9	1.3	7.8	7.8
	30～39歳 (n=122)	63.9	32.0	45.1	22.1	33.6	4.9	5.7	0.8	0.0	2.5	2.5	3.3	3.3
	40～49歳 (n=179)	73.2	35.2	34.1	16.2	26.8	5.6	5.6	2.2	1.7	0.0	0.0	8.4	3.4
	50～59歳 (n=202)	75.7	44.1	30.7	18.8	23.8	13.4	10.9	0.5	0.5	0.0	0.0	7.9	3.0
	60～69歳 (n=223)	78.9	55.2	32.3	21.1	12.6	10.3	11.7	0.0	0.0	0.0	0.4	5.4	5.4
	70歳以上 (n=285)	71.9	54.7	30.2	26.7	5.6	7.0	7.7	1.4	0.0	0.0	0.0	4.9	10.2
職業	自営業 (n=86)	75.6	51.2	34.9	20.9	15.1	11.6	8.1	2.3	0.0	0.0	1.2	5.8	4.7
	会社員等 (n=336)	67.6	35.7	32.4	19.0	28.3	9.2	8.3	1.2	1.2	1.2	0.3	5.7	5.7
	アルバイト・パート (n=176)	83.5	44.3	38.6	18.2	15.3	8.0	7.4	0.6	1.1	0.6	0.0	6.8	1.1
	派遣社員・契約社員 (n=44)	59.1	45.5	50.0	20.5	29.5	4.5	6.8	0.0	0.0	0.0	2.3	6.8	2.3
	学生・専門学校生 (n=30)	60.0	16.7	43.3	20.0	20.0	3.3	13.3	3.3	0.0	0.0	3.3	6.7	6.7
	家事専業 (n=139)	75.5	52.5	38.1	20.1	21.6	7.2	5.8	0.0	0.7	0.0	0.0	4.3	7.2
	無職 (n=266)	67.3	53.4	28.2	31.6	8.3	7.1	9.4	0.8	0.0	0.0	0.0	7.1	9.0
地区	西条地区 (n=410)	73.4	43.9	34.4	21.7	23.9	5.6	5.9	1.2	1.0	1.2	0.5	7.3	3.9
	八本松地区 (n=163)	71.2	46.6	30.7	22.7	19.6	6.1	6.7	0.0	0.0	0.0	0.6	4.9	8.0
	志和地区 (n=46)	73.9	50.0	23.9	17.4	8.7	6.5	15.2	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	6.5
	高屋地区 (n=201)	72.6	47.3	36.8	22.9	18.9	10.4	10.0	0.5	1.0	0.0	0.0	4.5	5.5
	黒瀬地区 (n=152)	64.5	40.1	40.8	24.3	13.8	8.6	0.0	2.0	0.7	0.7	0.7	8.6	7.2
	福富地区 (n=19)	63.2	42.1	21.1	31.6	5.3	21.1	31.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8
	豊栄地区 (n=21)	71.4	38.1	47.6	23.8	9.5	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8
	河内地区 (n=35)	65.7	40.0	11.4	20.0	5.7	20.0	45.7	2.9	0.0	0.0	0.0	5.7	11.4
	安芸津地区 (n=55)	80.0	54.5	36.4	20.0	18.2	10.9	1.8	1.8	0.0	0.0	1.8	1.8	3.6

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない(年齢別の18～19歳、居住地別の福富地区を除く)。

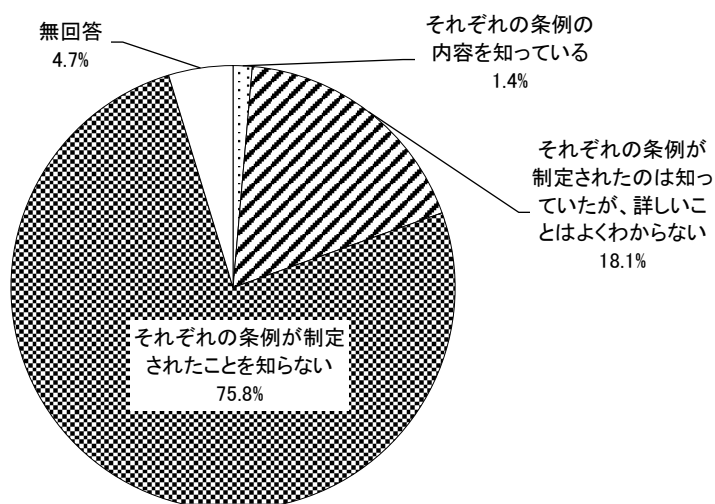
5. 障害者コミュニケーション条例と手話言語条例について

(1) 「障害者コミュニケーション条例」と「手話言語条例」の認知状況

問10 東広島市で「障害者コミュニケーション条例」と「手話言語条例」の二つの条例が制定されました。それぞれの条例の内容（障害者コミュニケーション条例は様々な障害者のコミュニケーション支援を充実させるもの、手話言語条例は手話が独自の言語であることを知ってもらうもの。）をどの程度知っていますか。（1つだけ選んで○をお付けください）

「障害者コミュニケーション条例」と「手話言語条例」の認知状況については、「それぞれの条例が制定されたことを知らない」が75.8%と最も多く、次いで「それぞれの条例が制定されたのは知っていたが、詳しいことはよくわからない」18.1%、「それぞれの条例の内容を知っている」1.4%となっている。

図10-1 「障害者コミュニケーション条例」と「手話言語条例」の認知状況 [n=1,152]



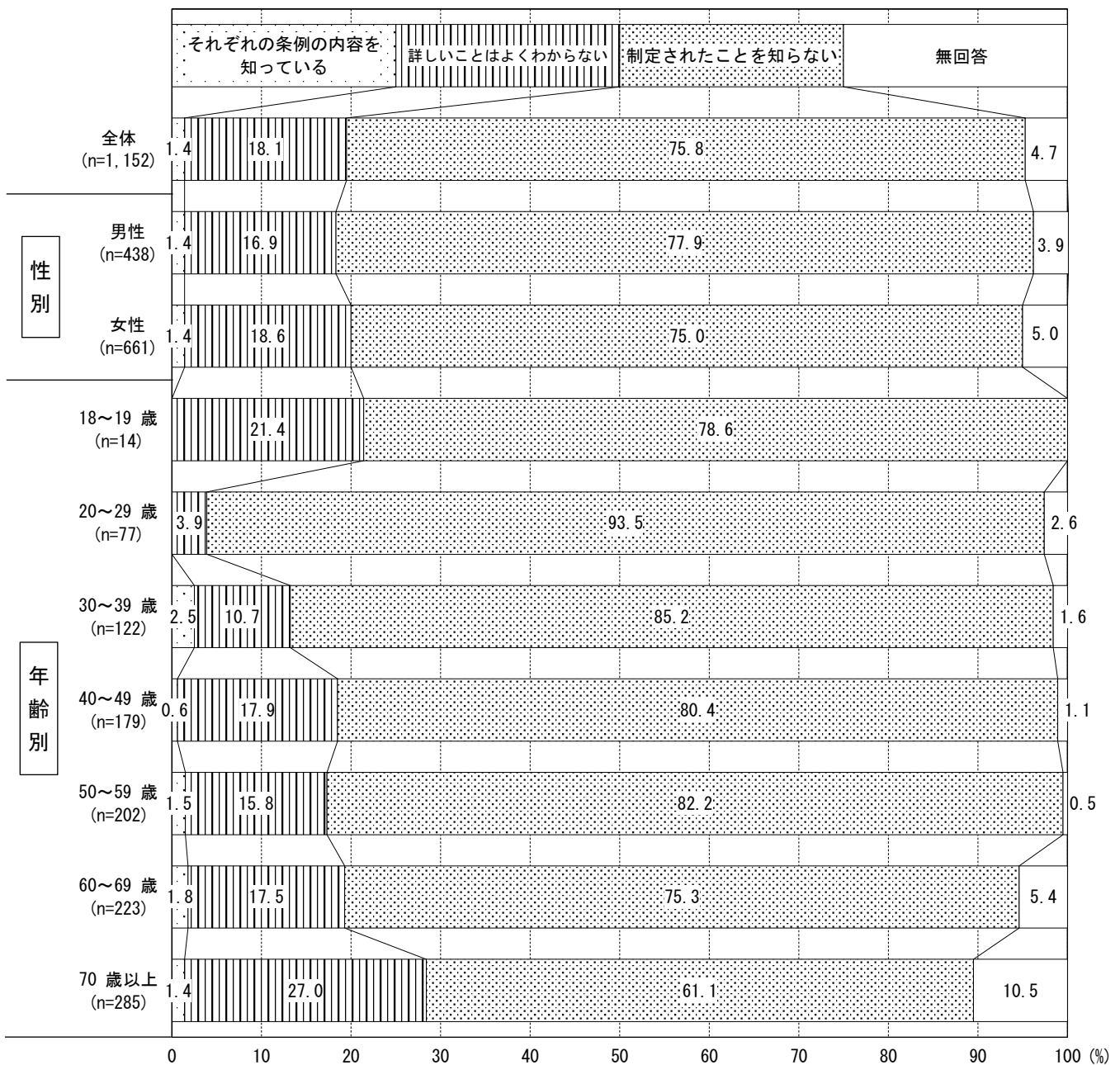
【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「それぞれの条例が制定されたことを知らない」は『男性』が『女性』より2.9ポイント高く、「それぞれの条例が制定されたのは知っていたが、詳しいことはよくわからない」は『女性』が『男性』より1.7ポイント高い。

年齢別では、「それぞれの条例の内容を知っている」は『30～39歳』が2.5%と1.1ポイント、『60～69歳』が1.8%と0.4ポイント、『50～59歳』が1.5%と0.1ポイント、それぞれ全体より高く、「それぞれの条例が制定されたのは知っていたが、詳しいことはよくわからない」は『70歳以上』が27.0%と8.9ポイント、全体より高い。

「それぞれの条例が制定されたことを知らない」は『20～29歳』が93.5%と9割強を占めており最も高い。

図10-2 「障害者コミュニケーション条例」と「手話言語条例」の認知状況／性別・年齢別

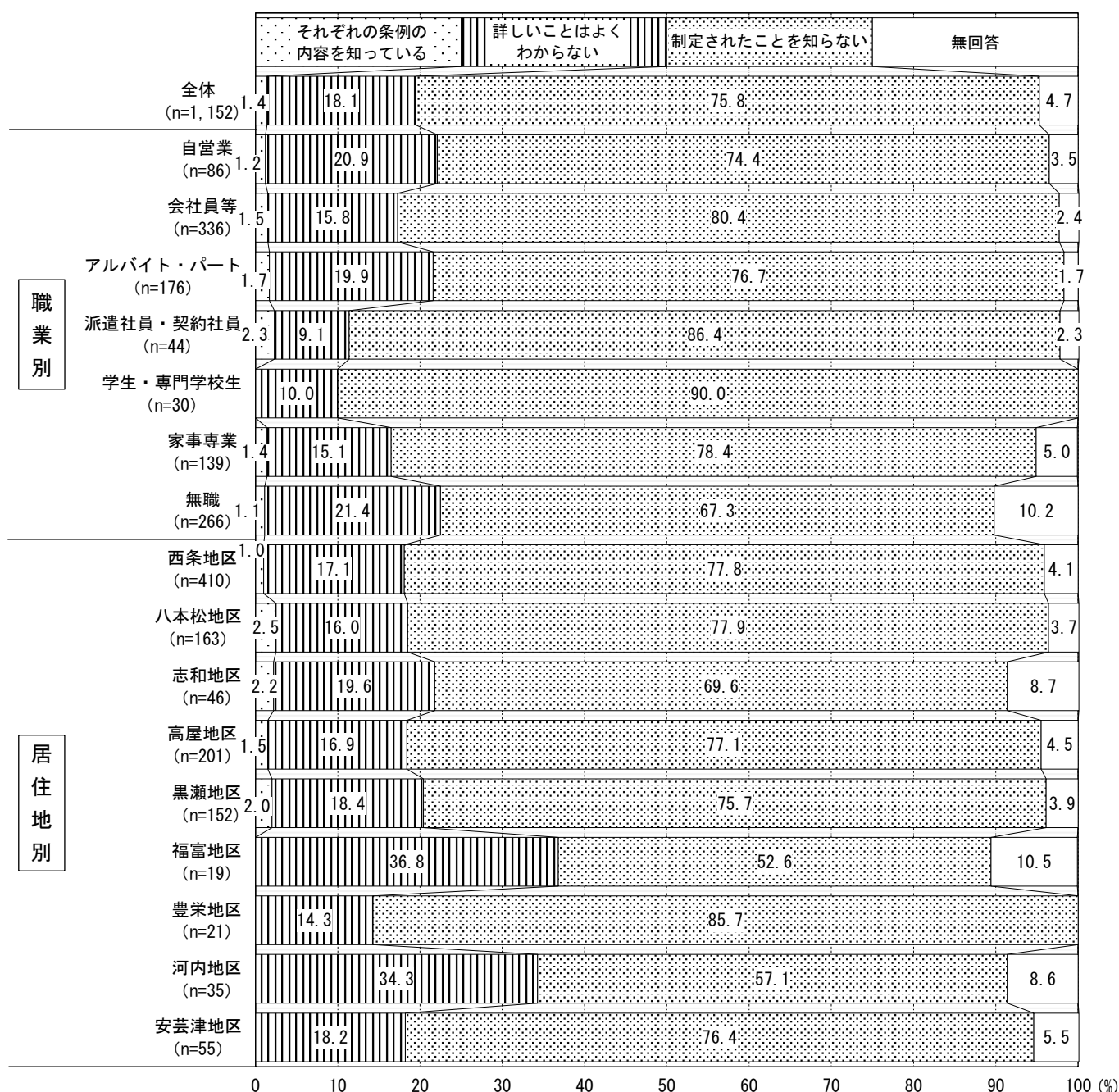


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「それぞれの条例が制定されたのは知っているが、詳しいことはよくわからない」は『無職』が21.4%と3.3ポイント、『自営業』が20.9%と2.8ポイント、『アルバイト・パート』が19.9%と1.8ポイント、それぞれ全体より高く、「それぞれの条例が制定されたことを知らない」は『会社員等』が80.4%と4.6ポイント、『家事専業』が78.4%と2.6ポイント、『アルバイト・パート』が76.7%と0.9ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「それぞれの条例の内容を知っている」は『八本松地区』が2.5%と1.1ポイント、『志和地区』が2.2%と0.8ポイント、それぞれ全体より高い。「それぞれの条例が制定されたのは知っているが、詳しいことはよくわからない」は『福富地区』が36.8%、『河内地区』が34.3%と3割を上回っている。「それぞれの条例が制定されたことを知らない」は『豊栄地区』85.7%と最も高く、8割を上回っている。

図10-3 障害者コミュニケーション条例」と「手話言語条例」の認知状況／職業別・居住地別



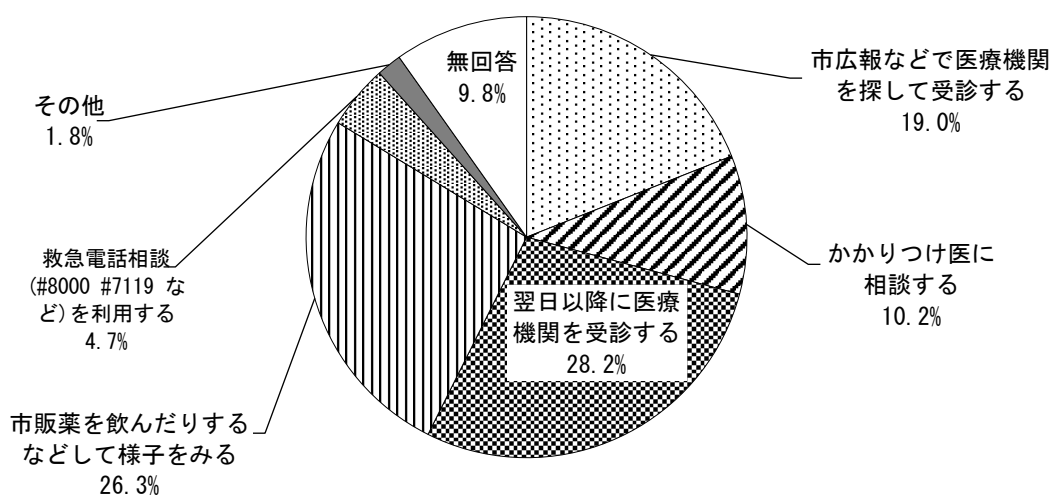
6. 医療について

(1) 休日、夜間などの体調不良への対応状況

問11 休日、夜間などに、あなたや同居の家族の体調が悪くなったとき
(ただし、軽症と思われる場合)、あなたはどのように対応していますか。
(1つだけ選んで○をお付けください)

休日、夜間などの体調不良への対応状況については、「翌日以降に医療機関を受診する」28.2%が最も高く、3割弱を占める。次いで「市販薬を飲んだりするなどして様子を見る」26.3%、「市広報などで医療機関を探して受診する」19.0%、「かかりつけ医に相談する」10.2%、「救急電話相談（#8000 #7119 など）を利用する」が4.7%となっている。

図11-1 休日、夜間などの体調不良への対応状況 [n=1,152]

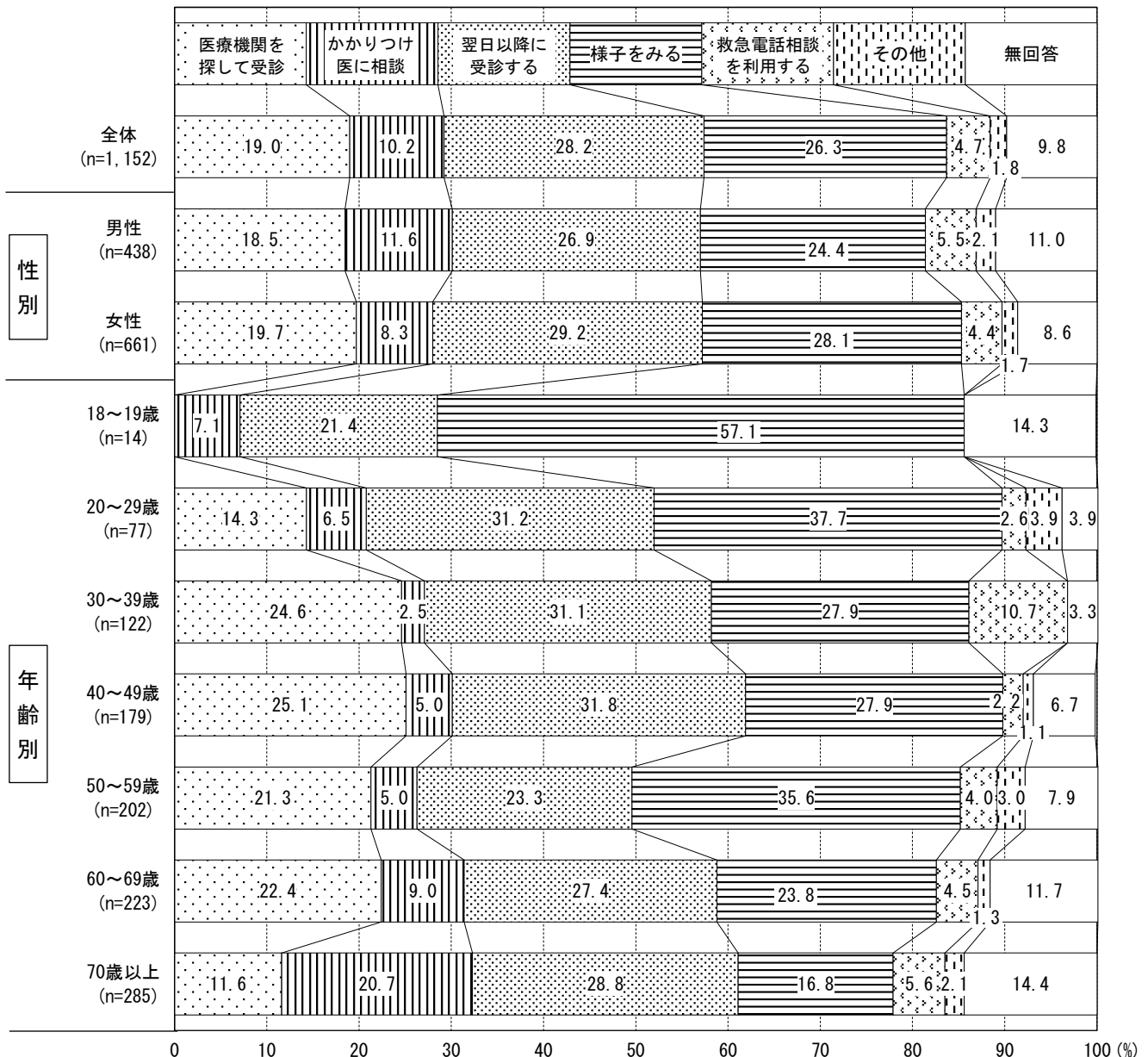


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「かかりつけ医に相談する」は『男性』が『女性』より3.3ポイント高く、「市販薬を飲んだりするなどして様子を見る」は『女性』が『男性』より3.7ポイント高い。

年齢別では、「市広報などで医療機関を探して受診する」は『40～49歳』が25.1%と6.1ポイント、『30～39歳』が24.6%と5.6ポイント、『60～69歳』が22.4%と3.4ポイント、『50～59歳』が21.3%と2.3ポイント、「かかりつけ医に相談する」は『70歳以上』が20.7%と10.5ポイント、それぞれ全体より高い。「翌日以降に医療機関を受診する」は『40～49歳』が31.8%と3.6ポイント、『20～29歳』が31.2%と3.0ポイント、『30～39歳』が31.1%と2.9ポイント、『70歳以上』が28.8%と0.6ポイント、それぞれ全体より高い。「市販薬を飲んだりするなどして様子を見る」は『20～29歳』が37.7%と11.4ポイント、『50～59歳』が35.6%と9.3ポイント、『30～39歳』『40～49歳』が27.9%と1.6ポイント、それぞれ全体より高い。「救急電話相談（#8000※ #7119※1 など）を利用する」は『30～39歳』が10.7%と6.0ポイント、『70歳以上』が5.6%と0.9ポイント、それぞれ全体より高い。

図11-2 休日、夜間などの体調不良への対応状況／性別・年齢別

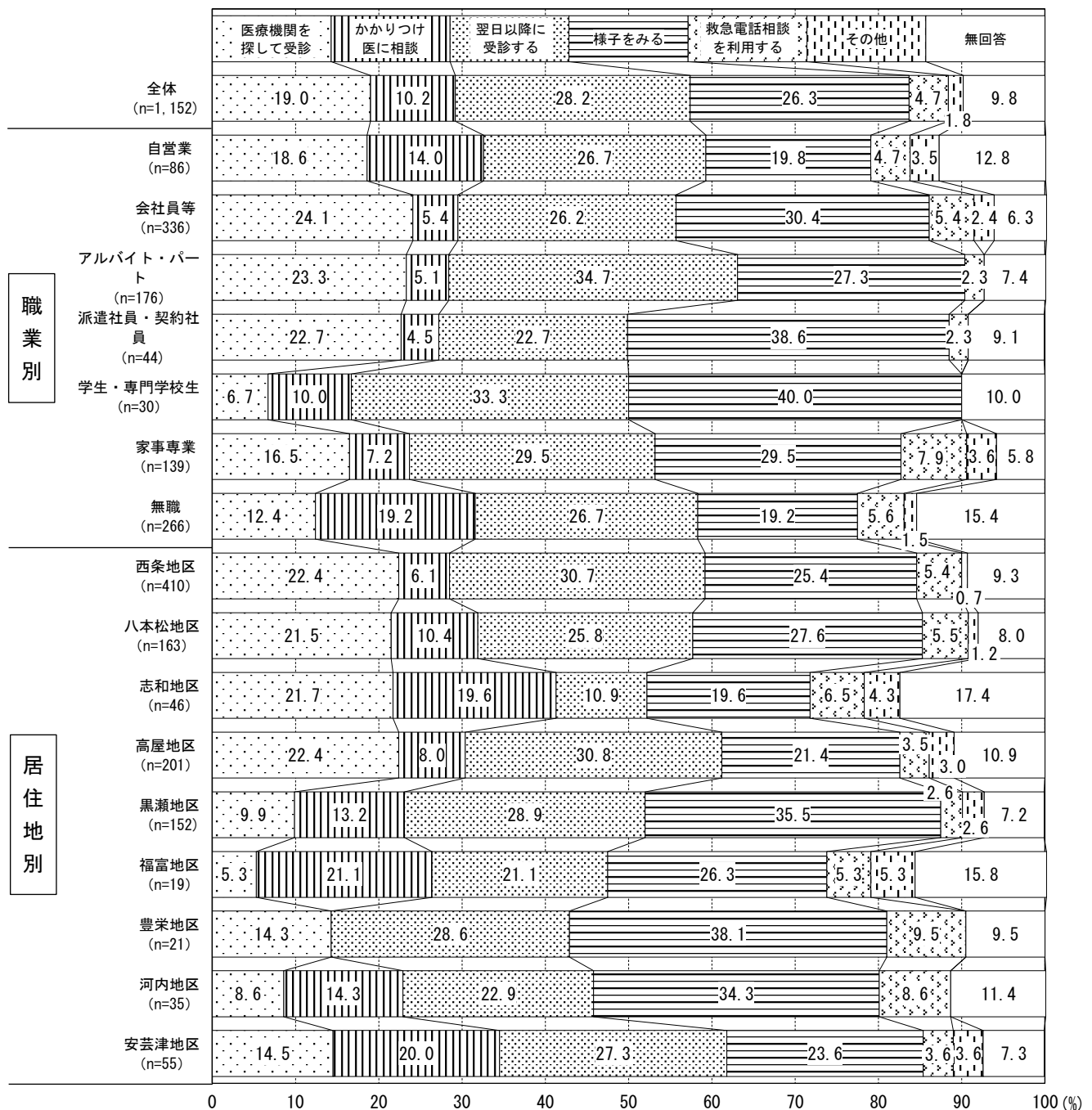


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「かかりつけ医に相談する」は『無職』が19.2%と9.0ポイント、『自営業』が14.0%と3.8ポイント、それぞれ全体より高い。『アルバイト・パート』は「翌日以降に医療機関を受診する」が34.7%と6.5ポイント、「市広報などで医療機関を探して受診する」が23.3%と4.3ポイント、「市販薬を飲んだりするなどして様子をみる」が27.3%と1.0ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「市広報などで医療機関を探して受診する」は『西条地区』『高屋地区』が3.4ポイント、『志和地区』が2.7ポイント、『八本松地区』が2.5ポイント、「かかりつけ医に相談する」は『福富地区』が10.9ポイント、『安芸津地区』が9.8ポイント、『志和地区』が9.4ポイント、『河内地区』が4.1ポイント、『黒瀬地区』が3.0ポイント、『八本松地区』が0.2ポイント、それぞれ全体より高い。

図11-3 休日、夜間などの体調不良への対応状況／職業別・居住地別



(2) 休日、夜間に医療機関を受診する場合の症状

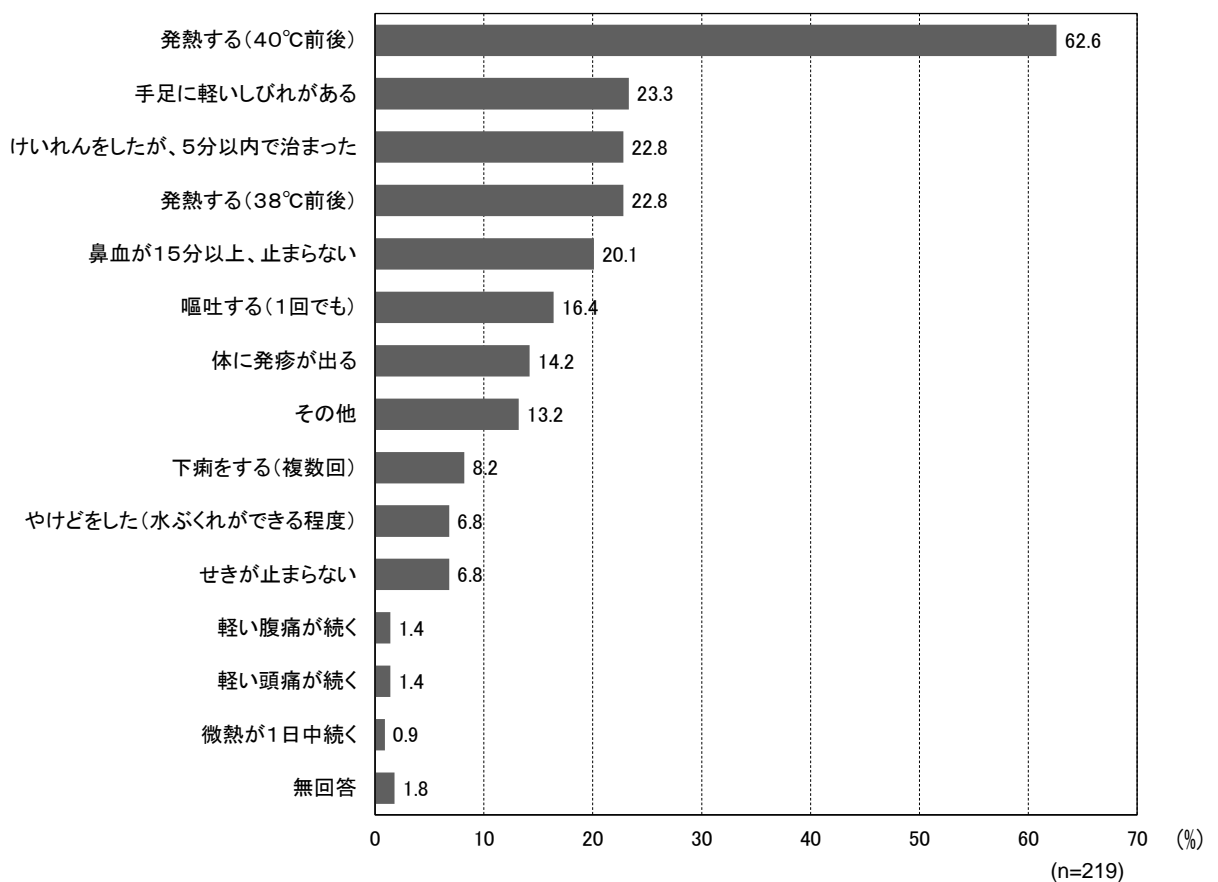
問11 で「1 市広報などで医療機関を探して受診する」とお答えの方におたずねします。

問11-1 休日や夜間であっても医療機関を受診するのは、どのような症状の時ですか。

(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

問11で、「1 市広報などで医療機関を探して受診する」の回答者(該当件数219件)に休日、夜間に医療機関を受診する場合の症状についてたずねると、「発熱する(40℃前後)」62.6%が最も高く、6割強を占める。次いで「手足に軽いしびれがある」23.3%、「けいれんをしたが、5分以内で治まった」「発熱する(38℃前後)」が共に22.8%、「鼻血が15分以上、止まらない」20.1%となっており、それぞれ2割強を占めている。

図11-4 休日、夜間に医療機関を受診する場合の症状<複数回答>



【属性別の傾向】

「発熱する(40℃前後)」は、年齢別の『40～49歳』が73.3%と10.7ポイント、『30～39歳』が70.0%と7.4ポイント、『60～69歳』が64.0%と1.4ポイント、職業別の『アルバイト・パート』が85.4%と22.8ポイント、『派遣社員・契約社員』が80.0%と17.4ポイント、居住地別の『志和地区』が80.0%と17.4ポイント、『安芸津地区』が75.0%と12.4ポイント、『八本松地区』が68.6%と6.0ポイント、『黒瀬地区』が66.7%と4.1ポイント、それぞれ全体より高い。

「手足に軽いしびれがある」は、年齢別の『60～69歳』が42.0%と18.7ポイント、職業別の『学生・専門学校生』が50.0%と26.7ポイント、『無職』が36.4%と13.1ポイント、『派遣社員・契約社員』が30.0%と6.7ポイント、『アルバイト・パート』が26.8%と3.5ポイント、『家事専業』が26.1%と2.8ポイント、居住地別の『志和地区』が70.0%と46.7ポイント、『高屋地区』が33.3%と10.0ポイント、『黒瀬地区』が26.7%と3.4ポイント、それぞれ全体より高い。

表 11-1 休日、夜間に医療機関を受診する場合の症状<複数回答>

単位：%

		発熱する(40℃前後)	手足に軽いしびれがある	発熱する(38.0℃前後)	けいれんをしましたが、5分以内で治まった	鼻血が15分以上止まらない	嘔吐する(1回でも)	体に発疹が出る	下痢をする(複数回)	せきが止まらない	やけどをした(水ぶくれができる程度)	軽い頭痛が続く	軽い腹痛が続く	微熱が1日中続く	その他	無回答
全体(n=219)		62.6	23.3	22.8	22.8	20.1	16.4	14.2	8.2	6.8	6.8	1.4	1.4	0.9	13.2	1.8
性別	男性(n=81)	58.0	25.9	25.9	25.9	18.5	17.3	9.9	13.6	8.6	6.2	2.5	2.5	0.0	14.8	0.0
	女性(n=130)	63.8	23.1	22.3	22.3	20.8	16.2	16.9	5.4	5.4	6.9	0.8	0.8	1.5	13.1	2.3
年齢	18～19歳(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳(n=11)	27.3	9.1	63.6	45.5	18.2	27.3	27.3	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
	30～39歳(n=30)	70.0	13.3	20.0	36.7	20.0	20.0	10.0	6.7	6.7	10.0	0.0	0.0	0.0	6.7	3.3
	40～49歳(n=45)	73.3	17.8	13.3	20.0	13.3	11.1	15.6	11.1	4.4	4.4	0.0	0.0	2.2	15.6	2.2
	50～59歳(n=43)	60.5	23.3	30.2	25.6	18.6	14.0	23.3	11.6	4.7	7.0	0.0	0.0	0.0	9.3	2.3
	60～69歳(n=50)	64.0	42.0	16.0	20.0	26.0	16.0	10.0	4.0	4.0	4.0	0.0	4.0	0.0	18.0	0.0
	70歳以上(n=33)	48.5	21.2	30.3	12.1	24.2	21.2	6.1	12.1	18.2	9.1	9.1	3.0	3.0	18.2	0.0
職業	自営業(n=16)	50.0	6.3	12.5	31.3	25.0	31.3	18.8	6.3	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
	会社員等(n=81)	58.0	18.5	33.3	27.2	14.8	16.0	14.8	11.1	3.7	2.5	0.0	0.0	1.2	11.1	2.5
	アルバイト・パート(n=41)	85.4	26.8	9.8	26.8	19.5	12.2	22.0	7.3	4.9	17.1	0.0	0.0	0.0	4.9	0.0
	派遣社員・契約社員(n=10)	80.0	30.0	0.0	10.0	0.0	30.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	学生・専門学校生(n=2)	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家事専業(n=23)	52.2	26.1	21.7	26.1	39.1	17.4	4.3	4.3	17.4	4.3	8.7	4.3	4.3	21.7	0.0
	無職(n=33)	54.5	36.4	24.2	15.2	27.3	9.1	9.1	6.1	3.0	3.0	3.0	3.0	0.0	24.2	3.0
	福富地区(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
居住地	西条地区(n=92)	58.7	17.4	27.2	26.1	18.5	15.2	18.5	8.7	3.3	8.7	1.1	1.1	0.0	13.0	2.2
	八本松地区(n=35)	68.6	22.9	31.4	25.7	25.7	20.0	11.4	5.7	11.4	8.6	2.9	2.9	2.9	8.6	0.0
	志和地区(n=10)	80.0	70.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0
	高屋地区(n=45)	62.2	33.3	17.8	24.4	26.7	8.9	11.1	4.4	8.9	4.4	0.0	0.0	0.0	13.3	2.2
	黒瀬地区(n=15)	66.7	26.7	13.3	20.0	6.7	20.0	6.7	20.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0
	福富地区(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	豊栄地区(n=3)	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	河内地区(n=3)	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	安芸津地区(n=8)	75.0	12.5	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	37.5	0.0

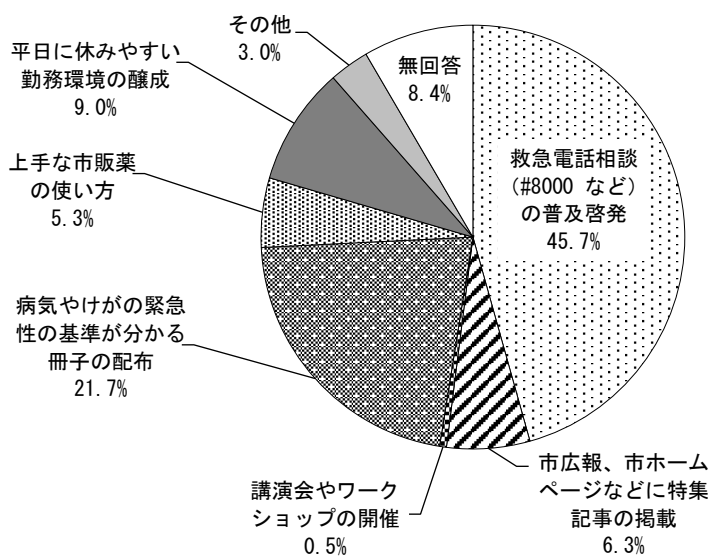
※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が10未満はしない(年齢別の18～19歳、職業別の学生・専門学校生、居住地別の福富地区、豊栄地区、河内地区、安芸津地区を除く)。

(3) 適正受診の促進を図るため必要な取組み

問12 近年、いわゆる「コンビニ受診」（休日や夜間に、緊急性のない軽症患者が救急外来等を受診すること）が社会問題となっていますが、適正受診の促進を図るため、どのような取組みが必要だと思いますか。（1つだけ選んで○をお付けください）

適正受診の促進を図るため必要な取組みについては、「救急電話相談（#8000 など）の普及啓発」45.7%が最も高く、次いで「病気やけがの緊急性の基準が分かる冊子の配布」21.7%が約2割を占める。「市広報、市ホームページなどに特集記事の掲載」は6.3%、「講演会やワークショップの開催」0.5%であった。

図12-1 適正受診の促進を図るため必要な取組み [n=1,152]

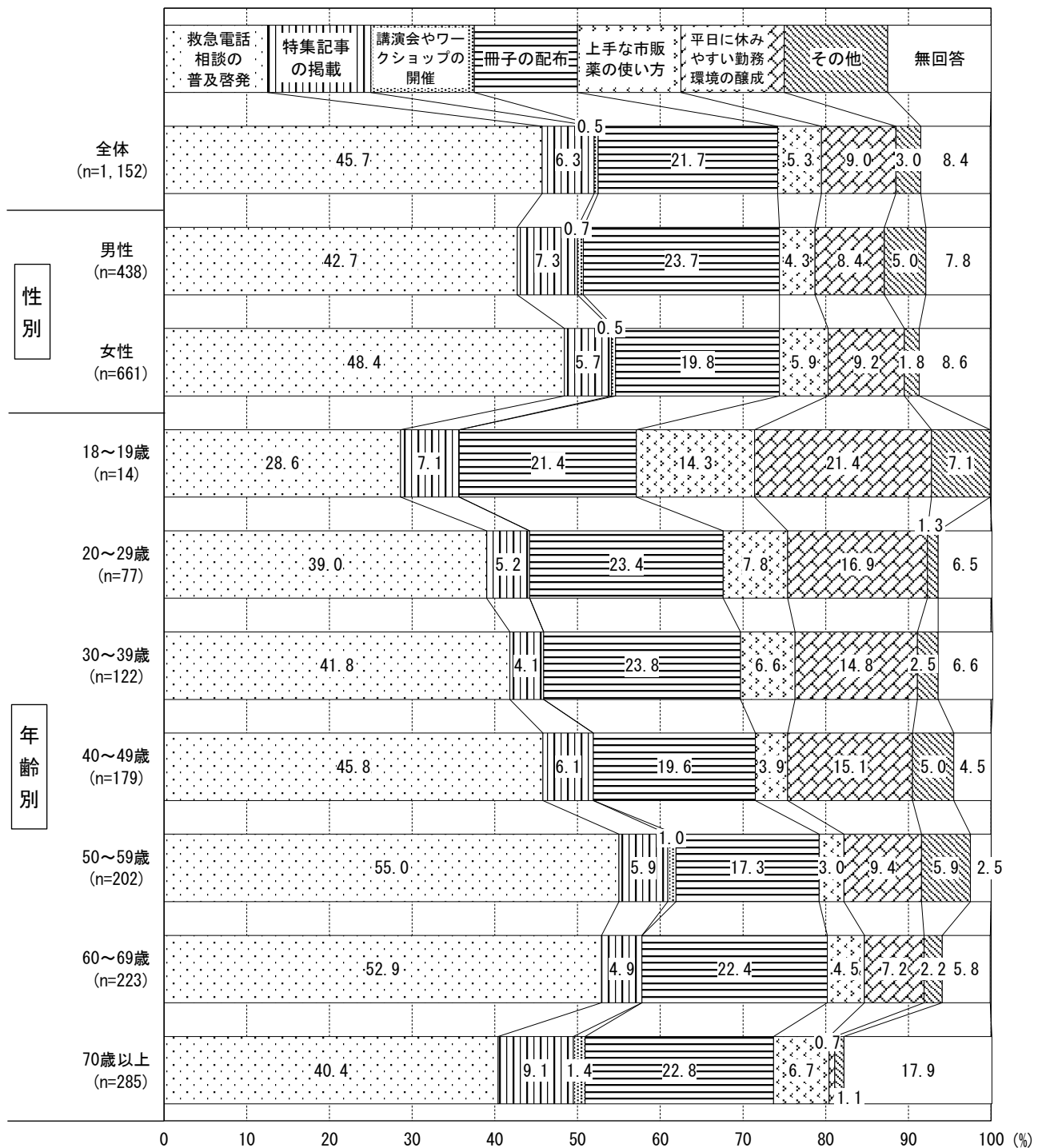


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「救急電話相談(#8000 など)の普及啓発」は『女性』が『男性』より5.7ポイント高い。

年齢別では、「救急電話相談(#8000 など)の普及啓発」は『20～29歳』が39.0%と6.7ポイント、「病気やけがの緊急の基準が分かる冊子の配布」は『50～59歳』が17.3%と4.4ポイント、『40～49歳』が19.6%と2.1ポイント、それぞれ全体より低くなっている。

図12-2 適正受診の促進を図るため必要な取組み／性別・年齢別

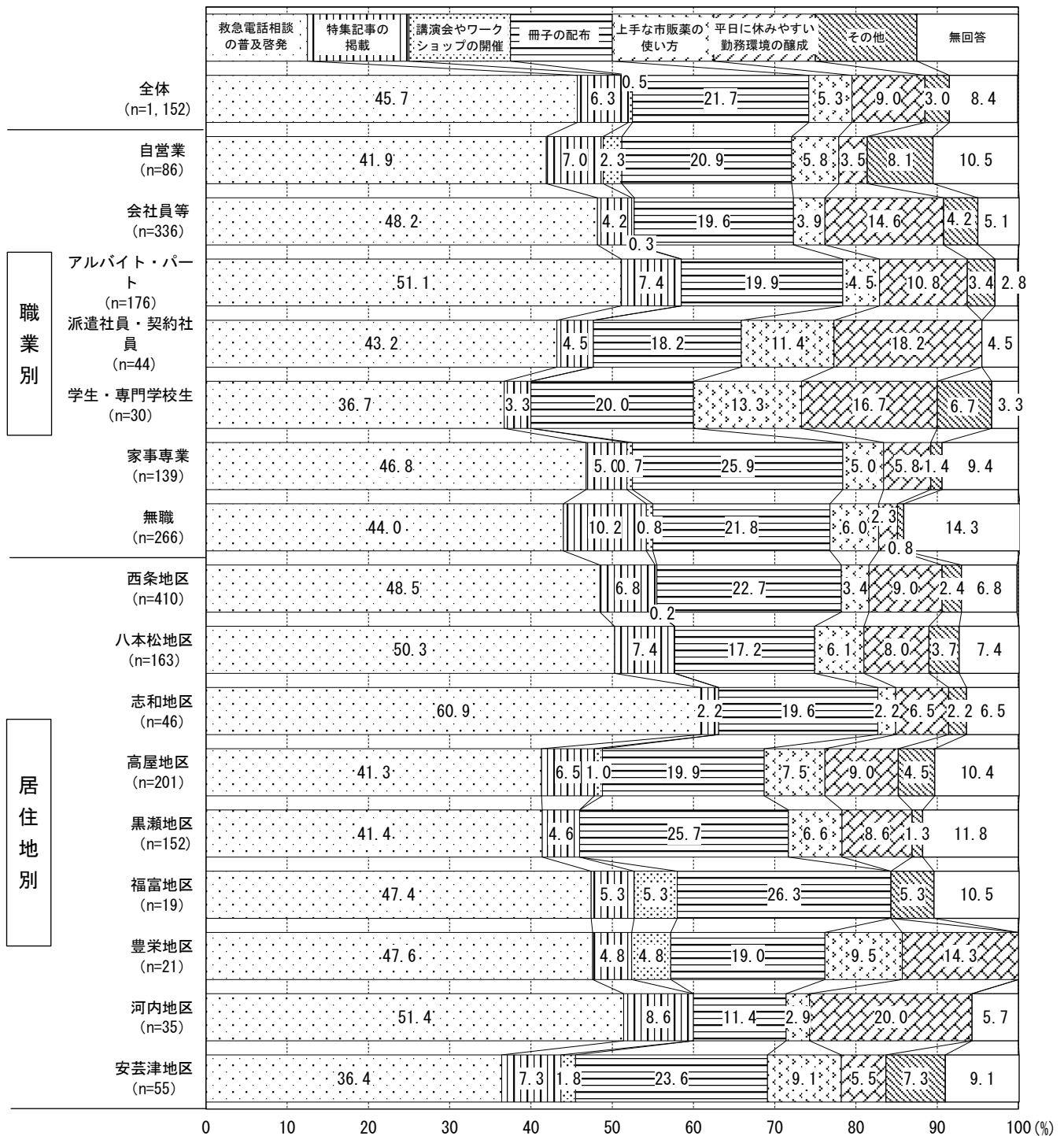


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「救急電話相談(#8000 など)の普及啓発」は『アルバイト・パート』が51.1%と5.4ポイント、『会社員等』が48.2%と2.5ポイント、『家事専業』が46.8%と1.1ポイント、それぞれ全体より高く、「病気やけがの緊急性の基準が分かる冊子の配布」は『家事専業』が25.9%と4.2ポイント、『無職』が21.8%と0.1ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「救急電話相談(#8000 など)の普及啓発」は『志和地区』が60.9%と15.2ポイント、『河内地区』が51.4%と5.7ポイント、『八本松地区』が50.3%と4.6ポイント、それぞれ全体より高い一方、『安芸津地区』は36.4%と9.3ポイント全体より低くなっている。

図12-3 適正受診の促進を図るため必要な取組み／職業別・居住地別

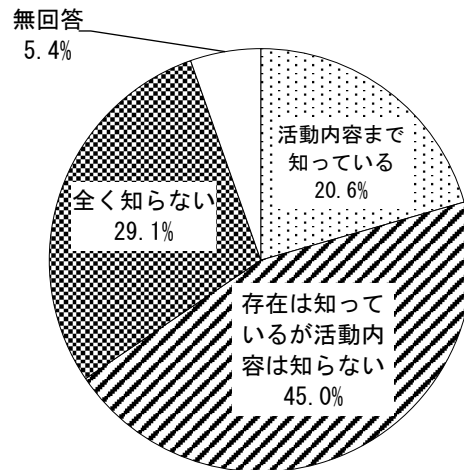


7. 住民自治協議会について

問13 あなたは、各地域のまちづくりに取り組んでおられる住民自治協議会を知っていますか。
(1つだけ選んで○をお付けください)

住民自治協議会については、「存在は知っているが活動内容は知らない」45.0%が最も高く、次いで「全く知らない」29.1%、「活動内容まで知っている」20.6%であった。

図13-1 住民自治協議会について [n=1,152]

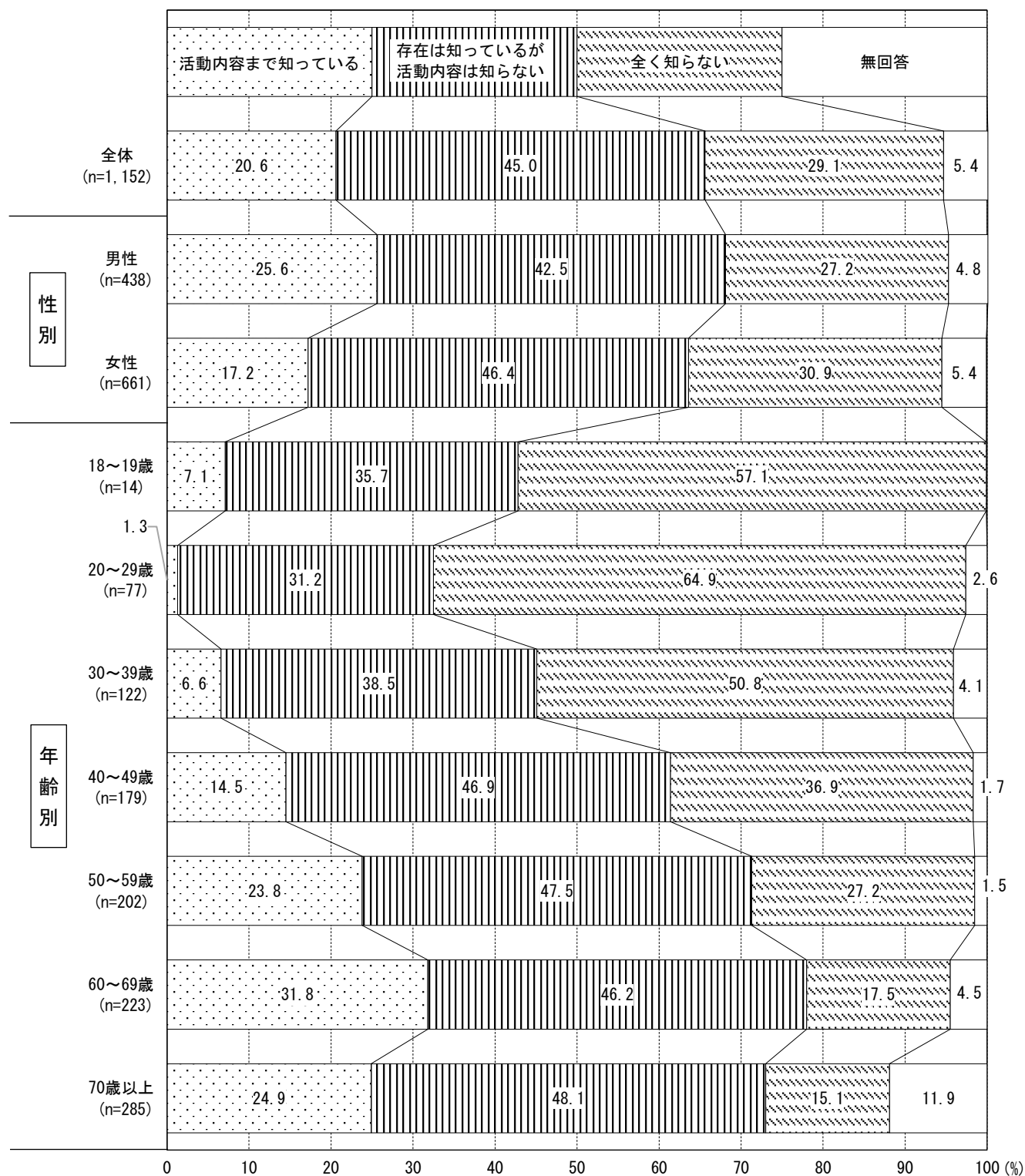


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「活動内容まで知っている」は『男性』が『女性』より8.4ポイント高い。

年齢別では、「活動内容まで知っている」は『60～69歳』が31.8%と11.2ポイント、『70歳以上』が24.9%と4.3ポイント、『50～59歳』が23.8%と3.2ポイント、それぞれ全体より高い。『20～29歳』は「全く知らない」が64.9%と6割強を占める。

図13-2 住民自治協議会について／性別・年齢別

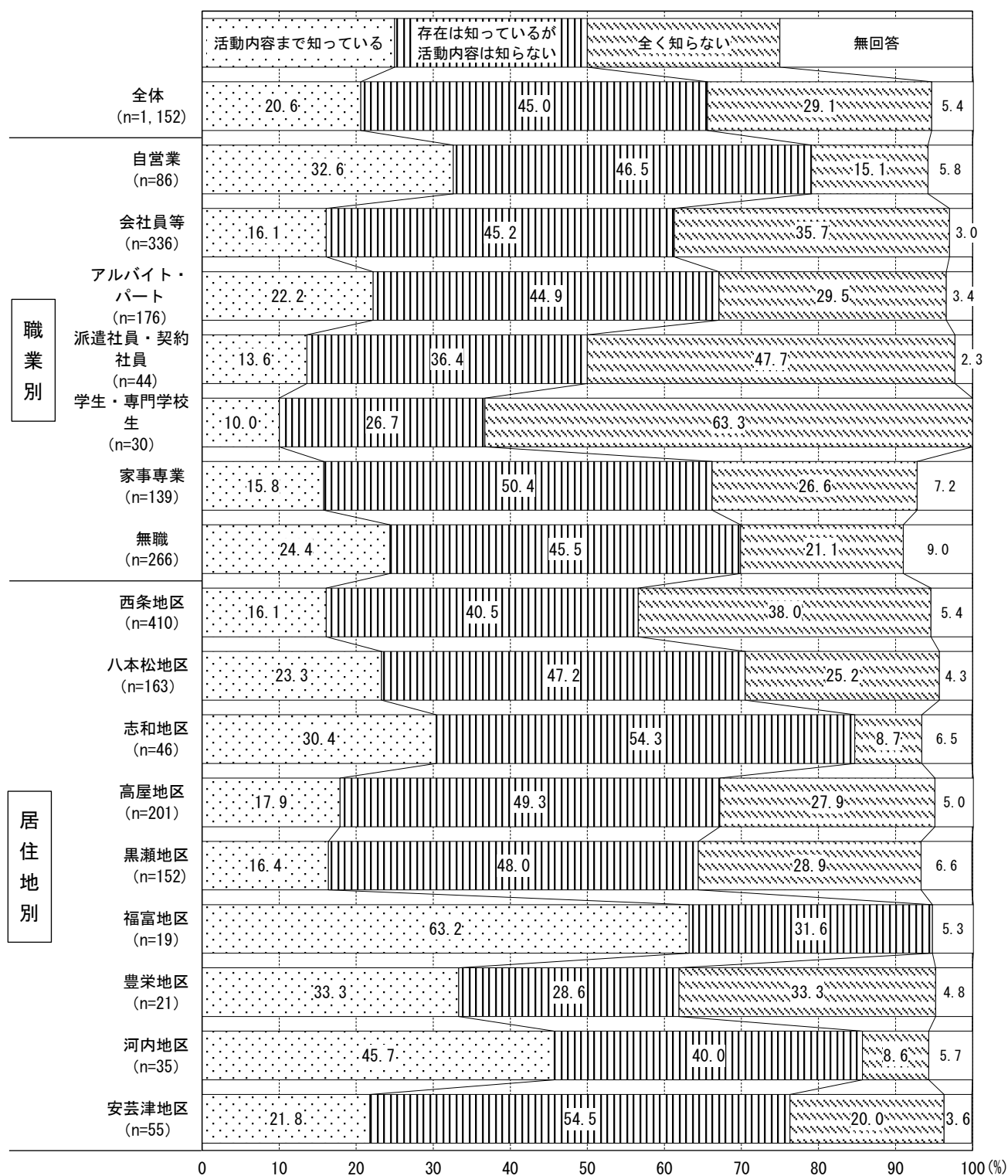


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「活動内容まで知っている」は『自営業』が32.6%と12.0ポイント、『無職』が24.4%と3.8ポイント、『アルバイト・パート』が22.2%と1.6ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「活動内容まで知っている」は『福富地区』が63.2%と42.6ポイント、『河内地区』が45.7%と25.1ポイント、それぞれ全体より高い一方、「全く知らない」は『西条地区』が38.0%と8.9ポイント全体より高くなっている。

図13-3 住民自治協議会について／職業別・居住地別



8. 地域コミュニティ活動の参加状況について

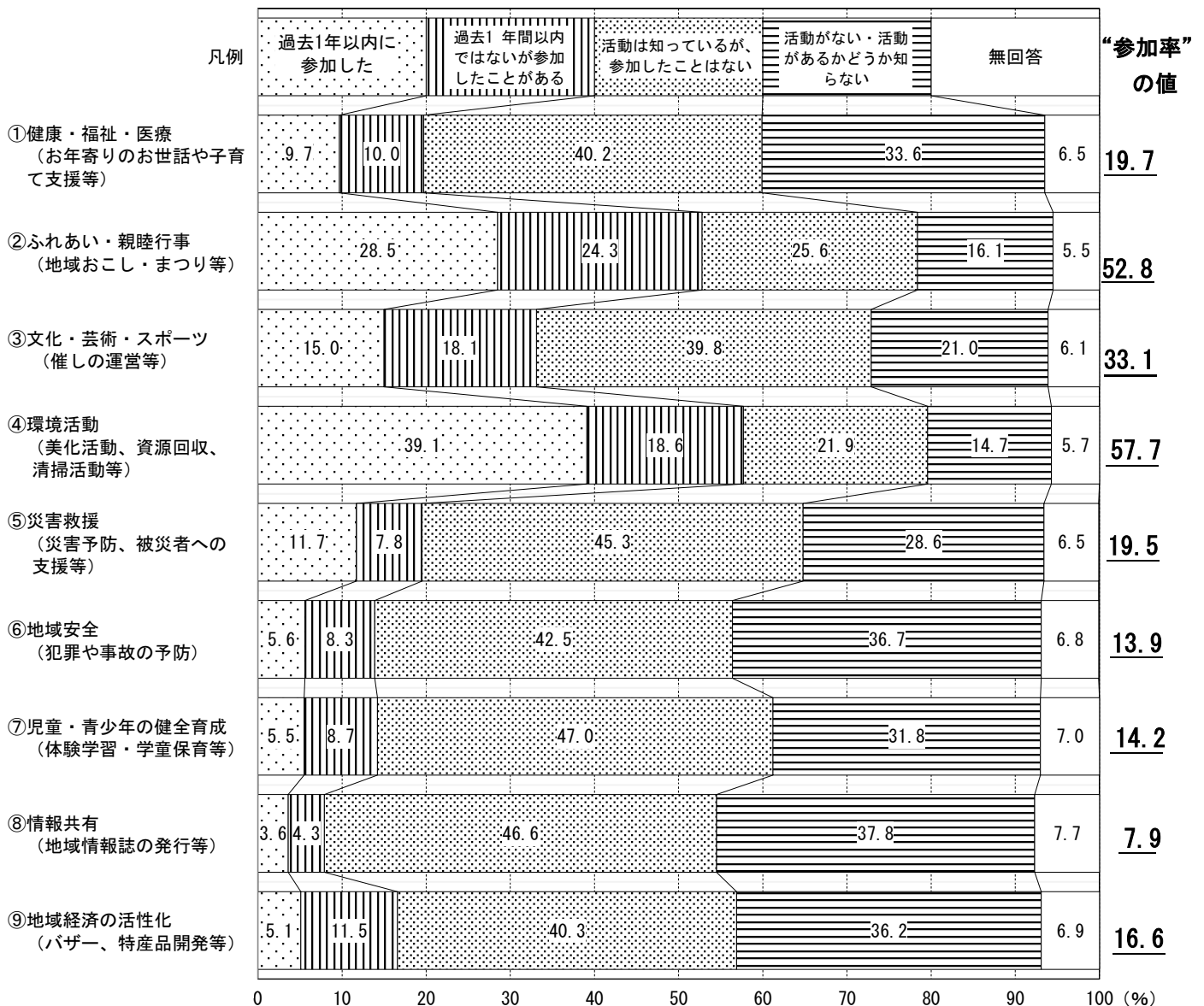
(1) 地域活動の参加状況

問14 あなたの地域コミュニティ活動について、項目ごとに参加状況を教えてください。
(それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください)

地域コミュニティ活動については、「過去1年間以内に参加した」は『④環境活動（美化活動、資源回収、清掃活動等）』が39.1%で最も高く、次いで『②ふれあい・親睦行事（地域おこし・まつり等）』で28.5%の参加となっている。

“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）が高いものでは、『④環境活動（美化活動、資源回収、清掃活動等）』57.7%、『②ふれあい・親睦行事（地域おこし・まつり等）』52.8%で5割を超えており、『③文化・芸術・スポーツ（催しの運営等）』33.1%、『①健康・福祉・医療（お年寄りのお世話や子育て支援等）』19.7%と続いている。

図14-1 地域活動の参加状況 [n=1,152]



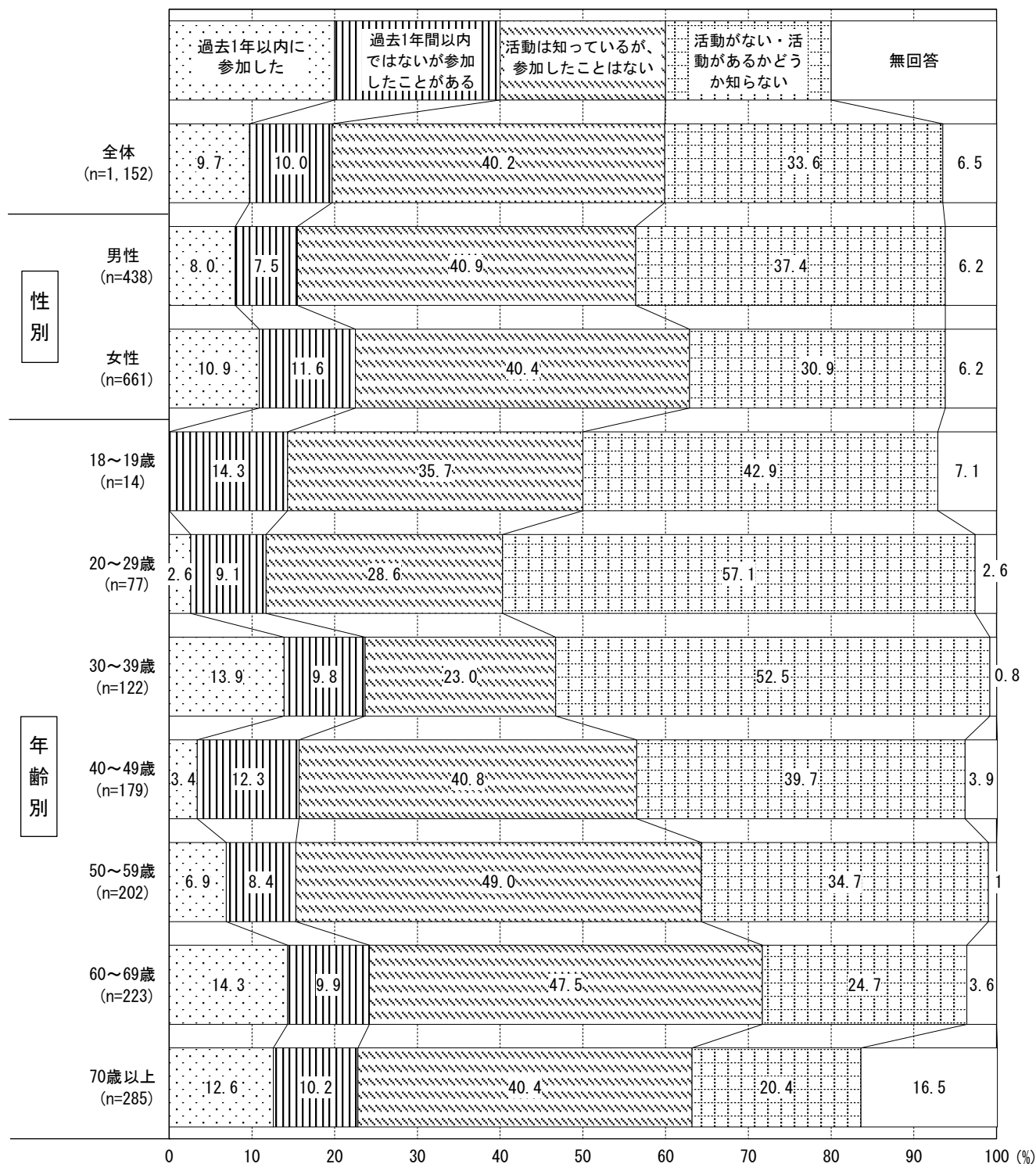
①健康・福祉・医療(お年寄りのお世話や子育て支援等)

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「過去1年間以内に参加した」は『女性』が『男性』より2.9ポイント高く、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）は『女性』22.5%、『男性』15.5%と『女性』が『男性』より7.0ポイント高い。

年齢別では、「過去1年間以内に参加した」は『60～69歳』が14.3%と4.6ポイント全体より高く、“参加率”についても『60～69歳』が24.2%と全年齢層の中で最も高い。

図 14-2 地域活動の参加状況 ①健康・福祉・医療／性別・年齢別

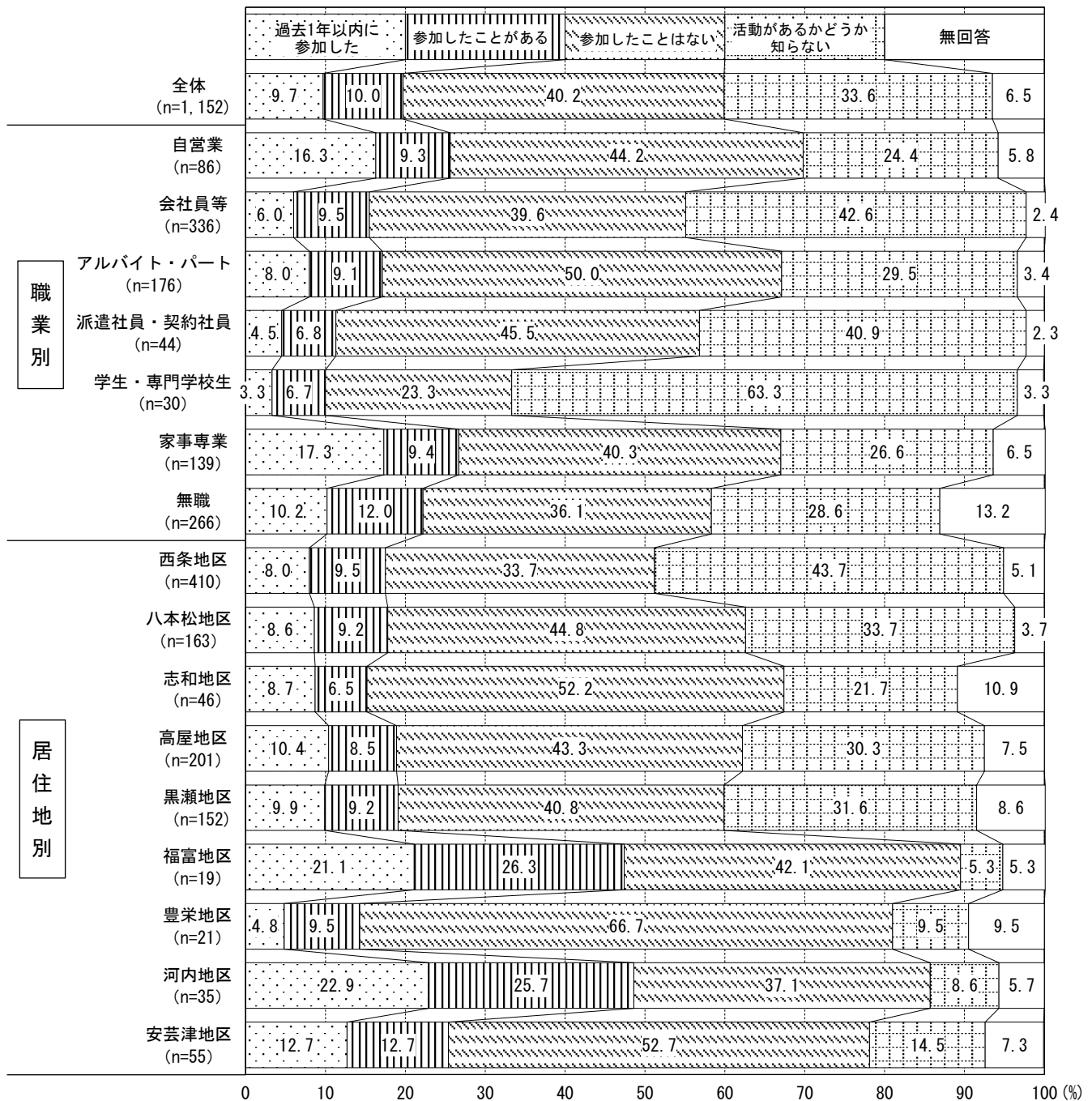


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「過去1年間以内に参加した」は『家事専業』が17.3%と7.6ポイント、『自営業』が16.3%と6.6ポイント、『無職』が10.2%と0.5ポイント、それぞれ全体より高い。“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）についても、『家事専業』が26.7%と7.0ポイント、『自営業』が25.6%と5.9ポイント、『無職』が22.2%と2.5ポイント、全体より高くなっている。

居住地別では、「過去1年間以内に参加した」は『河内地区』が22.9%と13.2ポイント、『福富地区』が21.1%と11.4ポイント、『安芸津地区』が12.7%と3.0ポイント、『高屋地区』が10.4%と0.7ポイント、『黒瀬地区』が9.9%と0.2ポイント、それぞれ全体より高い。“参加率”については、『河内地区』が48.6%と28.9ポイント、『福富地区』が47.4%と27.7ポイント、『安芸津地区』が25.4%と5.7ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図14-3 地域活動の参加状況 ①健康・福祉・医療／職業別・居住地別



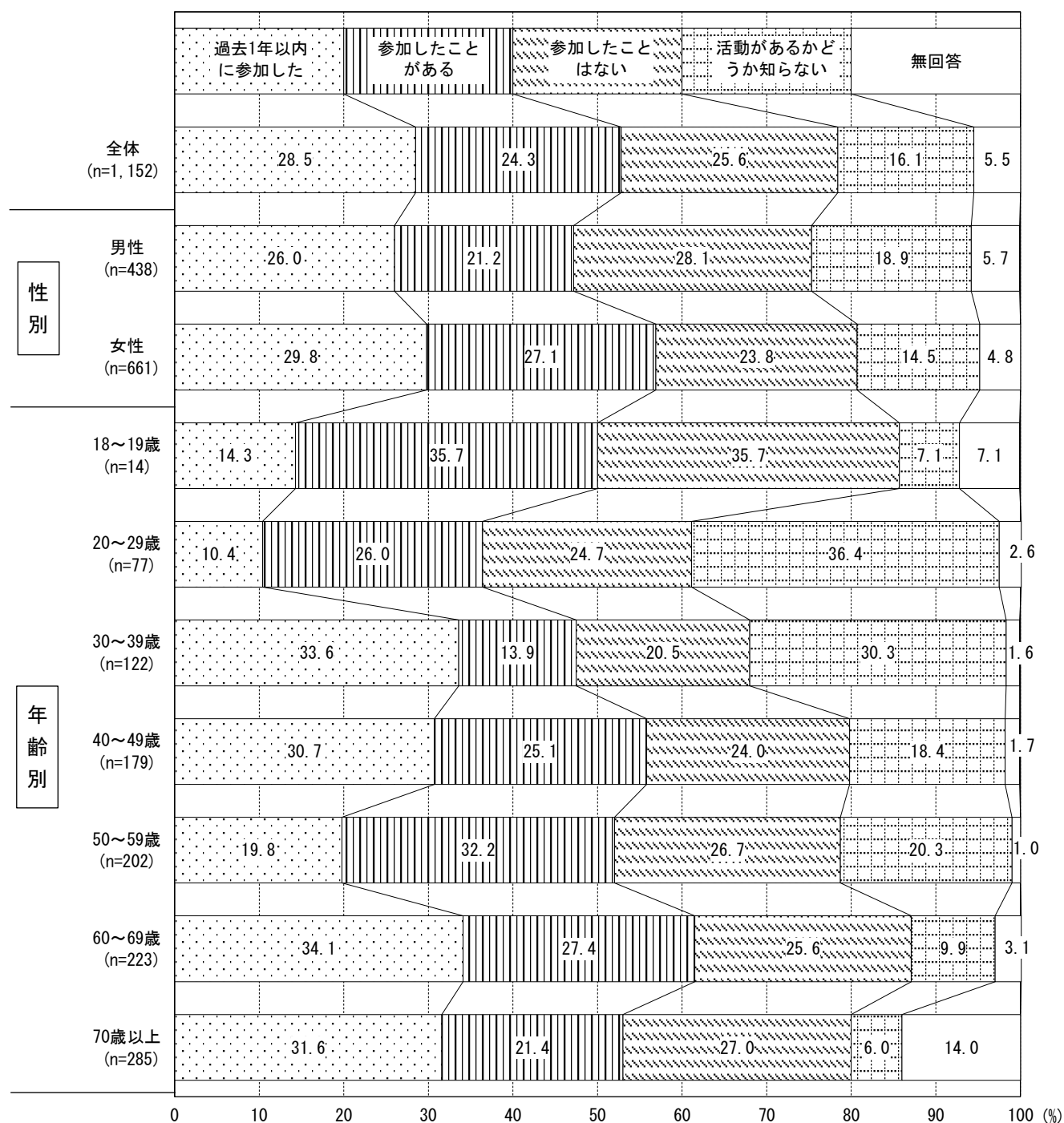
②ふれあい・親睦行事(地域おこし・まつり等)

【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、「過去1年間以内ではないが参加したことがある」は『女性』が『男性』より3.8ポイント高く、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）は『女性』56.9%、『男性』47.2%と『女性』が『男性』より9.7ポイント高い。

年齢別では、「過去1年間以内に参加した」は『60～69歳』が34.1%と5.6ポイント全体より高い一方、『20～29歳』は10.4%と18.1ポイント全体より低い。“参加率”については『60～69歳』が61.5%と6割を超えているのに対し、『20～29歳』は36.4%と全年齢層の中で最も低い。

図14-4 地域活動の参加状況 ②ふれあい・親睦行事／性別・年齢別

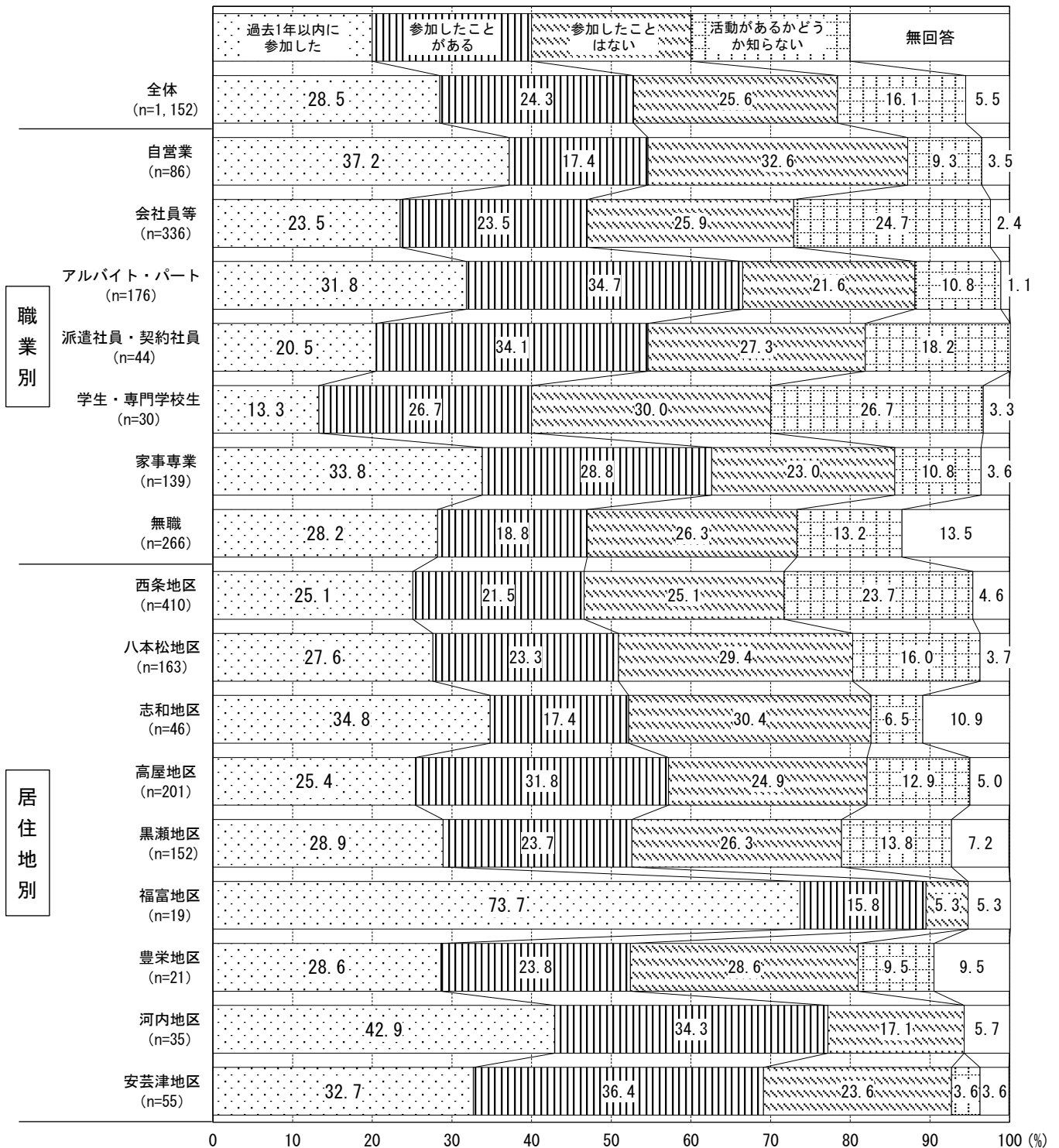


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「過去1年以内に参加した」は『自営業』が37.2%と8.7ポイント全体より高い。“参加率”（「過去1年以内に参加した」と「過去1年以内ではないが参加したことがある」の合計）については、『アルバイト・パート』が66.5%、『家事専業』が62.6%と6割を超えており高い。

居住地別では、「過去1年以内に参加した」は『福富地区』が73.7%と45.2ポイント、『河内地区』が42.9%と14.4ポイント、それぞれ全体より高く、“参加率”についても、『福富地区』が89.5%、『河内地区』が77.2%とそれぞれ全体より高い。

図14-5 地域活動の参加状況 ②ふれあい・親睦行事／職業別・居住地別



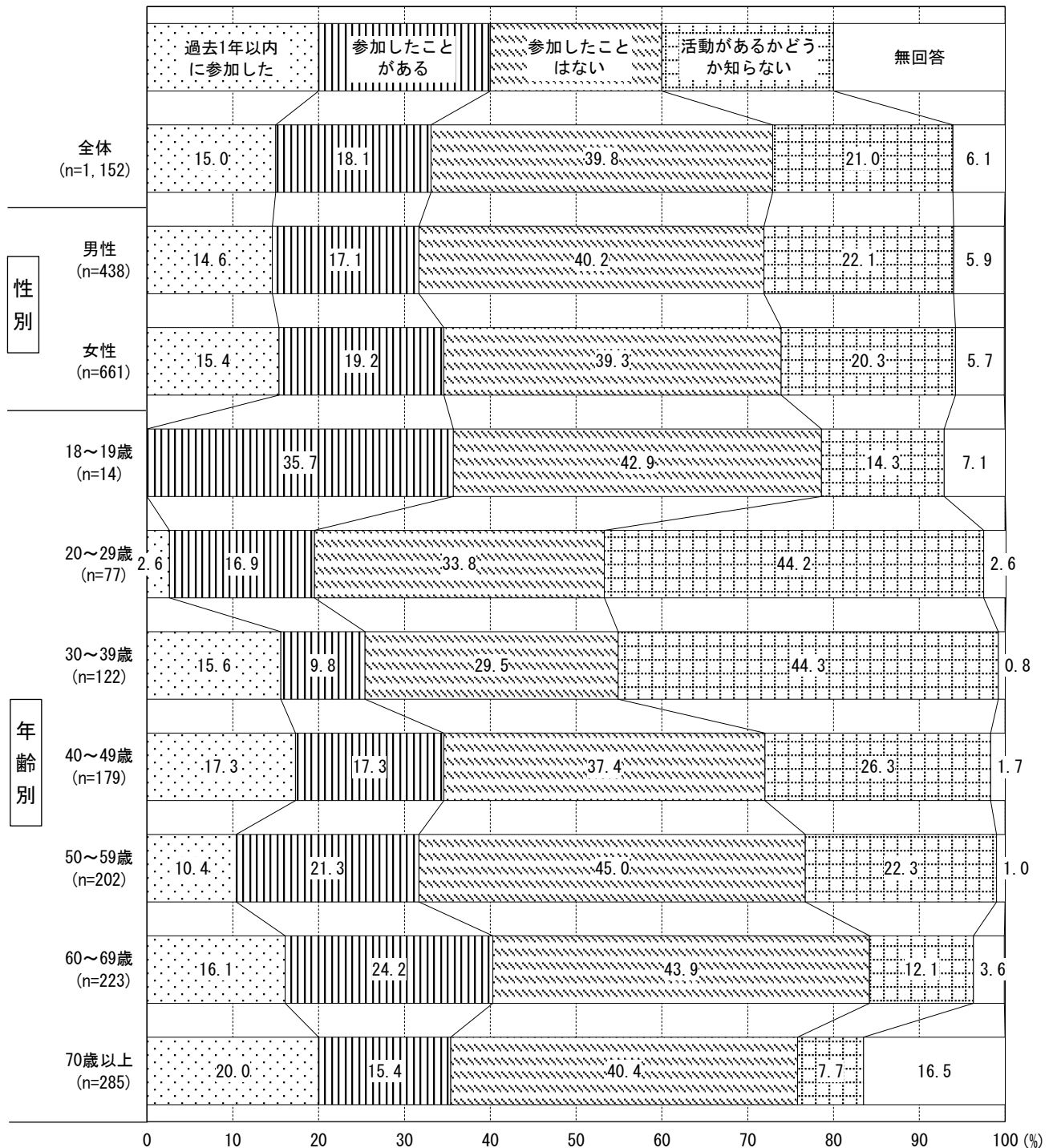
③文化・芸術・スポーツ(催しの運営等)

【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『男性』が『女性』より1.8ポイント高く、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）は『女性』34.6%、『男性』31.7%と『女性』が『男性』より2.9ポイント高い。

年齢別では、「過去1年間以内に参加した」は『20～29歳』が2.6%と12.4ポイント全体より低く、「過去1年間以内ではないが参加したことがある」は『30～39歳』が9.8%と8.3ポイント全体より低くなっている。“参加率”については『60～69歳』が40.3%と、全年齢層の中で最も高い一方、『20～29歳』は19.5%と13.6ポイント全体より低く、全年齢層の中で最も低い。

図14-6 地域活動の参加状況 ③文化・芸術・スポーツ/性別・年齢別

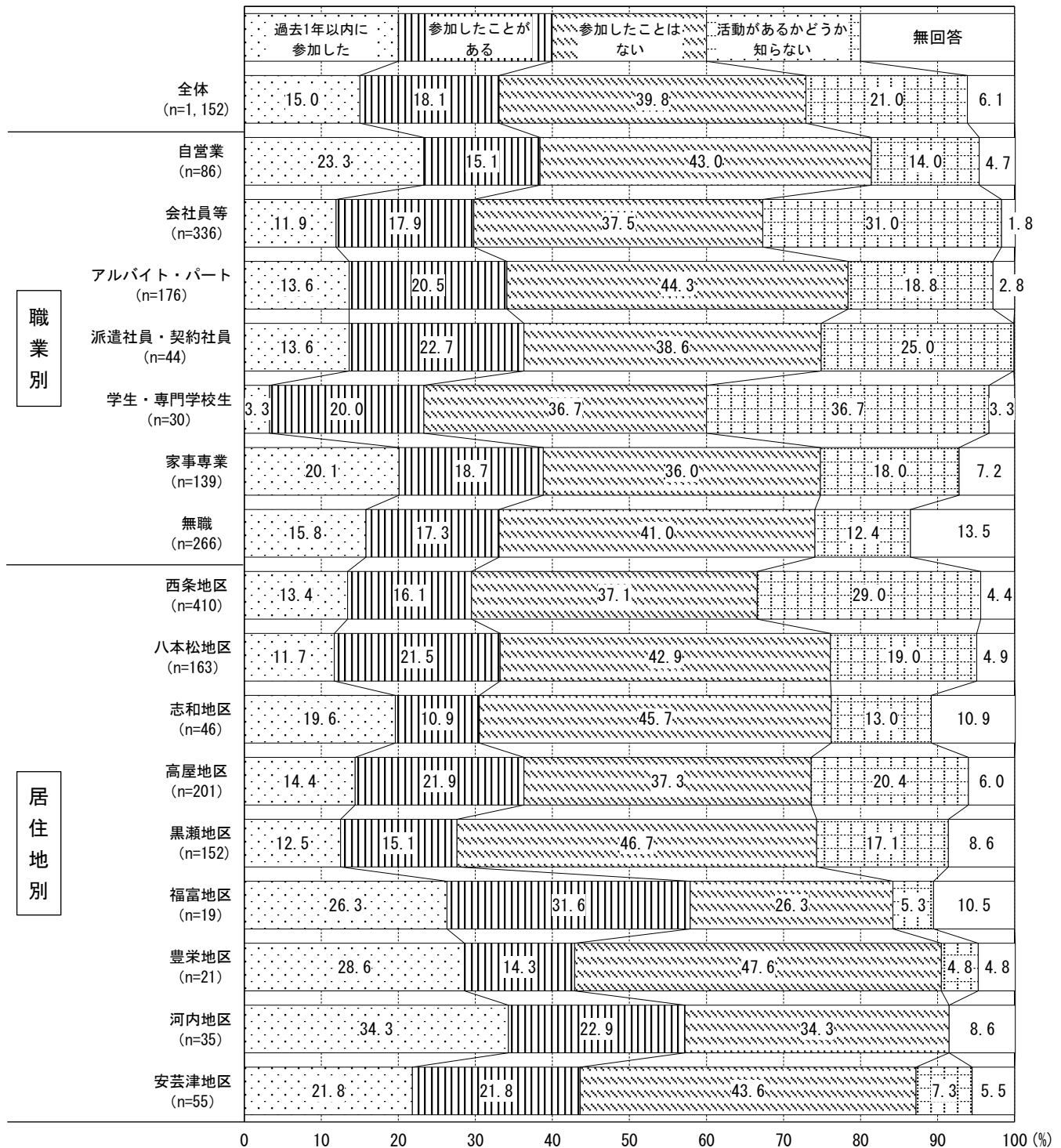


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「過去1年以内に参加した」は『自営業』が23.3%と8.3ポイント全体より高い。“参加率”（「過去1年以内に参加した」と「過去1年以内ではないが参加したことがある」の合計）については、『家事専業』が38.8%と全体より5.7ポイント高くなっている。

居住地別では、「過去1年以内に参加した」は『河内地区』が34.3%と19.3ポイント、『豊栄地区』が28.6%と13.6ポイント、それぞれ全体より高い。“参加率”については、『福富地区』が57.9%と24.8ポイント、『河内地区』が57.2%と24.1ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図14-7 地域活動の参加状況 ③文化・芸術・スポーツ／職業別・居住地別



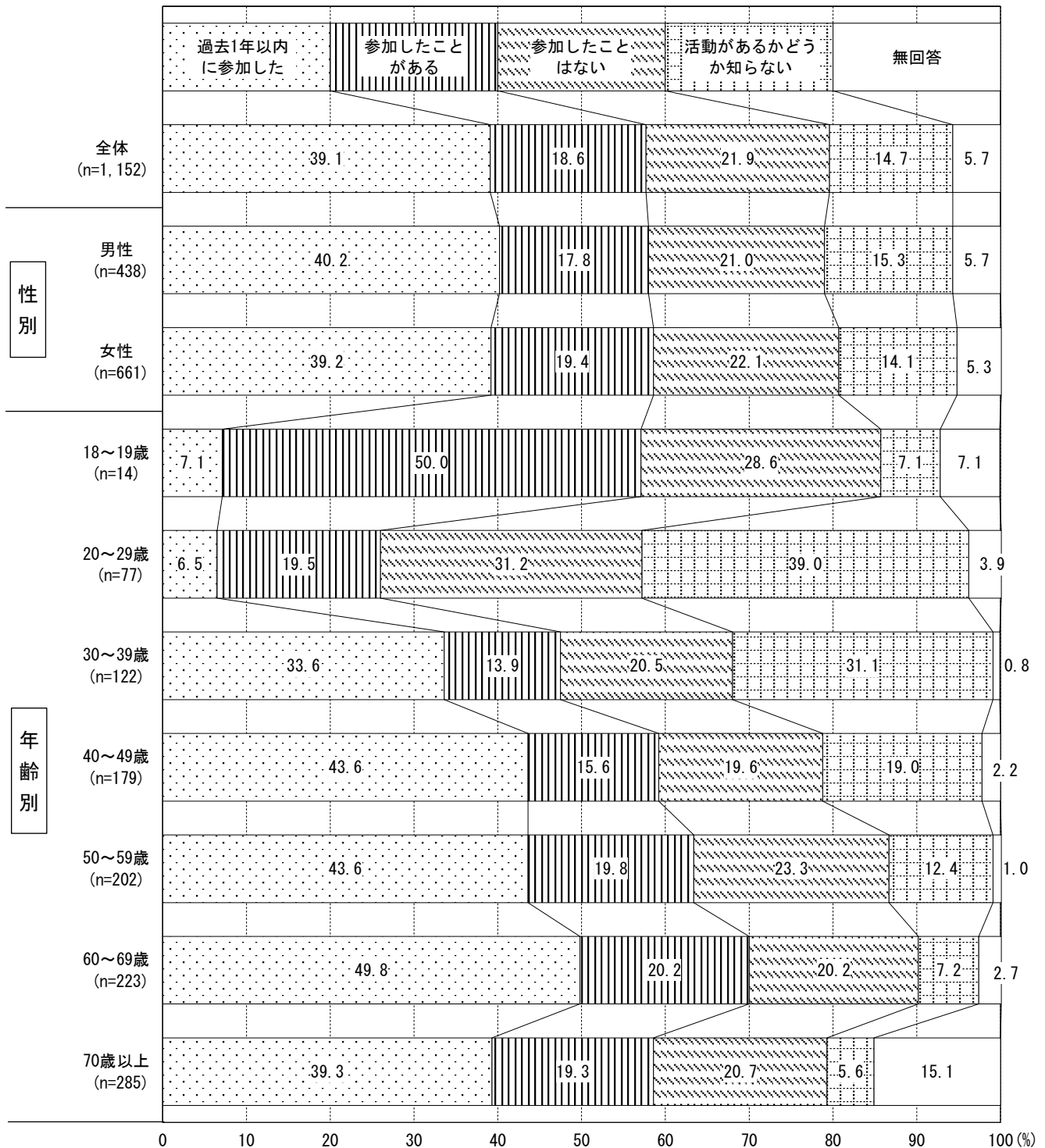
④環境活動(美化活動、資源回収、清掃活動等)

【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、“参加率”(「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計)は『男性』58.0%、『女性』58.6%と男女共に過半数を超えている。

年齢別では、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が39.0%と24.3ポイント全体より高く、“参加率”についても、『20～29歳』は26.0%と31.7ポイント全体より低くなっており、全年齢層の中で最も低い。

図14-8 地域活動の参加状況 ④環境活動/性別・年齢別

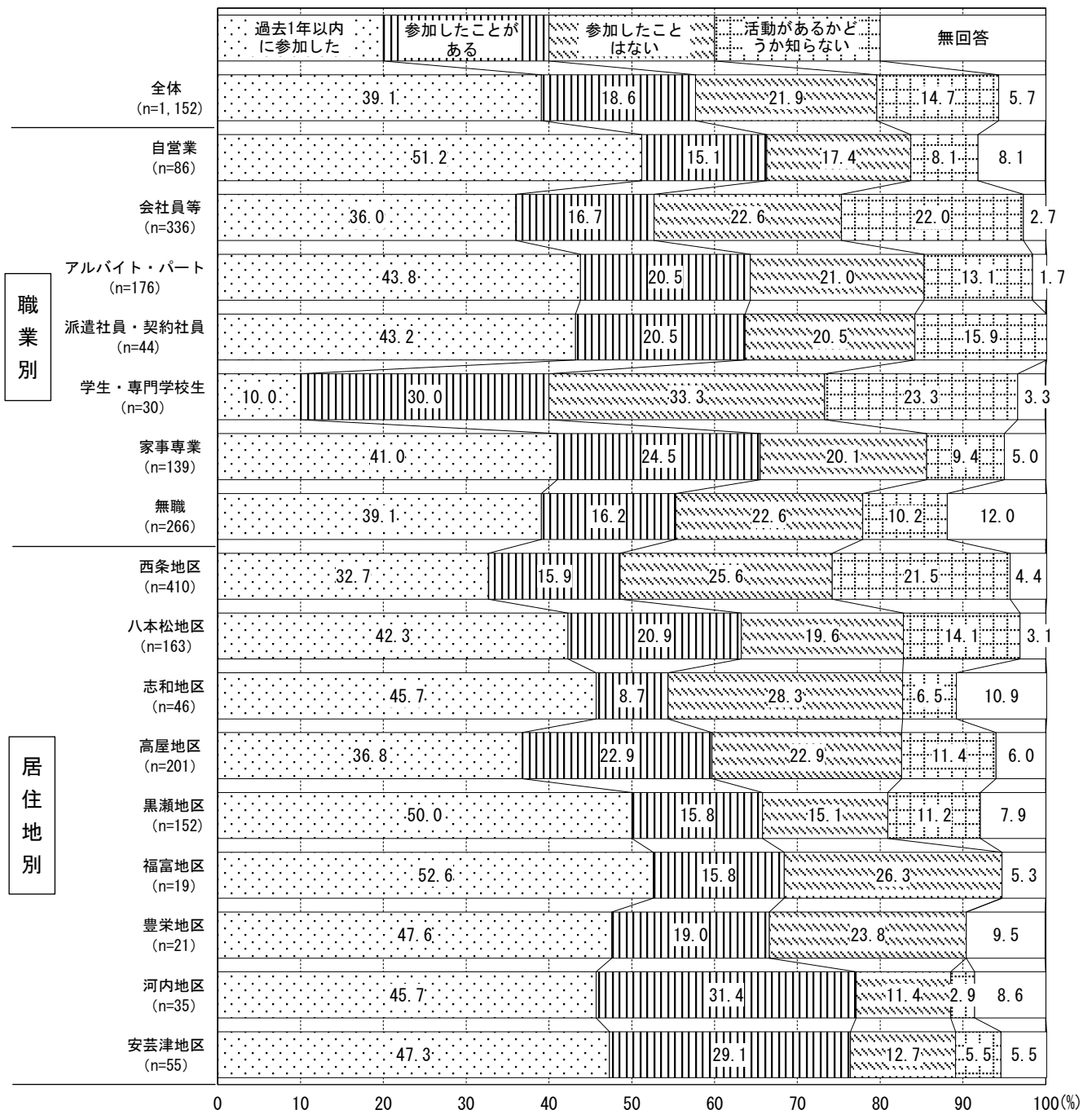


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「過去1年以内に参加した」は『自営業』が51.2%と12.1ポイント、『アルバイト・パート』が43.8%と4.7ポイント、『派遣社員・契約社員』が43.2%と4.1ポイント、『家事専業』が41.0%と1.9ポイント、それぞれ全体より高い。“参加率”（「過去1年以内に参加した」と「過去1年以内ではないが参加したことがある」の合計）についても、『自営業』が66.3%と8.6ポイント、『家事専業』が65.5%と7.8ポイント、『アルバイト・パート』が64.3%と6.6ポイント、『派遣社員・契約社員』が63.7%と6.0ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「過去1年以内に参加した」は『福富地区』52.6%、『黒瀬地区』50.0%と10ポイント以上全体より高い。“参加率”については、『河内地区』77.1%、『安芸津地区』76.4%、『福富地区』が68.4%が10ポイント以上全体より高い。

図14-9 地域活動の参加状況 ④環境活動／職業別・居住地別



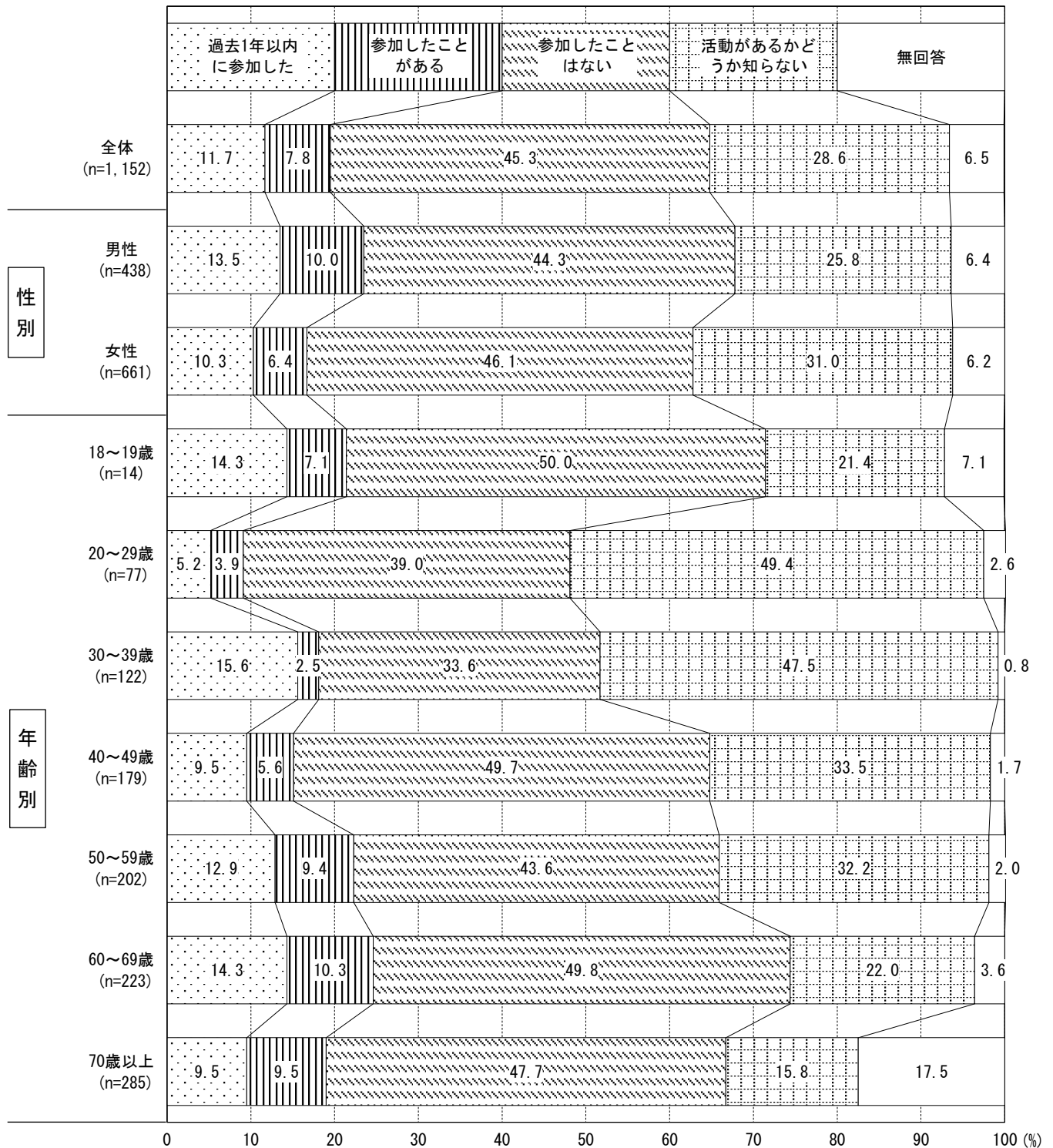
⑤災害救援(災害予防、被災者への支援等)

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『女性』が『男性』より5.2ポイント高い。

年齢別では、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が49.4%と20.8ポイント、『30～39歳』が47.5%と18.9ポイント、それぞれ全体より高い。“参加率”についても、『20～29歳』は9.1%と10.4ポイント全体より低くなっている。

図14-10 地域活動の参加状況 ⑤災害救援／性別・年齢別

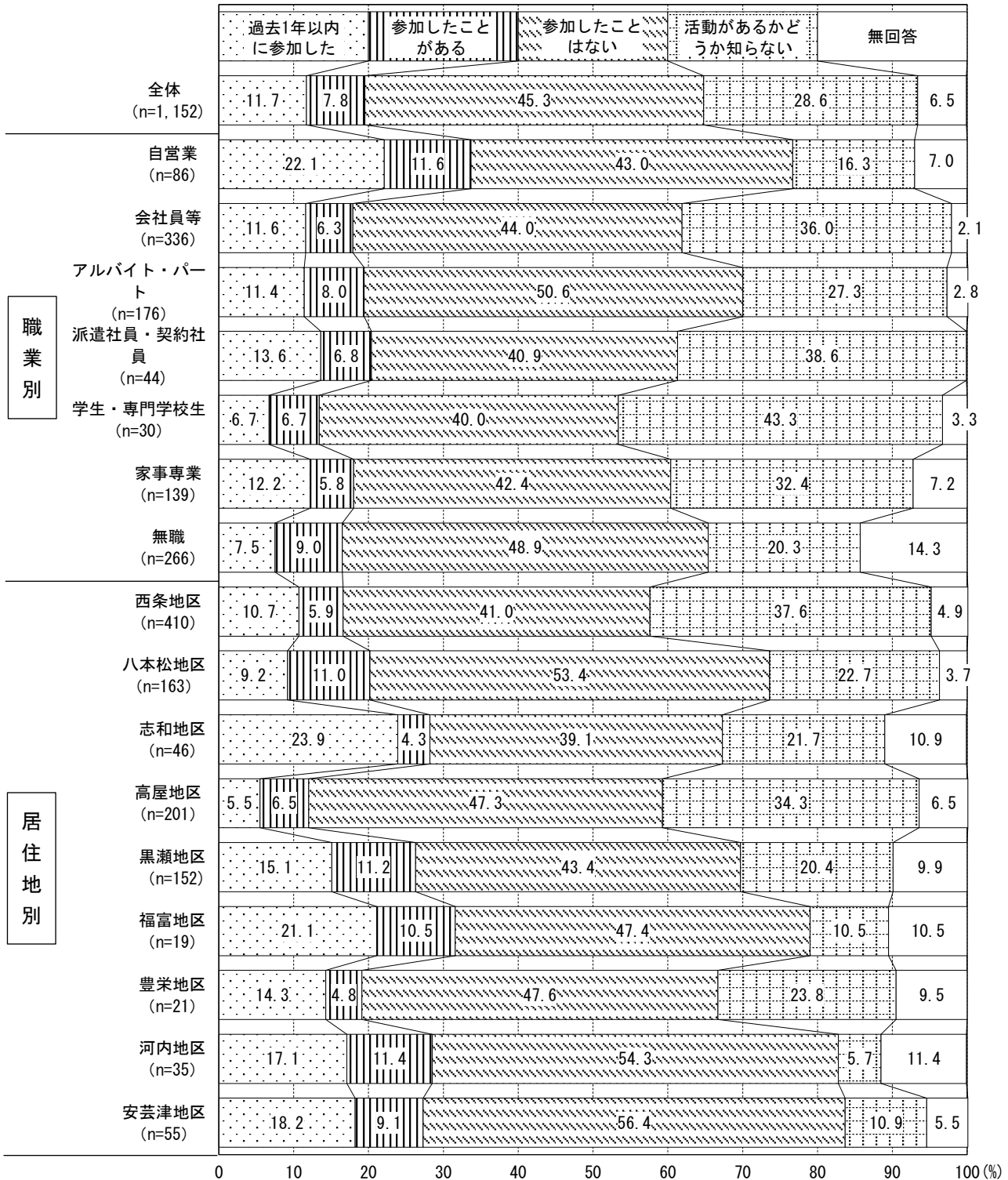


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「過去1年間以内に参加した」は『自営業』が22.1%と全体より10.4ポイント高く、「参加率」（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）についても、『自営業』が33.7%と14.2ポイント全体より高い。

居住地別では、「過去1年間以内に参加した」は『志和地区』23.9%と全体より10ポイント以上高い。「参加率」については、『福富地区』31.6%が10ポイント以上全体より高くなっている。

図14-11 地域活動の参加状況 ⑤災害救援／職業別・居住地別



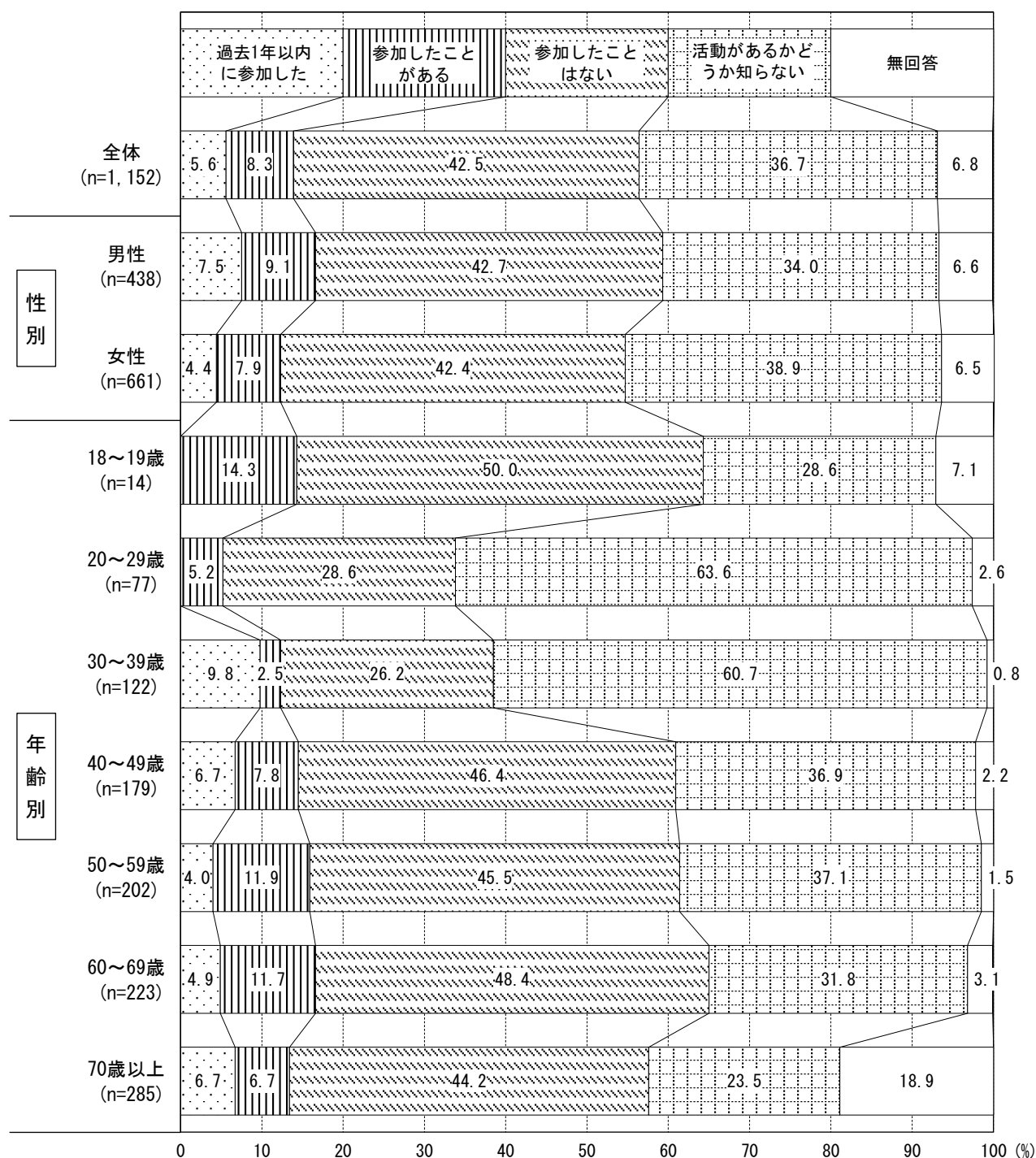
⑥地域安全(犯罪や事故の予防)

【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『女性』が『男性』より4.9ポイント高い。“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）は『男性』16.6%、『女性』12.3%と、『男性』が『女性』より4.3ポイント高い。

年齢別では、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が63.6%と26.9ポイント、『30～39歳』が60.7%と24.0ポイント、それぞれ全体より高い。“参加率”についても、『20～29歳』が5.2%と8.7ポイント全体より低くなっている。

図14-12 地域活動の参加状況 ⑥地域安全／性別・年齢別

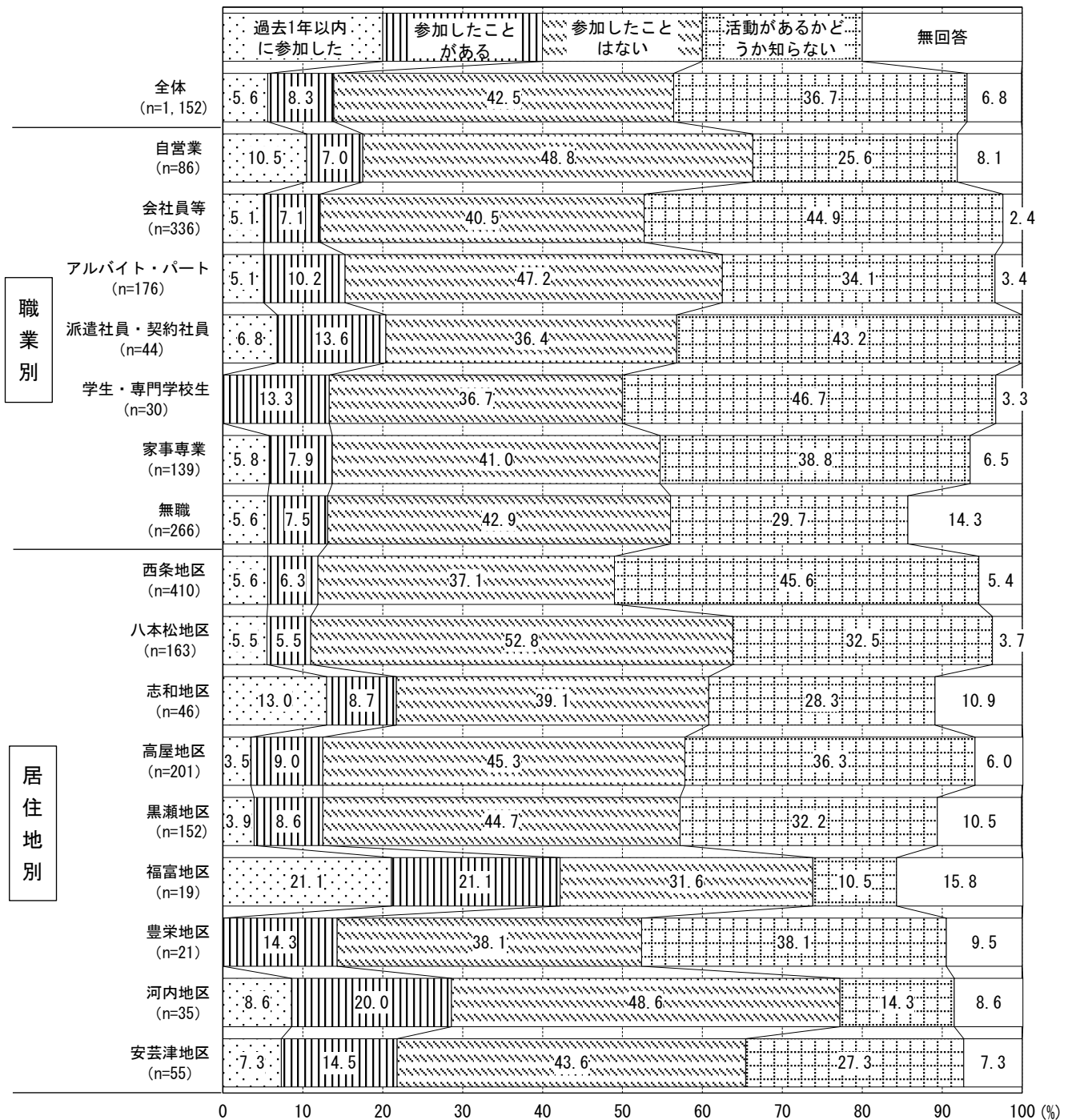


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「過去1年間以内に参加した」は『自営業』が10.5%と4.9ポイント全体より高く、「参加率」（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については、『派遣社員・契約社員』が20.4%と6.5ポイント、『自営業』が17.5%と3.6ポイント、全体より高い。

居住地別では、「過去1年間以内に参加した」は『福富地区』が21.1%と15.5ポイント、「過去1年間以内ではないが参加したことがある」は『福富地区』が21.1%と12.8ポイント、それぞれ全体より高く、「参加率」についても、『福富地区』が42.2%と最も高くなっている。

図14-13 地域活動の参加状況 ⑥地域安全／職業別・居住地別



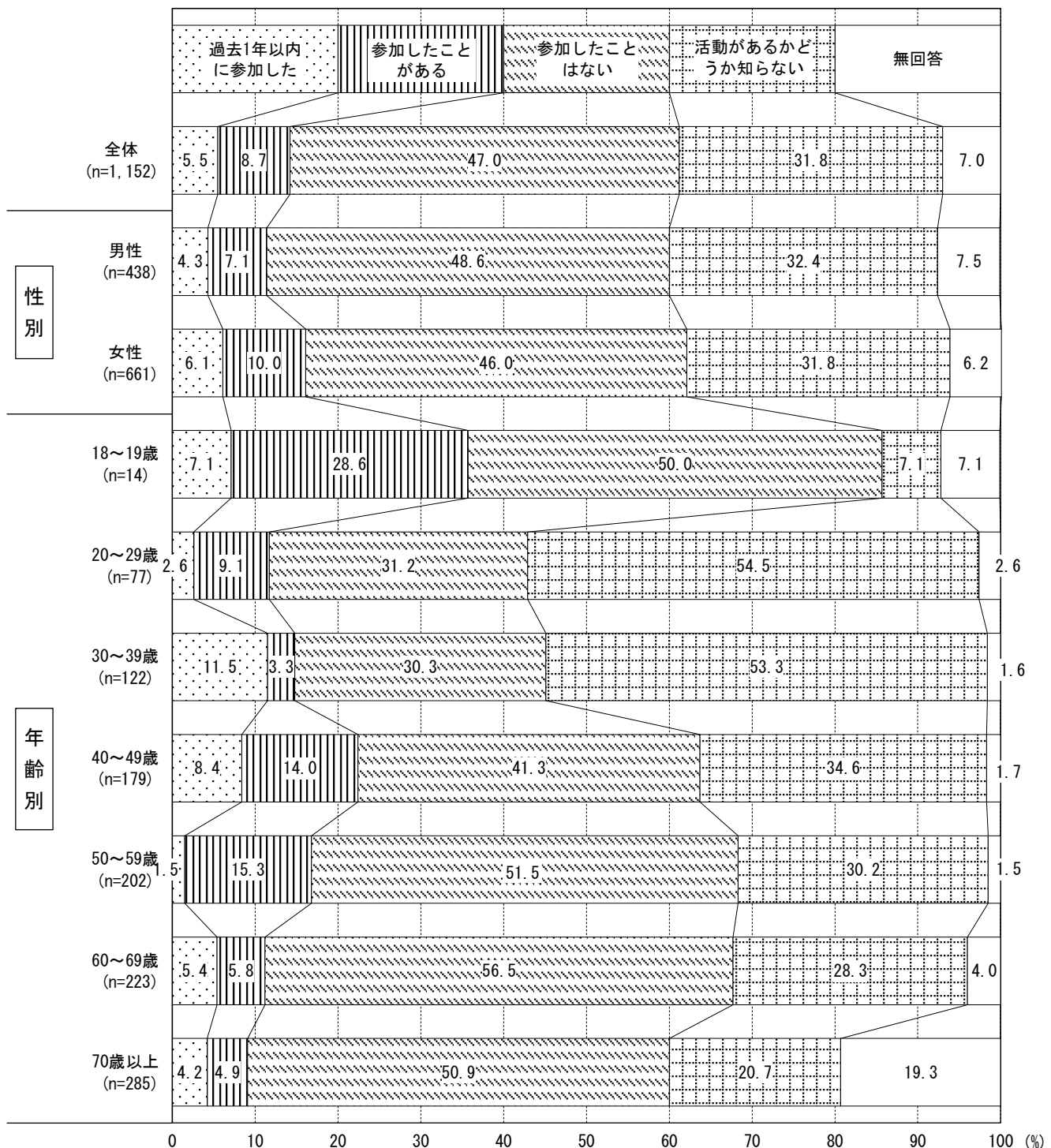
⑦児童・青少年の健全育成(体験学習・学童保育等)

【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、“参加率”（「過去1年間に参加した」と「過去1年以内ではないが参加したことがある」の合計）は『男性』11.4%、『女性』16.1%と、『女性』が『男性』より4.7ポイント高い。

年齢別では、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が54.5%と22.7ポイント、『30～39歳』が53.3%と21.5ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図14-14 地域活動の参加状況 ⑦児童・青少年の健全育成／性別・年齢別

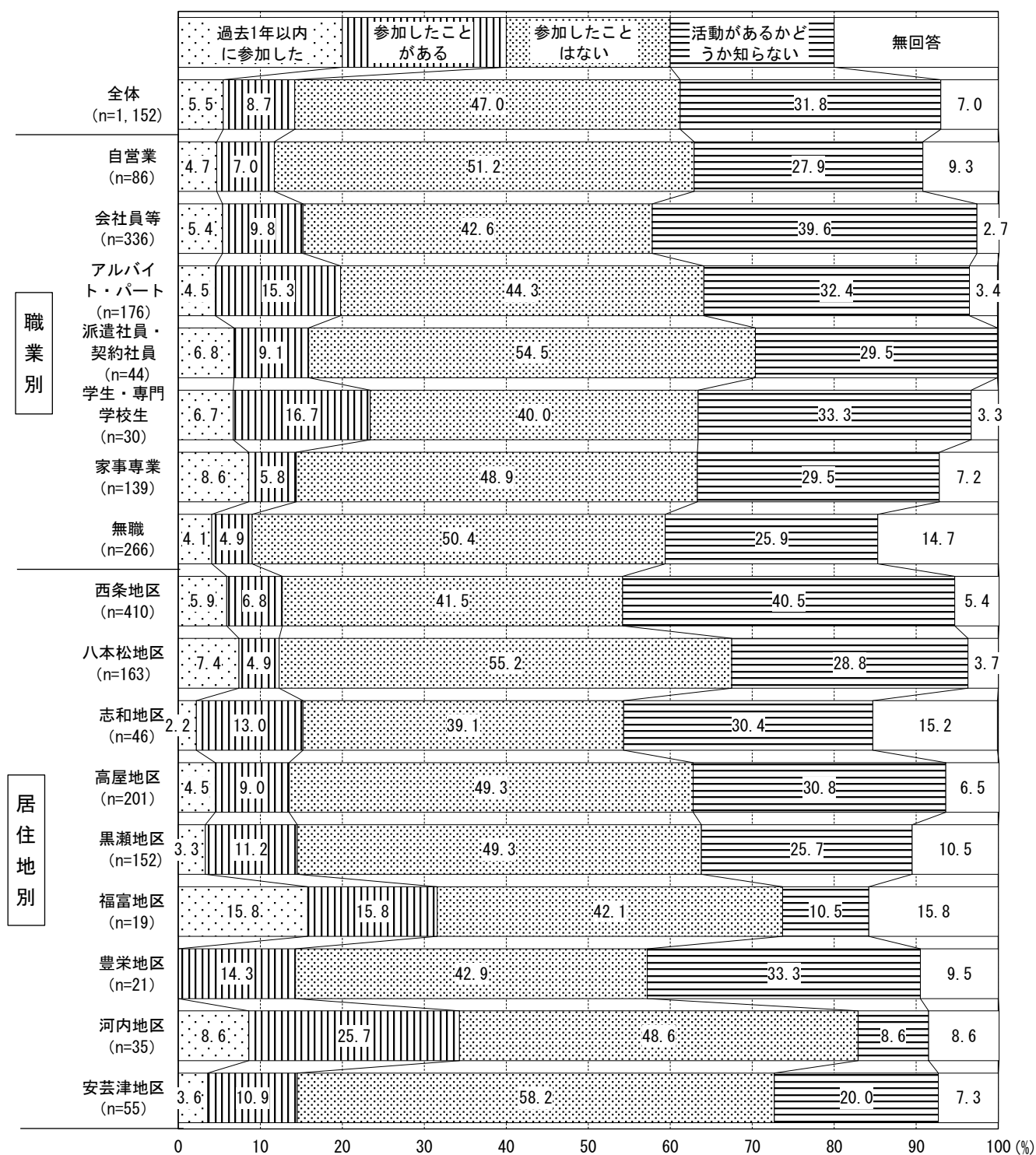


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『会社員等』が39.6%と7.8ポイント全体より高くなっている。“参加率”（「過去1年間に参加した」と「過去1年以内ではないが参加したことがある」の合計）については、『学生・専門学校生』が23.4%と9.2ポイント、『アルバイト・パート』が19.8%と5.6ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

居住地別では、「過去1年間に参加した」は『福富地区』が15.8%と10.3ポイント全体より高く、“参加率”については、『河内地区』が34.3%と各居住地の中で最も高い。

図14-15 地域活動の参加状況 ⑦児童・青少年の健全育成／職業別・居住地別



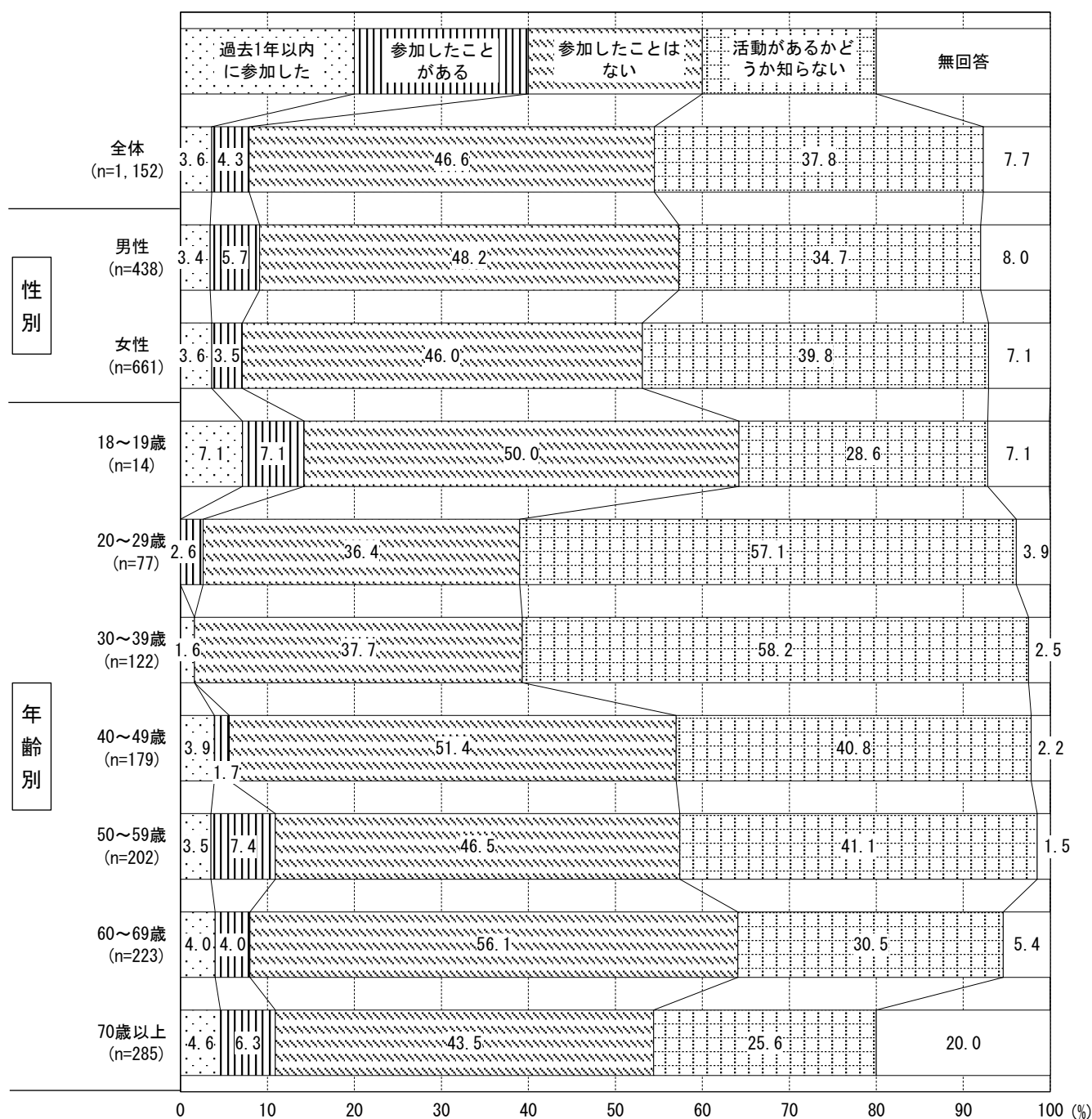
⑧情報共有(地域情報誌の発行等)

【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『女性』が『男性』より5.1ポイント高く、「活動は知っているが、参加したことはない」は『男性』が『女性』より2.2ポイント高い。“参加率”（「過去1年間に参加した」と「過去1年以内ではないが参加したことがある」の合計）は『男性』9.1%、『女性』7.1%と男女共に1割を下回る。

年齢別では、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『30～39歳』が58.2%と20.4ポイント全体より高い。“参加率”については、『20～29歳』『30～39歳』『40～49歳』『60～69歳』が1割を下回っている。

図14-16 地域活動の参加状況 ⑧情報共有／性別・年齢別

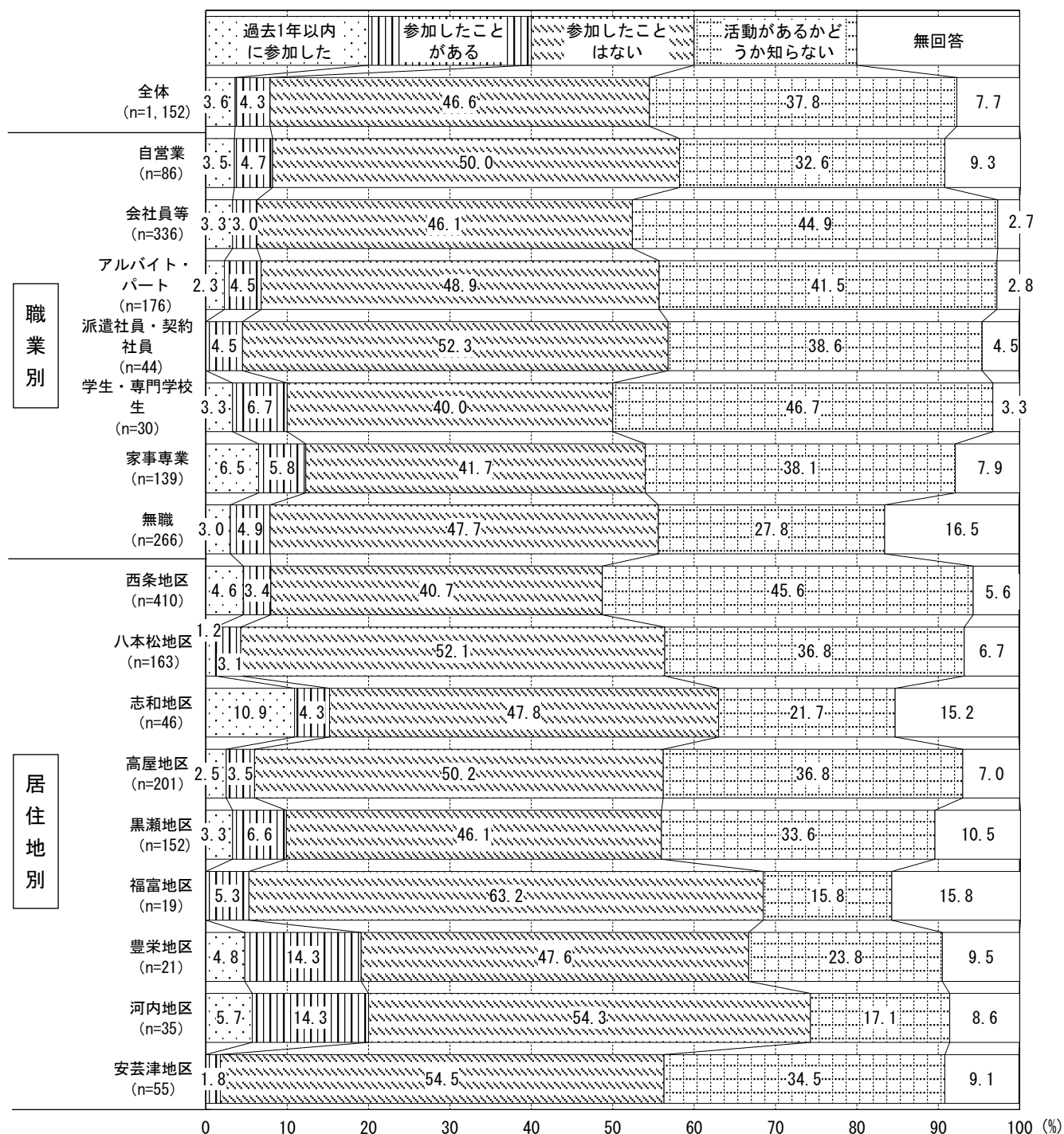


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「過去1年間以内に参加した」は『家事専業』が6.5%と2.9ポイント全体より高く、「参加率」（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）についても、『家事専業』が12.3%と4.4ポイント全体より高い。

居住地別では、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『福富地区』が15.8%と22.0ポイント、『河内地区』が17.1%と20.7ポイント、それぞれ全体より低い。「参加率」については、『河内地区』20.0%、『豊栄地区』19.1%、『志和地区』15.2%を除き、各地区で1割を下回っている。

図14-17 地域活動の参加状況 ⑧情報共有／職業別・居住地別



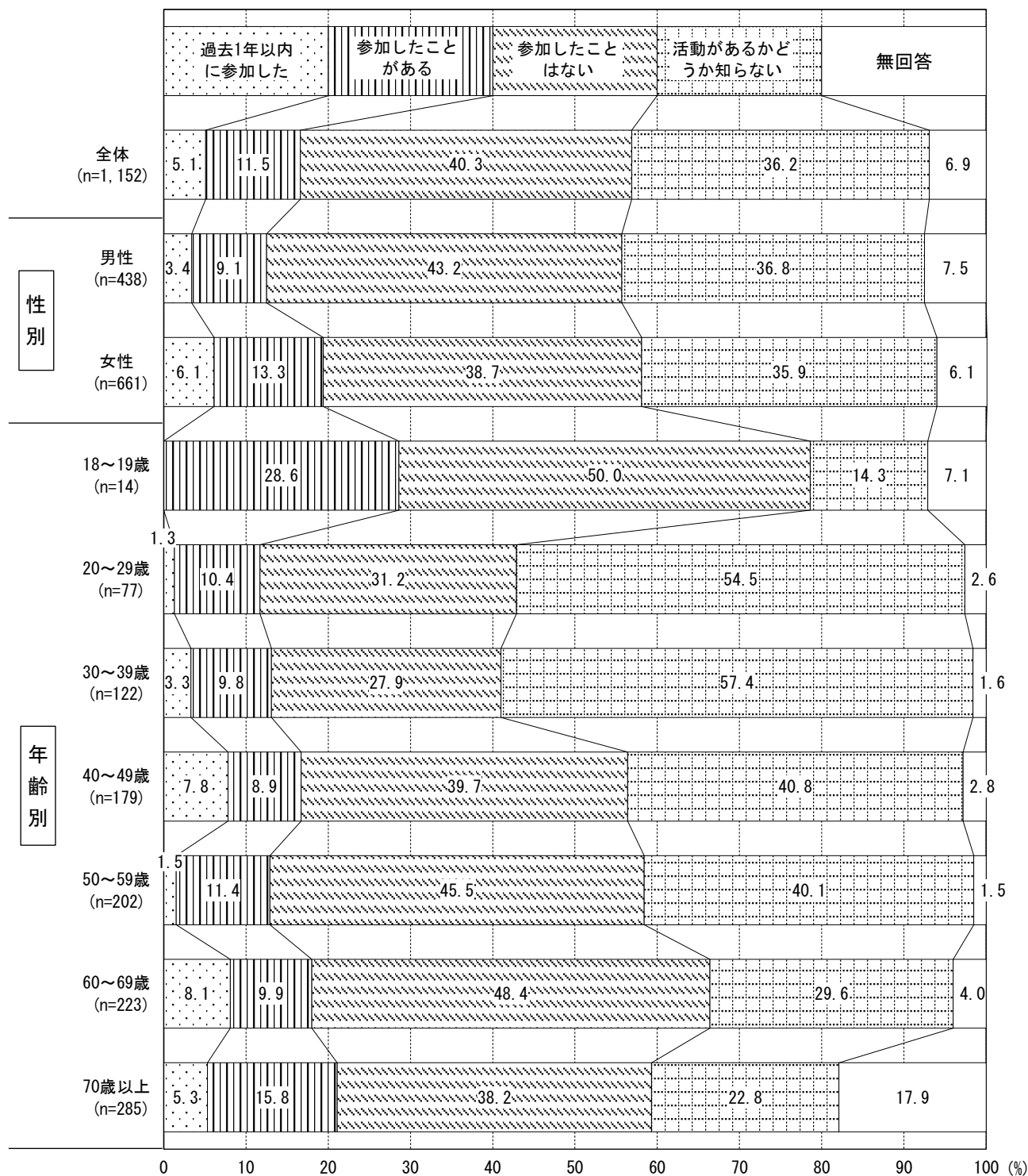
⑨地域経済の活性化(バザー、特産品開発等)

【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、「活動は知っているが、参加したことはない」は『男性』が『女性』より4.5ポイント高い。“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）は『男性』12.5%、『女性』19.4%と、『女性』が『男性』より6.9ポイント高い。

年齢別では、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『70歳以上』が22.8%と13.4ポイント全体より低い。

図14-18 地域活動の参加状況 ⑨地域経済の活性化/性別・年齢別

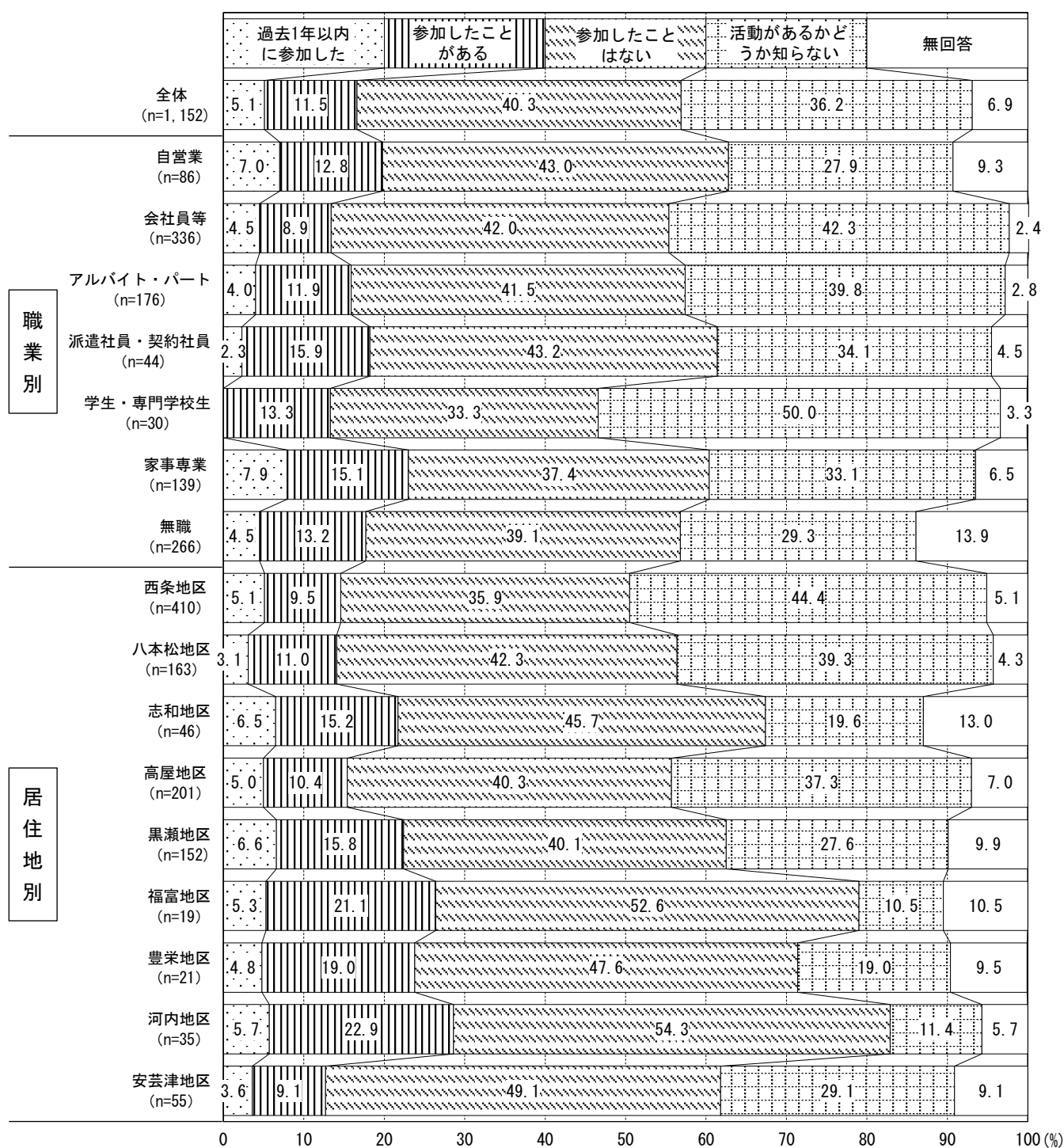


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「過去1年以内に参加した」は『家事専業』が7.9%と2.8ポイント、『自営業』が7.0%と1.9ポイント、それぞれ全体より高く、“参加率”（「過去1年以内に参加した」と「過去1年以内ではないが参加したことがある」の合計）についても、『家事専業』が23.0%と6.4ポイント、『自営業』が19.8%と3.2ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

居住地別では、「過去1年以内に参加した」は『黒瀬地区』が6.6%と最も高く、“参加率”については、『河内地区』が28.6%と各地区の中で最も高い。

図14-19 地域活動の参加状況 ⑨地域経済の活性化／職業別・居住地別



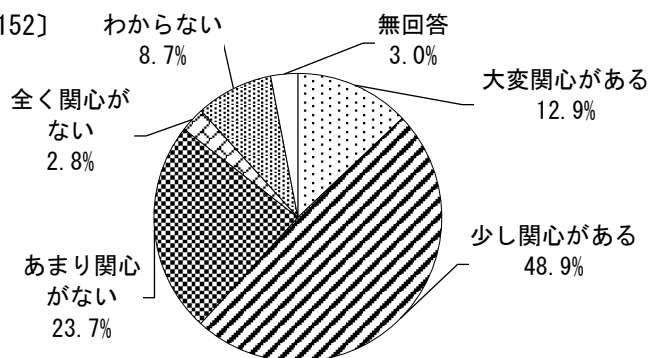
9. 消費生活について

(1) 消費者問題への関心度

問15 あなたは、消費者問題(消費者と事業者とのトラブルなどの問題)に関心がありますか。(1つだけ選んで○をお付けください)

消費者問題への関心度については、消費者問題に「大変関心がある」が12.9%、「少し関心がある」が48.9%で、“関心がある”(「大変関心がある」と「少し関心がある」の合計)は61.8%と約6割を占める。

図15-1 消費者問題への関心度 [n=1,152]

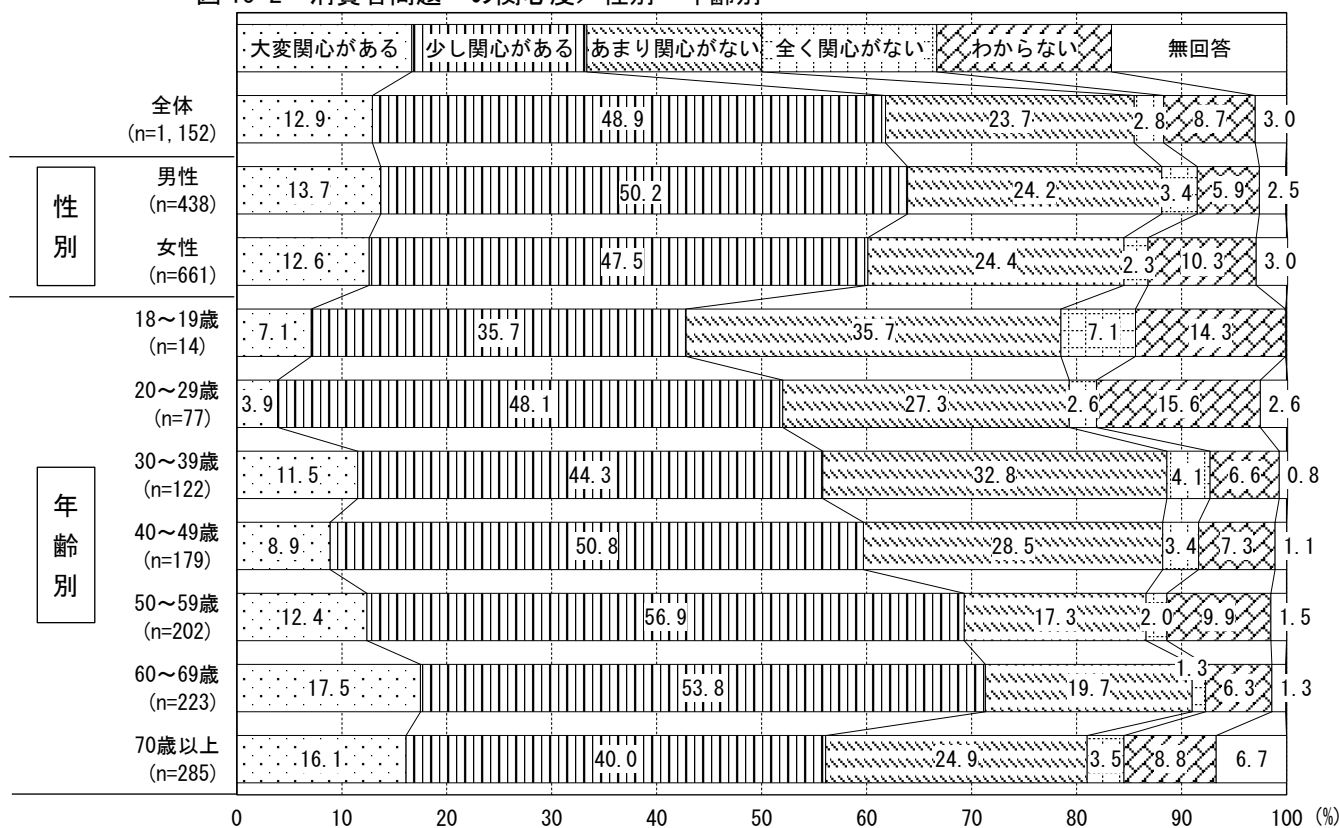


【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、“関心がある”人は『男性』63.9%、『女性』60.1%と男女共に約6割を占める。

年齢別では、「大変関心がある」は『20～29歳』が3.9%と9.0ポイント全体より低く、“関心がある”は『20～29歳』が52.0%、『30～39歳』が55.8%、『40～49歳』が59.7%、『70歳以上』が56.1%と6割を下回っている。

図 15-2 消費者問題への関心度／性別・年齢別

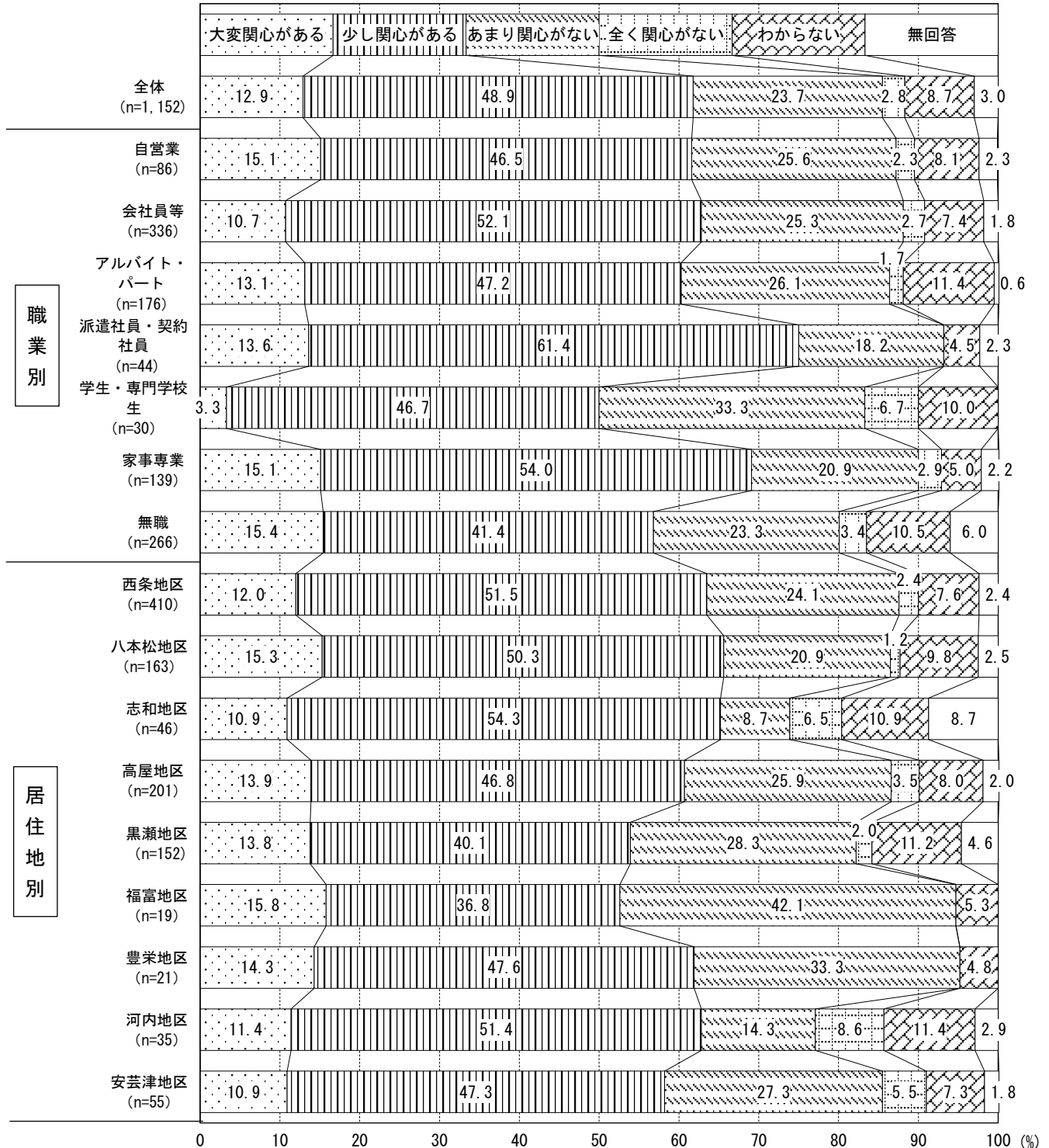


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「大変関心がある」は『無職』が15.4%と2.5ポイント、『自営業』『家事専業』が15.1%と2.2ポイント、それぞれ全体より高く、“関心がある”（「大変関心がある」と「少し関心がある」の合計）については、『派遣社員・契約社員』が75.0%と13.2ポイント、『家事専業』が69.1%と7.3ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

居住地別では、“関心がある”は『福富地区』は52.6%と9.2ポイント全体より低く、各地区の中で最も低い。

図 15-3 消費者問題への関心度／職業別・居住地別



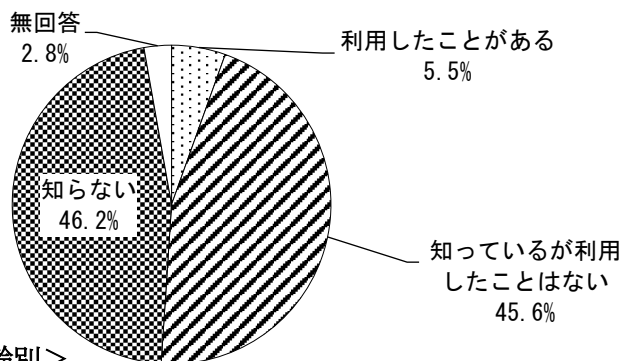
(2) 「消費生活センター」設置の認知状況

問16 あなたは、消費者トラブルに遭ったときの相談窓口である「消費生活センター」が東広島市に設置されていることを知っていますか。(1つだけ選んで○をお付けください)

東広島市における「消費生活センター」設置の認知状況については、「知らない」が46.2%と最も高い。

「知っているが利用したことはない」は45.6%、「利用したことがある」は5.5%であった。

図16-1 「消費生活センター」設置の認知状況 [n=1,152]

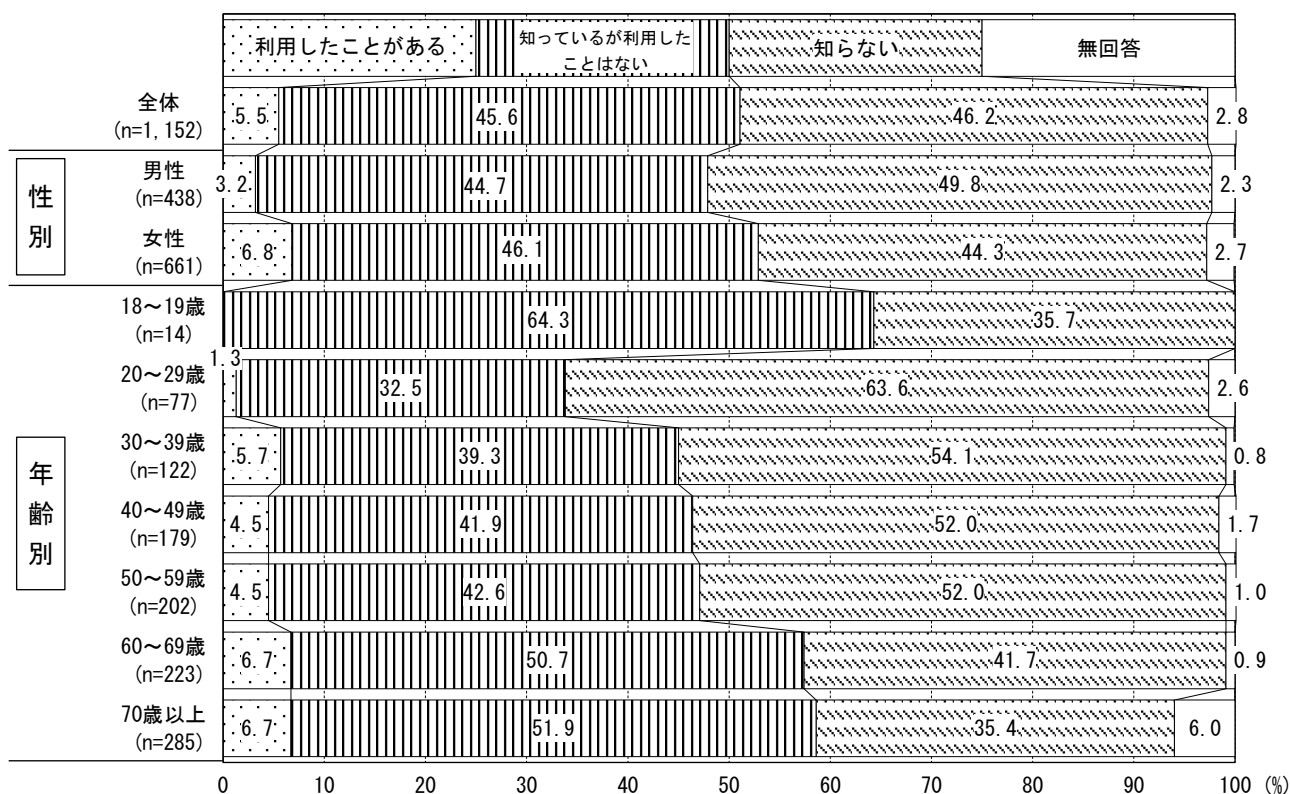


【属性別の傾向】 <性別・年齢別>

性別では、「知らない」は『男性』49.8%、『女性』44.3%と、『男性』が『女性』より5.5ポイント高い。

年齢別では、「知っている」（「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」の合計）は『20～29歳』が33.8%と全年齢層の中で最も低く、「知らない」は『20～29歳』では63.6%と17.4ポイント全体より高い。若年層ほど設置について知らない傾向がみられる。

図16-2 「消費生活センター」設置の認知状況／性別・年齢別

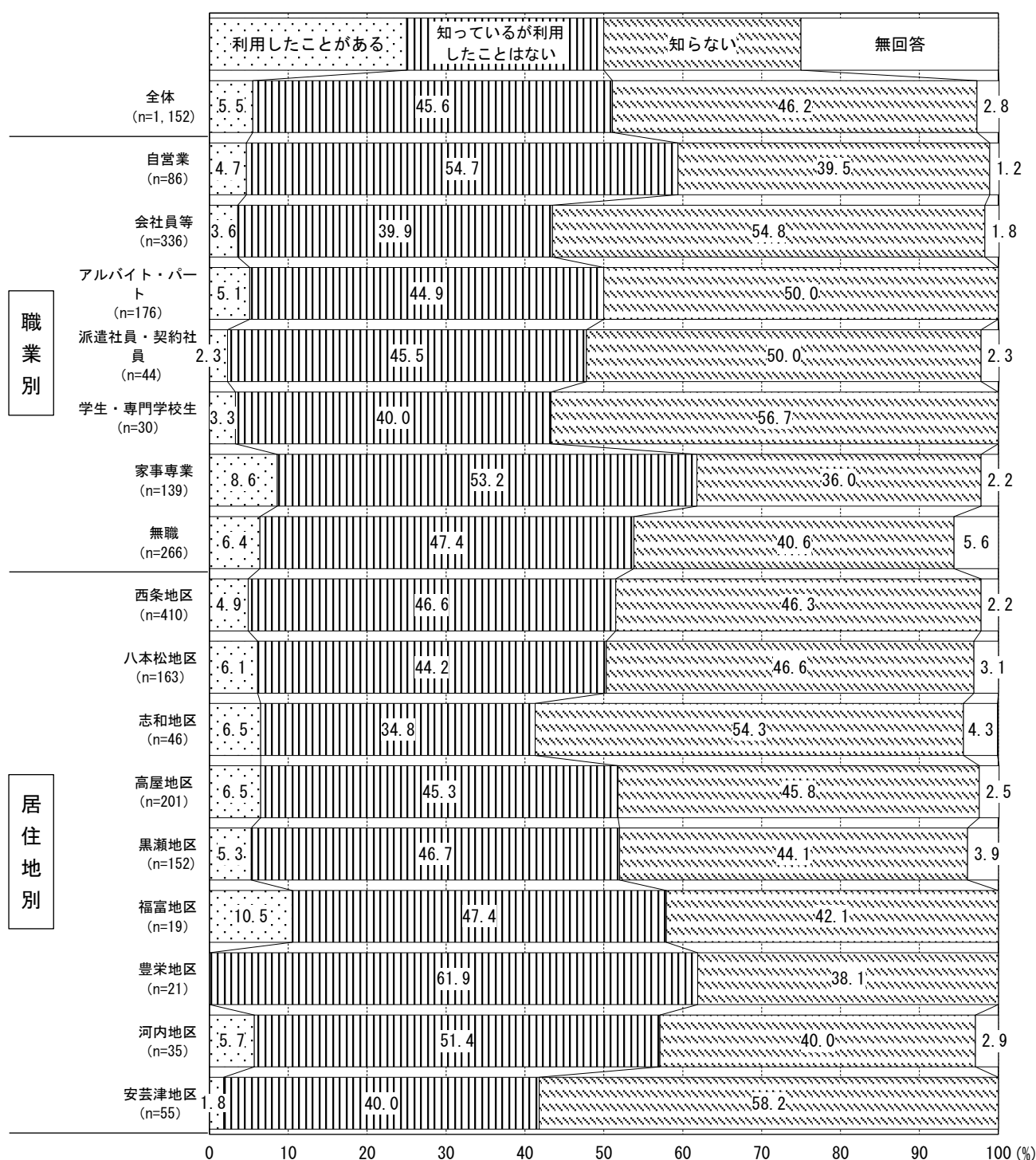


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「利用したことがある」は『家事専業』が8.6%と3.1ポイント全体より高い。“知っている”（「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」の合計）は『家事専業』が61.8%、『自営業』が59.4%、『無職』が53.8%、『アルバイト・パート』が50.0%と過半数を占めている。

居住地別では、「知っているが利用したことはない」は『豊栄地区』が61.9%と16.3ポイント全体より高く、“知っている”が各地区の中で最も高い。

図16-3 「消費生活センター」設置の認知状況／職業別・居住地別

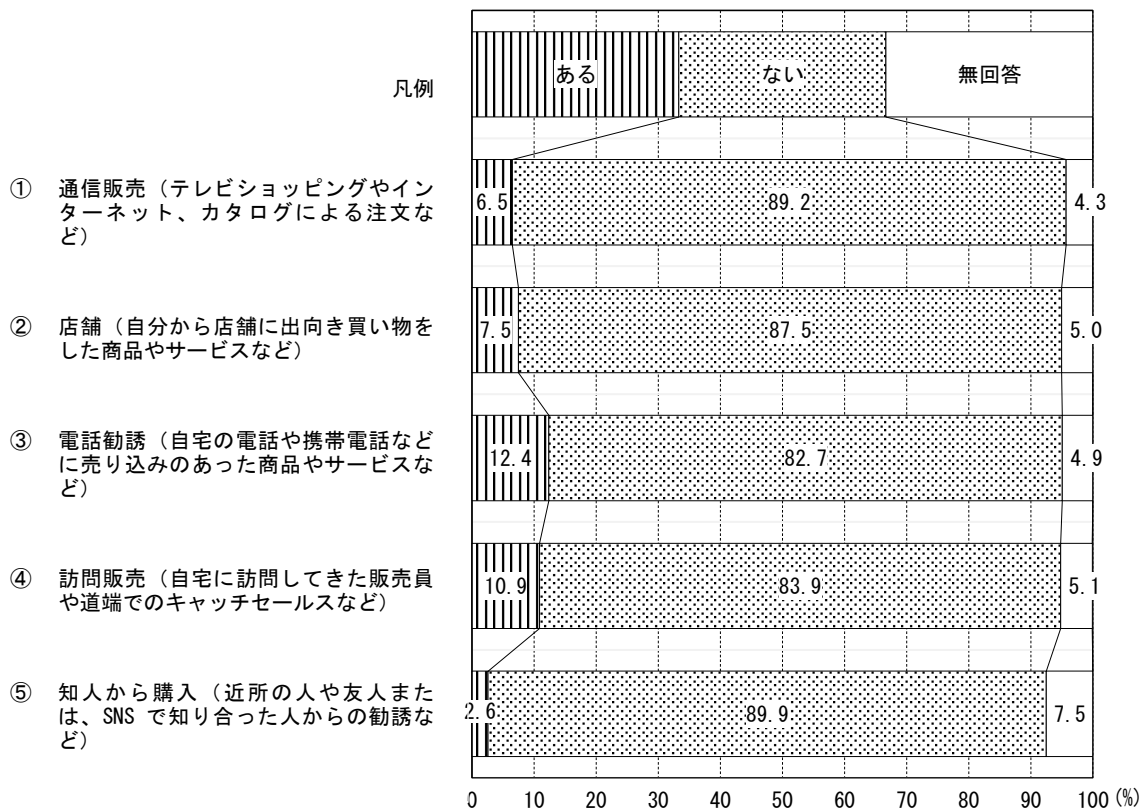


(3) 消費者トラブルの状況

問17 近年、悪質な勧誘や悪徳商法が多様化しており、さまざまな消費者トラブルが発生しています。あなたは、以下の販売・購入形態で過去にトラブルになったことがありますか。
(それぞれの項目ごとに、当てはまるものを選んで○をお付けください)

消費者トラブルの状況については、過去にトラブルになったことが「ある」は『③電話勧誘（自宅の電話や携帯電話などに売り込みのあった商品やサービスなど）』が12.4%、『④訪問販売（自宅に訪問してきた販売員や道端でのキャッチセールスなど）』が10.9%と1割を超えている。

図17-1 消費者トラブルの状況 [n=1,152]

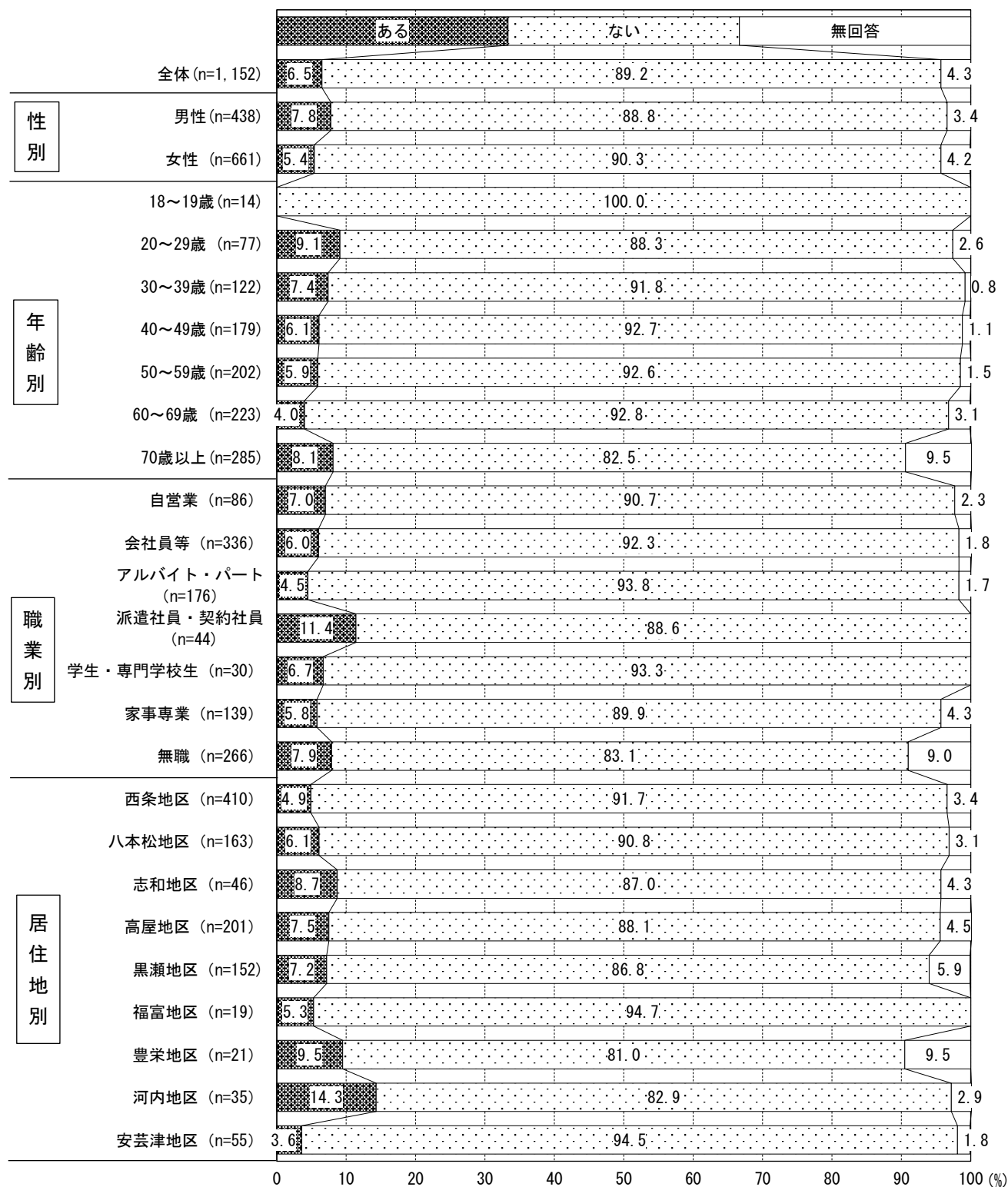


①通信販売(テレビショッピングやインターネット、カタログによる注文など)

【属性別の傾向】<性別・年齢別・職業別・居住地別>

過去にトラブルになったことが「ある」は、性別、年齢別では、各属性とも1割未満で差異はない。職業別では、『派遣社員・契約社員』が11.4%と4.9ポイント、居住地別では、『河内地区』が14.3%と7.8ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図17-2 消費者トラブルの状況 ①通信販売/性別・年齢別・職業別・居住地別

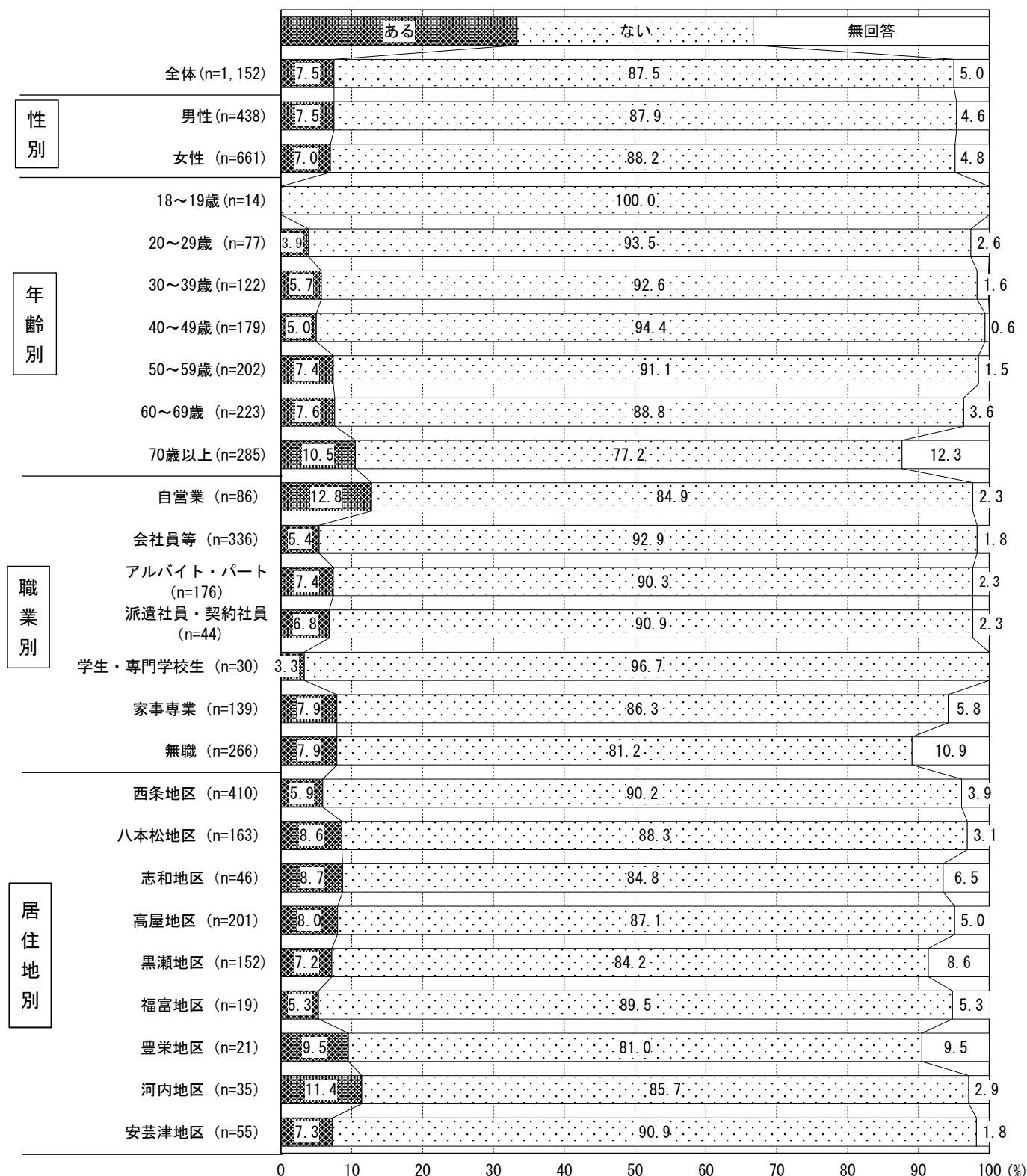


②店舗(自分から店舗に出向き買い物をした商品やサービスなど)

【属性別の傾向】<性別・年齢別・職業別・居住地別>

過去にトラブルになったことが「ある」は、性別では、男女で差異はない。年齢別では、『20～29歳』が3.9%と3.6ポイント全体より低い。職業別では、『自営業』が12.8%と5.3ポイント、居住地別では、『河内地区』が11.4%と3.9ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図17-3 消費者トラブルの状況 ②店舗/性別・年齢別・職業別・居住地別

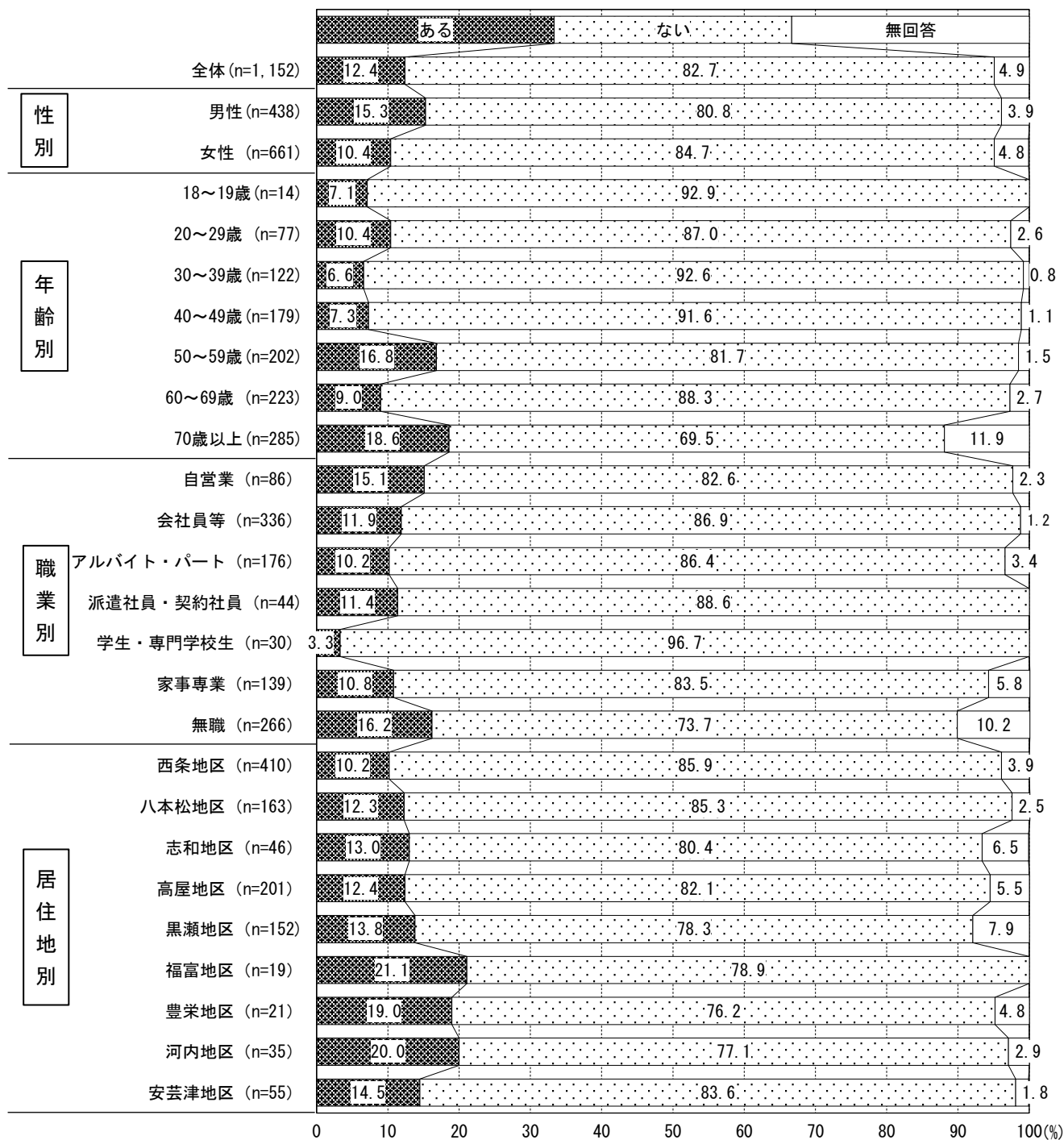


③電話勧誘(自宅の電話や携帯電話などに売り込みのあった商品やサービスなど)

【属性別の傾向】<性別・年齢別・職業別・居住地別>

過去にトラブルになったことが「ある」は、性別では、『男性』15.3%、『女性』10.4%と『男性』が『女性』より4.9ポイント高い。年齢別では、『70歳以上』が18.6%と6.2ポイント全体より高く、各年齢層の中で最も高くなっている。職業別では、『無職』が16.2%と3.8ポイント全体より高く、最も高い。居住地別では、『福富地区』が21.1%と8.7ポイント全体より高く、最も高い。

図17-4 消費者トラブルの状況 ③電話勧誘/性別・年齢別・職業別・居住地別

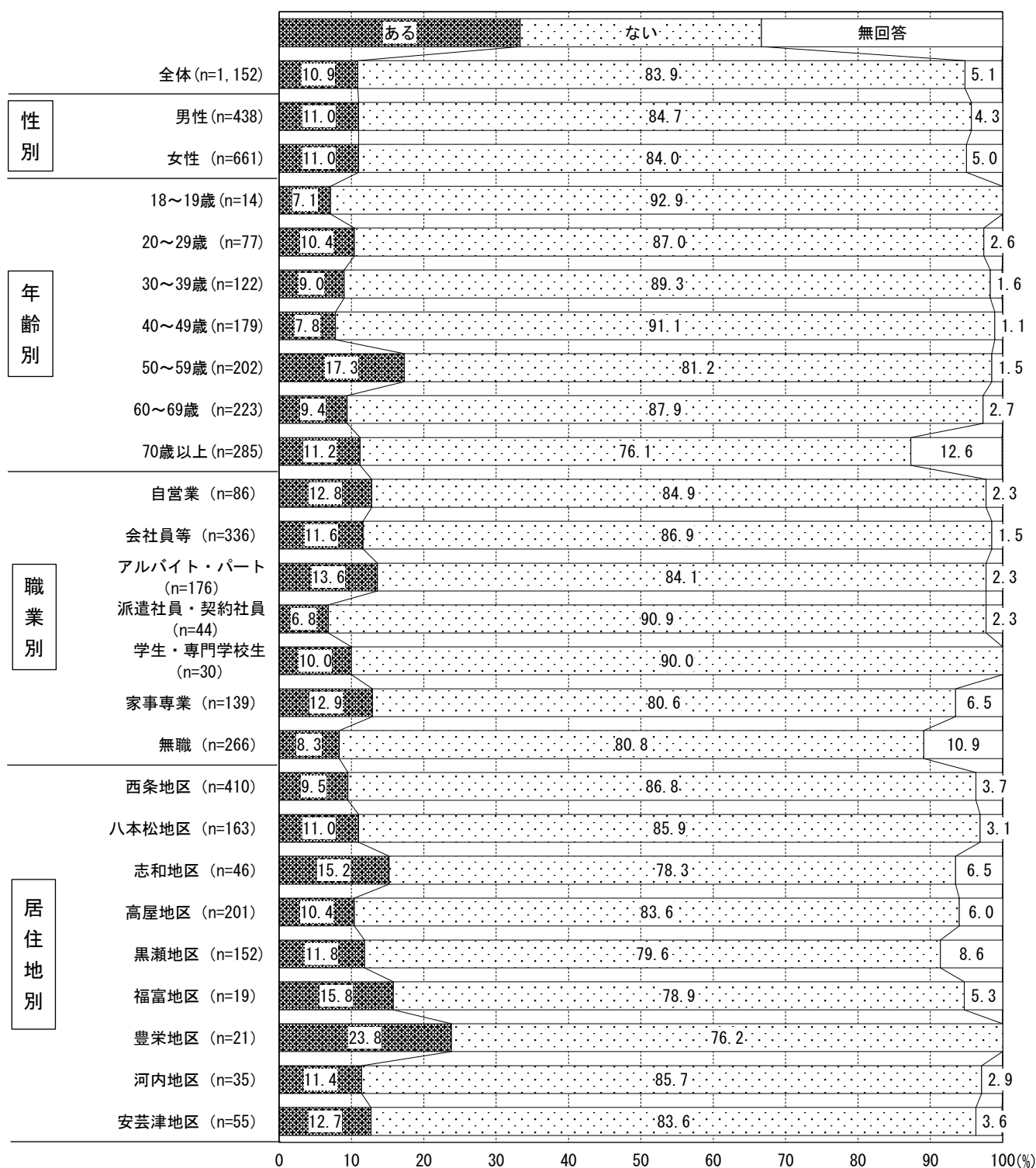


④訪問販売(自宅に訪問してきた販売員や道端でのキャッチセールスなど)

【属性別の傾向】<性別・年齢別・職業別・居住地別>

過去にトラブルになったことが「ある」は、性別では、男女で差異はない。年齢別では、『40～49歳』が7.8%と全体より3.1ポイント低く、『50～59歳』が17.3%と全体より6.4ポイント高い。職業別では、『アルバイト・パート』が13.6%と2.7ポイント全体より高く、最も高い。居住地別では、『豊栄地区』が23.8%と12.9ポイント全体より高く、最も高い。

図17-5 消費者トラブルの状況 ④訪問販売/性別・年齢別・職業別・居住地別

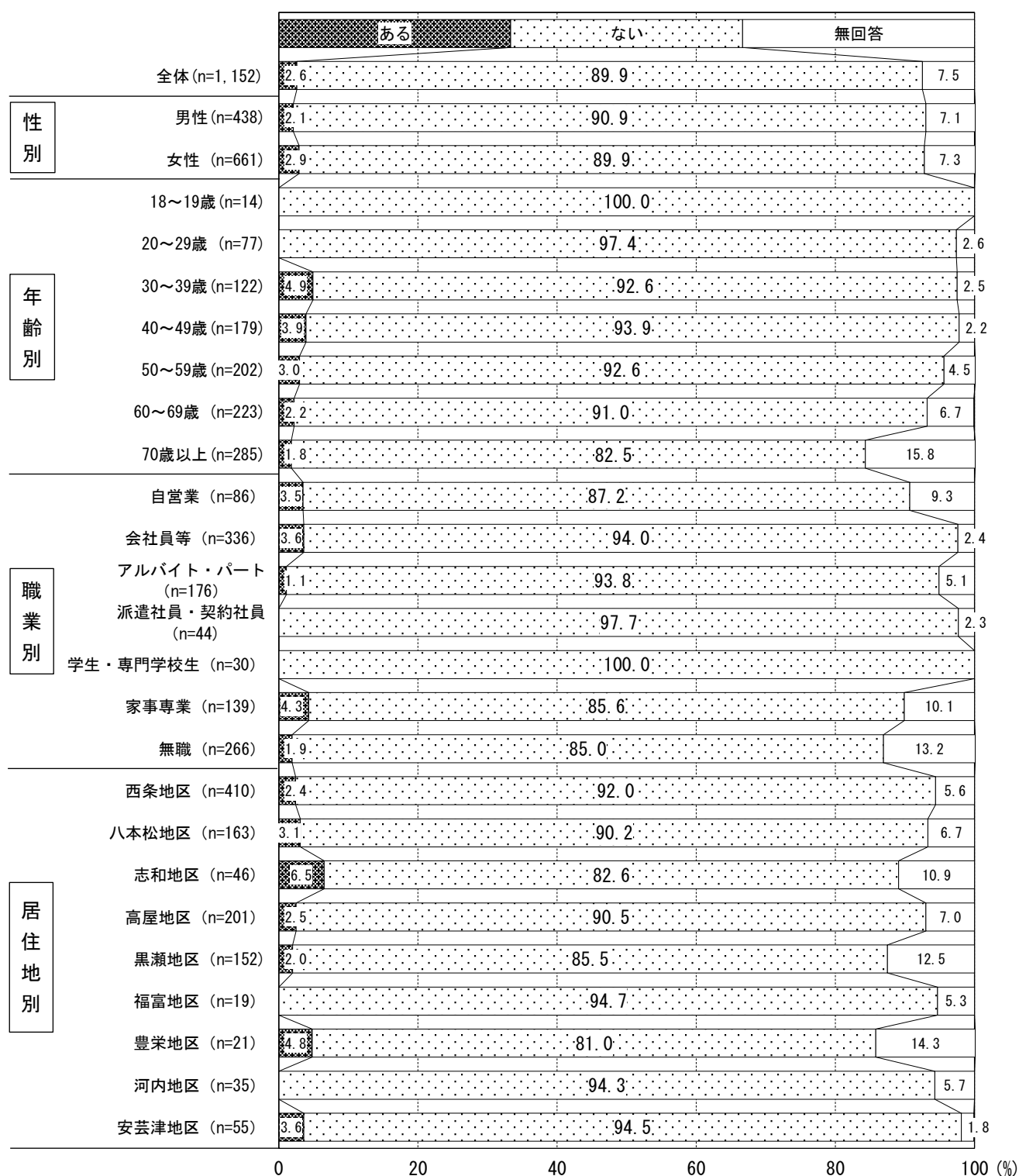


⑤知人から購入(近所の人や友人または、SNSで知り合った人からの勧誘など)

【属性別の傾向】＜性別・年齢別・職業別・居住地別＞

過去にトラブルになったことが「ある」は、性別では、男女で差異はない。年齢別では、『30～39歳』が4.9%と全体より2.3ポイント高い。職業別では、『家事専業』が4.3%と全体より1.7ポイント高い。居住地別では、『志和地区』が6.5%と3.9ポイント全体より高い。

図17-6 消費者トラブルの状況 ⑤知人から購入／性別・年齢別・職業別・居住地別

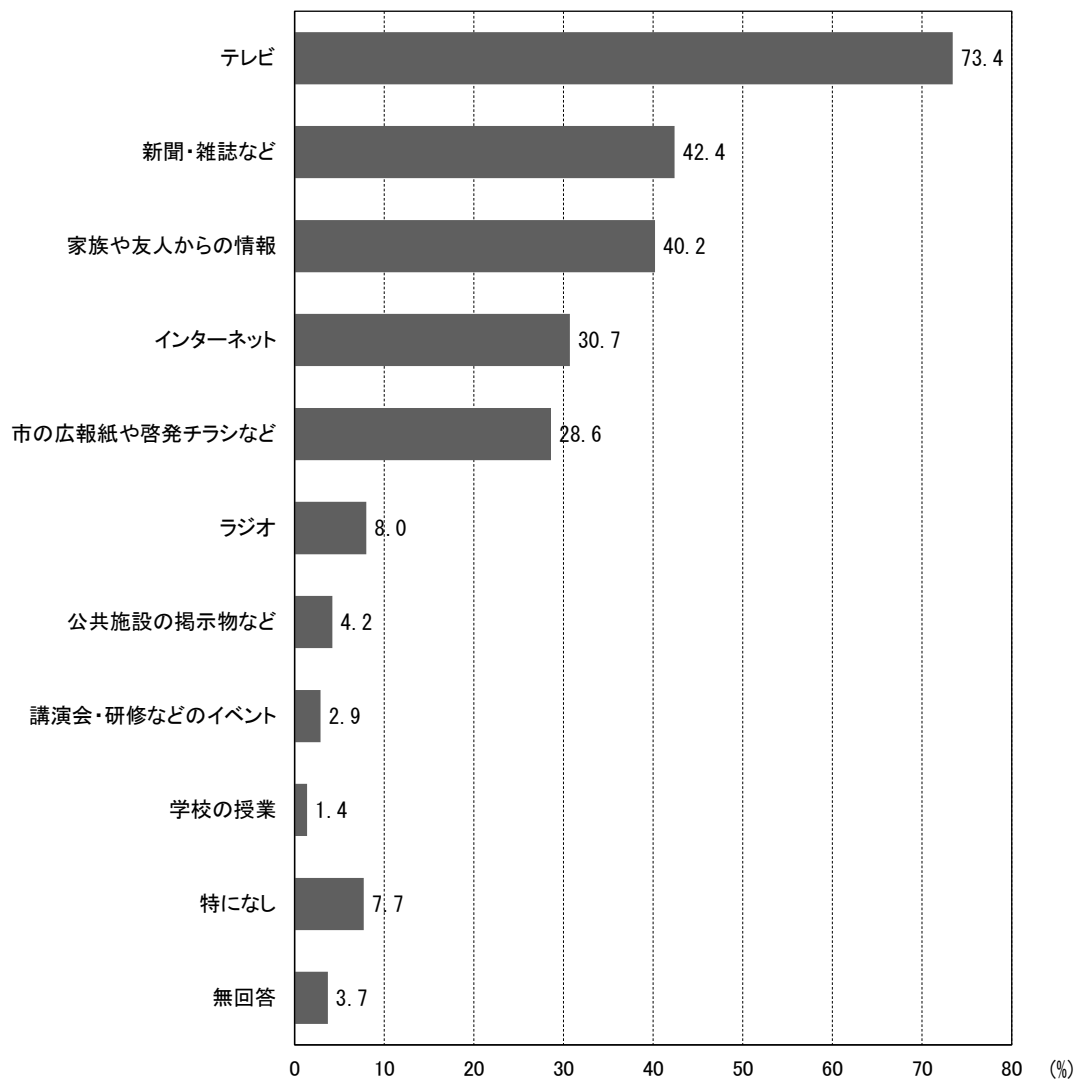


(3) 消費者トラブルに遭わないために参考にしている情報

問18 消費者トラブルに遭わないために、あなたは普段どのような情報を参考にしていますか。
(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

消費者トラブルに遭わないために参考にしている情報については、「テレビ」73.4%が最も高く、次いで「新聞・雑誌など」42.4%、「家族や友人からの情報」40.2%、「インターネット」30.7%、「市の広報紙や啓発チラシなど」28.6%となっている。

図18-1 消費者トラブルに遭わないために参考にしている情報<複数回答>



(n=1,152)

【属性別の傾向】

「テレビ」は、年齢別の『60～69歳』が81.2%と7.8ポイント、職業別の『アルバイト・パート』が80.7%と7.3ポイント、居住地別の『豊栄地区』が81.0%と7.6ポイント、それぞれ全体より高い。

「新聞・雑誌など」は、年齢別の『60～69歳』が56.5%と14.1ポイント、『70歳以上』が55.4%と13.0ポイント、職業別の『自営業』が55.8%と13.4ポイント、『家事専業』が54.7%と12.3ポイント、居住地別の『安芸津地区』が58.2%と15.8ポイント、それぞれ全体より高い。

「家族や友人からの情報」は、年齢別の『20～29歳』が57.1%と16.9ポイント、職業別の『派遣社員・契約社員』が54.5%と14.3ポイント、居住地別の『豊栄地区』が66.7%と26.5ポイント、それぞれ全体より高い。

「インターネット」は年齢別の『20～29歳』が72.7%と42.0ポイント、『30～39歳』が59.8%と29.1ポイント、『40～49歳』が48.0%と17.3ポイント、職業別の『学生・専門学校生』が73.3%と42.6ポイント、『会社員等』が48.2%と17.5ポイント、それぞれ全体より高い。

表 18-2 消費者トラブルに遭わないために参考にしてしている情報<複数回答>

単位：%

		テレビ	新聞・雑誌など	情報 家族や友人からの	インターネット	市の広報紙や 啓発チラシなど	ラジオ	など 公共施設の掲示物	講演会・研修などの イベント	学校の授業	特になし	無回答
全体(n=1,152)		73.4	42.4	40.2	30.7	28.6	8.0	4.2	2.9	1.4	7.7	3.7
性別	男性(n=438)	68.0	42.0	31.7	34.9	28.1	10.3	3.4	2.5	1.1	9.6	3.9
	女性(n=661)	76.7	42.8	46.1	28.7	28.1	6.5	4.5	2.9	1.7	6.7	3.3
年齢	18～19歳(n=14)	71.4	35.7	35.7	71.4	7.1	0.0	0.0	7.1	28.6	0.0	0.0
	20～29歳(n=77)	58.4	10.4	57.1	72.7	6.5	5.2	5.2	0.0	2.6	9.1	2.6
	30～39歳(n=122)	62.3	19.7	46.7	59.8	15.6	4.9	4.9	0.8	2.5	9.8	3.3
	40～49歳(n=179)	72.6	33.5	36.3	48.0	18.4	6.7	3.9	0.6	3.4	8.9	1.7
	50～59歳(n=202)	74.8	43.6	34.2	32.7	27.7	9.4	2.0	3.0	0.5	9.9	1.0
	60～69歳(n=223)	81.2	56.5	41.7	16.1	33.6	13.0	4.0	3.1	0.0	3.6	2.7
	70歳以上(n=285)	75.8	55.4	39.6	6.0	43.2	6.3	5.3	4.9	0.0	8.1	7.4
職業	自営業(n=86)	76.7	55.8	44.2	22.1	24.4	10.5	3.5	4.7	0.0	11.6	3.5
	会社員等(n=336)	66.7	33.0	38.1	48.2	19.6	6.8	3.6	0.6	1.2	9.8	3.3
	アルバイト・パート(n=176)	80.7	37.5	47.2	30.7	27.8	9.1	2.8	1.7	2.3	4.0	1.7
	派遣社員・契約社員(n=44)	77.3	27.3	54.5	43.2	18.2	9.1	6.8	2.3	2.3	6.8	0.0
	学生・専門学校生(n=30)	56.7	30.0	40.0	73.3	10.0	3.3	3.3	6.7	20.0	6.7	0.0
	家事専業(n=139)	78.4	54.7	41.7	23.0	38.1	6.5	3.6	3.6	0.0	2.9	2.9
	無職(n=266)	73.7	50.8	36.5	12.4	38.0	7.5	5.3	4.9	0.4	9.8	6.0
地区	西条地区(n=410)	69.8	38.3	38.5	35.9	27.6	5.1	3.7	2.4	2.0	9.5	4.4
	八本松地区(n=163)	74.2	46.6	36.2	38.7	23.3	12.3	4.3	1.2	1.2	8.0	3.1
	志和地区(n=46)	73.9	45.7	34.8	8.7	34.8	10.9	4.3	4.3	0.0	8.7	8.7
	高屋地区(n=201)	75.1	41.8	38.3	27.4	32.8	7.5	4.0	4.0	1.0	6.0	2.0
	黒瀬地区(n=152)	77.0	43.4	48.0	33.6	23.7	8.6	3.9	2.6	0.7	5.9	3.3
	福富地区(n=19)	78.9	52.6	31.6	10.5	31.6	21.1	15.8	0.0	5.3	5.3	5.3
	豊栄地区(n=21)	81.0	23.8	66.7	23.8	42.9	9.5	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	河内地区(n=35)	77.1	48.6	42.9	11.4	28.6	11.4	5.7	5.7	0.0	8.6	2.9
安芸津地区(n=55)	72.7	58.2	49.1	20.0	32.7	7.3	0.0	3.6	1.8	10.9	1.8	

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない(年齢別の18～19歳、居住地別の福富地区を除く)。

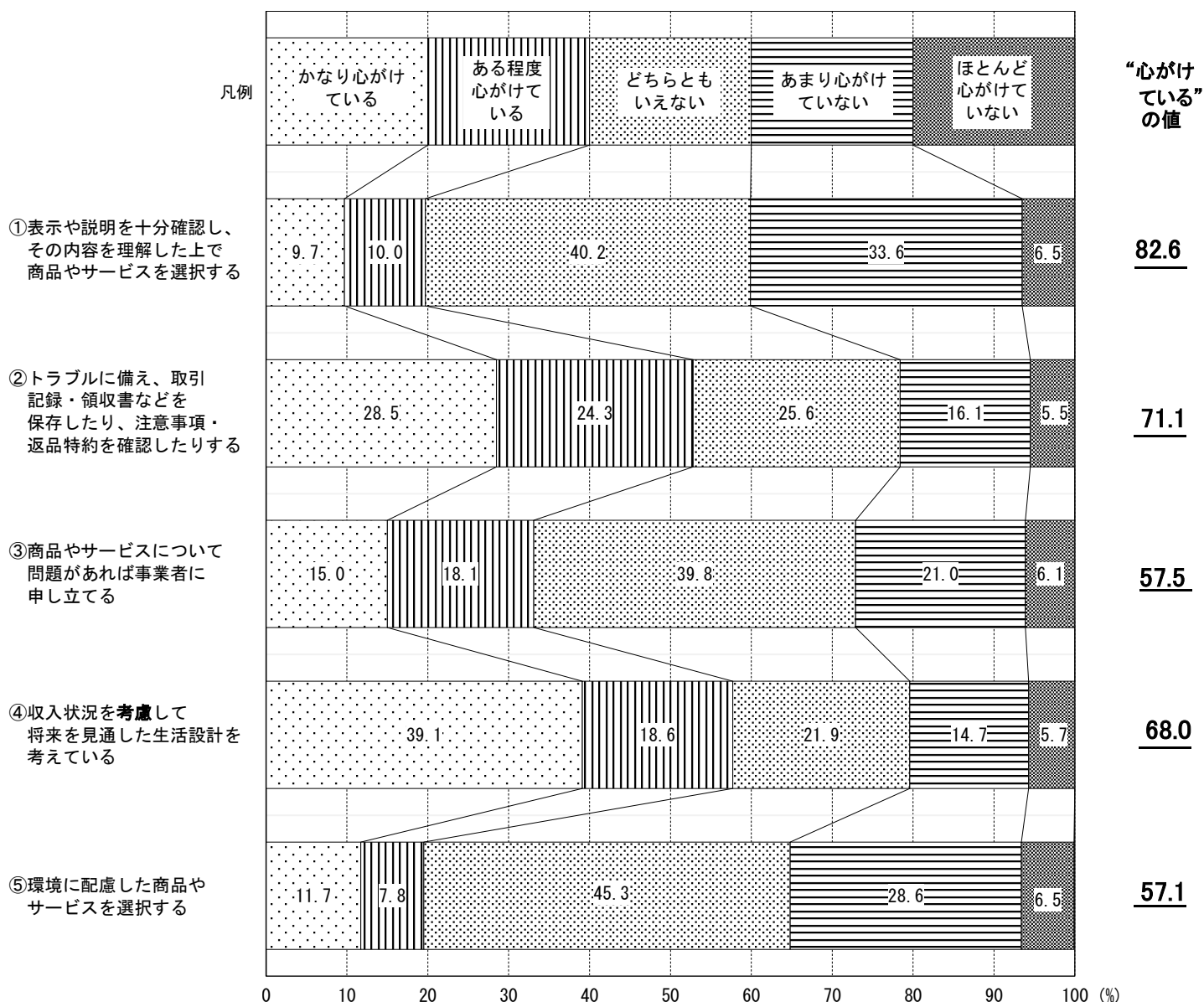
(4) 消費者としての行動の心がけ状況

問19 あなたは、消費者として以下の行動をどの程度心がけていますか。
 (それぞれの項目ごとに、当てはまるものを選んで○お付けください)

消費者としての行動の心がけ状況については、「かなり心がけている」が、『①表示や説明を十分確認し、その内容を理解した上で商品やサービスを選択する』が27.8%、『④収入状況を考慮して将来を見通した生活設計を考えている』が22.4%、『②トラブルに備え、取引記録・領収書などを保存したり、注意事項・返品特約を確認したりする』が20.9%で、2割を超えている。

“心がけている”(「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計)は『①表示や説明を十分確認し、その内容を理解した上で商品やサービスを選択する』82.6%が最も高く、次いで『②トラブルに備え、取引記録・領収書などを保存したり、注意事項・返品特約を確認したりする』71.1%、『④収入状況を考慮して将来を見通した生活設計を考えている』68.0%となっている。

図19-1 消費者としての行動の心がけ状況 [n=1,152]



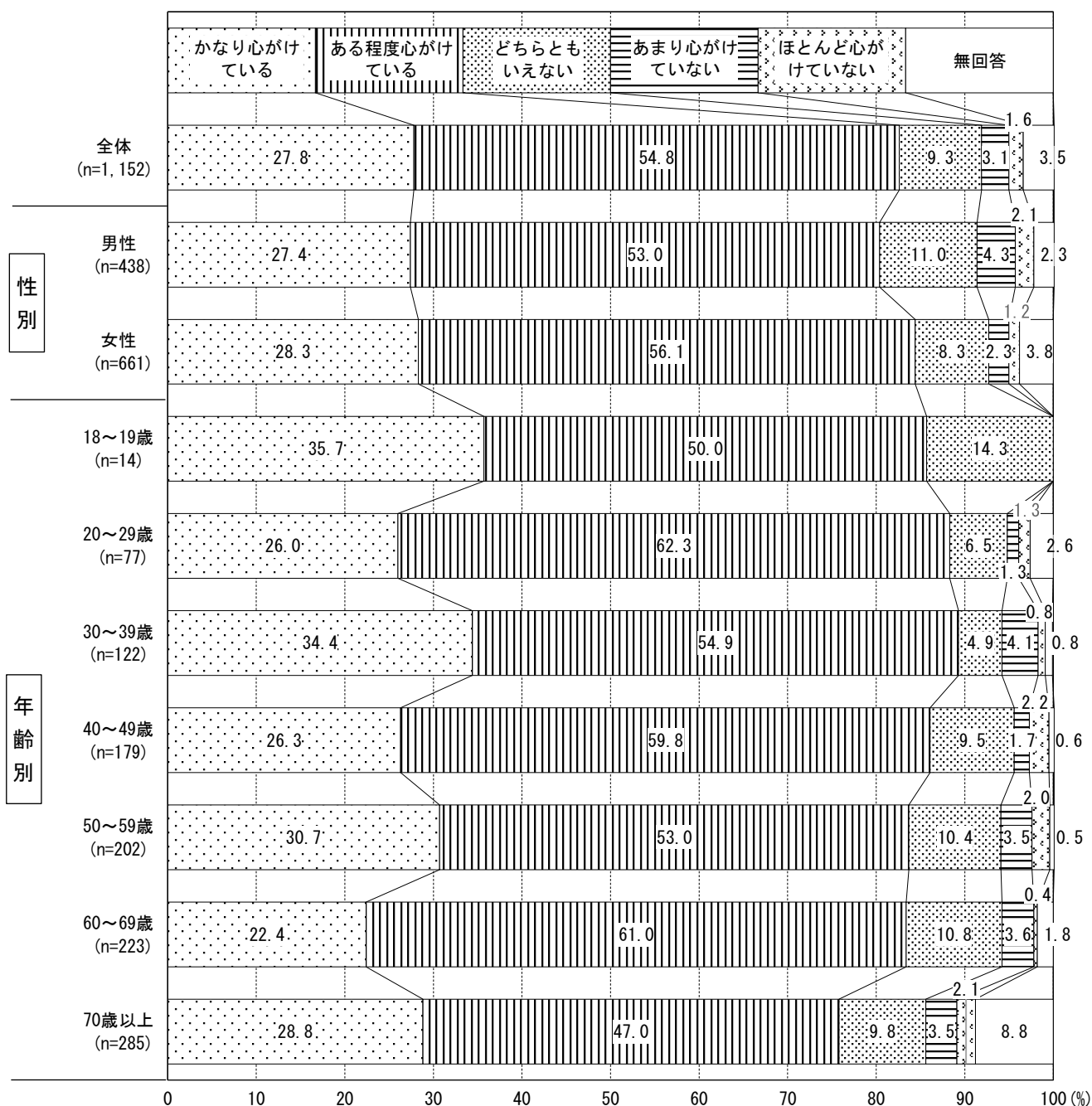
①表示や説明を十分確認し、その内容を理解した上で商品やサービスを選択する

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「ある程度心がけている」は『女性』が『男性』より3.1ポイント高い。“心がけている”（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）は『男性』80.4%、『女性』84.4%と男女共に8割を超えている。

年齢別では、「ある程度心がけている」は『20～29歳』が62.3%と7.5ポイント、『60～69歳』が61.0%と6.2ポイント全体より高く、『70歳以上』が47.0%と7.8ポイント全体より低い。“心がけている”は『70歳以上』が75.8%と他の年齢層より低い。

図19-2 消費者としての行動の心がけ状況 ①表示や説明を十分確認し、その内容を理解した上で商品やサービスを選択する／性別・年齢別

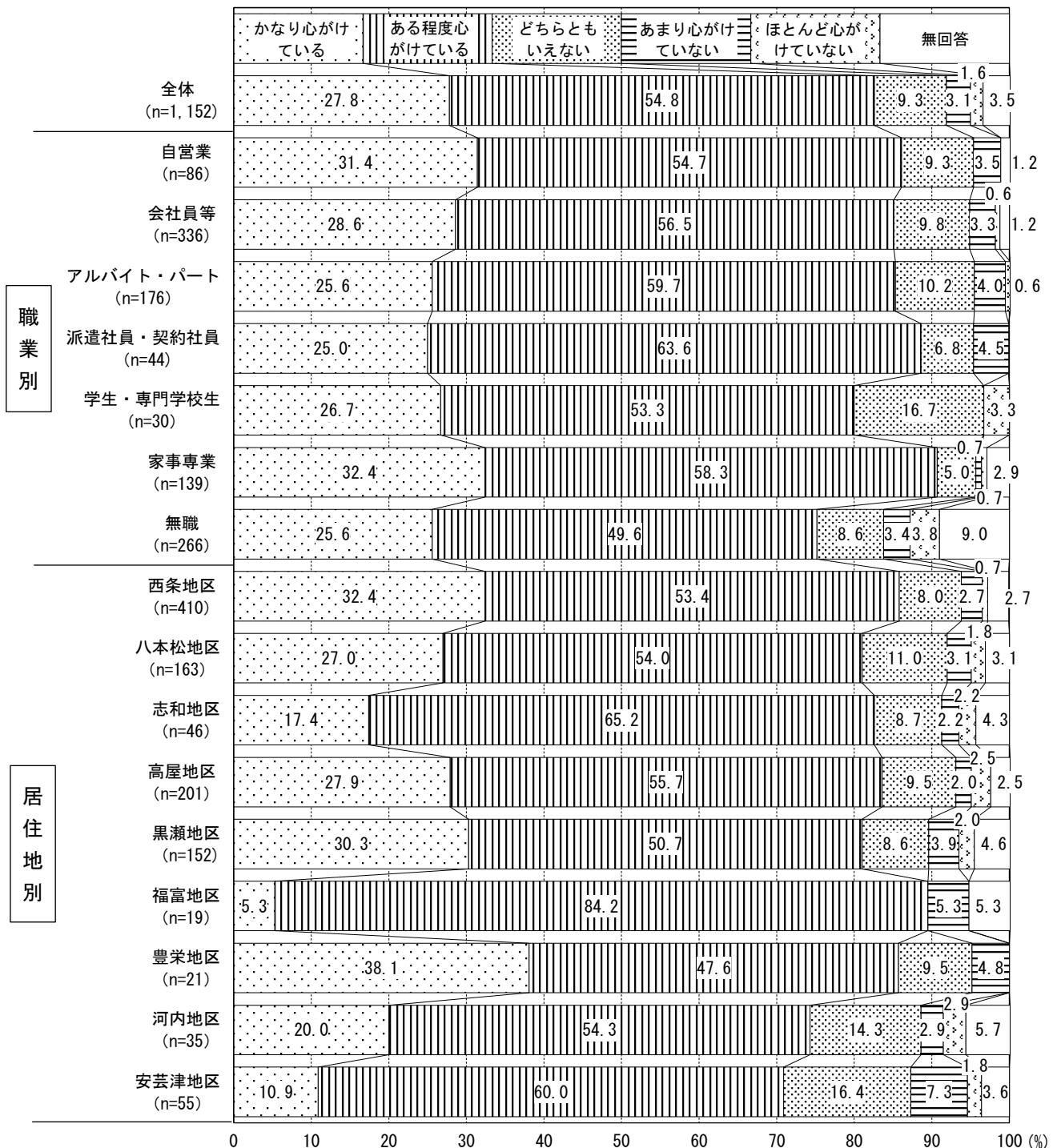


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「ある程度心がけている」は『派遣社員・契約社員』が63.6%と8.8ポイント全体より高く、『無職』が49.6%と5.2ポイント全体より低い。“心がけている”（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）については『家事専業』が90.7%と8.1ポイント全体より高く、『無職』は75.2%と7.4ポイント全体より低い。

居住地別では、“心がけている”は『安芸津地区』70.9%が10ポイント以上全体より低く、他の地区より低くなっている。

図19-3 消費者としての行動の心がけ状況 ①表示や説明を十分確認し、その内容を理解した上で商品やサービスを選択する／職業別・居住地別



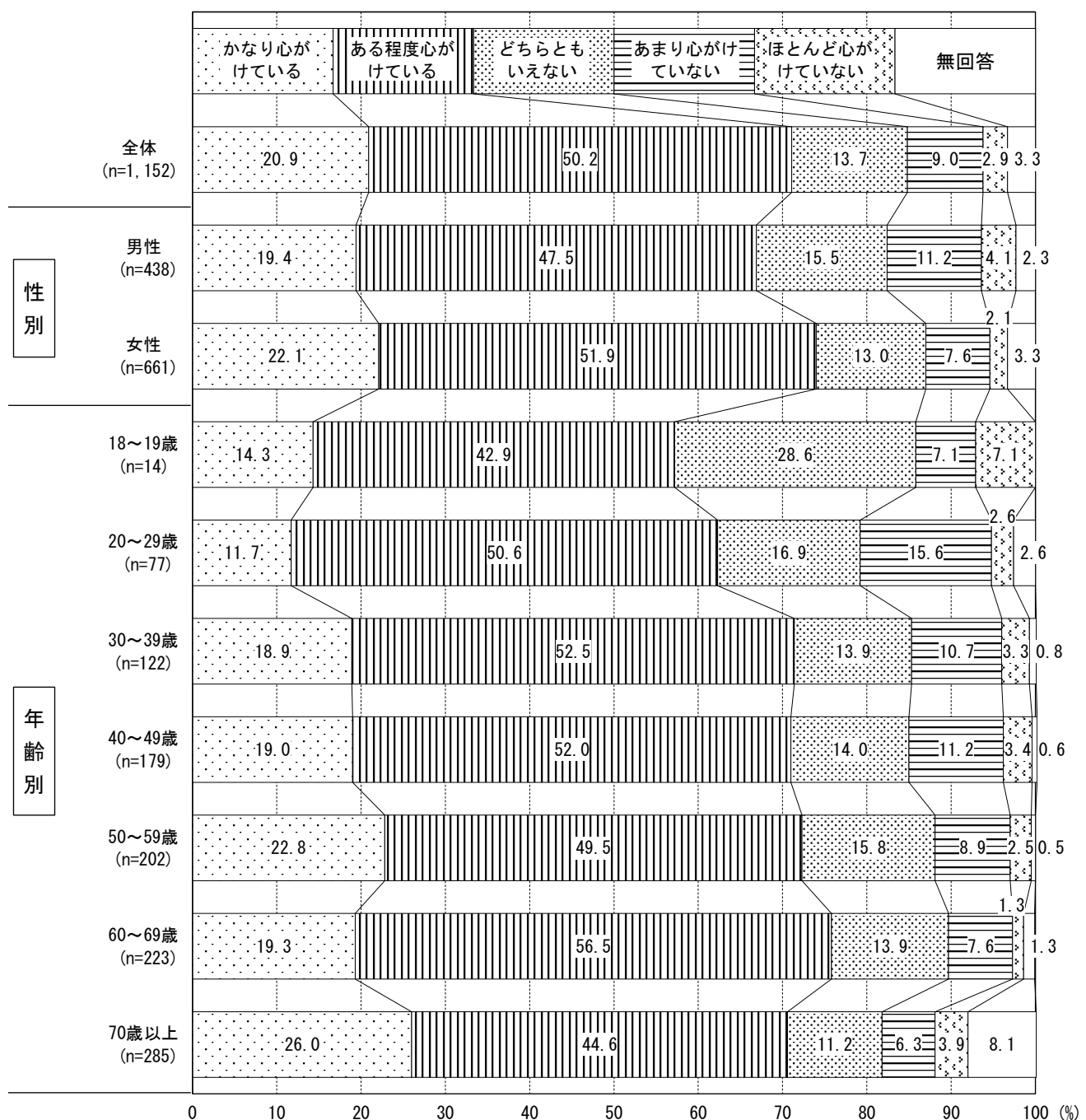
②トラブルに備え、取引記録・領収書などを保存したり、注意事項・返品特約を確認したりする

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“心がけている”（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）は『男性』66.9%、『女性』74.0%と『女性』が『男性』より7.1ポイント高い。

年齢別では、「ある程度心がけている」は『60～69歳』が56.5%と6.3ポイント全体より高く、『70歳以上』が44.6%と5.6ポイント全体より低い。“心がけている”は『20～29歳』が62.3%と7割を下回っている。

図19-4 消費者としての行動の心がけ状況 ②トラブルに備え、取引記録・領収書などを保存したり、注意事項・返品特約を確認したりする／性別・年齢別



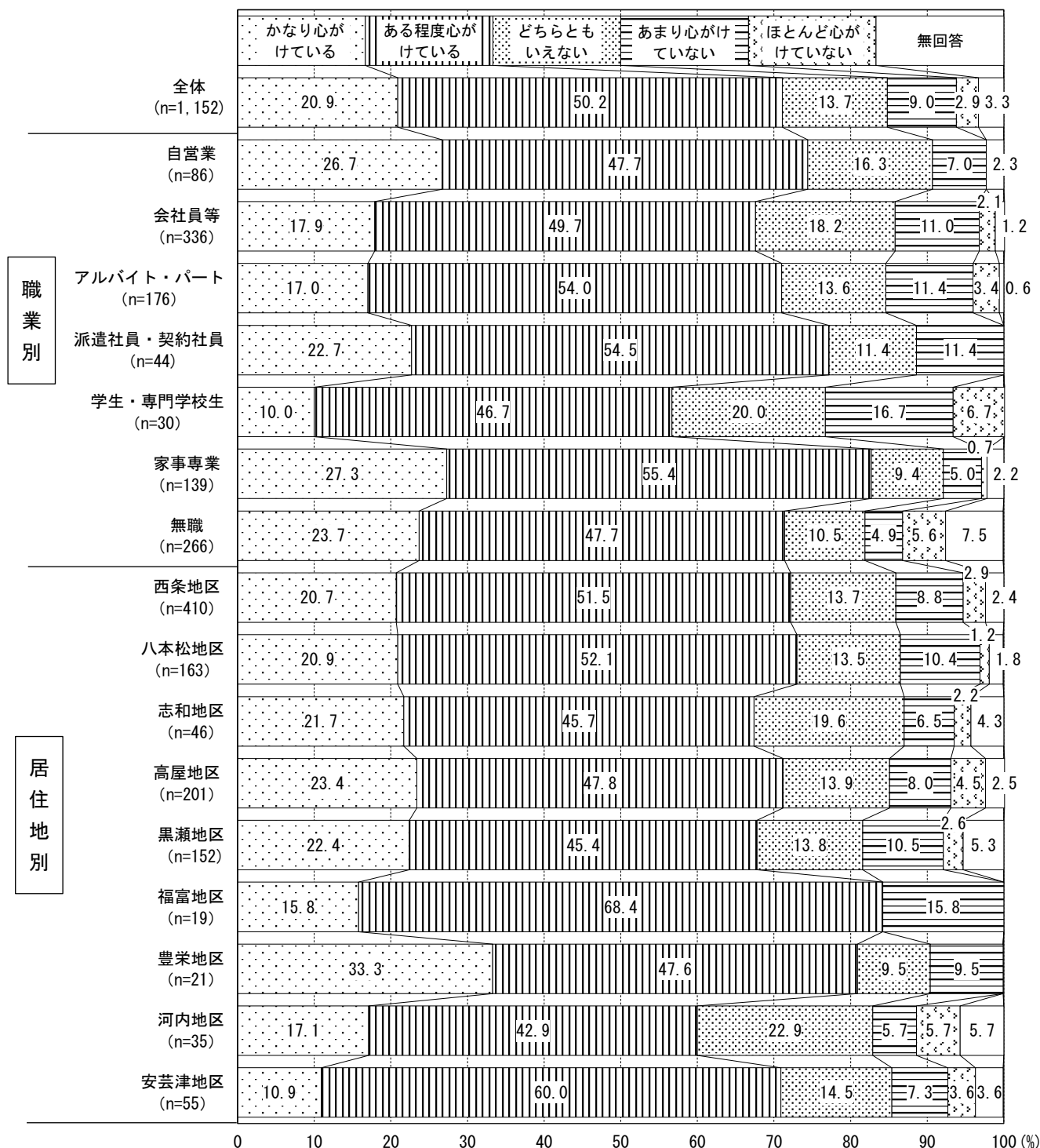
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「ある程度心がけている」は『学生・専門学校生』が46.7%と3.5ポイント、『自営業』『無職』が47.7%と2.5ポイント全体より低い。

“心がけている”（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）については『家事専業』が82.7%と11.6ポイント全体より高く、他の属性より高い。

居住地別では、“心がけている”は『河内地区』が60.0%と11.1ポイント全体より低い。

図19-5 消費者としての行動の心がけ状況 ②トラブルに備え、取引記録・領収書などを保存したり、注意事項・返品特約を確認したりする／職業別・居住地



③商品やサービスについて問題があれば事業者申し立てる

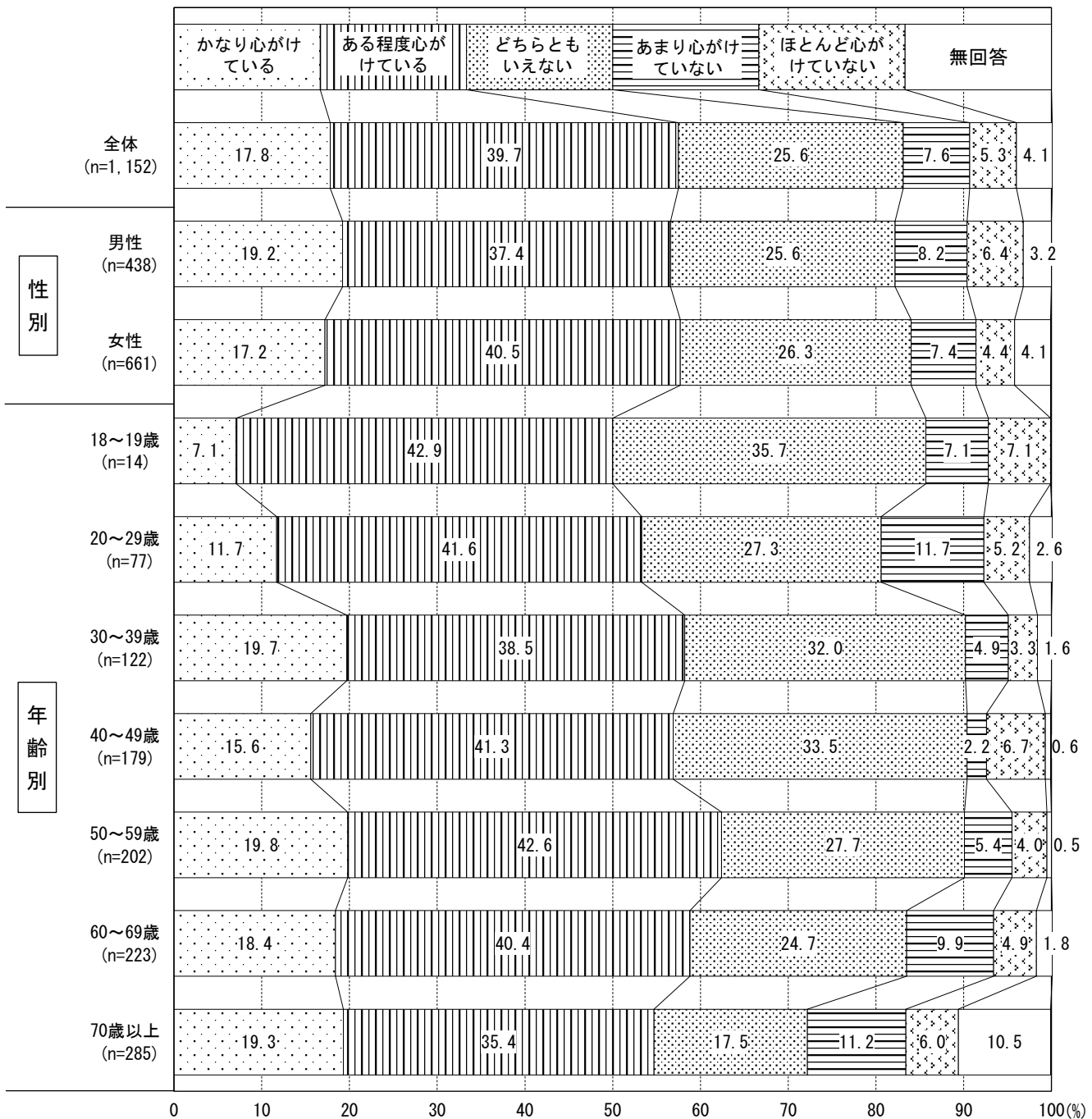
【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「ある程度心がけている」は『女性』が『男性』より3.1ポイント高い。“心がけている”（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）は『男性』56.6%、『女性』57.7%と『女性』が『男性』より1.1ポイント高い。

年齢別では、「ある程度心がけている」は『70歳以上』が35.4%と4.3ポイント全体より低い。“心がけている”は『50～59歳』が62.4%と4.9ポイント全体より高く、『20～29歳』が53.3%と4.2ポイント全体より低い。

図19-6 消費者としての行動の心がけ状況

③商品やサービスについて問題があれば事業者に申し立てる)／性別・年齢別



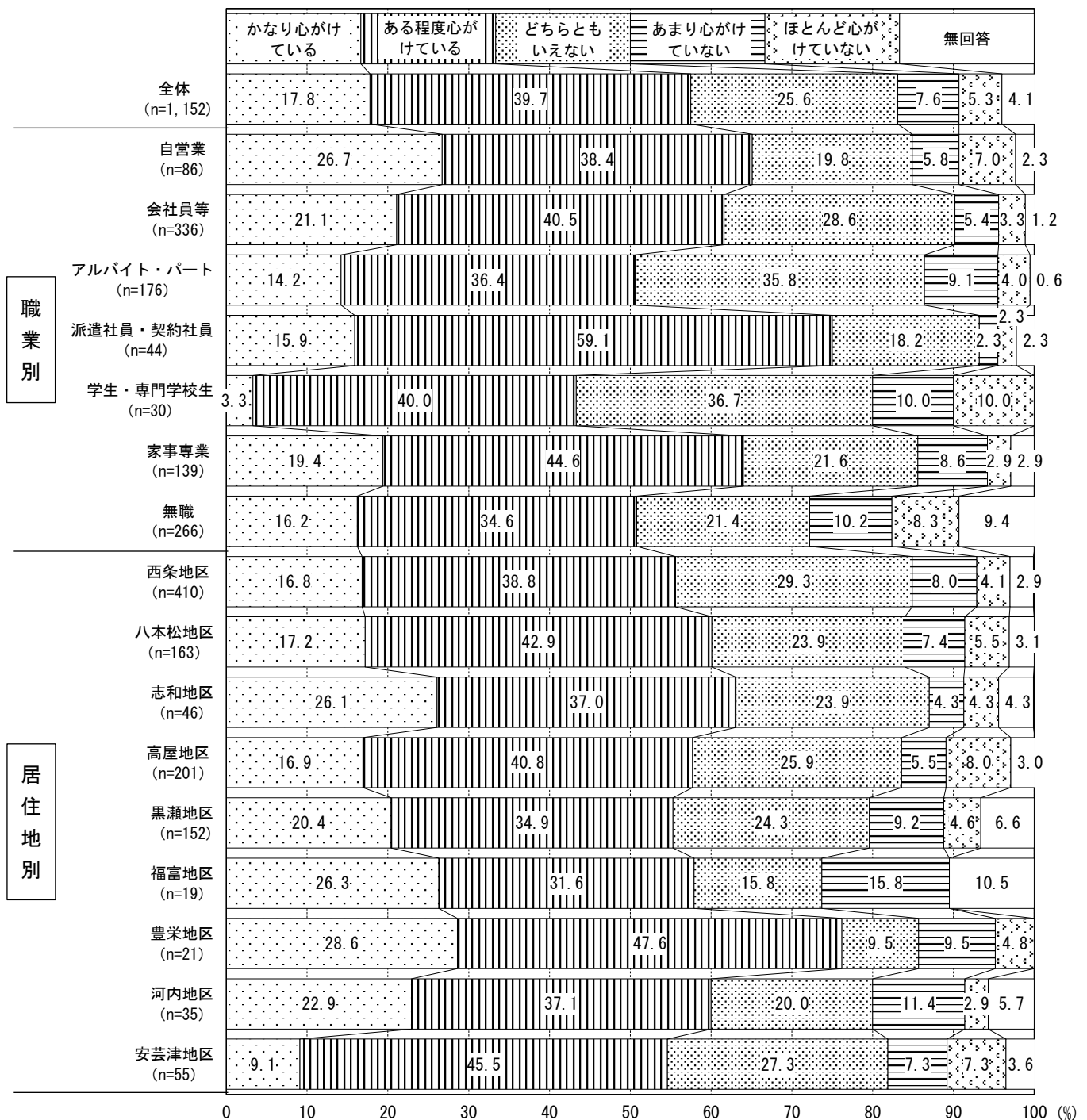
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「ある程度心がけている」は『派遣社員・契約社員』が59.1%と19.4ポイント、『家事専業』が44.6%と4.9ポイント、それぞれ全体より高く、“心がけている”（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）については『派遣社員・契約社員』が75.0%と17.5ポイント、『自営業』が65.1%と7.6ポイント全体より高く、他の属性より高い。

居住地別では、“心がけている”は『豊栄地区』が76.2%と18.7ポイント全体より高く、他の地区より高い。

図19-7 消費者としての行動の心がけ状況

③商品やサービスについて問題があれば事業者申し立てる／職業別・居住地別



④収入状況を考慮して将来を見通した生活設計を考えている

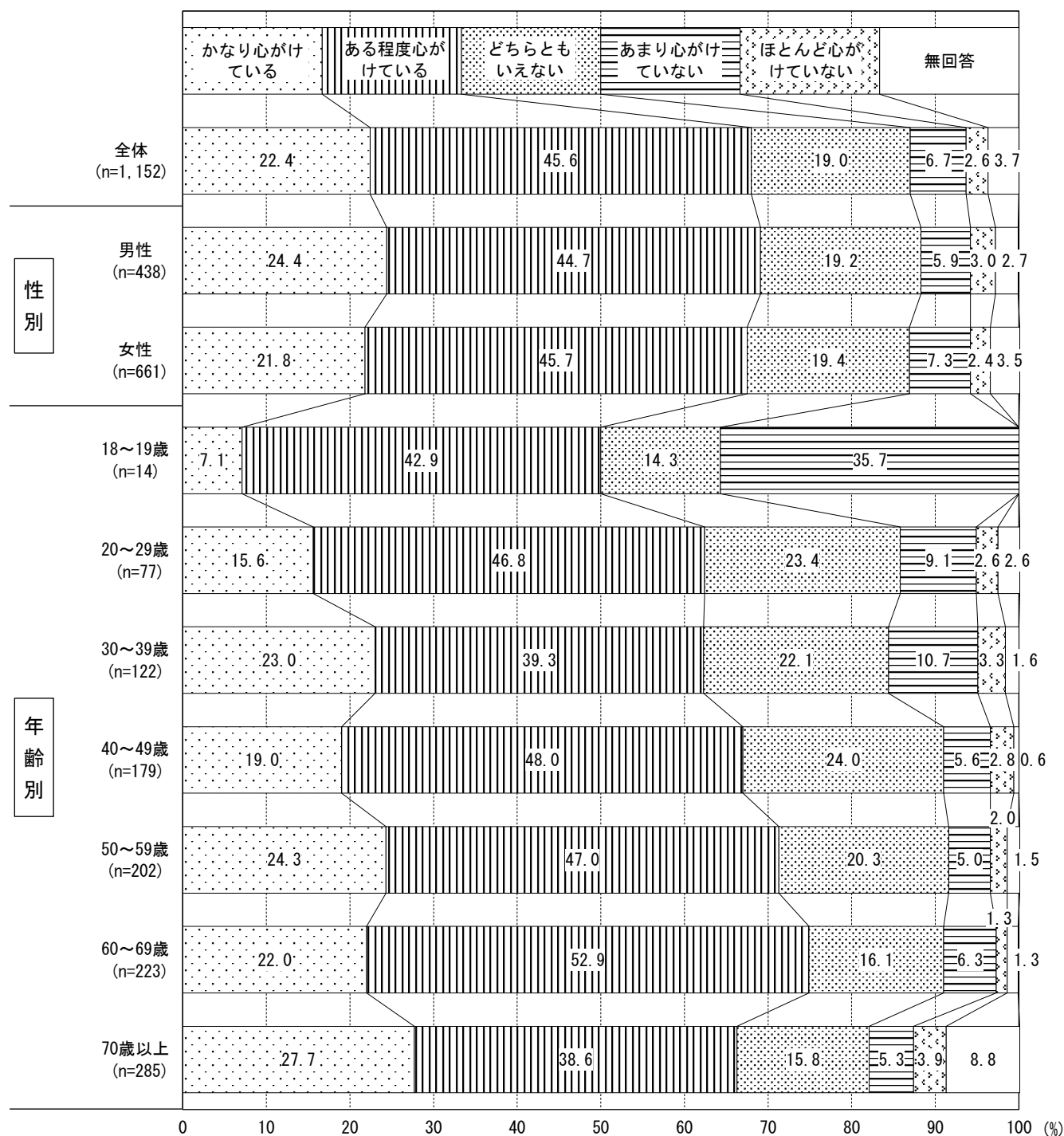
【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“心がけている”（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）は『男性』69.1%、『女性』67.5%と、男女共に6割を超えている。

年齢別では、「ある程度心がけている」は『60～69歳』が52.9%と7.3ポイント全体より高い一方、『70歳以上』は38.6%と7.0ポイント全体より低い。“心がけている”についても『60～69歳』が74.9%と6.9ポイント全体より高い。

図19-8 消費者としての行動の心がけ状況

④収入状況を考慮して将来を見通した生活設計を考えている／性別・年齢別



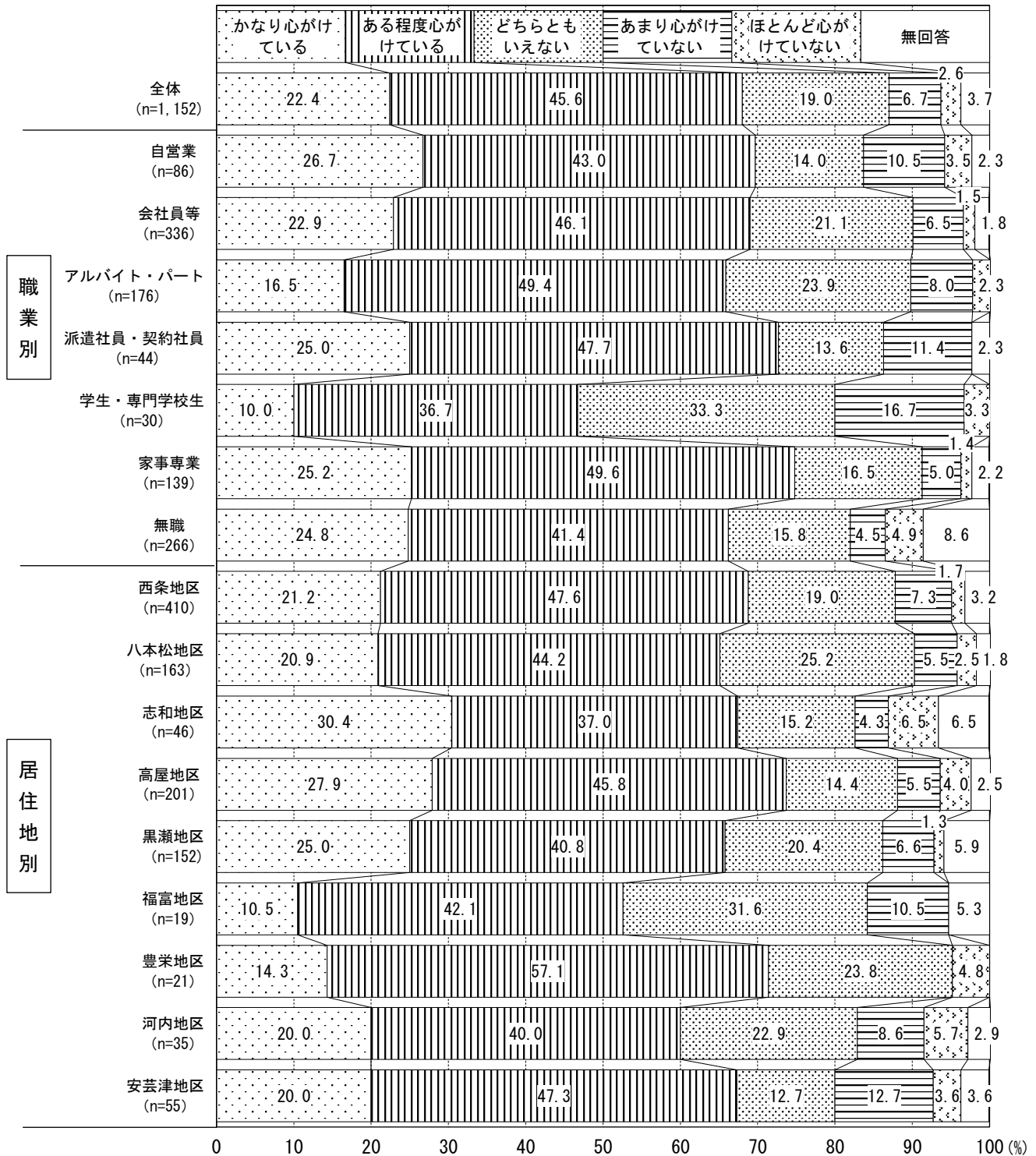
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“心がけている”（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）は『家事専業』が74.8%と6.8ポイント全体より高い。

居住地別では、“心がけている”は『高屋地区』が73.7%と5.7ポイント全体より高く、各地区の中で最も高い。一方、『福富地区』は52.6%と15.4ポイント全体より低く、最も低い。

図19-9 消費者としての行動の心がけ状況

④収入状況を考慮して将来を見通した生活設計を考えている／職業別・居住地別



⑤環境に配慮した商品やサービスを選択する

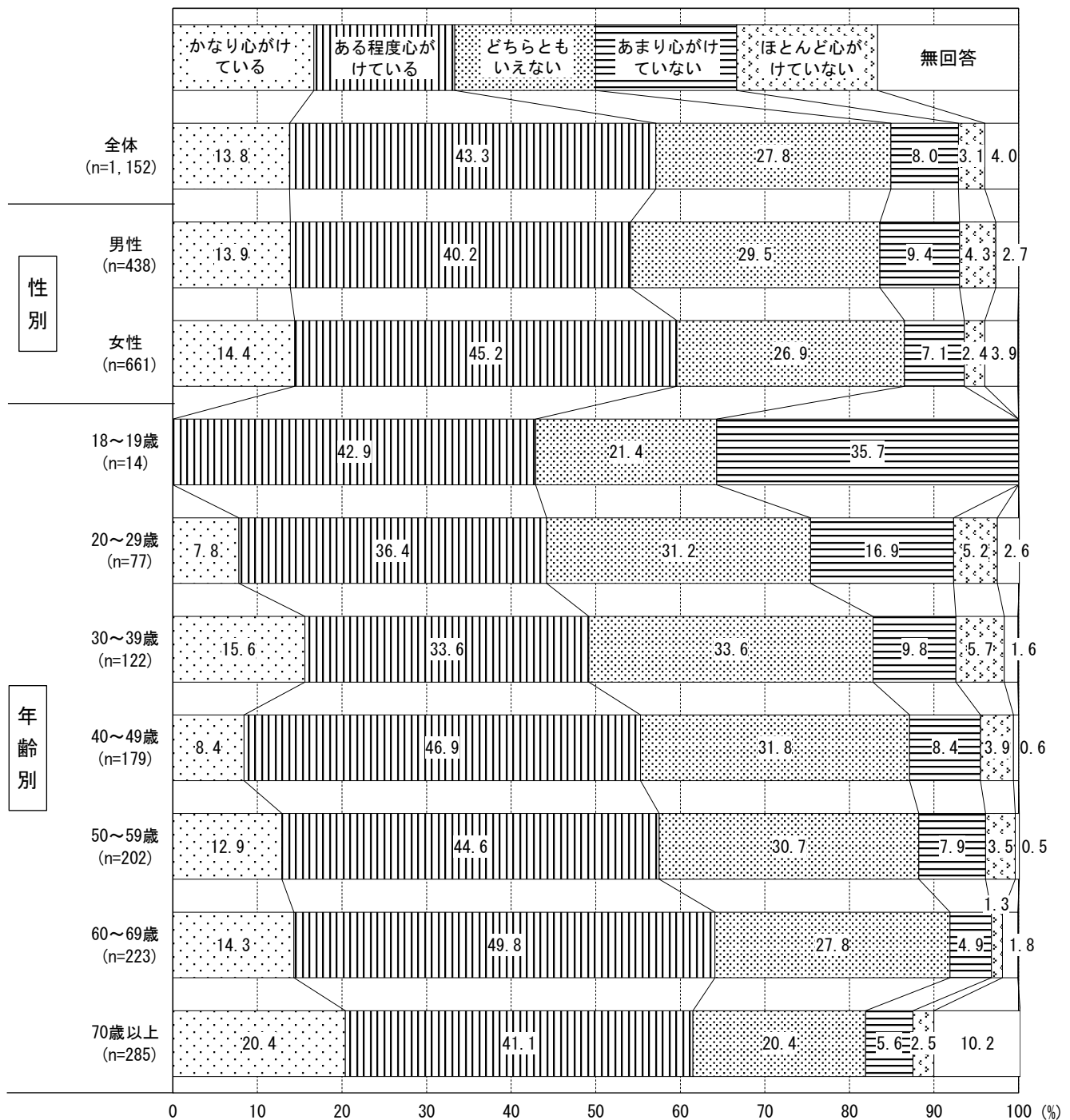
【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“心がけている”（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）は『男性』54.1%、『女性』59.6%と『女性』が『男性』より5.5ポイント高い。

年齢別では、「かなり心がけている」は『70歳以上』が20.4%と6.6ポイント全体より高い一方、『20～29歳』は7.8%と6.0ポイント全体より低い。“心がけている”については『60～69歳』が64.1%と7.0ポイント全体より高く、最も高い。

図19-10 消費者としての行動の心がけ状況

⑤環境に配慮した商品やサービスを選択する／性別・年齢別



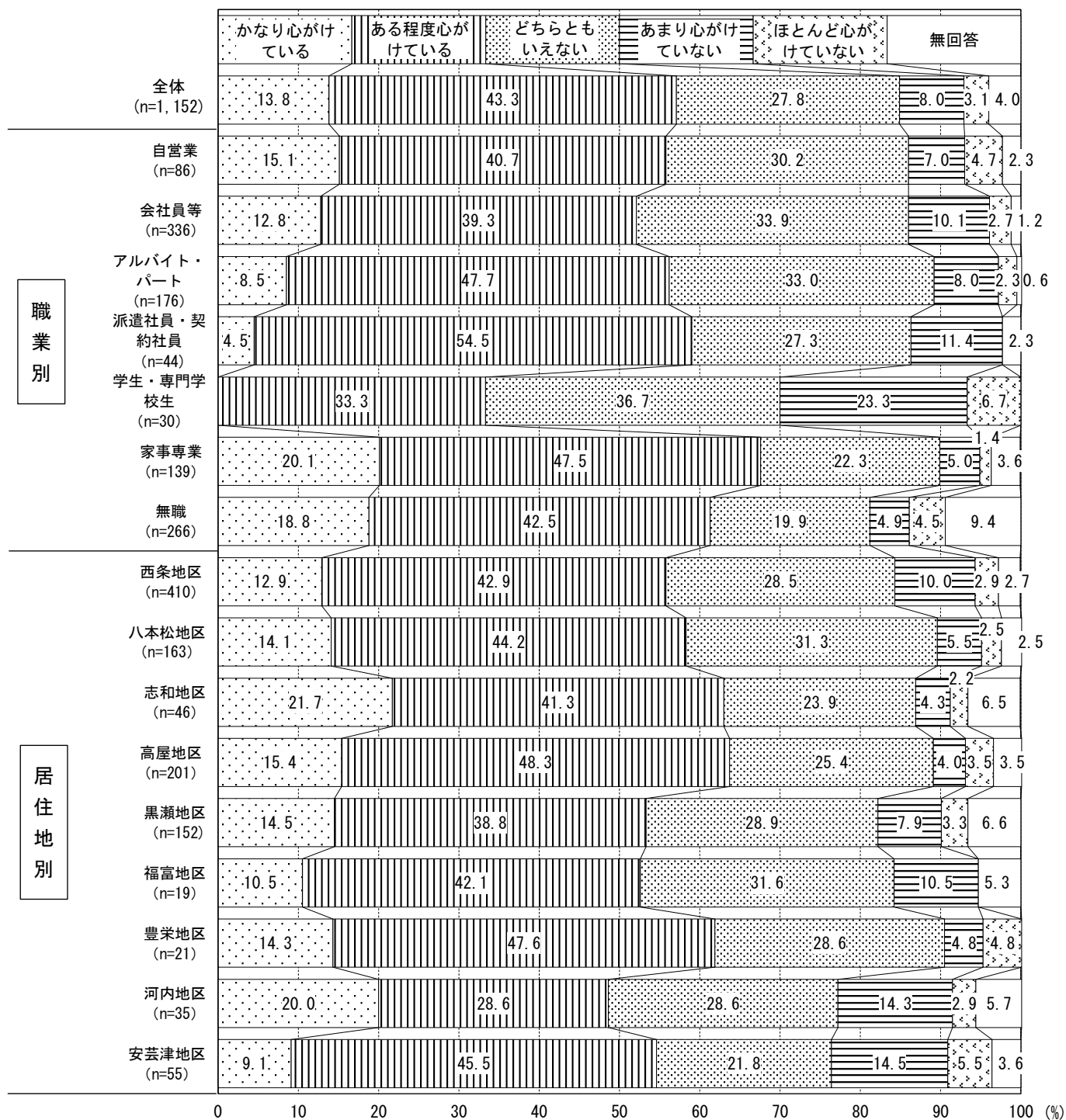
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「かなり心がけている」は『家事専業』が20.1%と6.3ポイント全体より高い。
 “心がけている”（「かなり心がけている」と「ある程度心がけている」の合計）についても『家事専業』が67.6%と10.5ポイント全体より高い。

居住地別では、“心がけている”は『高屋地区』が63.7%と6.6ポイント全体より高く、最も高い。一方、『河内地区』は48.6%と8.5ポイント全体より低く、他の地区より著しく低い。

図19-11 消費者としての行動の心がけ状況

⑤環境に配慮した商品やサービスを選択する／職業別・居住地別



10. 人権男女共同参画について

問20 あなたは、次の①～④について、どのように感じていますか。また、⑤の考え方に賛成ですか、反対ですか。
 (それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください)

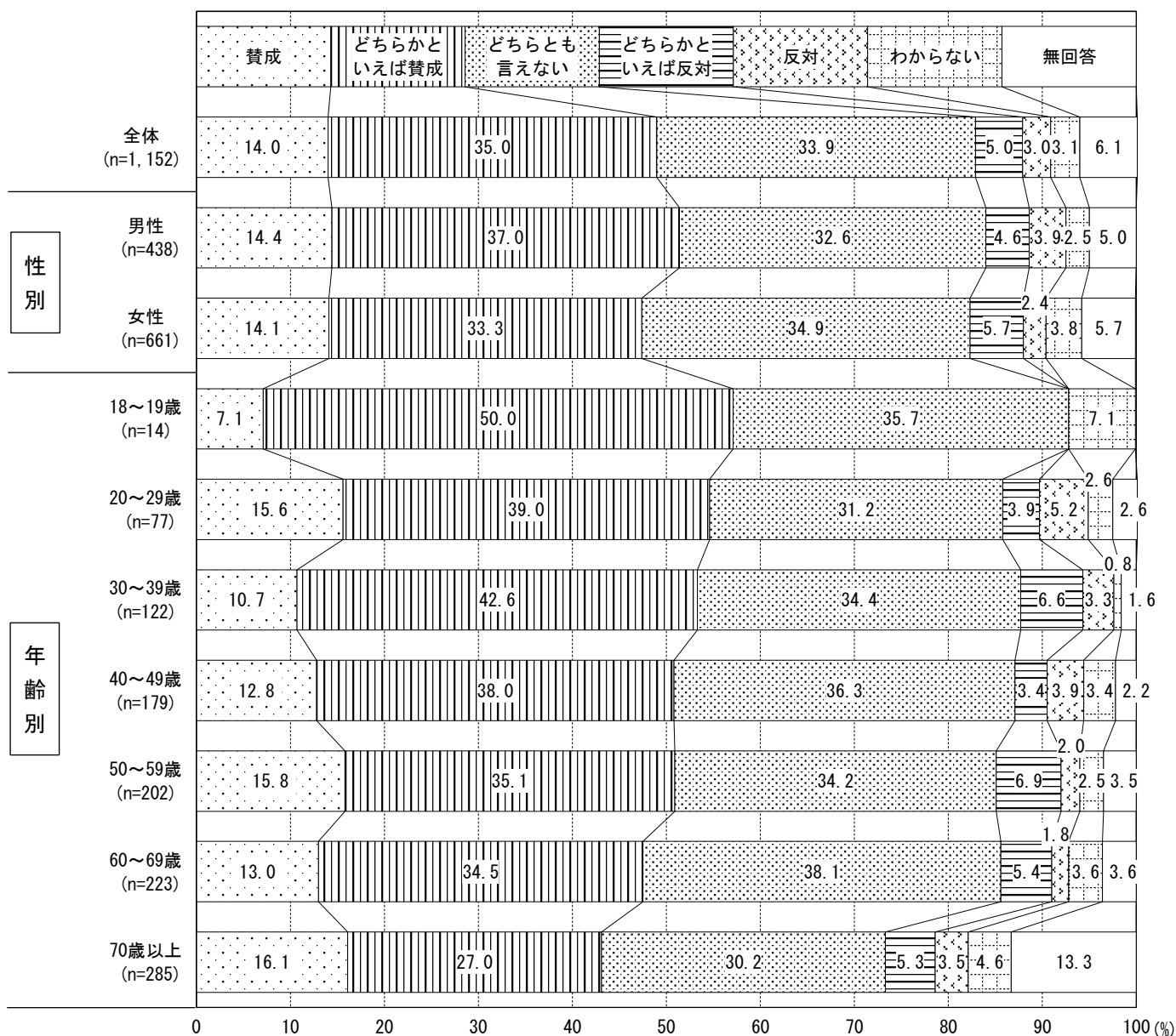
① 日常生活の中で、人権が大切にされている

【属性別の傾向】 <性別・年齢別>

性別では、“賛成”（「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計）は『男性』51.4%、『女性』47.4%と『男性』が『女性』より4.0ポイント高い。

年齢別では、「どちらかといえば賛成」は『30～39歳』が42.6%と7.6ポイント全体より高く、“賛成”は『20～29歳』が54.6%と5.6ポイント全体より高い。

図20-1 人権男女共同参画について ①日常生活の中で、人権が大切にされている／性別・年齢別

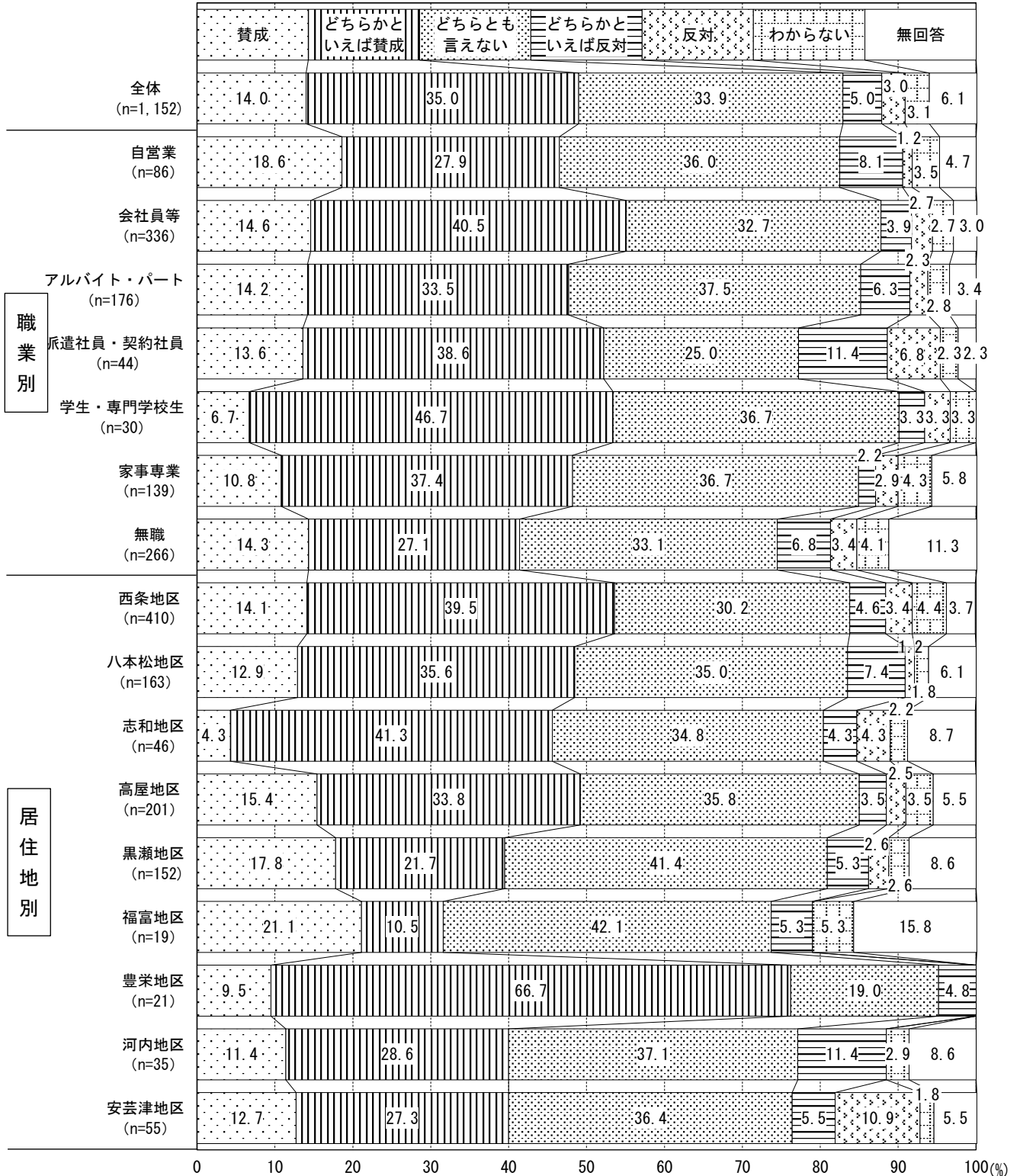


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「賛成」は『自営業』が18.6%と4.6ポイント全体より高く、“賛成”（「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計）は『会社員等』が55.1%と6.1ポイント全体より高い。

居住地別では、“賛成”は『豊栄地区』が76.2%と27.2ポイント全体より高く、最も高い。一方、『福富地区』は31.6%と17.4ポイント全体より低く、最も低い。

図 20-2 人権男女共同参画について ①日常生活の中で、人権が大切にされている／職業別・居住地別



② 差別をなくすため、すべての人が自分の問題として取り組むべきだ。

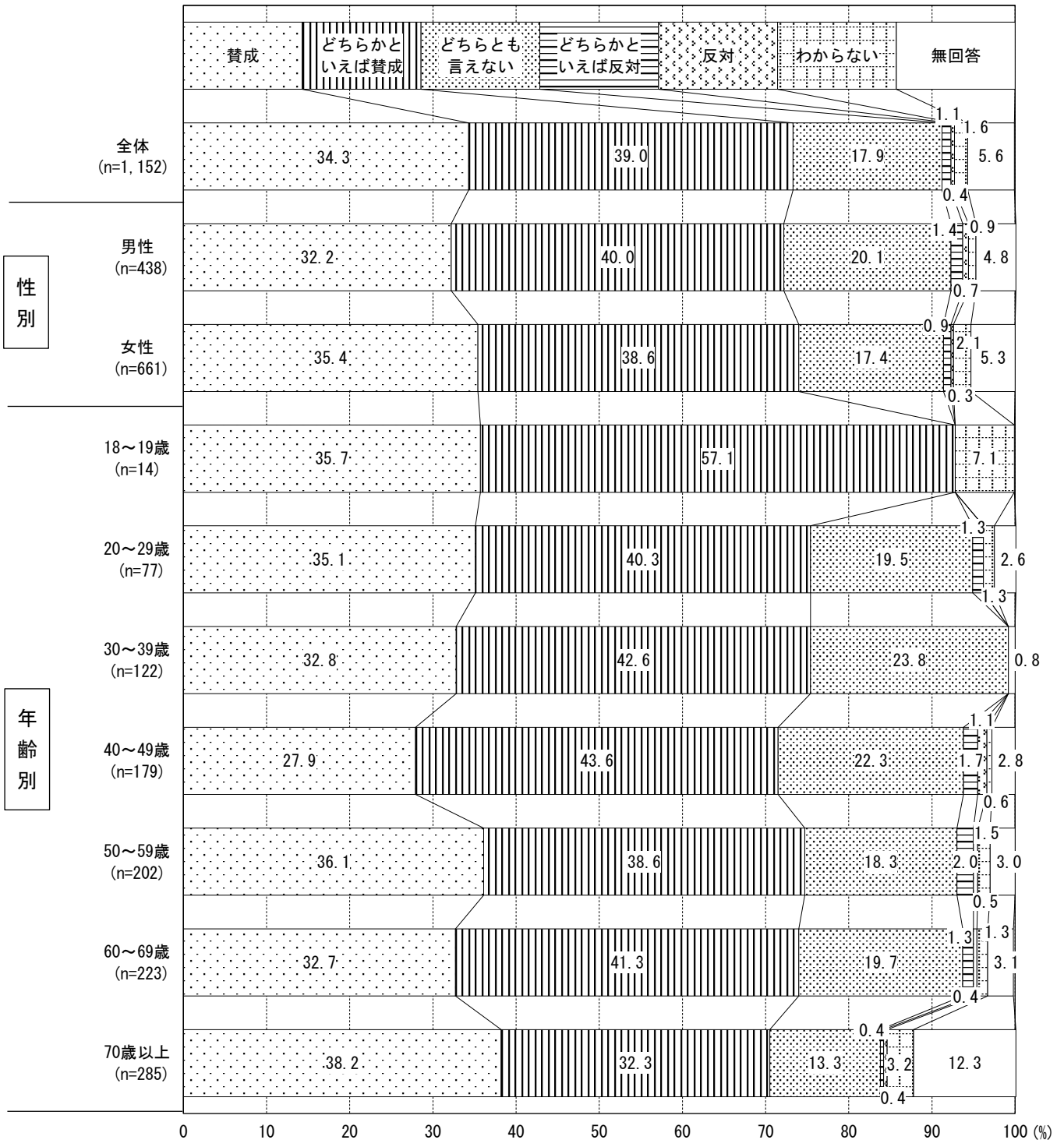
【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「賛成」は『男性』32.2%、『女性』35.4%と『女性』が『男性』より3.2ポイント高い。

年齢別では、“賛成”（「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計）は『20～29歳』『30～39歳』が75.4%と2.1ポイント全体より高い。

図20-3 人権男女共同参画について

②差別をなくすため、すべての人が自分の問題として取り組むべきだ／性別・年齢別



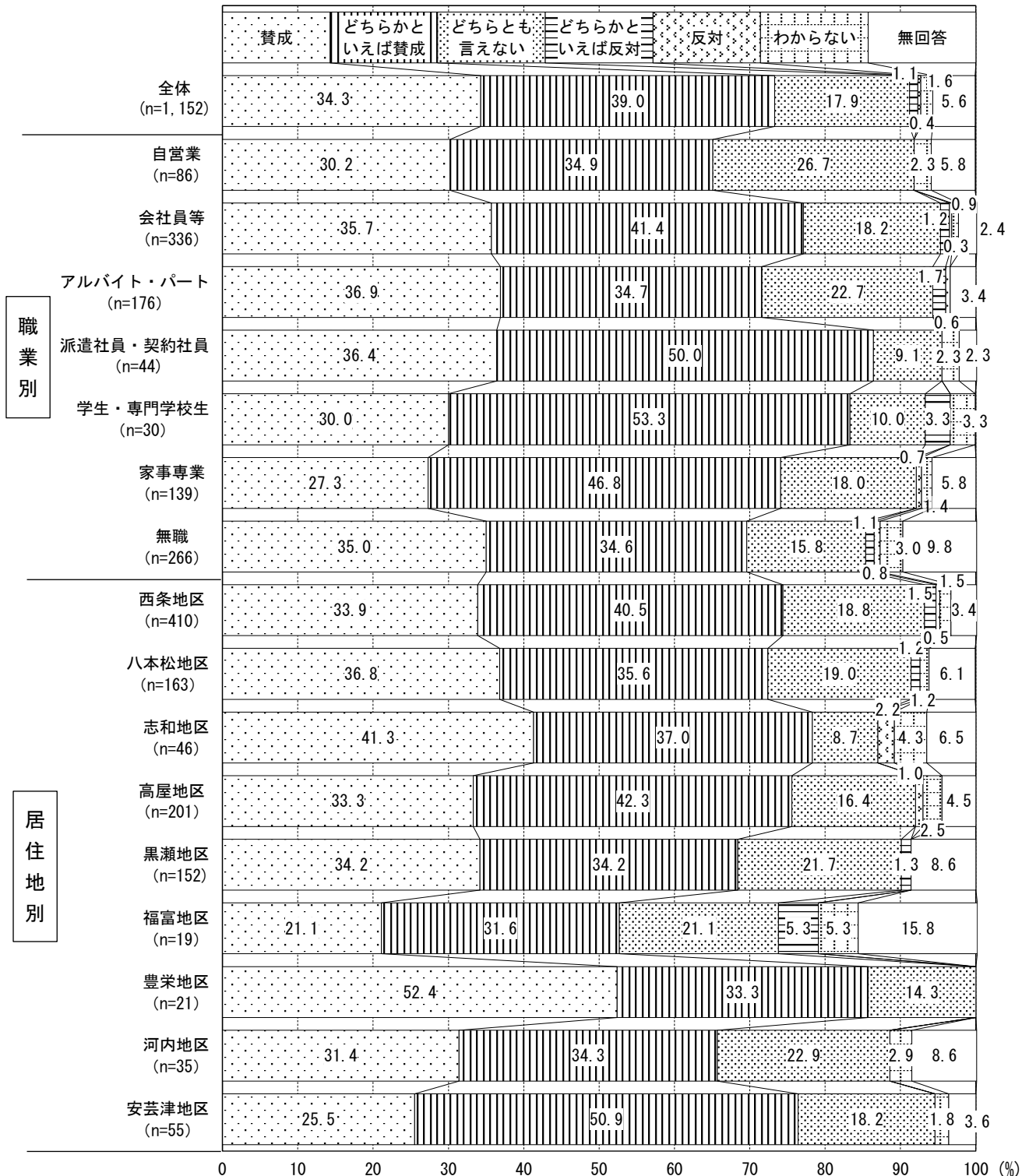
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“賛成”（「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計）は『派遣社員・契約社員』が86.4%と13.1ポイント全体より高く、『自営業』が65.1%と8.2ポイント全体より低い。

居住地別では、“賛成”は『豊栄地区』が85.7%と12.4ポイント全体より高く、最も高い。一方、『福富地区』は52.7%と20.6ポイント全体より低く、最も低い。

図20-4 人権男女共同参画について

②差別をなくすため、すべての人が自分の問題として取り組むべきだ／職業別・居住地別



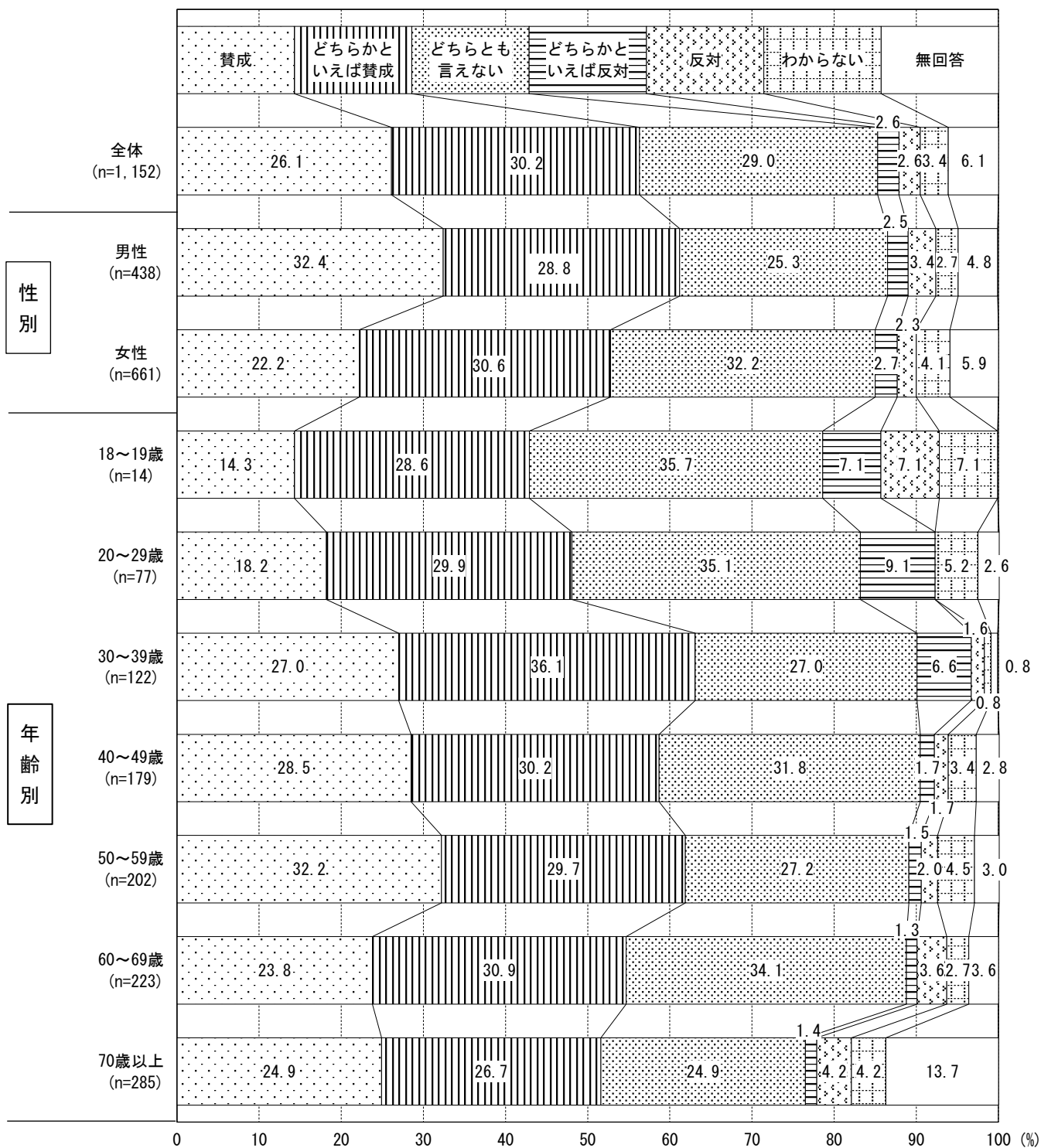
③ 人権や権利ばかり主張する人が増えている。

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“賛成”（「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計）は『男性』61.2%、『女性』52.8%と『男性』が『女性』より8.4ポイント高い。

年齢別では、「賛成」は『50～59歳』が32.2%と6.1ポイント全体より高く、“賛成”は『30～39歳』が63.1%と6.8ポイント全体より高い。

図20-5 人権男女共同参画について ③人権や権利ばかり主張する人が増えている／性別・年齢別

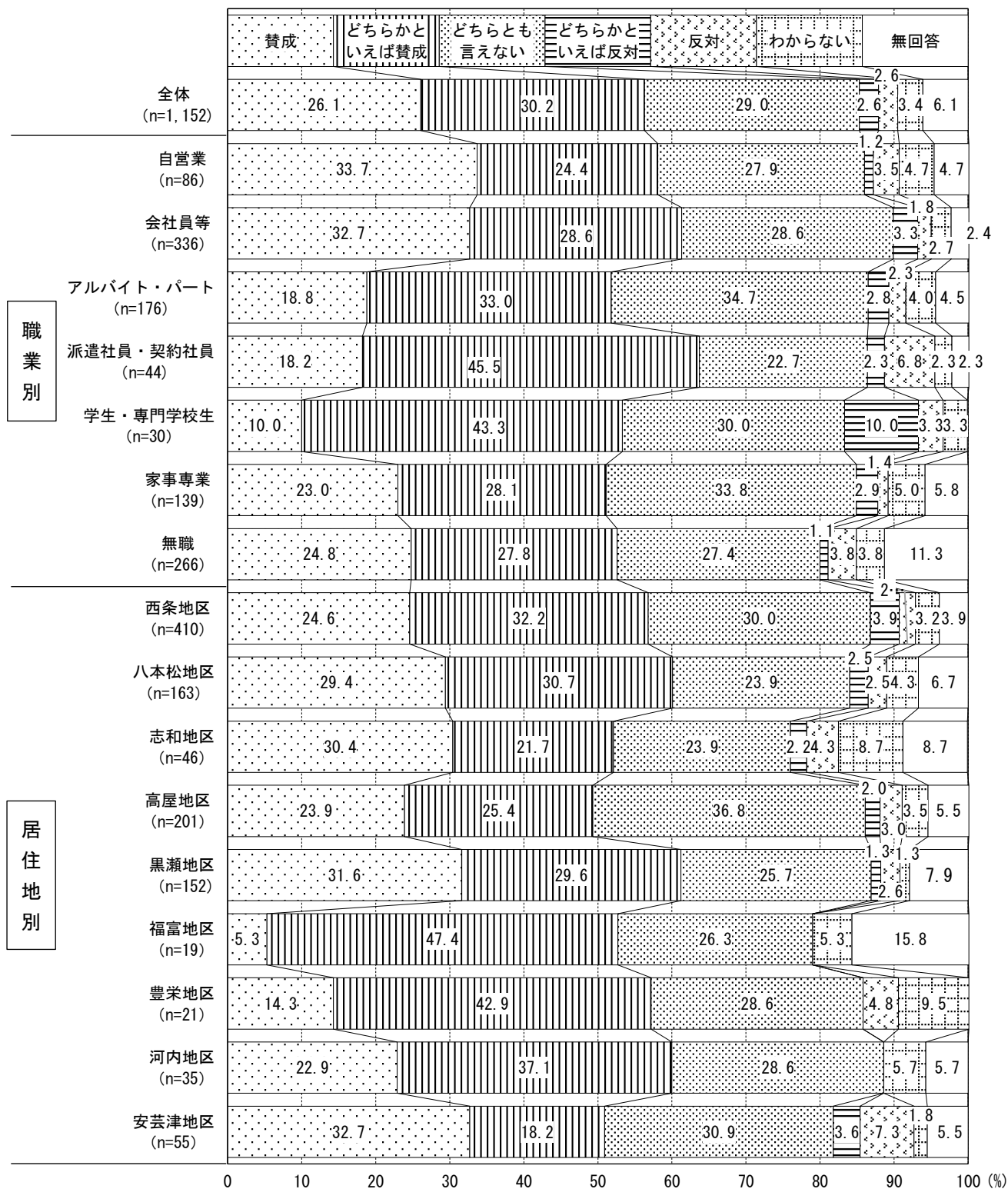


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「賛成」は『自営業』が33.7%と7.6ポイント全体より高く、“賛成”（「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計）は『派遣社員・契約社員』が63.7%と7.4ポイント、『会社員等』が61.3%と5.0ポイント全体より高い。

居住地別では、“賛成”は『黒瀬地区』が61.2%と4.9ポイント全体より高く、最も高い。

図20-6 人権男女共同参画について ③人権や権利ばかり主張する人が増えている／職業別・居住地別



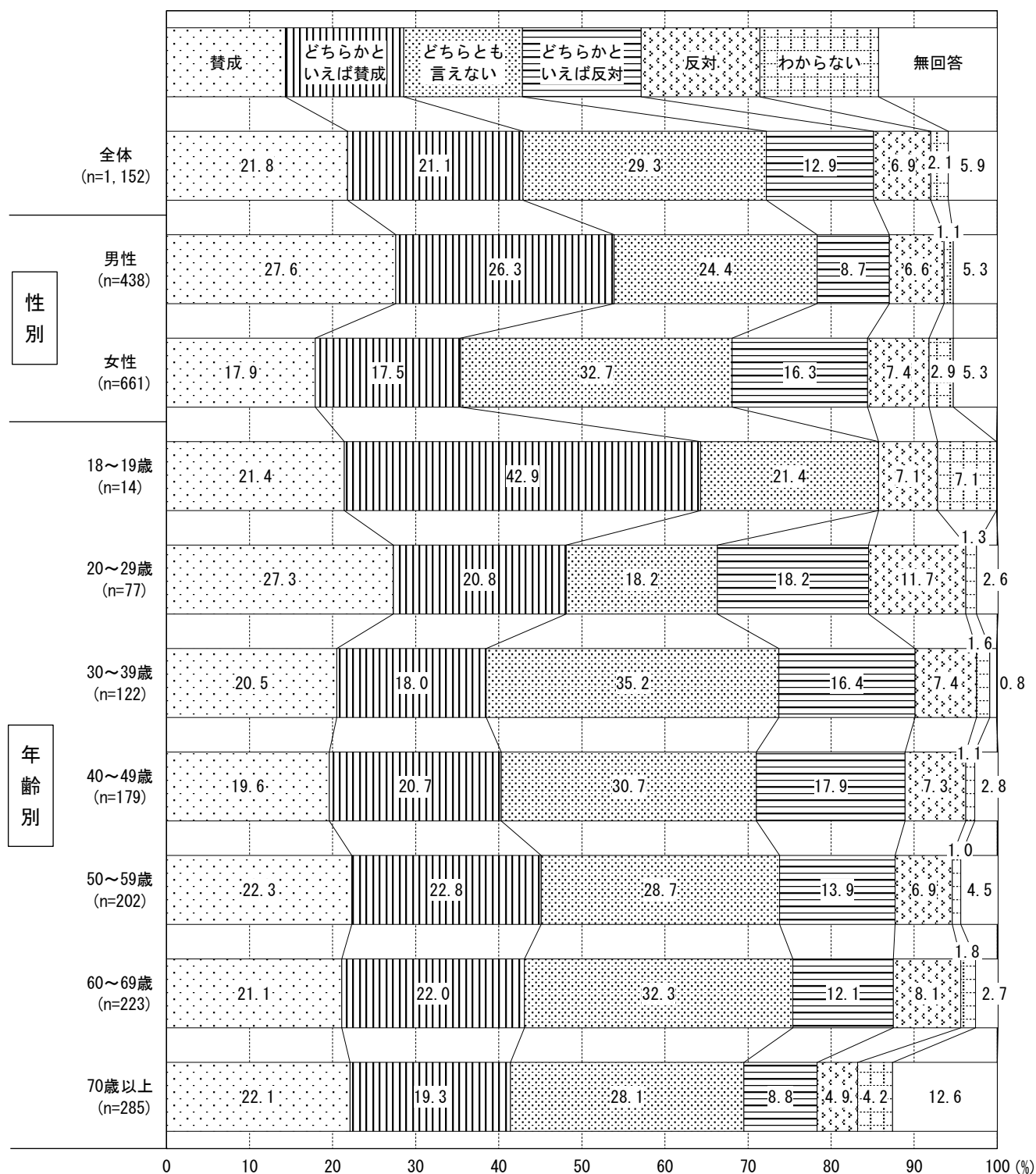
④ 「地域社会」において、男女の地位は平等だ

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“賛成”（「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計）は『男性』53.9%、『女性』35.4%と『男性』が『女性』より18.5ポイント高い。

年齢別では、「賛成」は『20～29歳』が27.3%と5.5ポイント全体より高く、“賛成”についても『20～29歳』が48.1%と5.2ポイント全体より高い。

図20-7 人権男女共同参画について ④「地域社会」において、男女の地位は平等だ／性別・年齢別

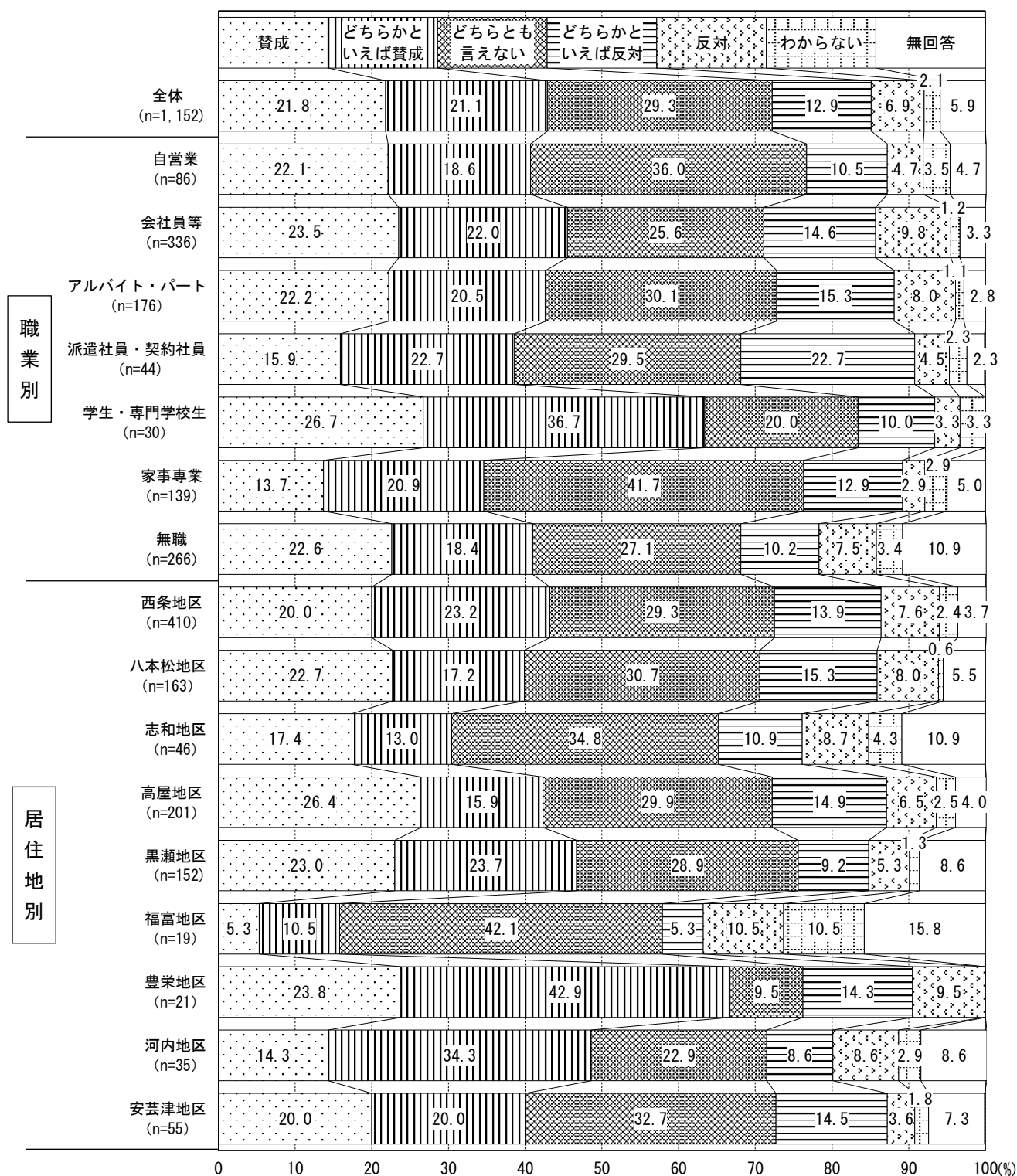


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「賛成」は『家事専業』が13.7%と8.1ポイント全体より低く、“賛成”（「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計）についても『家事専業』が34.6%と8.3ポイント全体より低い。

居住地別では、“賛成”は『豊栄地区』が66.7%と23.8ポイント全体より高く、『福富地区』が15.8%と27.1ポイント全体より低い。

図20-8 人権男女共同参画について ④「地域社会」において、男女の地位は平等だ／職業別・居住地別



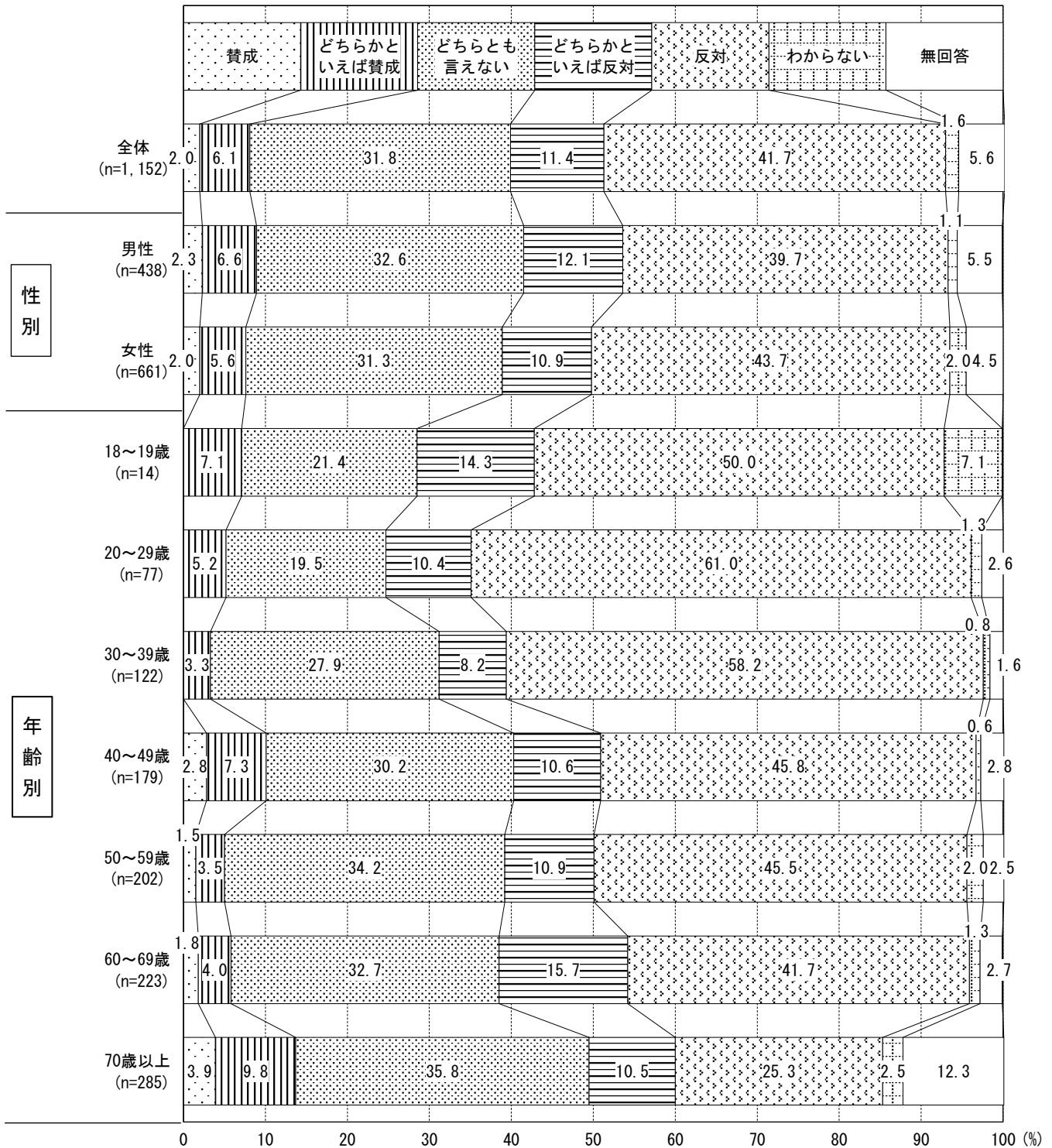
⑤ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“反対”（「どちらかといえば反対」と「反対」の合計）は『男性』51.8%、『女性』54.6%と『女性』が『男性』より2.8ポイント高い。

年齢別では、“反対”は『20～29歳』が71.4%と18.3ポイント全体より高く、7割を超えている。

図 20-9 人権男女共同参画について ⑤夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである／性別・年齢別

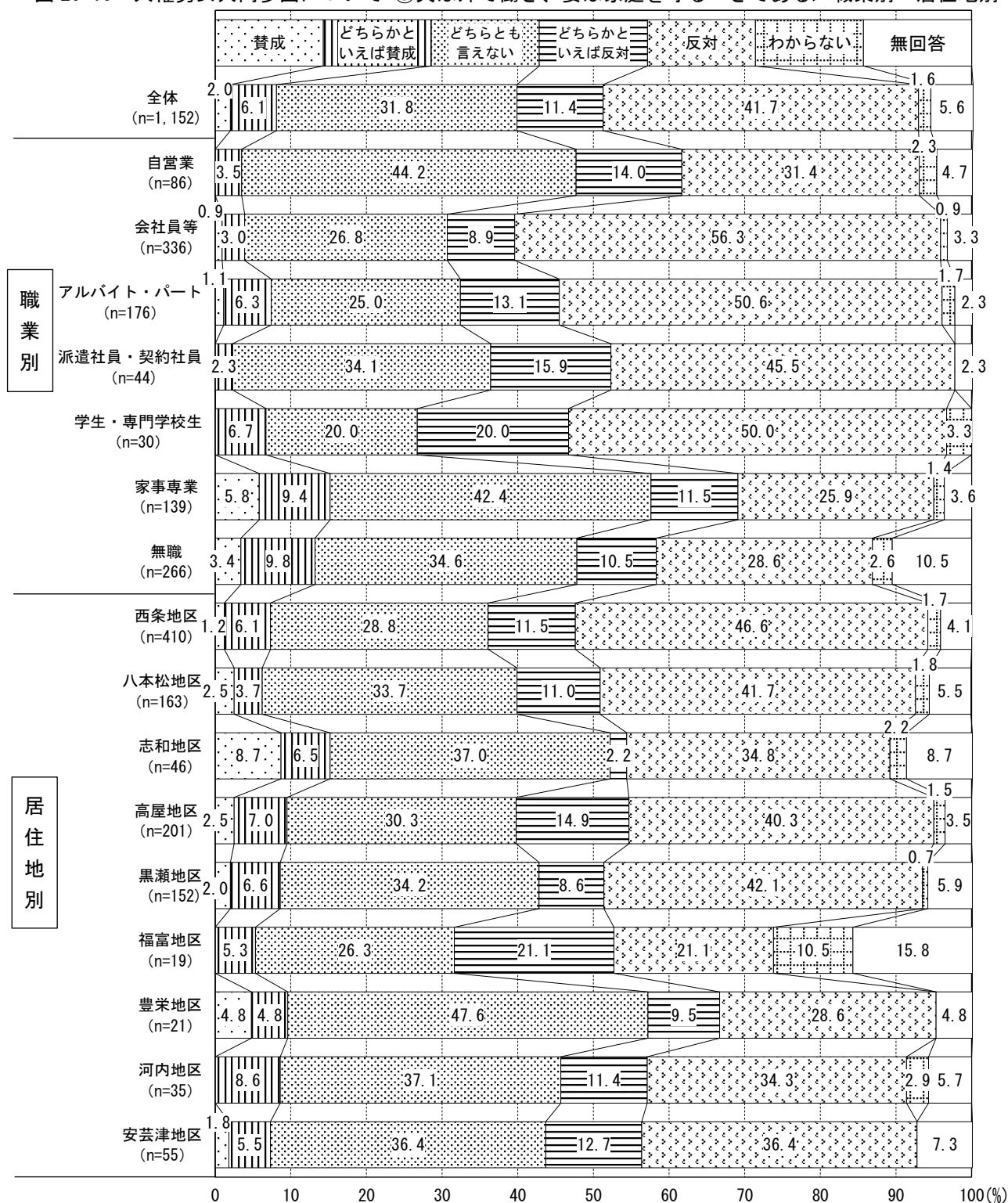


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「反対」は『会社員等』が56.3%と14.6ポイント全体より高く、“反対”（「どちらかといえば反対」と「反対」の合計）については『学生・専門学校生』が70.0%と16.9ポイント、『会社員等』が65.2%と12.1ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、“反対”は『西条地区』が58.1%と5.0ポイント全体より高く、『志和地区』が37.0%と16.1ポイント、『豊栄地区』が38.1%と15.0ポイント、それぞれ全体より低い。

図 20-10 人権男女共同参画について ⑤夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである／職業別・居住地別



1 1. 生涯学習について

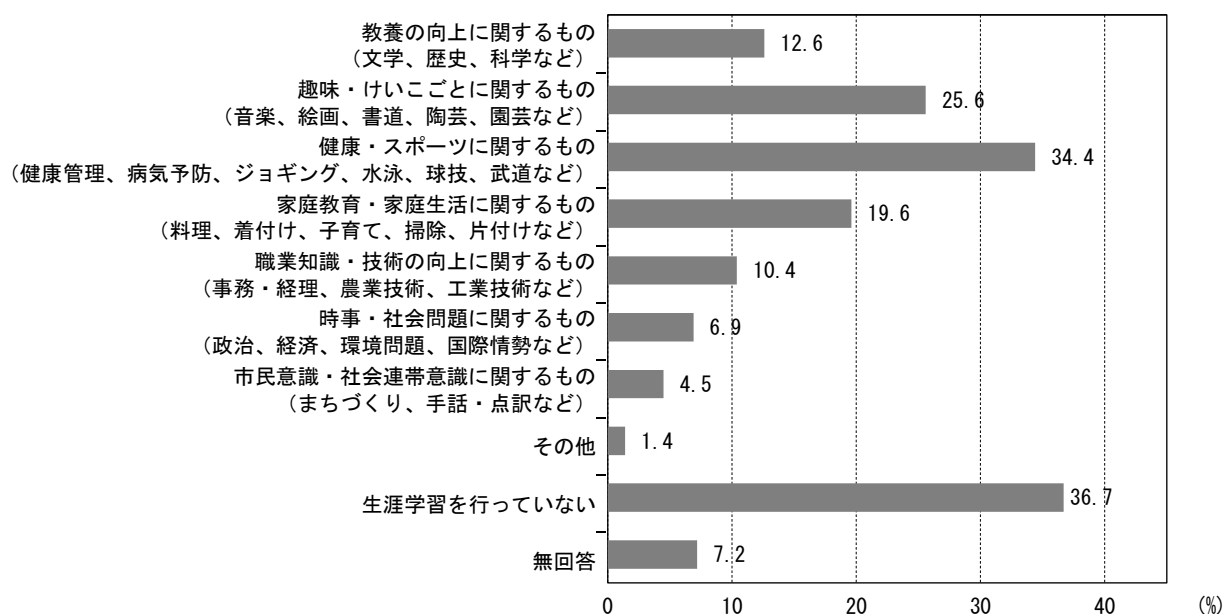
(1) 生涯学習の実施状況

問21 あなたは、この1年間にどのような生涯学習を行いましたか。
(当てはまるものをすべて選んで○をお付けください)

この1年間に行った生涯学習については、「健康・スポーツに関するもの（健康管理、病気予防、ジョギング、水泳、球技、武道など）」が34.4%で最も高く、次いで「趣味・けいこごとに関するもの（音楽、絵画、書道、陶芸、園芸など）」25.6%、「家庭教育・家庭生活に関するもの（料理、着付け、子育て、掃除、片付けなど）」19.6%となっており、全体の過半数が何らかの生涯学習を行っている。

「生涯学習を行っていない」は36.7%であった。

図21-1 生涯学習の実施状況 [n=1, 152]



【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「健康・スポーツ」は『男性』が『女性』より5.6ポイント高く、「趣味・けいごごとに関するもの」「家庭教育・家庭生活」は『女性』が『男性』より高い。「生涯学習を行っていない」は『男性』が『女性』より6.3ポイント高い。

年齢別では、「健康・スポーツ」は『70歳以上』が43.9%と最も高く、「家庭教育・家庭生活」は『30～39歳』が27.9%と最も高い。「職業知識・技術の向上」は『30～39歳』が19.7%と9.3ポイント全体より高く、最も高い。「生涯学習を行っていない」は『70歳以上』が28.4%と最も低い。

表 21-1 生涯学習の実施状況＜複数回答＞

単位：％

		健康・スポーツに関するもの (健康管理、病氣予防、ジョギング、水泳、球技、武道など)	趣味・けいごごとに関するもの (音楽、絵画、書道、陶芸、園芸など)	家庭教育・家庭生活に関するもの (料理、着付け、子育て、掃除、片付けなど)	教養の向上に関するもの (文学、歴史、科学など)	職業知識・技術の向上に関するもの (事務・経理、農業技術、工業技術など)
全体(n=1,152)		34.4	25.6	19.6	12.6	10.4
性別	男性(n=438)	37.7	20.3	11.4	14.4	11.4
	女性(n=661)	32.1	29.7	25.3	11.2	9.5
年齢	18～19歳(n=14)	28.6	42.9	14.3	42.9	7.1
	20～29歳(n=77)	27.3	19.5	14.3	14.3	18.2
	30～39歳(n=122)	30.3	15.6	27.9	9.8	19.7
	40～49歳(n=179)	25.1	20.7	23.5	12.3	10.6
	50～59歳(n=202)	30.2	20.3	17.8	10.4	9.4
	60～69歳(n=223)	38.1	32.3	19.3	13.5	8.1
	70歳以上(n=285)	43.9	33.7	17.5	12.6	6.7
職業	自営業(n=86)	40.7	25.6	16.3	17.4	17.4
	会社員等(n=336)	31.0	19.6	19.0	12.5	16.7
	アルバイト・パート(n=176)	31.3	21.6	19.3	5.1	9.7
	派遣社員・契約社員(n=44)	22.7	25.0	20.5	15.9	13.6
	学生・専門学校生(n=30)	26.7	26.7	13.3	30.0	6.7
	家事専業(n=139)	39.6	36.0	25.9	9.4	4.3
	無職(n=266)	38.7	32.3	19.5	15.4	4.5
地区	西条地区(n=410)	31.5	23.7	20.5	13.9	12.0
	八本松地区(n=163)	38.0	22.7	17.2	7.4	4.9
	志和地区(n=46)	32.6	26.1	13.0	10.9	6.5
	高屋地区(n=201)	35.8	30.8	17.4	12.9	11.9
	黒瀬地区(n=152)	34.9	27.6	25.7	9.2	9.2
	福富地区(n=19)	36.8	36.8	21.1	15.8	10.5
	豊栄地区(n=21)	42.9	33.3	33.3	19.0	14.3
	河内地区(n=35)	34.3	31.4	17.1	17.1	11.4
	安芸津地区(n=55)	32.7	20.0	16.4	18.2	12.7

【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「生涯学習を行っていない」は『派遣社員・契約社員』が43.2%と6.5ポイント、『会社員等』が40.8%と4.1ポイント、『アルバイト・パート』が40.3%と3.6ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「健康・スポーツ」は『豊栄地区』が42.9%と最も高く、「家庭教育・家庭生活」についても『豊栄地区』が33.3%と最も高い。「生涯学習を行っていない」は『志和地区』が45.7%と最も高く、『福富地区』が15.8%と最も低い。

表21-2 生涯学習の実施状況＜複数回答＞（つづき）

単位：%

		時事・社会問題に関するもの (政治、経済、環境問題、 国際情勢など)	市民意識・社会連帯意識に関するもの (まちづくり、手話・点訳など)	その他	生涯学習を行っていない	無回答
全体(n=1,152)		6.9	4.5	1.4	36.7	7.2
性別	男性(n=438)	8.9	3.9	0.7	40.9	7.1
	女性(n=661)	5.1	5.0	1.8	34.6	6.4
年齢	18～19歳(n=14)	0.0	7.1	0.0	28.6	0.0
	20～29歳(n=77)	9.1	1.3	1.3	37.7	5.2
	30～39歳(n=122)	3.3	3.3	0.8	37.7	1.6
	40～49歳(n=179)	3.9	5.0	1.1	40.2	5.0
	50～59歳(n=202)	4.0	3.5	1.0	46.5	4.0
	60～69歳(n=223)	7.2	3.6	1.3	37.2	5.4
	70歳以上(n=285)	10.9	7.0	2.1	28.4	13.3
職業	自営業(n=86)	7.0	3.5	0.0	31.4	7.0
	会社員等(n=336)	5.1	3.0	0.6	40.8	4.2
	アルバイト・パート(n=176)	1.1	4.5	0.6	40.3	5.1
	派遣社員・契約社員(n=44)	4.5	0.0	0.0	43.2	2.3
	学生・専門学校生(n=30)	3.3	6.7	3.3	33.3	3.3
	家事専業(n=139)	6.5	4.3	4.3	30.9	4.3
	無職(n=266)	12.8	7.1	1.9	34.2	12.4
地区	西条地区(n=410)	7.1	4.1	1.2	37.1	5.6
	八本松地区(n=163)	3.7	3.7	1.2	41.1	6.7
	志和地区(n=46)	4.3	4.3	0.0	45.7	8.7
	高屋地区(n=201)	9.5	7.5	1.0	35.8	7.5
	黒瀬地区(n=152)	3.9	3.3	2.6	36.2	7.2
	福富地区(n=19)	0.0	0.0	0.0	15.8	21.1
	豊栄地区(n=21)	14.3	0.0	0.0	23.8	0.0
	河内地区(n=35)	11.4	11.4	2.9	28.6	11.4
	安芸津地区(n=55)	7.3	1.8	1.8	43.6	3.6

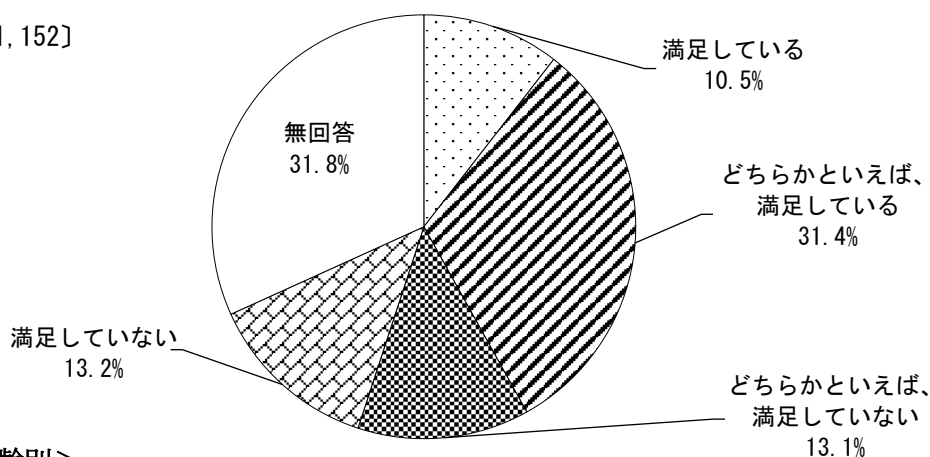
※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す（「生涯学習を行っていない」を除く）。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない(年齢別の18～19歳、居住地別の福富地区を除く)。

(2) 生涯学習の満足度

問22 この1年間に行った生涯学習に満足していますか。
(1つだけ選んで○をお付けください)

この1年間に行った生涯学習の満足度については、「満足している」が10.5%、「どちらかといえば、満足している」が31.4%と、「満足」（「満足している」と「どちらかといえば、満足している」の合計）は41.9%であった。「どちらかといえば、満足していない」は13.1%、「満足していない」は13.2%であった。

図22-1 生涯学習の満足度〔n=1,152〕

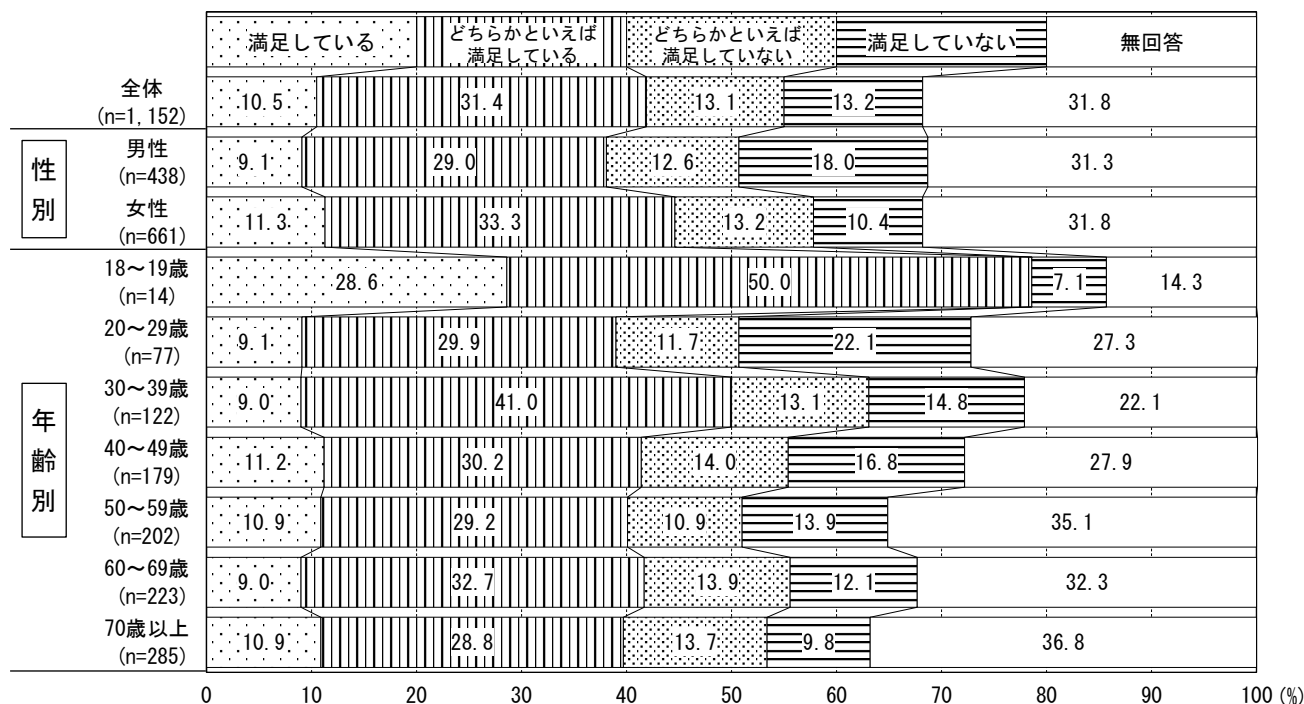


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「満足」は『女性』44.6%、『男性』38.1%と『女性』が『男性』より6.5ポイント高い。

年齢別では、「満足」は『30～39歳』が50.0%と8.1ポイント全体より高く、『20～29歳』が39.0%と最も低い。

図 22-2 生涯学習の満足度／性別・年齢別

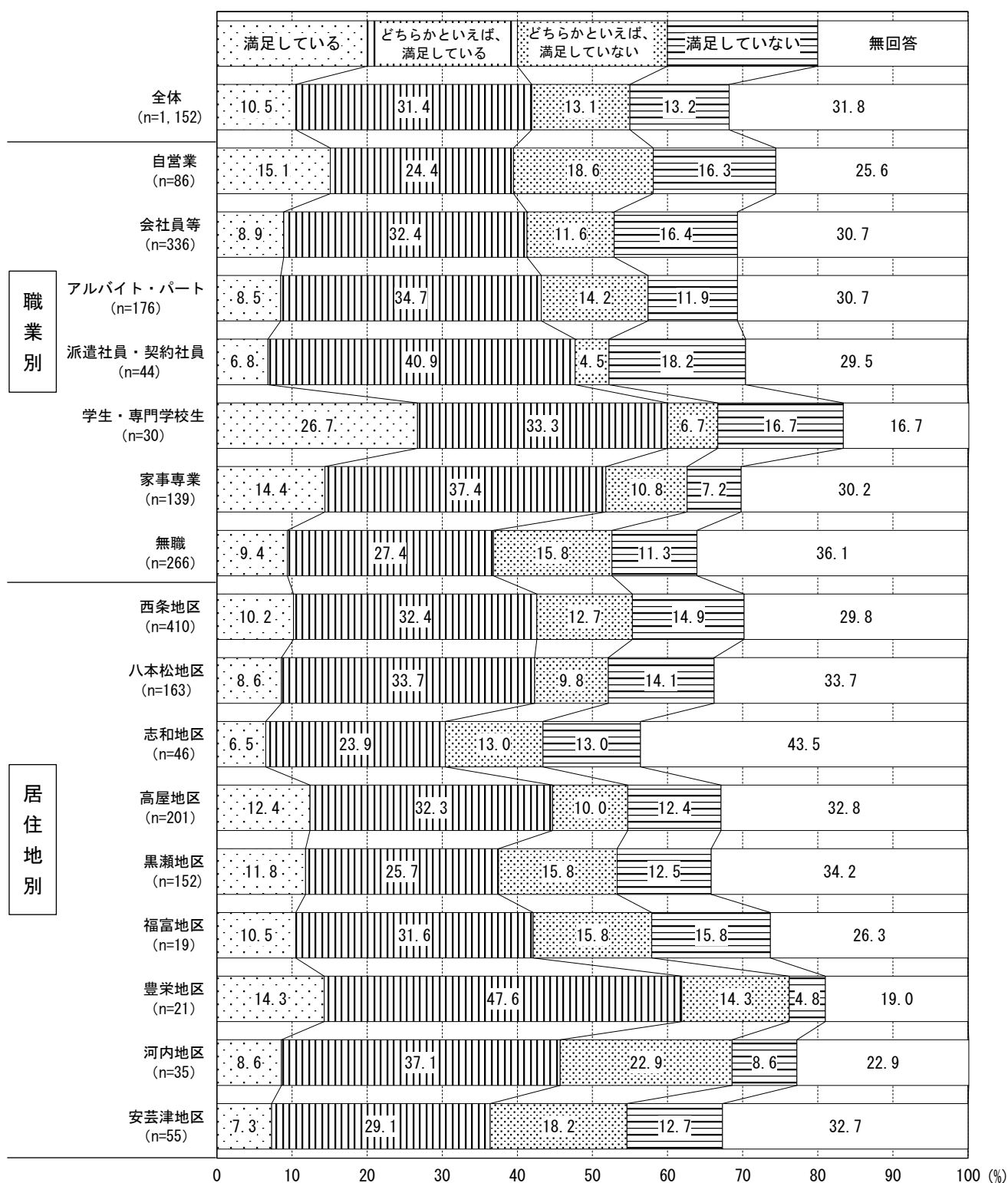


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“満足”（「満足している」と「どちらかといえば、満足している」の合計）は『学生・専門学校生』が60.0%と18.1ポイント、『家事専業』が51.8%と9.9ポイント、それぞれ全体より高く、『無職』が36.8%と5.1ポイント全体より低い。

居住地別では、“満足”は『豊栄地区』が61.9%と20.0ポイント全体より高く、『志和地区』が30.4%と11.5ポイント全体より低い。

図22-3 生涯学習の満足度／職業別・居住地別



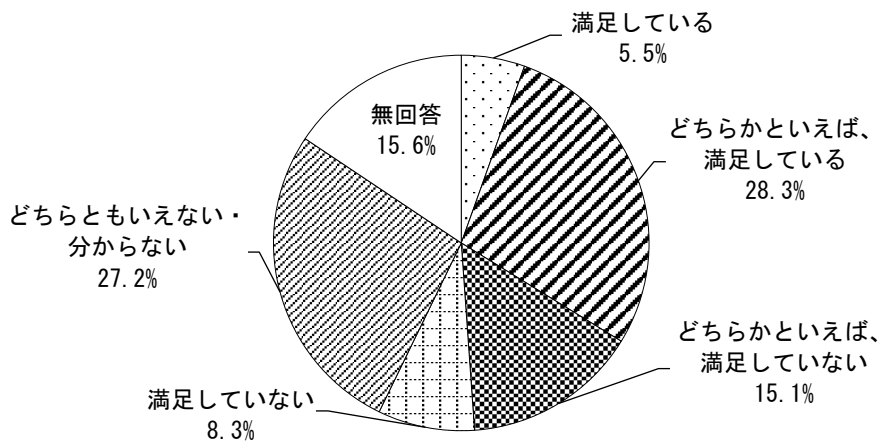
12. 雇用・労働環境について

(1) 働きやすい労働・雇用環境の充実への満足度

問23 あなたは、「働きやすい労働・雇用環境の充実」の面に関して、満足していますか。
(1つだけ選んで○をお付けください)

働きやすい労働・雇用環境の充実への満足度については、「満足している」が5.5%、「どちらかといえば、満足している」が28.3%、「どちらかといえば、満足していない」が15.1%、「満足していない」が8.3%、「満足」（「満足している」と「どちらかといえば、満足している」の合計）は、33.8%であった。

図23-1 「働きやすい労働・雇用環境の充実」の面に関して、満足していますか [n=1,152]

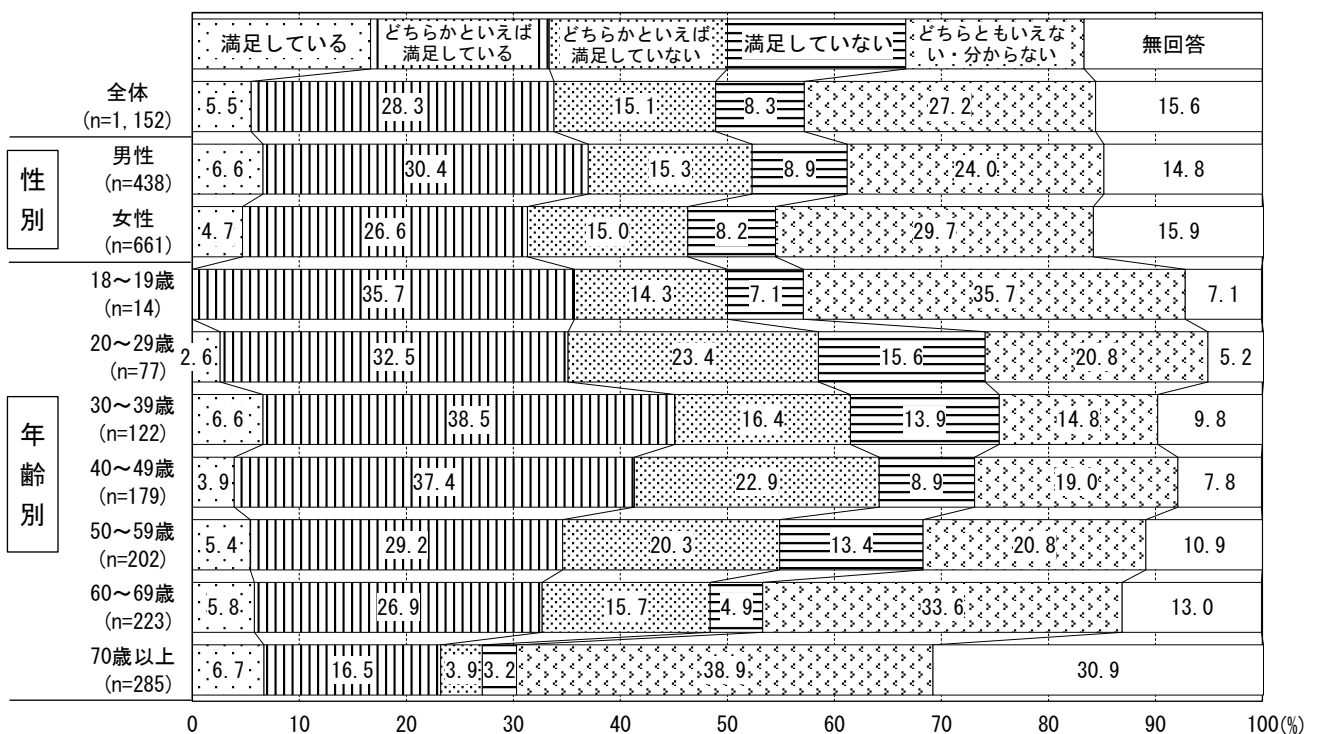


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「満足」は『男性』が『女性』より5.7ポイント高い。

年齢別では、「満足」は『30～39歳』が45.1%と最も高い。

図23-2 「働きやすい労働・雇用環境の充実」の面に関して、満足していますか／性別・年齢別

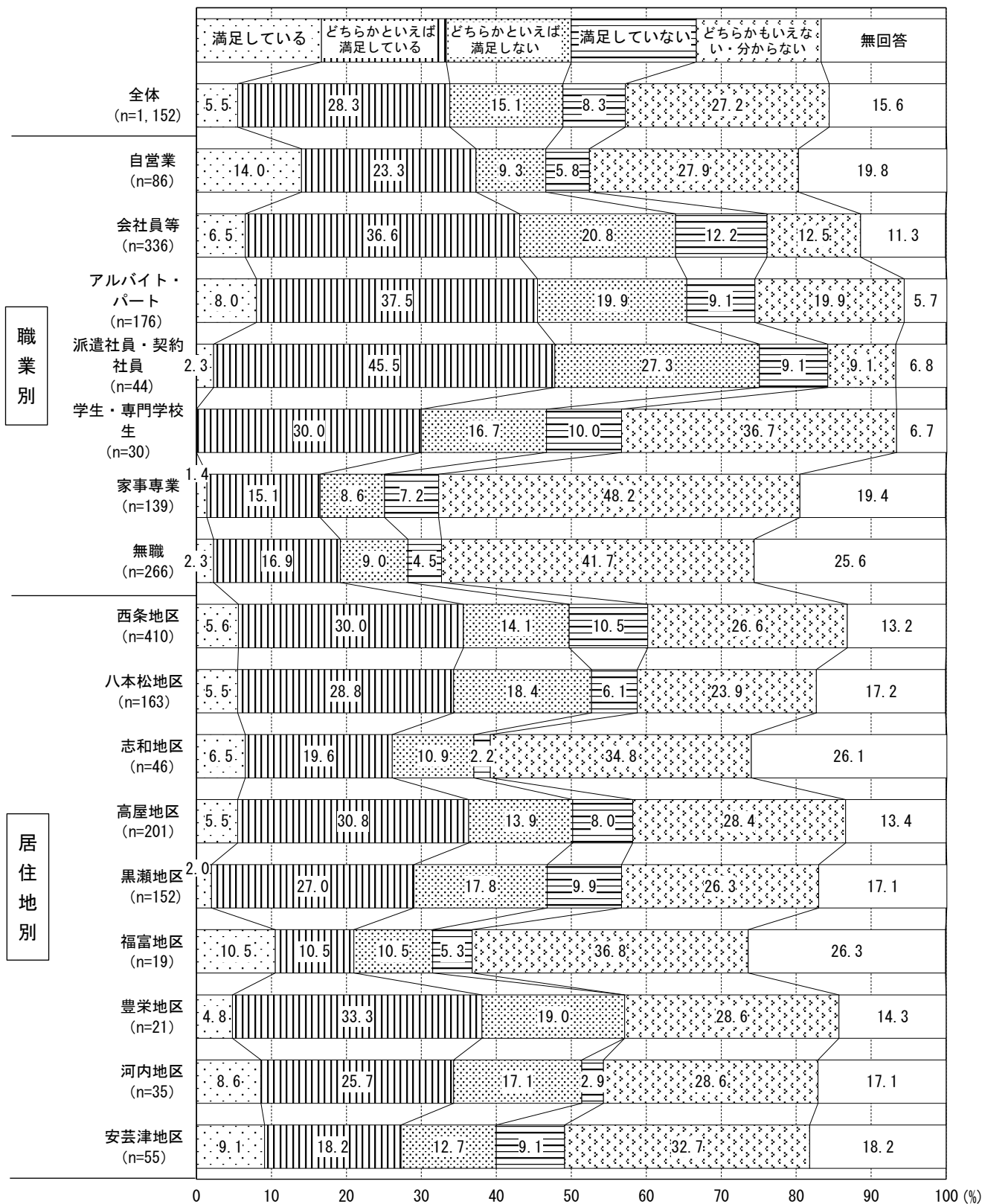


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“満足”（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）は『家事専業』が16.5%と17.3ポイント全体より低く、最も低い。

居住地別では、“満足”は『豊栄地区』が38.1%と4.3ポイント全体より高く、『福富地区』が21.0%と12.8ポイント全体より低い。

図 23-3 「働きやすい労働・雇用環境の充実」の面に関して、満足していますか／職業別・居住地別



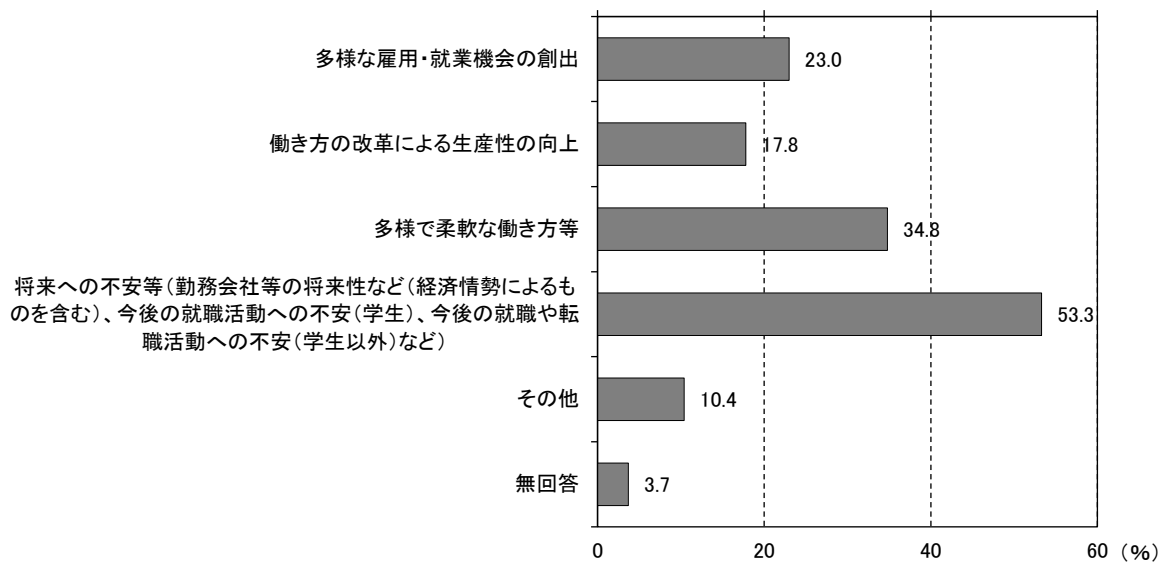
(2) 「働きやすい労働・雇用環境の充実」に関する満足度を下げている事項

問23 で「3 どちらかといえば、満足していない」「4 満足していない」とお答えの方におたずねします。
 問23-1 あなたの「働きやすい労働・雇用環境の充実」に関する満足度を下げている事項は何ですか。
 (主なものを2つまで選んで○をお付けください)

問23で、「3 どちらかといえば、満足していない」「4 満足していない」の回答者(該当件数270件)に「働きやすい労働・雇用環境の充実」に関する満足度を下げている事項をたずねると、「将来への不安等(勤務会社等の将来性など(経済情勢によるものを含む)、今後の就職活動への不安(学生)、今後の就職や転職活動への不安(学生以外)など)」が53.3%と最も多く、次いで「多様で柔軟な働き方等」34.8%、「多様な雇用・就業機会の創出」23.0%、「働き方の改革による生産性の向上」17.8%であった。23.4

図23-4 「働きやすい労働・雇用環境の充実」に関する満足度を下げている事項<複数回答>

[n=269]



【属性別の傾向】 <性別・年齢別>

性別では、「将来への不安等（勤務会社等の将来性など（経済情勢によるものを含む）、今後の就職活動への不安（学生）、今後の就職や転職活動への不安（学生以外）など）」は『男性』が55.7%、『女性』が52.3%と『男性』が『女性』より3.4ポイント高く、「多様で柔軟な働き方等」は『男性』が26.4%、『女性』が40.5%と『女性』が『男性』より14.1ポイント高い。

年齢別では、「多様で柔軟な働き方等」は『40～49歳』が47.4%と12.6ポイント全体より高い。

表 23-1 「働きやすい労働・雇用環境の充実」に関する満足度を下げている事項<複数回答> 単位：%

		将来や今後の就職・ 転職活動への不安	多様で柔軟な働き方等	多様な雇用・就業機会の創出	働き方の改革による 生産性の向上	その他	無回答
全体(n=270)		53.3	34.8	23.0	17.8	10.4	3.7
性別	男性(n=106)	55.7	26.4	21.7	17.9	9.4	3.8
	女性(n=153)	52.3	40.5	23.5	17.6	11.1	3.9
年齢別	18～19歳(n=3)	66.7	-	66.7	-	-	-
	20～29歳(n=30)	63.3	30.0	26.7	23.3	13.3	-
	30～39歳(n=37)	62.2	37.8	10.8	10.8	18.9	-
	40～49歳(n=57)	57.9	47.4	15.8	12.3	8.8	1.8
	50～59歳(n=68)	50.0	26.5	19.1	26.5	8.8	5.9
	60～69歳(n=46)	50.0	37.0	37.0	19.6	6.5	4.3
	70歳以上(n=20)	30.0	30.0	35.0	5.0	10.0	15.0

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない(年齢別の18～19歳を除く)。

【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「将来への不安等（勤務会社等の将来性など（経済情勢によるものを含む）、今後の就職活動への不安（学生）、今後の就職や転職活動への不安（学生以外）など）」は『自営業』が61.5%と8.2ポイント全体より高く、「多様で柔軟な働き方等」は『家事専業』が59.1%と24.3ポイント、『アルバイト・パート』が51.0%と16.2ポイント、それぞれ全体より高い。

表23-2 「働きやすい労働・雇用環境の充実」に関する満足度を下げている事項＜複数回答＞単位：%

		将来や今後の就職・ 転職活動への不安	多様で柔軟な働き方等	多様な雇用・就業 機会の創出	働き方の改革による 生産性の向上	その他	無回答
全体(n=270)		53.3	34.8	23.0	17.8	10.4	3.7
職業別	自営業(n=13)	61.5	23.1	15.4	15.4	15.4	7.7
	会社員等(n=111)	60.4	24.3	16.2	27.0	9.0	2.7
	アルバイト・パート(n=51)	49.0	51.0	21.6	11.8	13.7	3.9
	派遣社員・契約社員(n=16)	56.3	37.5	37.5	18.8	6.3	-
	学生・専門学校生(n=8)	75.0	12.5	25.0	-	12.5	-
	家事専業(n=22)	27.3	59.1	36.4	9.1	9.1	4.5
	無職(n=36)	44.4	38.9	30.6	5.6	11.1	8.3
居住地別	西条地区(n=101)	56.4	33.7	19.8	16.8	10.9	4.0
	八本松地区(n=40)	57.5	47.5	20.0	20.0	7.5	10.0
	志和地区(n=6)	33.3	16.7	33.3	33.3	-	16.7
	高屋地区(n=44)	43.2	45.5	29.5	18.2	6.8	-
	黒瀬地区(n=42)	59.5	23.8	21.4	19.0	9.5	-
	福富地区(n=3)	100.0	33.3	-	-	33.3	-
	豊栄地区(n=4)	50.0	25.0	50.0	50.0	-	-
	河内地区(n=7)	57.1	28.6	28.6	-	28.6	-
	安芸津地区(n=12)	33.3	25.0	33.3	8.3	16.7	8.3

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない(職業別の自営業、派遣社員・契約社員、学生・専門学校生、居住地別の志和地区、福富地区、豊栄地区、河内地区、安芸津地区を除く)。

<資料編>

令和元年度 東広島市市民満足度調査
調査票

令和元年度 東広島市市民満足度調査

ご協力のおねがい



～市民のみなさまのご意見をお聞かせください～

東広島市観光マスコット「のん太」

市民のみなさまには、日頃から本市の行政運営にご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、少子高齢化など急激に変化する社会情勢の中、変化への対応と持続的な発展の両立を図りながら今後のまちづくりに取り組んでいくため、市の最上位計画である「第五次東広島市総合計画」の策定に向けて検討を進めています。

そこで、市の施策に対する満足度や重要度などについて、広く市民の皆様のお考えやご意見を反映していくため、「東広島市市民満足度調査」を実施することといたしました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年 6月

東広島市長 高垣 廣徳

■調査の概要とご記入上の注意点

1. この調査は、東広島市に住民登録をされている18歳以上の方（平成31年4月30日現在）の中から無作為に抽出した2,500の方を対象に、郵送によりアンケート調査を行うものです。
2. この「調査票」は、どなたのものか分からないようになっています。回答内容は統計処理を行うため、個人が特定されることはありません。日頃、お考えのことやお感じになられていることなどをそのままご記入ください。なお、ご回答いただいた内容は、本調査の目的以外には一切使用いたしません。
3. お送りしたあて名のご本人がお答えください。ご本人の記入が困難な場合は、ご本人の意思を反映してご家族の方などが記入してください。
4. ご回答は、当てはまるものの番号を指示された回答数だけ○で囲んでください。なお、「その他」に当てはまるときは、具体的な内容を（ ）内にご記入ください。
5. 記入後は、この「調査票」を同封の返信用封筒に入れて、令和元年6月21日（金）までに郵便ポストへ投かんしてください。（切手は不要です。）
6. ご不明な点などがありましたら、下記の担当までお問い合わせください。

■お問い合わせ先

東広島市役所 政策企画部 総合政策課 企画調整係（担当：宮岡、門出）

〒739-8601 東広島市西条栄町8-29

TEL：082-420-0943

FAX：082-422-1056

E-mail：hgh200943@city.higashihiroshima.lg.jp

令和元年度 市民満足度調査 調査票

1 現在の住環境についておたずねします。

問1 あなたは、東広島市にお住まいになって何年位になりますか。(1つだけ選んで○をお付けください)
※合併前の旧市・旧町を含めてお答えください。

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1 1年未満 | 2 1年以上5年未満 | 3 5年以上10年未満 |
| 4 10年以上20年未満 | 5 20年以上30年未満 | 6 30年以上 |

問2 あなたは、東広島市の住み心地についてどう感じていますか。(1つだけ選んで○をお付けください)

- | | | |
|-----------|-----------------|-----------------|
| 1 大変住みやすい | 2 どちらかといえば住みやすい | 3 どちらかといえば住みにくい |
| 4 住みにくい | 5 どちらともいえない | |

問3 あなたは、今後も東広島市に住み続けたいと思いますか。

(1つだけ選んで○をお付けください)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 ずっと住み続けたい | 2 当分の間住み続けたい |
| 3 市内の他の地域へ移りたい | 4 他市町村へ移りたい |
| 5 わからない → P2・問5へ | |

→ 問3で「1 ずっと住み続けたい」「2 当分の間住み続けたい」とお答えの方におたずねします。

問3-1 住み続けたい理由は何ですか。(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1 職場や学校に近く、通勤・通学が便利 | 2 移動環境(高速道路や空港、電車など)が整備されており便利 |
| 3 買い物などの日常生活が便利 | 4 文化施設や遊ぶところがあり、充実した余暇を過ごせる |
| 5 医療機関や福祉サービスが充実している | 6 豊かな自然に恵まれている |
| 7 地域に愛着と誇りを持っている | 8 大学が立地し、成長を続けるなど都市のイメージがよい |
| 9 保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい | 10 地価や家賃が安い(広い家屋や敷地で暮らせる) |
| 11 騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい | 12 気候がよく、住みやすい |
| 13 犯罪や災害が少なく、暮らしていて安全 | 14 親や子、親戚が近くに住んでいる |
| 15 その他() | 16 特に理由はない |

→ 問3で「3 市内の他の地域へ移りたい」「4 他市町村へ移りたい」とお答えの方におたずねします。

問3-2 移転・転出したい理由は何ですか。(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

- | | |
|------------------------------|----------------------------------|
| 1 通勤・通学が不便 | 2 移動環境(高速道路や空港、電車など)の整備が不足しており不便 |
| 3 買い物などの日常生活が不便 | 4 文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない |
| 5 医療機関や福祉サービスが充実していない | 6 都心など、もっと都会に住みたい |
| 7 地域に愛着を感じない(地域に溶け込めない) | 8 発展途上であるなど、都市のイメージがよくない |
| 9 保育・教育環境が充実しておらず、子育て環境がよくない | 10 地価や家賃が高い |
| 11 騒音・悪臭など公害があり、住環境がよくない | 12 気候が悪く(暑い、寒いなど)、住みにくい |
| 13 犯罪や災害が多く、暮らしていて不安 | 14 家庭の都合により、転居したい |
| 15 進学や転勤の都合により、当面居住しているだけである | |
| 16 その他() | 17 特に理由はない |

過去に、東広島市に転居して来られた方におたずねします。

※生まれてから、東広島市内にずっとお住まいの方は問5へお進みください、

問4 転居して来られる際に重視したことは何ですか。

(主な理由を3つまで選んで○をお付けください)

1 職場や学校に近く、通勤・通学が便利	2 移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利
3 買い物などの日常生活が便利	4 文化施設や遊ぶところがあり、充実した余暇を過ごせる
5 医療機関や福祉サービスが充実している	6 豊かな自然に恵まれている
7 地域に愛着と誇りを持っている	8 大学が立地し、成長を続けるなど都市のイメージがよい
9 保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい	10 地価や家賃が安い（広い家屋や敷地で暮らせる）
11 騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい	12 気候がよく、住みやすい
13 犯罪や災害が少なく、暮らしていて安全	14 親や子、親戚が近くに住んでいる
15 その他（)	16 特に理由はない

2 市政運営についておたずねします。

問5 国をはじめとした全国的な財政状況の悪化に伴い、従来どおりの行政サービスの維持さえ難しくなることも予想されます。

あなたは、今後の行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。

(1つだけ選んで○をお付けください)

1 行政サービスが向上するなら、負担が増えても構わない
2 現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむを得ない
3 行政サービスが低下しても、現状程度の負担より少ない方がよい
4 その他（)

3 市が実施している施策の満足度と今後の重要度についておたずねします。

問6 次の表は、東広島市が実施している各施策を示しています。

あなたは、次の各項目の施策について、現在、どれくらい満足されていますか。

また、今後のまちづくりを進めていくうえで、どれくらい重要だと思われますか。

(各項目の満足度・重要度それぞれ1つずつ選んで○をお付けください)

(記入例)

項 目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない
5-1 防災の強化・推進 (取り組み例)「地域における防災体制の充実」、「災害に強い基盤整備の推進」など	1	2	3	④	5	①	2	3	4	5

表に直接○をつけてください

1 産業分野について

項 目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
1-1 産業集積の推進 「企業誘致・留置活動の促進」、「産業用地の確保・創出」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-2 産学官の連携による新産業の創出 「共同研究等による新事業・新産業の創出」、「試験研究機関等の誘致・連携」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-3 農業の強化 「農業の担い手育成」、「農業経営体制の強化」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-4 森林の保全・整備 「林業生産基盤の整備」、「森林の保全」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-5 漁業・養殖業の推進 「漁業経営体の育成・強化」、「水産資源・漁場環境の活用」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-6 地域資源を活かした観光地づくり 「魅力的な観光地づくり」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-7 地元企業の創出・強化 「地域資源を活かした新たな事業の創出促進」、「中小企業の経営基盤の強化」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-8 商業・サービス業の集積・強化 「商業・サービス業の集積」、「中小企業者の経営基盤強化」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-9 労働・雇用環境の充実 「多様な雇用・就業機会の創出」「働き方の改革による生産性の向上」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

2 生活・環境分野について

2-1 住みよい都市の形成 「良好な土地利用のための規制と誘導」、「良好な市街地の形成」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-2 良好な住宅ストックの形成 「良好な住宅・宅地の形成促進」、「市営住宅の整備」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-3 良質な水の供給・整備 「安全な水の供給」「災害に強い水道の整備」「水道サービスの持続性の確保」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-4 汚水処理の推進 「公共下水道の整備、更新」、「浄化槽設置と適切な維持管理の促進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-5 ごみ減量化・リサイクルの推進 「廃棄物処理体制の充実」、「ごみの減量化・リサイクルの推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-6 地域の景観の保全・形成 「地域の景観保全と形成」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-7 情報通信技術の整備・活用 「インターネット利用環境の整備」、「マイナンバー制度の活用」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-8 道路網の整備 「日常的な生活道の整備、維持管理」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-9 公共交通網の充実 「地域住民の移動手段の確保・充実」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-10 緑あふれる環境整備 「安全で快適な公園、緑地空間の整備」、「斎場、墓地の利便性向上」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-11 環境汚染の防止 「水や大気などの環境汚染対策」、「環境保全意識の向上」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-12 自然環境・動植物の保全 「環境や動植物の保全」、「まちの美化活動推進や不法投棄防止」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-13 地球温暖化防止の推進 「地球温暖化対策の推進」、「環境問題に対する意識啓発」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-14 市民主体の地域社会の形成 「地域コミュニティの活性化」、「市民主体のまちづくり活動の活性化」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-15 多文化共生の推進 「外国人市民の生活環境の充実」、「国際交流の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

3 人権・教育・芸術・文化・スポーツ分野について

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
3-1 人権・平和行政の推進 「人権教育の推進」、「男女共同参画の推進」、「平和行政の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-2 学校教育の充実 「学校教育内容の充実」、「教職員の指導力の向上」、「特別支援教育の充実」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-3 教育環境の整備・充実 「学校施設・設備の充実」、「就学・就園に関する経済的な支援」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-4 生涯学習活動の充実 「生涯学習機会の充実や情報提供」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-5 青少年健全育成の推進 「青少年の健全育成を支える環境づくり」、「青少年問題への的確な対応」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-6 子育て支援の充実 「子育てに関する切れ目ない支援の充実」、「子育てに伴う経済的負担の軽減」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-7 保育サービスの充実 「利用者ニーズに応じた保育環境・サービスの充実」、「児童の活動拠点づくり」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-8 芸術・歴史・文化の活性化 「文化財の保護と活用」「芸術・歴史・文化活動の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-9 スポーツ環境の形成 「イベントによるスポーツ活動の活性化」、「スポーツ施設の整備・充実」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

4 都市機能・国際交流・移住・定住分野について

4-1 都市拠点・地域拠点の機能強化 「市内の都市拠点・地域拠点それぞれの機能強化」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4-2 広域・高速交通体系の強化 「高速道路・幹線道路などの利便性向上」「市内外への円滑な移動手段の更なる改善」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4-3 大学や学生との交流・連携推進 「大学との連携推進」「学生の地域活動の促進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4-4 国際貢献・留学生支援 「国際協力」、「留学生活動支援」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4-5 移住・定住の促進 「移住・定住希望者への支援・情報発信」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

5 防災・健康・医療・福祉分野について

5-1 防災の強化・推進 「地域における防災体制の充実」、「災害に強い基盤整備の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-2 消防・救急・救助体制の強化 「迅速に対応できる消防体制の強化」、「救急体制の強化」、「火災予防の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-3 地域医療の構築 「地域医療の充実」、「救急医療体制の構築」、「医療保険の健全な運営」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-4 健康づくりの推進 「健康づくりの支援」、「介護予防の取組み支援」、「感染症等の予防」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-5 高齢者支援の推進 「高齢者の在宅生活が継続できる環境づくり」、「認知症の地域支援の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-6 障害者支援の推進 「障害者の地域生活支援体制の形成」、「障害者の雇用・就労機会の充実」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-7 地域福祉の形成 「地域福祉の推進体制の充実」、「生活困窮者への自立支援」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-8 市民の安全・安心社会の形成 「地域ぐるみの防犯対策の推進」、「安心できる消費者生活の実現」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

6 行政運営分野について

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
6-1 市民参画の推進 「市民協働の推進」、「行政情報の積極的な提供」「多様な市民参画手法の確立」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6-2 市民本位のサービスの提供・充実 「市民本位のサービス提供」「インターネットを活用したサービス提供の充実」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6-3 行政経営の向上 「計画的な財政運営」、「公共施設の適正配置」「近隣市町との機能分担」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

4 市の広報活動についておたずねします。

問7 東広島市では、次の方法で市の情報を広報しています。

- ・ 広報東広島（広報紙） ・ 東広島市ホームページ ・ 東広島市フェイスブック、ツイッター、LINE
- ・ 東広島市くらしのアプリ ・ ラジオ（FM東広島）番組 ・ ケーブルテレビ（KAMONケーブルテレビ、Youtube動画配信）番組

あなたは、東広島市の広報活動に満足していますか。

（1つだけ選んで○をお付けください）

1 満足している	2 どちらかといえば満足している
3 どちらかといえば満足していない	4 満足していない

問8 あなたは、次の広報についてどの程度利用していますか。

（それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください）

項目	よく利用する	時々利用する	ほとんど利用しない	利用したことがない	利用できる環境にない
① 広報東広島	1	2	3	4	/
② 東広島市ホームページ	1	2	3	4	5
③ 東広島市フェイスブック	1	2	3	4	5
④ 東広島市ツイッター	1	2	3	4	5
⑤ 東広島市LINE	1	2	3	4	5
⑥ 東広島市くらしのアプリ	1	2	3	4	5
⑦ FM東広島「東広島日和」 ^{びより} （毎日7:54～、11:55～、17:54～）	1	2	3	4	5
⑧ FM東広島「東広島ライブ」（第1水曜日14:00～）	1	2	3	4	5

問9 東広島市の市政に関する情報や、市が主催するイベント等の情報をどのように入手していますか。

（主なものを3つまで選んで○をお付けください）

1 新聞	2 テレビ	3 ラジオ（FM東広島含む）	4 広報東広島
5 東広島市フェイスブック	6 ツイッター	7 インスタグラム	8 LINE
9 インターネット（東広島市ホームページ含む）			
10 KAMON ケーブルテレビ	11 家族・友人	12 その他	

5 障害者コミュニケーション条例と手話言語条例についておたずねします。

問10 東広島市で「障害者コミュニケーション条例」と「手話言語条例」の二つの条例が制定されました。それぞれの条例の内容（障害者コミュニケーション条例は様々な障害者のコミュニケーション支援を充実させるもの、手話言語条例は手話が独自の言語であることを知ってもらうもの。）をどの程度知っていますか？

（1つだけ選んで○をお付けください）

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1 | それぞれの条例の内容を知っている |
| 2 | それぞれの条例が制定されたのは知っていたが、詳しいことはよくわからない |
| 3 | それぞれの条例が制定されたことを知らない |

6 医療についておたずねします。

問11 休日、夜間などに、あなたや同居の家族の体調が悪くなったとき（ただし、軽症と思われる場合）、あなたはどのように対応していますか。（1つだけ選んで○をお付けください）

- | | | | |
|---|--|---|---------------------|
| 1 | 市広報などで医療機関を探して受診する | 2 | かかりつけ医に相談する |
| 3 | 翌日以降に医療機関を受診する | 4 | 市販薬を飲んだりするなどして様子を見る |
| 5 | 救急電話相談（#8000※ #7119※ ¹ など）を利用する | 6 | その他（ ） |

※1 広島広域都市圏が実施する事業で、急な病気やけがをした際、救急車を呼ぶべきか、病院に行くべきか、判断に迷った時に看護師等が緊急性や応急手当の方法、適切な医療機関などについてアドバイス等を行うもの。【24時間、365日対応】

※2 小さなお子さんをお持ちの保護者が、休日・夜間の急な子どもの病気にどう対処したらよいのか、病院の受診を受けた方がいいのかなど判断に迷った時に、小児科医師・看護師への電話による相談ができるもの。【365日、19時から翌朝8時まで】

→ 問11 で「1 市広報などで医療機関を探して受診する」とお答えの方におたずねします。

問11-1 休日や夜間であっても医療機関を受診するのは、どのような症状の時ですか。

（主なものを3つまで選んで○をお付けください）

- | | | | |
|----|-------------|----|--------------------|
| 1 | 発熱する（38℃前後） | 2 | 発熱する（40℃前後） |
| 3 | 微熱が1日中続く | 4 | けいれんをしたが、5分以内で治まった |
| 5 | 嘔吐する（1回でも） | 6 | 下痢をする（複数回） |
| 7 | せきが止まらない | 8 | やけどをした（水ぶくれができる程度） |
| 9 | 軽い頭痛が続く | 10 | 軽い腹痛が続く |
| 11 | 手足に軽いしびれがある | 12 | 鼻血が15分以上、止まらない |
| 13 | 体に発疹が出る | 14 | その他（ ） |

問12 近年、いわゆる「コンビニ受診」（休日や夜間に、緊急性のない軽症患者が救急外来等を受診すること）が社会問題となっていますが、適正受診の促進を図るため、どのような取組みが必要だと思いませんか。（1つだけ選んで○をお付けください）

- | | | | |
|---|-----------------------|---|-----------------------|
| 1 | 救急電話相談（#8000 など）の普及啓発 | 2 | 市広報、市ホームページなどに特集記事の掲載 |
| 3 | 講演会やワークショップの開催 | 4 | 病気やけがの緊急性の基準が分かる冊子の配布 |
| 5 | 上手な市販薬の使い方 | 6 | 平日に休みやすい勤務環境の醸成 |
| 7 | その他（ ） | | |

7 住民自治協議会についておたずねします。

問13 あなたは、各地域のまちづくりに取り組んでおられる住民自治協議会を知っていますか。

(1つだけ選んで○をお付けください)

- 1 活動内容まで知っている 2 存在は知っているが活動内容は知らない 3 全く知らない

8 地域コミュニティ活動の参加状況についておたずねします。

問14 あなたの地域コミュニティ活動について、項目ごとに参加状況を教えてください。

(それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください)

項 目	過去1年間以内に 参加した	過去1年間以内 ではないが参加 したことがある	活動は知って いるが、参加 したことはな い	活動がない・ 活動があるか どうか知らな い
①健康・福祉・医療 (お年寄りのお世話や子育て支援等)	1	2	3	4
②ふれあい・親睦行事 (地域おこし・まつり等)	1	2	3	4
③文化・芸術・スポーツ (催しの運営等)	1	2	3	4
④環境活動 (美化活動、資源回収、清掃活動等)	1	2	3	4
⑤災害救援 (災害予防、被災者への支援等)	1	2	3	4
⑥地域安全 (犯罪や事故の予防)	1	2	3	4
⑦児童・青少年の健全育成 (体験学習・学童保育等)	1	2	3	4
⑧情報共有 (地域情報誌の発行等)	1	2	3	4
⑨地域経済の活性化 (バザー、特産品開発等)	1	2	3	4

9 消費生活についておたずねします。

問15 あなたは、消費者問題 (消費者と事業者とのトラブルなどの問題) に関心がありますか。

(1つだけ選んで○をお付けください)

- 1 大変関心がある 2 少し関心がある 3 あまり関心がない
4 全く関心がない 5 わからない

問16 あなたは、消費者トラブルに遭ったときの相談窓口である「消費生活センター」が東広島市に設置されていることを知っていますか。(1つだけ選んで○をお付けください)

- 1 利用したことがある 2 知っているが利用したことはない 3 知らない

問17 近年、悪質な勧誘や悪徳商法が多様化しており、さまざまな消費者トラブルが発生しています。

あなたは、以下の販売・購入形態で過去にトラブルになったことがありますか。

(それぞれの項目ごとに、当てはまるものを選んで○をお付けください)

項 目	ある	ない
①通信販売 (テレビショッピングやインターネット、カタログによる注文など)	1	2
②店舗 (自分から店舗に出向き買い物をした商品やサービスなど)	1	2
③電話勧誘 (自宅の電話や携帯電話などに売り込みのあった商品やサービスなど)	1	2
④訪問販売 (自宅に訪問してきた販売員や道端でのキャッチセールスなど)	1	2
⑤知人から購入 (近所の人や友人または、SNSで知り合った人からの勧誘など)	1	2
⑥その他 () ←ある場合のみ、具体的に記入		

問18 消費者トラブルに遭わないため、あなたは普段どのような情報を参考にしていますか。

(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

1 テレビ	2 ラジオ
3 インターネット	4 新聞・雑誌など
5 市の広報紙や啓発チラシなど	6 家族や友人からの情報
7 講演会・研修などのイベント	8 学校の授業
9 公共施設の掲示物など	10 特になし

問19 あなたは、消費者として以下の行動をどの程度心がけていますか。

(それぞれの項目ごとに、当てはまるものを選んで○をお付けください)

項 目	かなり心がけている	ある程度心がけている	どちらともいえない	あまり心がけていない	ほとんど心がけていない
①表示や説明を十分確認し、その内容を理解した上で商品やサービスを選択する	1	2	3	4	5
②トラブルに備え、取引記録・領収書などを保存したり、注意事項・返品特約を確認したりする	1	2	3	4	5
③商品やサービスについて問題があれば事業者申し立てる	1	2	3	4	5
④収入状況を考慮して将来を見通した生活設計を考えている	1	2	3	4	5
⑤環境に配慮した商品やサービスを選択する	1	2	3	4	5

10 人権男女共同参画についておたずねします。

問20 あなたは、次の①～④について、どのように感じていますか。また、⑤の考え方に賛成ですか、反対ですか。

(それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください。)

	そう思う (賛成)	どちらか といえば そう思う (どちらかとい えば賛成)	どちらとも 言えない	どちらか といえば そう思わな い (どちらかとい えば反対)	そう 思わない (反対)	わからない
①日常生活の中で、人権が大切に されている	1	2	3	4	5	6
②差別をなくすため、全ての人が 自分の問題として取り組むべきだ	1	2	3	4	5	6
③人権や権利ばかり主張する人が 増えている	1	2	3	4	5	6
④「地域社会」において、男女の 地位は平等だ	1	2	3	4	5	6
⑤夫は外で働き、妻は家庭を守る べきである	1	2	3	4	5	6

11 生涯学習についておたずねします。

問21 あなたは、この1年間にどのような生涯学習を行いましたか。

(当てはまるものをすべて選んで○をお付けください)

- 1 教養の向上に関するもの(文学、歴史、科学など)
- 2 趣味・けいこごとに関するもの(音楽、絵画、書道、陶芸、園芸など)
- 3 健康・スポーツに関するもの(健康管理、病気予防、ジョギング、水泳、球技、武道など)
- 4 家庭教育・家庭生活に関するもの(料理、着付け、子育て、掃除、片付けなど)
- 5 職業知識・技術の向上に関するもの(事務・経理、農業技術、工業技術など)
- 6 時事・社会問題に関するもの(政治、経済、環境問題、国際情勢など)
- 7 市民意識・社会連帯意識に関するもの(まちづくり、手話・点訳など)
- 8 その他()
- 9 生涯学習を行っていない

問22 この1年間に行った生涯学習に満足していますか。

(1つだけ選んで○をお付けください)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 満足している | 2 どちらかといえば、満足している |
| 3 どちらかといえば、満足していない | 4 満足していない |

14 最後に、あなた自身について教えてください。

それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください。

(1) あなたの性別は	1 男性	2 女性	3 その他	
(2) あなたの年齢は	1 18～19歳	2 20～29歳	3 30～39歳	4 40～49歳
	5 50～59歳	6 60～69歳	7 70歳以上	
(3) あなたの 家族構成は	1 1人世帯	2 1世代世帯(夫婦のみ)	3 2世代世帯(親と子)	
	4 3世代世帯(親と子と孫)	5 その他の世帯 ()		
(4) あなたの家族(同居) に18歳未満の子どもはいますか	1 はい	2 いいえ		
(5) あなたの家族(同居) に65歳以上の方はいますか	1 はい	2 いいえ		
(6) あなたの ご職業は	1 自営業(農林水産業等従事者も含む)	2 会社員等(団体職員・公務員・会社役員・専門職も含む)		
	3 アルバイト・パート	4 派遣社員・契約社員		
	5 学生・専門学校生	6 家事専業		
	7 無職	8 その他()		
(7) あなたの 居住地は	1 西条地区	2 八本松地区	3 志和地区	
	4 高屋地区	5 黒瀬地区	6 福富地区	
	7 豊栄地区	8 河内地区	9 安芸津地区	
(8) あなたの通勤(職場)・ 通学(学校)先は	1 市内	2 市外	3 なし	
(9) 現在のお住まいの種 類は	1 戸建て持ち家	2 戸建て借家		
	3 分譲マンション	4 賃貸マンション・アパート		
	5 社宅・官舎・寮	6 公営住宅		
	7 その他()			

ご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返信用封筒にて令和元年6月21日(金)までにご投函ください

令和元年度 東広島市市民満足度調査報告書

令和元年10月 発行

発行 東広島市

編集 政策企画部 総合政策課

〒739-8601 広島県東広島市西条栄町8番29号

T E L 082-420-0943

E-Mail hgh200943@city.higashihiroshima.lg.jp

